
協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書

平成 28 年 12 月
(平成 28 年 9 月実施)

豊 島 区

目次

I. 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査内容	1
4 回収結果	1
5 報告書を見る際の注意事項	1
6 回答者の基本属性	2

II. 調査結果

第1章 豊島区の印象について	7
1-① 住み心地〔問1〕	7
1-② 住み心地の変化〔問2〕	10
1-③ 住み心地の変化の理由〔問2〕	13
2-① 居住の経緯〔問3〕	16
2-② 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか〔問3-1〕	18
2-③ 豊島区を選んだ理由〔問3-2〕	21
3-① 定住意向〔問4〕	24
3-② 住み続けたい理由〔問4-1〕	27
3-③ 転居せざるをえない、転居したい理由〔問4-2〕	31
4 地域への愛着〔問5〕	34
第2章 地域の生活環境について	37
〔設問設定の考え方〕	37
1 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」〔問6〕	40
① 参画・協働	40
② 平和・人権	41
③ 福祉	42
④ 健康・保健	43
⑤ 子育て	44
⑥ 教育	45
⑦ みどり・環境	46
⑧ 都市再生・交通	47
⑨ 防災・治安	48
⑩ 商工・観光	49
⑪ 文化	50
2 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問6〕	56
① 参画・協働	56
② 平和・人権	57
③ 福祉	58
④ 健康・保健	59
⑤ 子育て	60

⑥	教育	61
⑦	みどり・環境	62
⑧	都市再生・交通	63
⑨	防災・治安	64
⑩	商工・観光	65
⑪	文化	66
3	「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問6〕	67
①	参画・協働	68
②	平和・人権	70
③	福祉	72
④	健康・保健	74
⑤	子育て	76
⑥	教育	78
⑦	みどり・環境	80
⑧	都市再生・交通	82
⑨	防災・治安	84
⑩	商工・観光	86
⑪	文化	88
第3章 区の情報・区の政策等について		91
1	区の情報を知るための手段〔問7〕	91
2	区政への関心〔問8〕	94
3	区の政策に区民の意見が反映されているか〔問9〕	96
4	区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度〔問10〕	98
5	地域のために何か役に立ちたいか〔問11〕	100
6	町会、自治会などの地域活動への参加状況〔問12〕	102
7	女性にやさしいと感じるまちに大切だと思うこと〔問13〕	104
8	セーフコミュニティ活動の認知度〔問14〕	108
9	交通事故発生場所等の認知度〔問15〕	110
10	自転車の運転ルール遵守状況の実感〔問16〕	112
11	池袋駅周辺の体感治安〔問17〕	114
12	地震に備えた家具等の転倒防止対策〔問18〕	116
13	大地震により公共交通機関が停止した場合の行動〔問19〕	118
14	防災訓練や避難訓練への参加〔問20〕	121
15	「救援センター」の認知度〔問21〕	125
16-①	高齢者虐待に対する区民の理解度〔問22(1)〕	130
16-②	児童虐待に対する区民の理解度〔問22(2)〕	132
16-③	DV（ドメスティック・バイオレンス）に対する区民の理解度〔問22(3)〕	134
17-①	区政全般への要望（現在、区が力を入れていると思う施策）〔問23〕	136
17-②	区政全般への要望（特に力を入れてほしいと思う施策）〔問23〕	140
18	自由意見	145
Ⅲ. 調査票		147

I. 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、区民をはじめ、町会や自治会、商店街、NPO、企業、学校など、地域の多様な主体との協働を基本とした区政運営を実現するため、区民の地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等についての意見や要望を把握し、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等に活用するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の設計

- (1) 調査区域：豊島区全域
- (2) 調査対象：区内に2年以上在住する18歳以上の区民
- (3) 標本数：区民 5,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳から区内を5地域に分割し、各地域より1,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法：自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期：平成28年9月7日（水）～9月30日（金）

3 調査内容

- 豊島区の印象について
- 地域の生活環境について
- 区の情報・区の政策等について
- 調査対象者の基本属性について

4 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000件	1,967件	39.3%

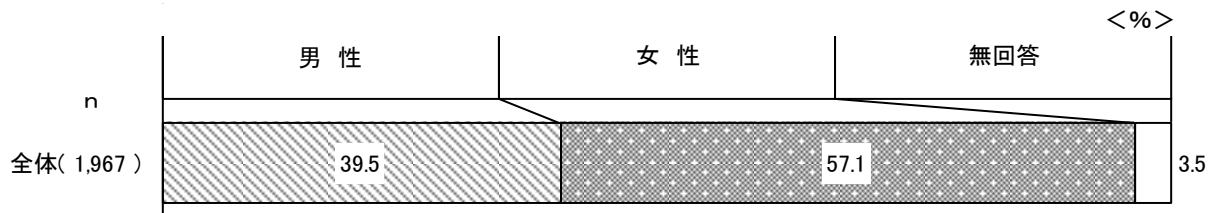
5 報告書を見る際の注意事項

- 図表中の「n」は、設問への回答者数を示している。
- 回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- 図表中の「-」は当該選択肢を選んだ回答者がいないことを示す。
- 複数選択ができる設問では、設問該当者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがある。なお、その場合には、グラフ中に「※2つ選択」や「※あてはまるものすべて選択」などと記載している。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。

6 回答者の基本属性

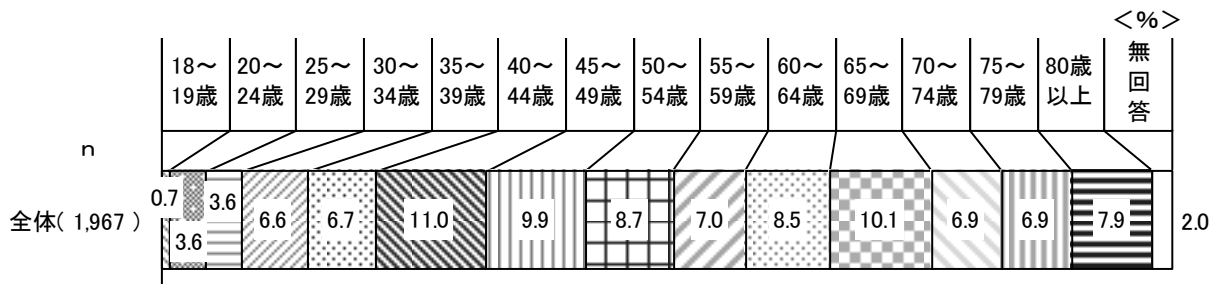
(1) 性別

- 「女性」が6割弱、「男性」が約4割である。



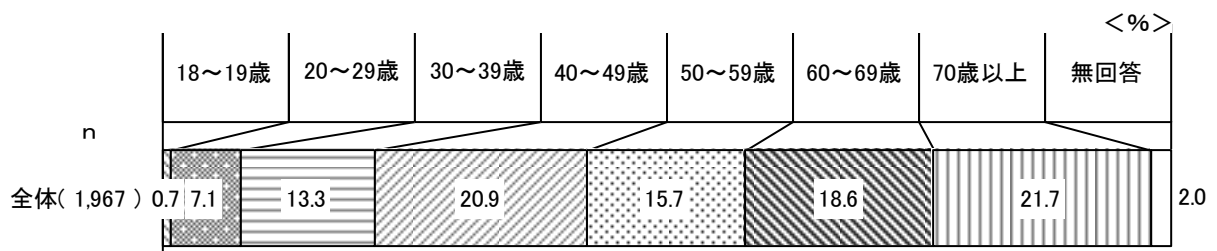
(2) 年齢

- 「40～44歳」(11.0%)、「65～69歳」(10.1%)、「45～49歳」(9.9%) がそれぞれ約1割となっている。



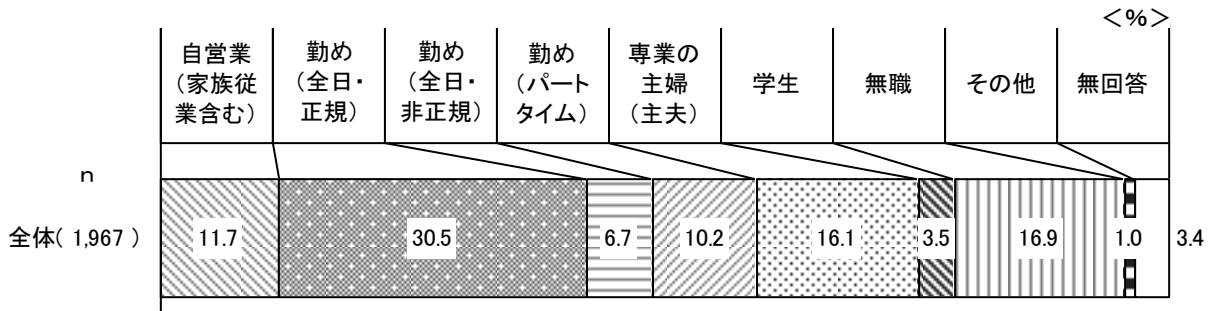
【10歳区分】

- 「70歳以上」(21.7%)、「40～49歳」(20.9%)、「60～69歳」(18.6%) がそれぞれ約2割となっている。



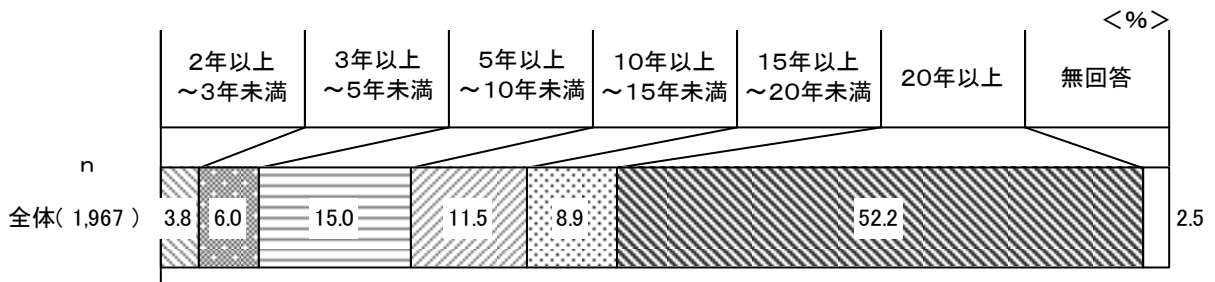
(3) 職業

●「勤め（全日・正規）」（30.5%）が約3割と最も高く、次いで「無職」（16.9%）、「専業の主婦（主夫）」（16.1%）となっている。



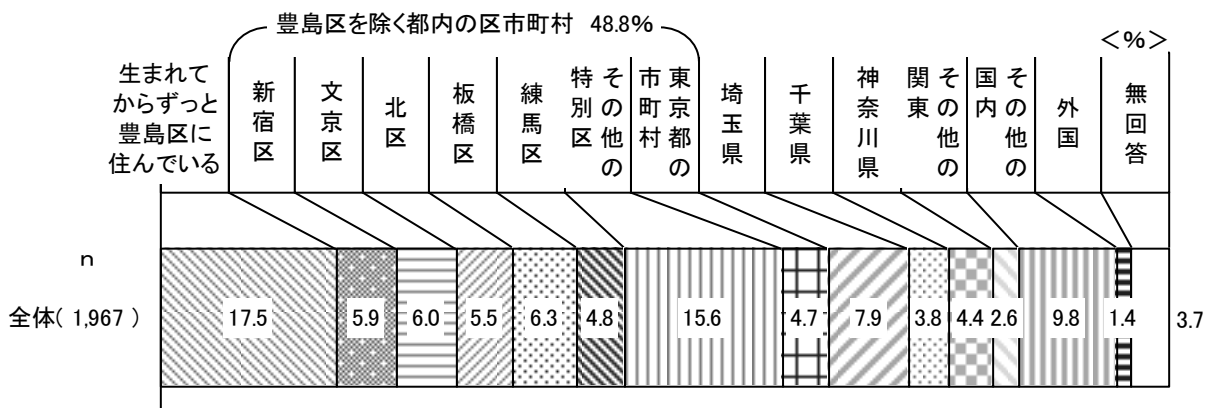
(4) 居住年数

●「20年以上」（52.2%）が約5割と最も高く、次いで「5年以上～10年未満」（15.0%）、「10年以上～15年未満」（11.5%）となっている。



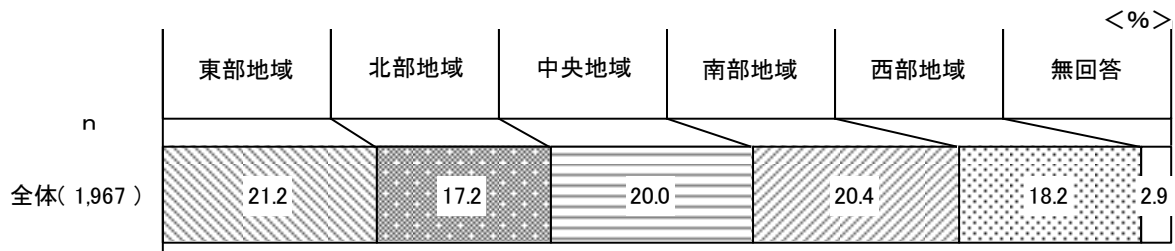
(5) 豊島区に住む前に住んでいた地域

●近隣区をはじめとした都内の区市町村が約5割で、「生まれてからずっと豊島区に住んでいる」（17.5%）は1割台半ばとなっている。



(6) 居住地域

●5地区区分では、東部・中央・南部・西部のそれぞれの地域が約2割、北部地域が1割台半ばとなっている。

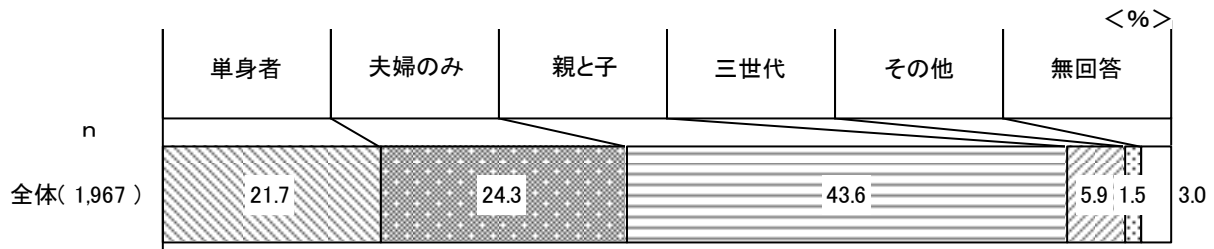


注) 5地区の町丁構成

- 東部地域 (駒込、巣鴨、北大塚1・2丁目、南大塚)
- 北部地域 (西巣鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町)
- 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋)
- 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白)
- 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)

(7) 世帯構成

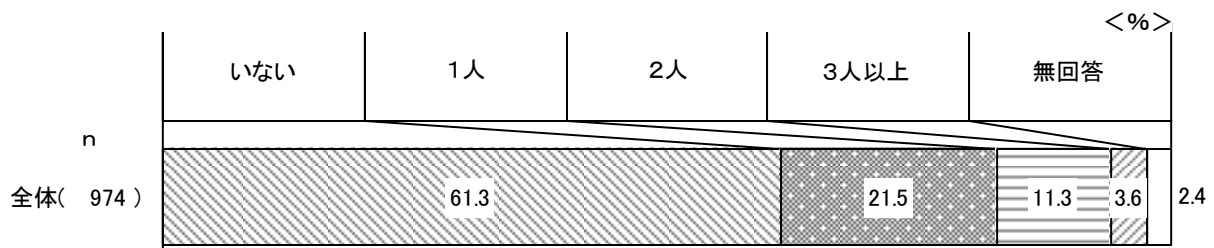
●「親と子」の世帯構成が4割を超えて最も高く、次いで「夫婦のみ」が2割台半ば、「単身者」が約2割と続いている。



(8) 中学生以下の子どもの有無

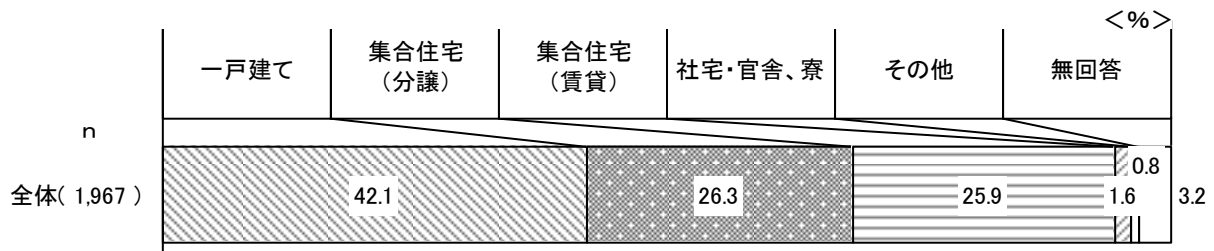
●「親と子」及び「三世帯」の世帯構成のうち、「(中学生以下の子どもは) いない」が6割を超えている。

●中学生以下の子どもがいる場合の子どもの数は、「1人」が最も高く、「2人」、「3人以上」の順となっている。



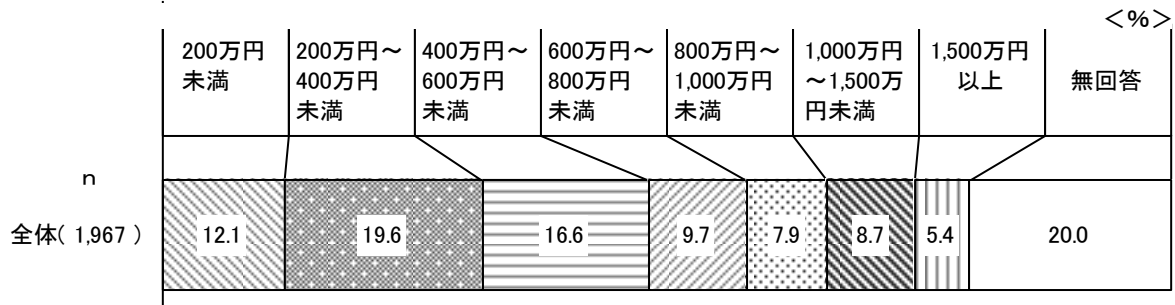
(9) 住まい形態

- 「一戸建て」(42.1%) が4割強と最も高く、次いで「集合住宅(分譲)」(26.3%)、「集合住宅(賃貸)」(25.9%) がそれぞれ2割台半ばとなっている。



(10) 世帯年収

- 「200万円～400万円未満」(19.6%) が約2割で最も高く、次いで「400万円～600万円未満」(16.6%) が1割台半ばとなっている。



《今回調査と前回調査（平成25年度）、前々回調査（平成22年度）の回答者の基本属性比較》

《今回調査と過去調査（平成25年度、平成22年度）の回答者の基本属性比較》

		(%)		
		平成28年度 調査（今回） (n=1,967)	平成25年度 調査（前回） (n=1,757)	平成22年度 調査（前々回） (n=2,040)
①性別	男性	39.5	37.5	38.5
	女性	57.1	58.0	59.4
	無回答	3.5	4.5	2.1
②年齢	18～19歳	0.7	1.0	0.8
	20～29歳	7.1	6.7	7.1
	30～39歳	13.3	13.7	15.0
	40～49歳	20.9	18.3	16.0
	50～59歳	15.7	14.7	15.6
	60～69歳	18.6	19.5	20.7
	70歳以上	21.7	21.9	22.5
	無回答	2.0	4.1	2.3
③職業	自営業（家族従業員含む）	11.7		
	（前回・前々回）自営業主		10.2	10.0
	（前回・前々回）家族従業員		1.9	3.1
	勤め（全日・正規）	30.5	30.2	30.6
	勤め（全日・非正規）	6.7		
	勤め（パートタイム）	10.2	10.5	10.5
	専業主婦（主夫）	16.1	16.6	19.0
	学生	3.5	3.4	2.5
	無職	16.9	19.0	20.4
	その他	1.0	3.2	1.1
無回答	3.4	5.0	2.7	
④居住歴	ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）	27.6	29.3	26.4
	他の地域からきた	71.7	66.5	71.3
	無回答	0.7	4.2	2.4
⑤居住年数	2年以上～3年未満	3.8	11.4	11.8
	3年以上～5年未満	6.0		
	5年以上～10年未満	15.0	11.5	11.9
	10年以上～15年未満	11.5	18.6	16.7
	15年以上～20年未満	8.9		
	20年以上	52.2	54.7	57.5
無回答	2.5	3.8	2.2	
⑥居住地域	東部地域	21.2	20.1	19.5
	北部地域	17.2	18.4	19.9
	中央地域	20.0	15.8	18.3
	南部地域	20.4	19.8	20.0
	西部地域	18.2	20.8	20.2
	無回答	2.9	5.0	2.0
⑦世帯構成	単身者	21.7	17.0	19.7
	夫婦のみ	24.3	22.3	23.3
	親と子	43.6	46.4	42.6
	三世帯	5.9	7.5	10.0
	その他	1.5	4.0	2.2
	無回答	3.0	2.8	2.2
⑧中学生以下の子どもの有無	いない	61.3	62.0	62.8
	1人	21.5	19.4	18.2
	2人	11.3	12.4	12.6
	3人以上	3.6	3.4	4.2
	無回答	2.4	2.9	2.1
⑨住まい形態	一戸建て	42.1	44.3	46.8
	集合住宅（分譲）	26.3	24.2	21.1
	集合住宅（賃貸）	25.9	26.6	26.1
	社宅・官舎、寮	1.6		
	その他	0.8	2.8	3.3
	無回答	3.2	2.0	2.6
⑩世帯年収	200万円未満	12.1		
	200万円～400万円未満	19.6		
	400万円～600万円未満	16.6		
	600万円～800万円未満	9.7		
	800万円～1,000万円未満	7.9		
	1,000万円～1,500万円未満	8.7		
	1,500万円以上	5.4		
	無回答	20.0		

注) 平成25年度調査は、平成25年7月実施の「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の回答結果である。

注) 平成22年度調査は、平成22年6月実施の「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の回答結果である。

注) ④居住歴の平成28年度調査は、問3の回答結果である。

注) ⑧中学生以下の子どもの有無は、⑦世帯構成で「親と子」「三世帯」に回答した人のみが回答。

(該当する回答者数は、平成28年度が974人、平成25年度が947人、平成22年度が1,074人)

Ⅱ. 調査結果

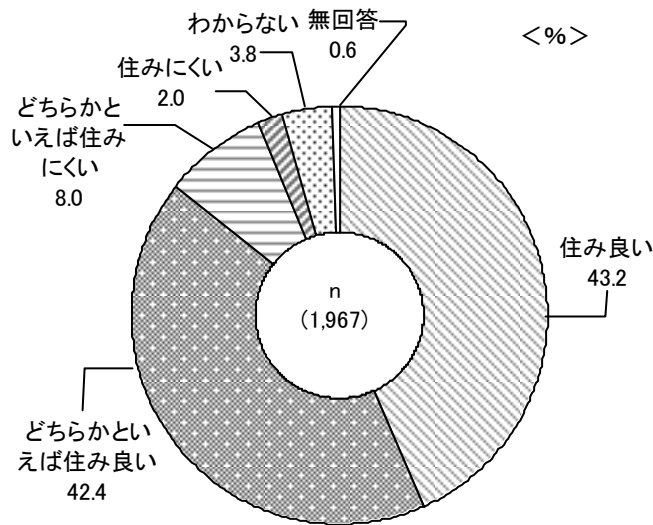
第1章

豊島区の印象について

第1章 豊島区の印象について

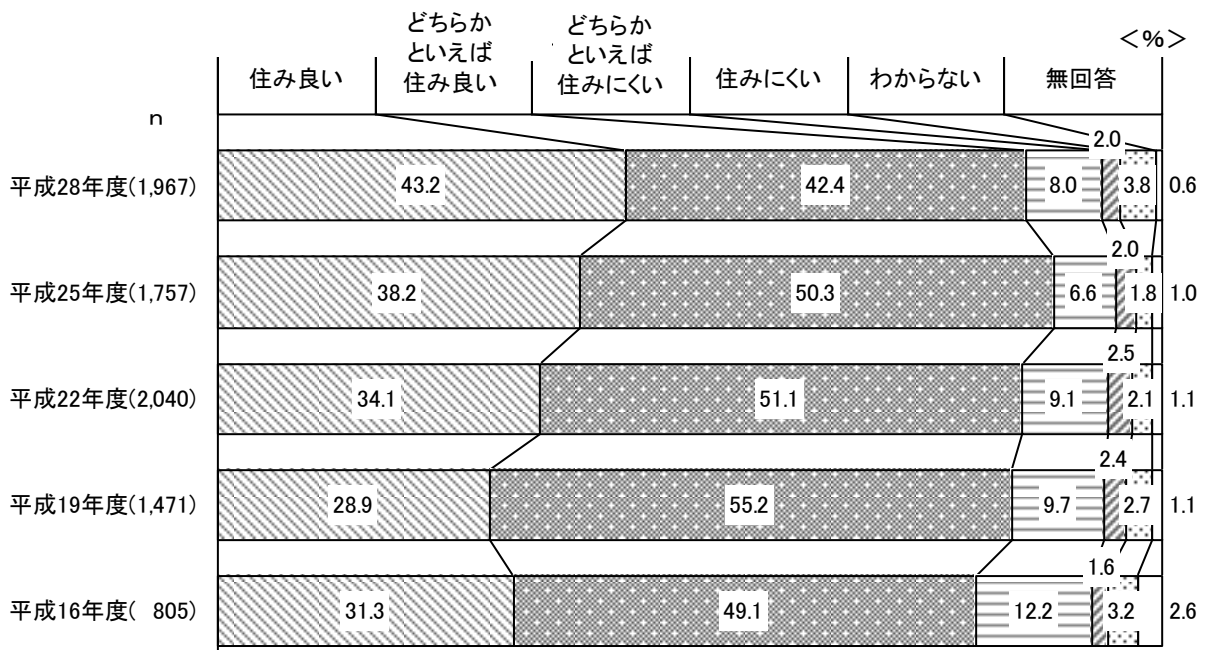
1-① 住み心地〔問1〕

- 豊島区の住み心地を聞いたところ、「住み良い」(43.2%)が最も高く、「どちらかといえば住み良い」(42.4%)と合わせた“住み良い”(85.6%)としてみると8割台半ばとなっている。
- 「どちらかといえば住みにくい」(8.0%)と「住みにくい」(2.0%)を合わせた“住みにくい”(10.0%)としてみると1割となっている。



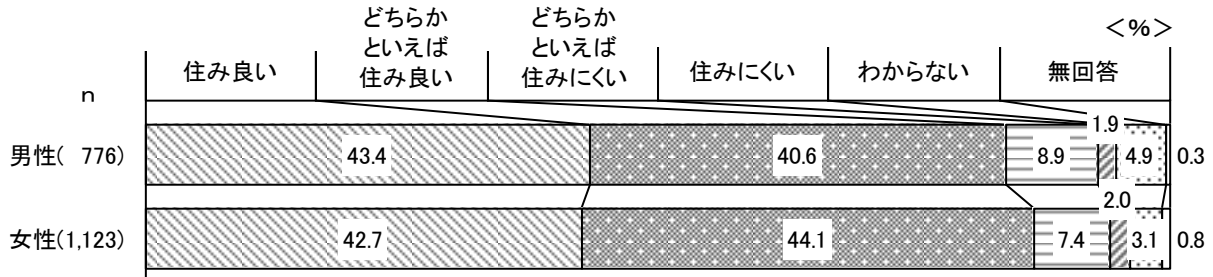
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「住み良い」は平成22年度以降で増加している。「住み良い」は平成25年度から2.9ポイント低くなっている。



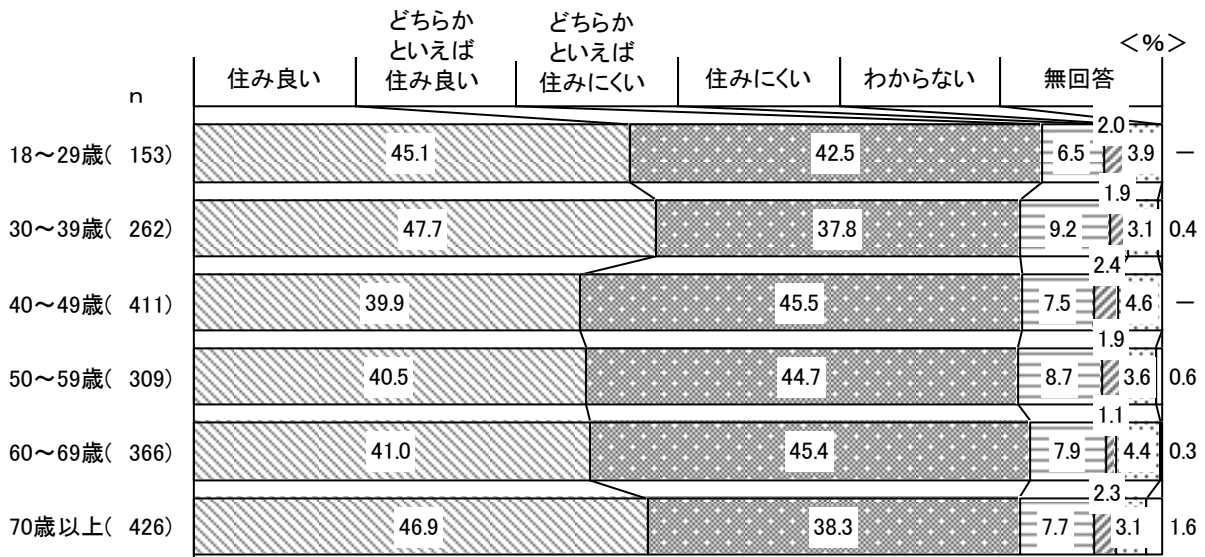
【性別】

- “住み良い” は女性（86.8%）が男性（84.0%）に比べて2.8ポイント高くなっている。



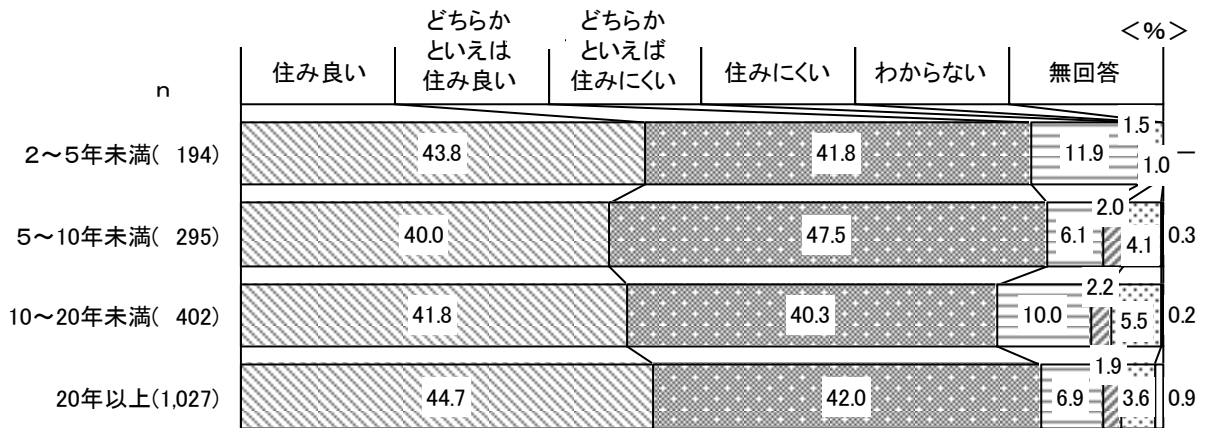
【年齢別】

- “住み良い” は18～29歳（87.6%）で最も高くなっている。
- “住みにくい” は30～39歳（11.1%）と50～59歳（10.6%）で1割を超えている。



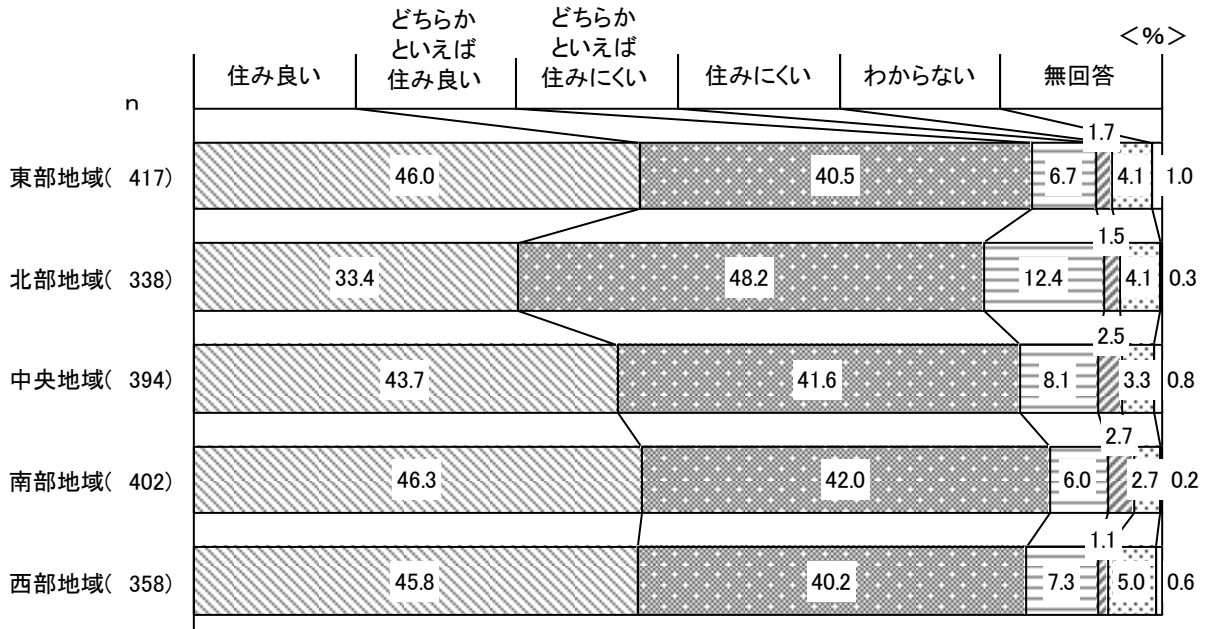
【居住年数別】

- “住み良い” は5～10年未満（87.5%）と20年以上（86.7%）でやや高くなっている。



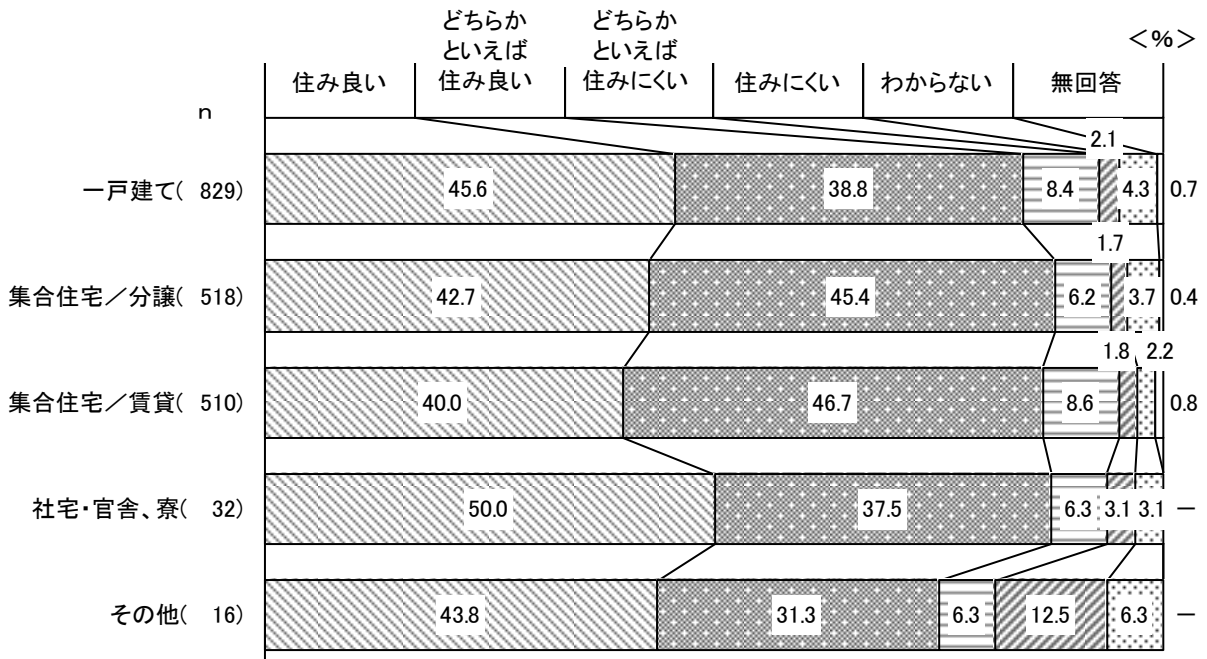
【地域別】

- “住み良い” は南部地域 (88.3%) が9割弱で最も高く、東部地域 (86.5%)、西部地域 (86.0%)、中央地域 (85.3%) で8割台半ばとなっている。
- “住みにくい” は北部地域 (13.9%) と中央地域 (10.6%) で1割を超えている。



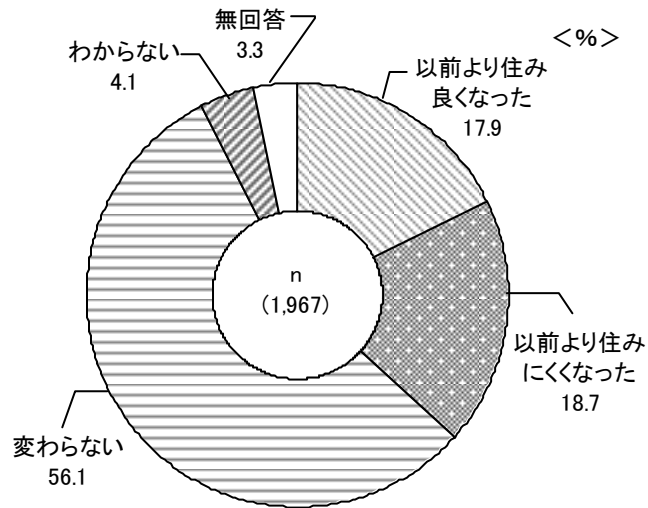
【住まい形態別】

- “住み良い” は集合住宅 (分譲) (88.1%) が9割弱で最も高く、集合住宅 (賃貸) (86.7%)、一戸建て (84.4%) も8割台半ばとなっている。



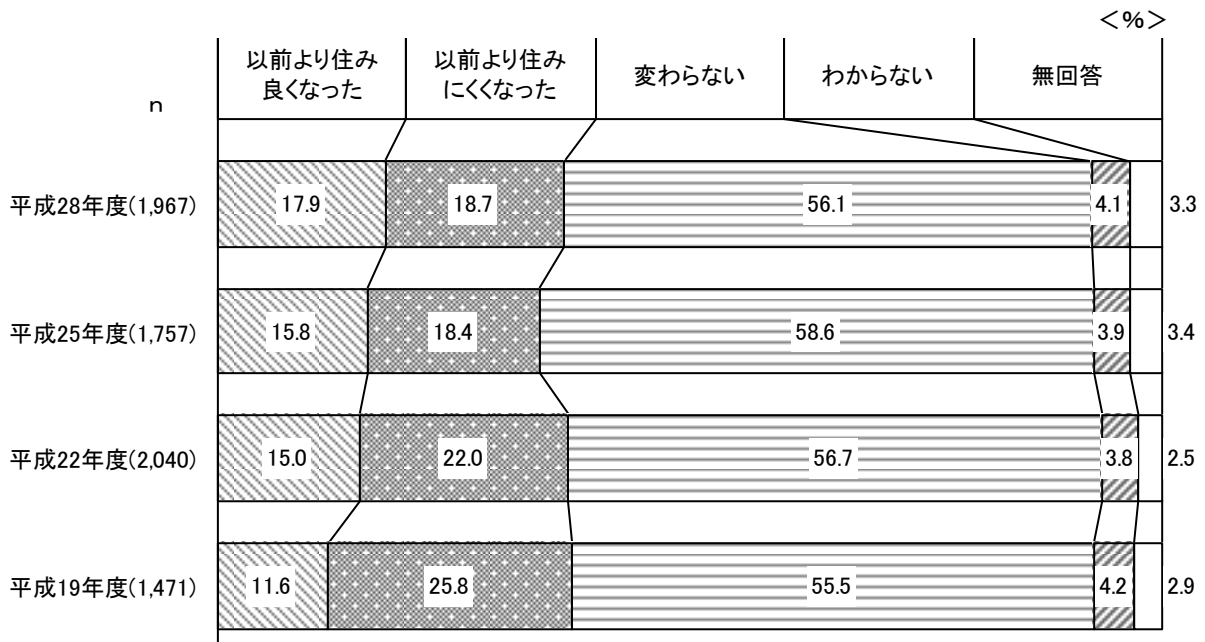
1-② 住み心地の変化〔問2〕

- 以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、「変わらない」(56.1%)が5割台半ばで最も高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」(18.7%)が、「以前より住み良くなった」(17.9%)よりも0.8ポイント高くなっている。



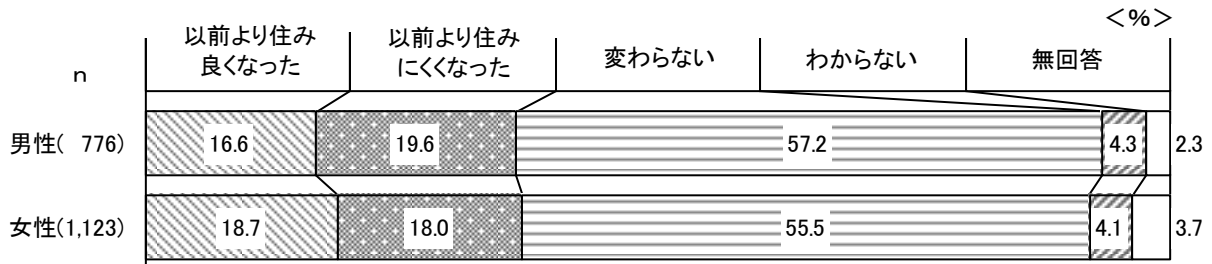
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「以前より住み良くなった」は平成25年度から2.1ポイント高くなり、「以前より住みにくくなった」は平成25年度と同程度である。



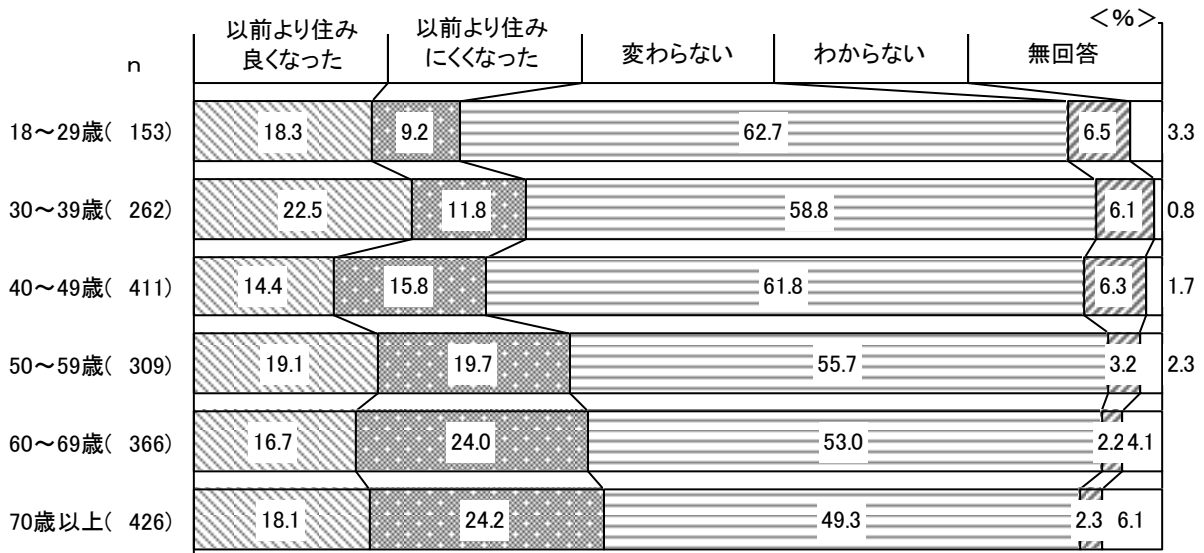
【性別】

- 「以前より住み良くなった」は女性（18.7%）が男性（16.6%）に比べて高くなっている。



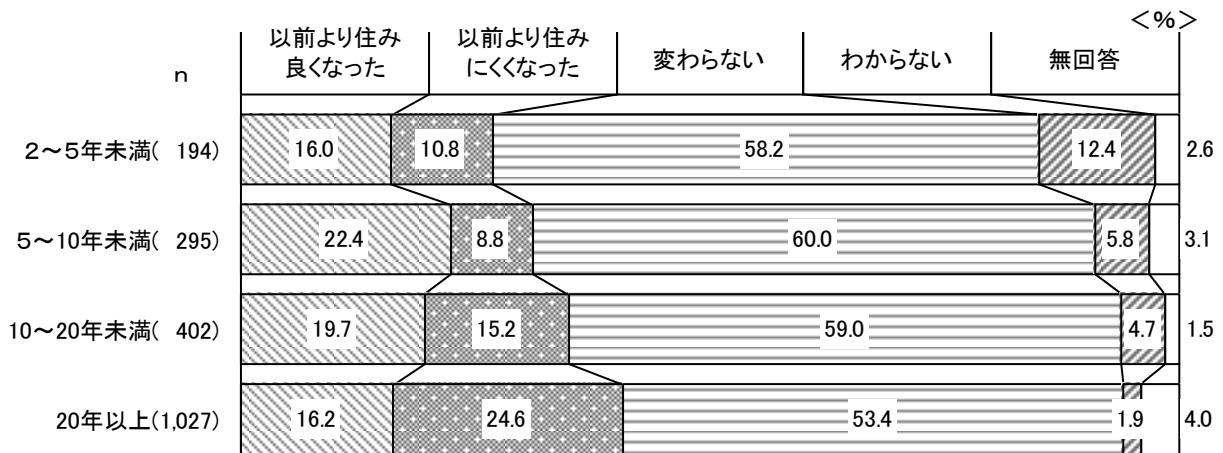
【年齢別】

- 「以前より住み良くなった」は30～39歳（22.5%）が2割強で最も高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」は70歳以上（24.2%）、60～69歳（24.0%）で2割を超えている。



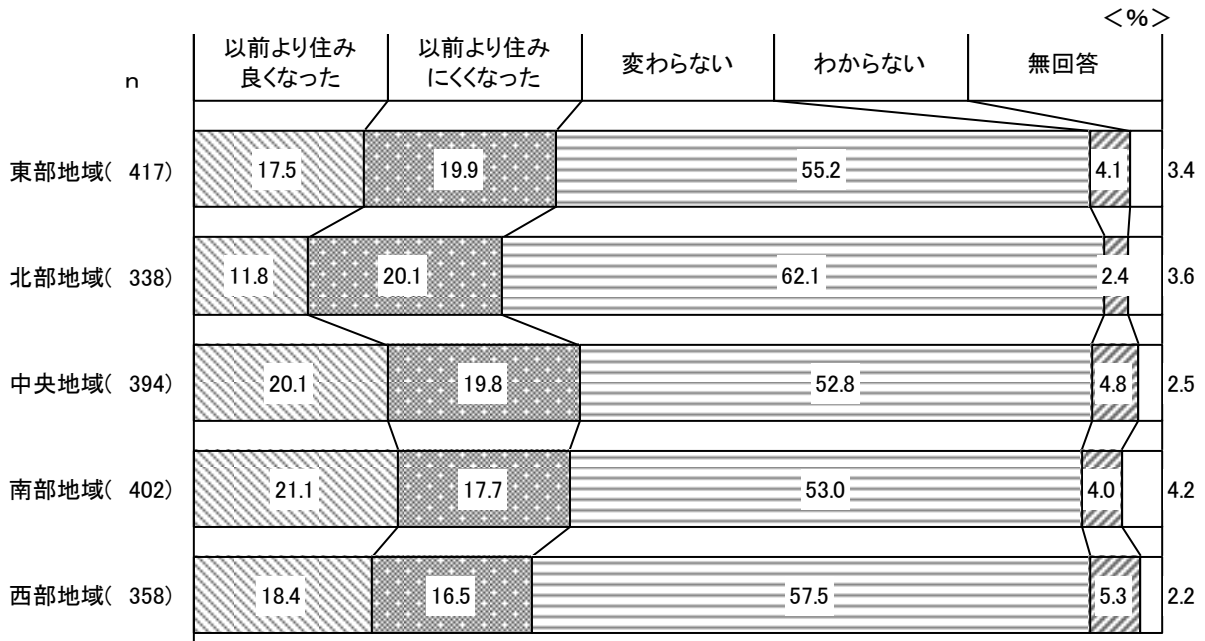
【居住年数別】

- 「以前より住み良くなった」は5～10年未満（22.4%）で2割を超えている。
- 「以前より住みにくくなった」は居住年数が長くなるほど高くなる傾向がみられ、20年以上（24.6%）で最も高くなっている。



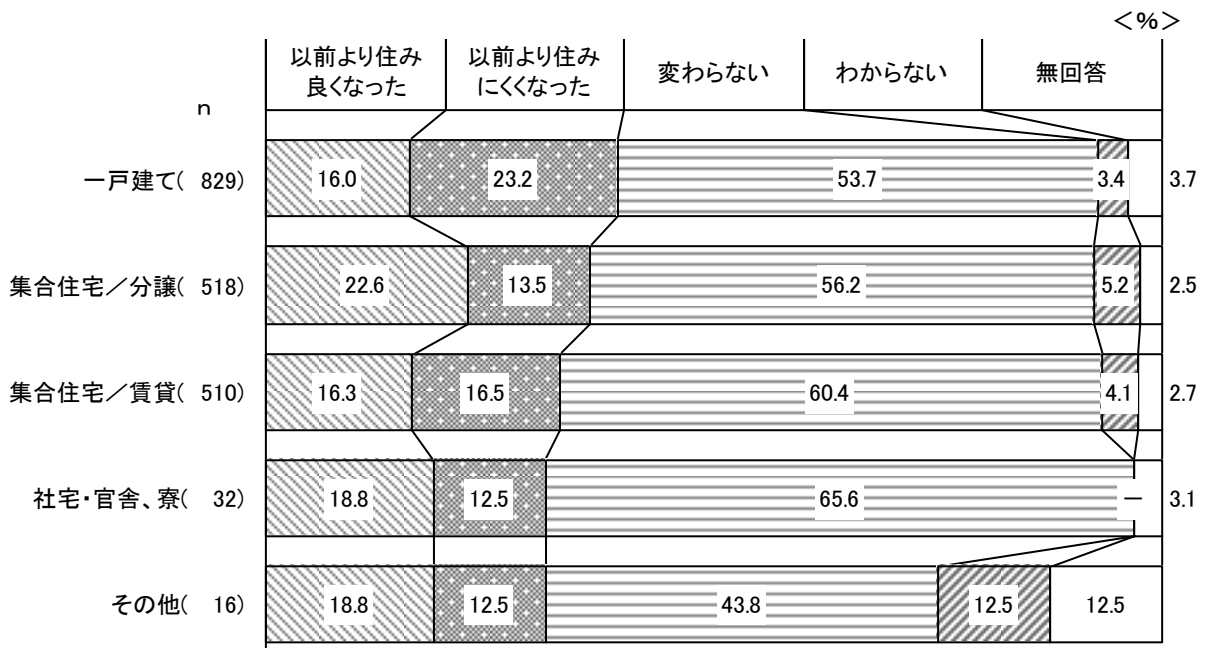
【地域別】

- 「以前より住み良くなった」は南部地域（21.1%）と中央地域（20.1%）で2割を超えている。
- 「以前より住みにくくなった」は北部地域（20.1%）で2割を超えている。



【住まい形態別】

- 「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（22.6%）で2割を超えている。
- 「以前より住みにくくなった」は一戸建て（23.2%）で2割強となっている。



1-③ 住み心地の変化の理由〔問2〕

〔問2〕で「以前より住み良くなった」「以前より住みにくくなった」と回答した人に、その代表的な理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

【以前より住み良くなった主な理由】

区分	件数	主な意見
交通の便がよくなった	100件	地下鉄副都心線が開通し利便性が向上した
		駅が近くなった
		近隣に目的地へ行く交通手段が以前より増えた
		高速道路の出入口が近くにできた
		交通機関の選択肢が増えた（特にバスや都電が便利）
		西池袋通りにバスが通るようになり便利になった
街づくり	84件	池袋の東口によく行くので、明らかに人も多くなり活気が出ている
		再開発で副都心周辺が整備されてきた
		池袋西口のイメージが良くなった
		大塚駅の南北を結ぶ自由通路ができ、駅前もきれいになった
		駅前の放置自転車が減って歩きやすくなり、美観もよくなった
		街並みが整備されてきた
		西池袋通りができて歩道も広くなった
		道路がバリアフリー化された
		道路がきれいになった（電柱がなくなった、車の通る音が静かになった）
		歩道（山手通り）が広くなり自転車が乗りやすく移動しやすくなった、電線も地下に入ってよかった
買い物が便利になった	67件	近くにスーパーができて、日常の買い物が楽になった
		大きなスーパーができた
		コンビニが増えた
		商店街が多い
		買い物する場所の選択肢が増えた
各種施設ができた	27件	南池袋公園がリニューアルされた
		きれいな公園ができた
		区民ひろばが充実
		駒込図書館が新しくなった
		近くにスポーツセンターができた
		学校が整備されている
治安がよくなった	26件	街が安全できれいになった
		街全体が明るくなった
		防犯の面で安心できるようになった
		最近は警察のパトロールカーがよく来ているので安心
		客引きに引っつく声を掛けられなくなった
		落書き等がなくなり、明るく清潔な街になってきた
		ホームレスが少なくなった

区分	件数	主な意見
飲食店や商業施設が増えた	22 件	飲食店が増えた
		大塚駅に商業施設ができた。便利で、生活の質がアップした
		目白駅前に商業施設ができ、食・文化が充実
人間関係がよくなった	18 件	乳幼児が増え地域が明るくなった
		子どもが産まれて地域とのかかわりが増えた
		子どもが小学校に上がり、子どもを通じて地域のつながりが強くなった
		町会が清掃、祭り、イベントをして盛り上げている
		地域の方と親しくなった
行政がよくなった	16 件	区役所が移転して便利になった
		区役所が新しくなってから処理スピード、サービスが向上した
		区の情報発信が早くなったことと、施策の実施が他区より先んじている
福祉・医療が充実	9 件	福祉が以前より充実してきた
		保育に関する行政の意識が向上している
		保育園の改修など子どもにかかわることが改善した
		クリニックが近くにできた
その他	30 件	自分が慣れて生活と環境が合ってきた
		良い文化事業に参加することができた
		再開発により、元の場所で古い木造住宅から新築マンションになった
		以前は近くに工事ばかりあってうるさく眠れなかった

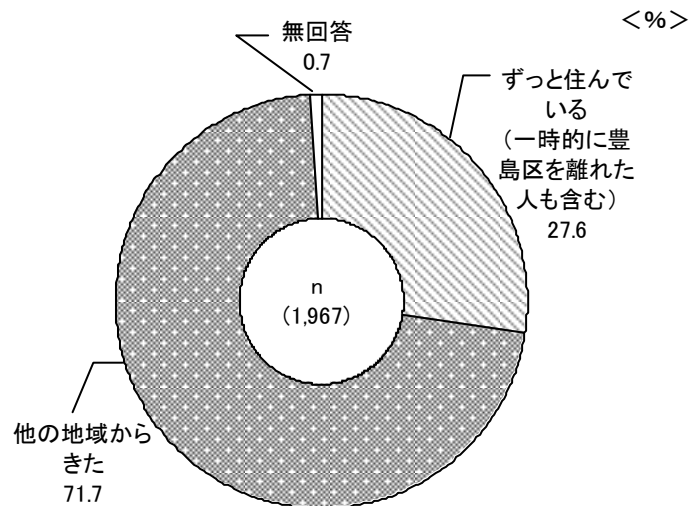
【以前より住みにくくなった主な理由】

区分	件数	主な意見
外国人との関係	101 件	生活習慣の異なる外国人が増加した
		外国人が増えるに伴って、治安が悪くなりつつある
		外国人が増え、ごみの出し方や生活マナーが違い、住みにくくなった
		外国人が多くコミュニケーションが難しい
		近隣の外国人が深夜まで友人たちと騒いでいる
		ごみ出しのルールを注意してもトラブルになるなど理解や協力が難しい
コミュニティ・近隣関係	61 件	地域住民とのコミュニケーションが取りにくくなっている
		周辺の住民の顔がわからない
		近所付き合いが少なくなった
		古くからの住人が少なくなった
		一人暮らしの高齢者が多くなった
		新しい住民は地域の行事に参加しない
		単身者のごみ出し
		自分勝手、自分本位の住人が多くなった
		他から来た人を受け入れない
近所に商店がなくなり買い物が不便になった	53 件	近くの商店が減って毎日の買い物が不便
		商店街がさびしくなった
		スーパーが乱立し近隣の商店が閉店して、買い物が不便になった
		住宅街なので商店がなくなり、買い物が不便になった
		買い物をする商店がなくなり困っている。高齢者は買い物難民

区分	件数	主な意見
新しくマンションや住宅が建設され、住環境が悪化した	49件	高層マンションが建ち日当たりが悪くなった
		家の周りに高いマンションが多くなり圧迫感が増した
		ワンルームマンションが増えて、ごみの出し方が悪くなった
		近所にワンルームマンションやアパートが建ち、夜間など騒がしくなった
治安・マナー	41件	少し物騒になった
		池袋駅北口周辺の治安、衛生環境の悪化
		夜の客引きが多く帰宅しづらい
		不審者が多くなった
		たばこの受動喫煙、たばこのポイ捨て
		ごみのポイ捨て等が増え汚くなった
		スマホを見ながら歩く人が多くなった
		歩道、横断歩道等で自由な歩き方が多くなっている
		自転車のマナーが悪化している
		歩道に店の看板や商品が陳列していて、通行に迷惑で危険
		道路・交通
都電の線路脇に道路ができたため踏切が少なくなった		
池袋東口行きのバス経路が変更になった		
自転車の往来が年々増え危険な道が多い		
騒音	17件	地下鉄の工事などの騒音がうるさい
		明治通りの夜間工事が多く、騒音がうるさい
		近所の店、会社の騒音がひどくなった
		生活騒音がすごい
街づくり、都市開発	16件	ビルが多くなりオフィスが増え住民が少なくなった
		駅周辺の街づくりが全く良くなっていない
		自転車置き場が少ない
		休日の池袋駅前の混雑がひどくなった
緑・オープンスペース	10件	樹木がとても少ない
		緑が少なくなり、公共の憩いの場が減った
		ビルが多くなりホッとする場所が少なくなった
		緑道が汚く子どもを安心して散歩させられない
各種施設	10件	近くに病院がなくなった
		高齢者対象の施設の増加とは逆に、子育て施設の減少は残念
		以前あった郵便局がなくなった
		区の施設（区民ホールやプールなど）の使用料が高くなった
行政	6件	地域サービスが悪い
		区役所が池袋駅から遠くなってしまい、高齢者等にはかなり不便になった
その他	28件	物価が高くなった
		家賃が高くなった
		かつてのような活気がない
		格差が広がっている気がする
		何となく良くなっている方向性ではなく、悪くなっていくのではないかと いう漠然とした不安がある

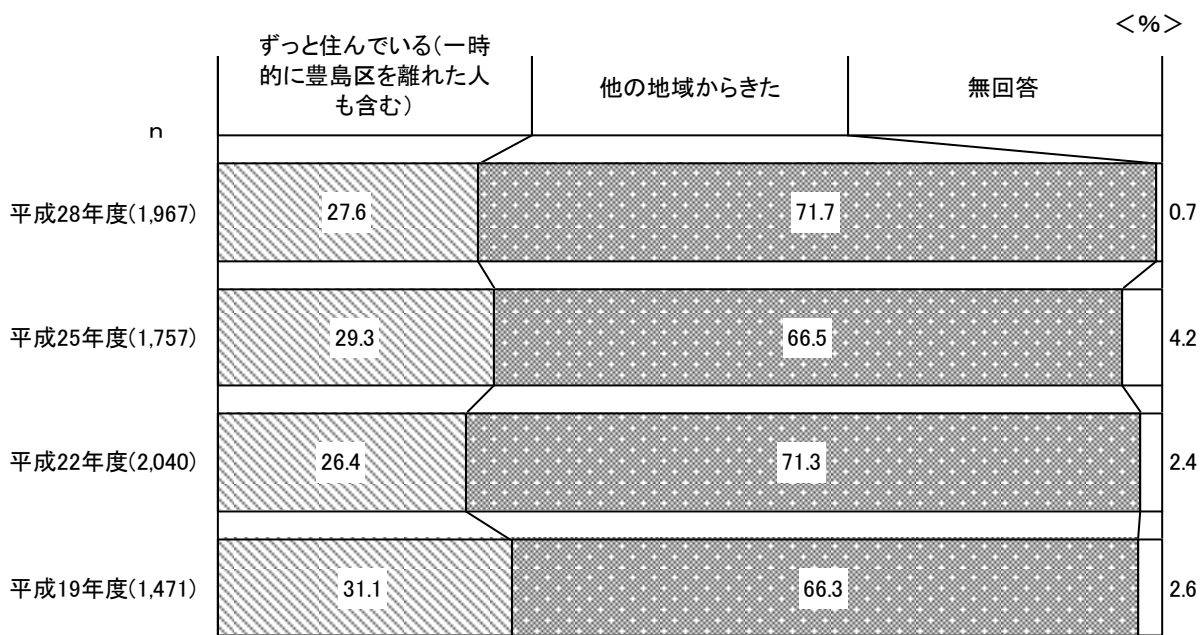
2-① 居住の経緯〔問3〕

- 生まれてからずっと豊島区に住んでいるかどうかについては、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」(27.6%)が2割台半ばを超えている。
- 「他の地域からきた」(71.7%)は7割強となっている。



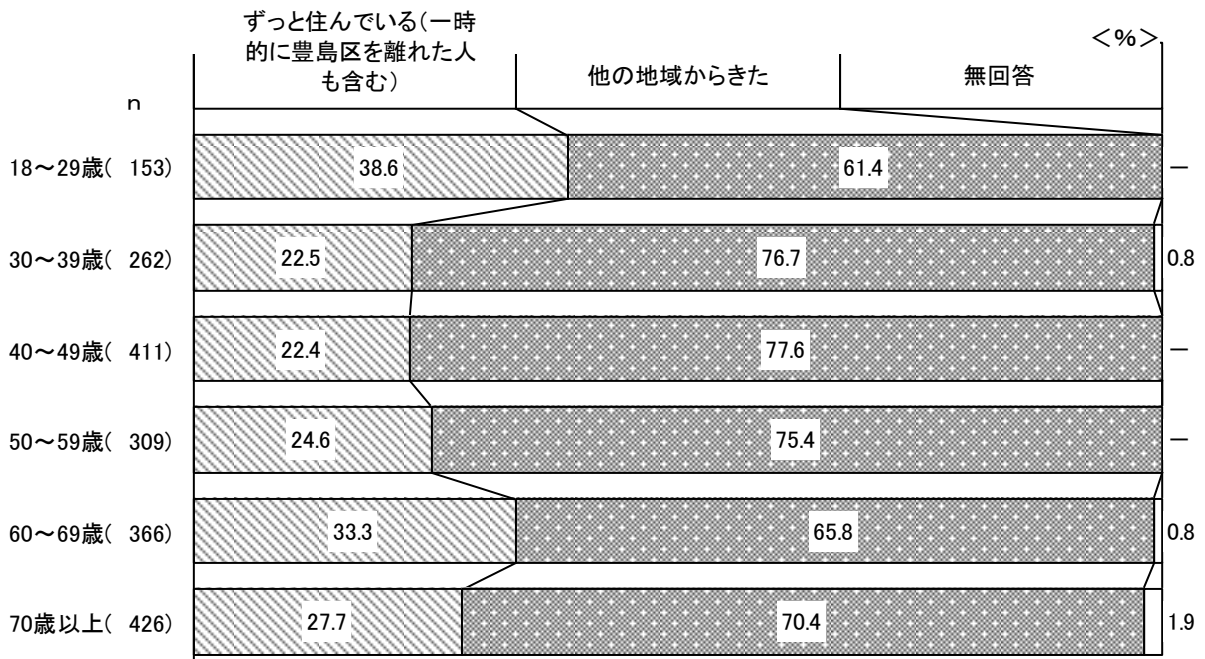
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」は、平成25年度から1.7ポイント低くなっている。



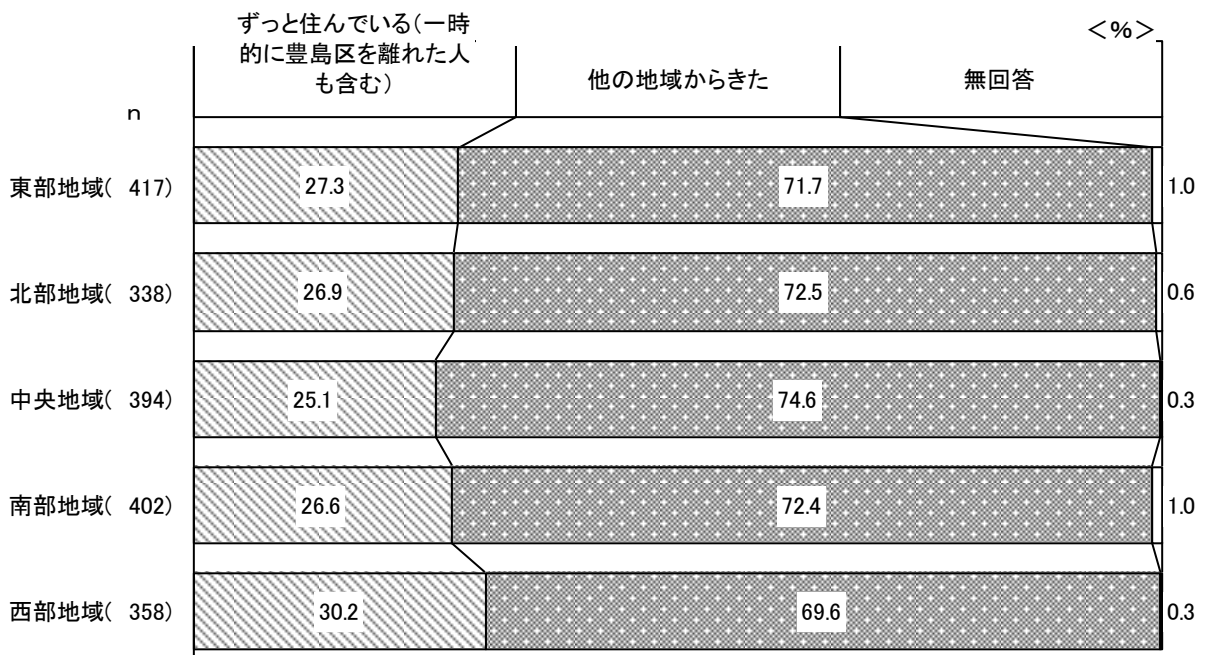
【年齢別】

●「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は、18～29歳（38.6%）と60～69歳（33.3%）で3割を超えている。



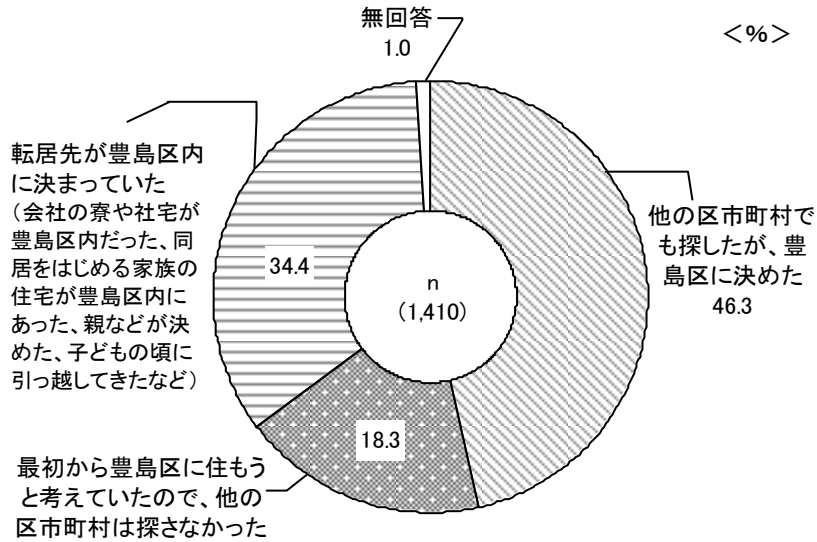
【地域別】

●「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は、西部地域（30.2%）で3割を超えている。



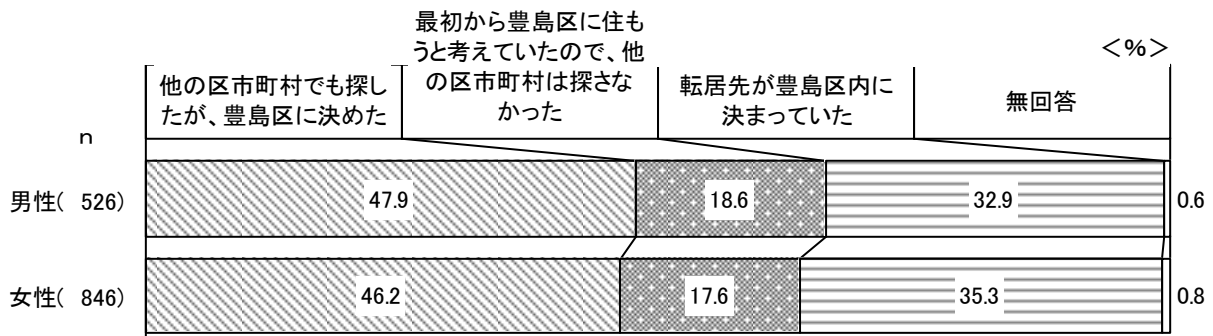
2-② 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか〔問3-1〕

- この設問は、問3で「他の地域からきた」と回答した人に聞いている。
- 豊島区以外の区市町村でも住まいを探したかどうかについては、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」(46.3%)が4割台半ばとなっている。



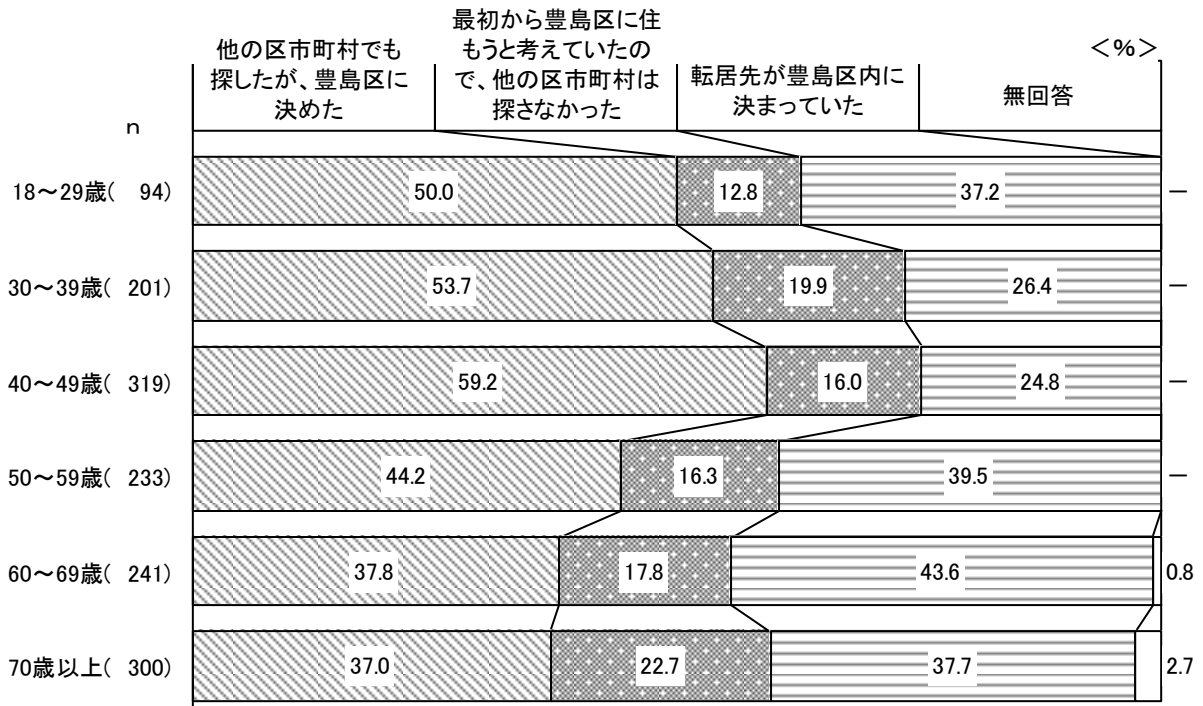
【性別】

- 「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は、男性(47.9%)が女性(46.2%)に比べて1.7ポイント高くなっている。



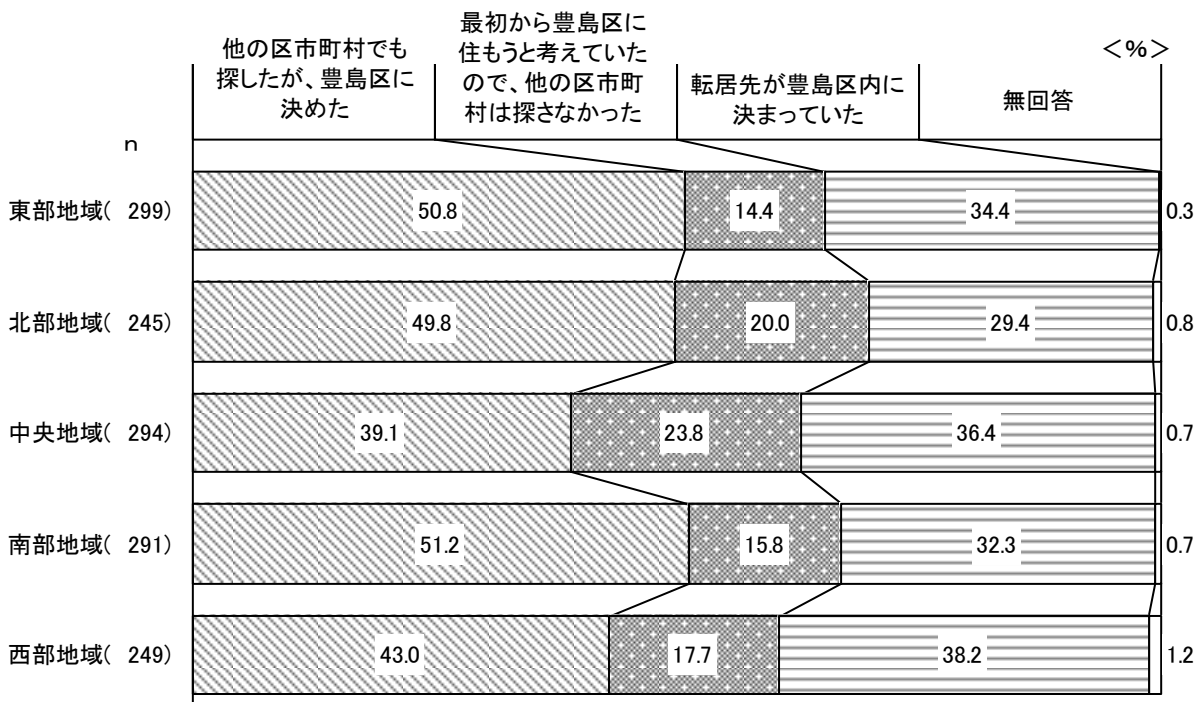
【年齢別】

●「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は、40～49歳(59.2%)、30～39歳(53.7%)、18～29歳(50.0%)で5割以上となっている。



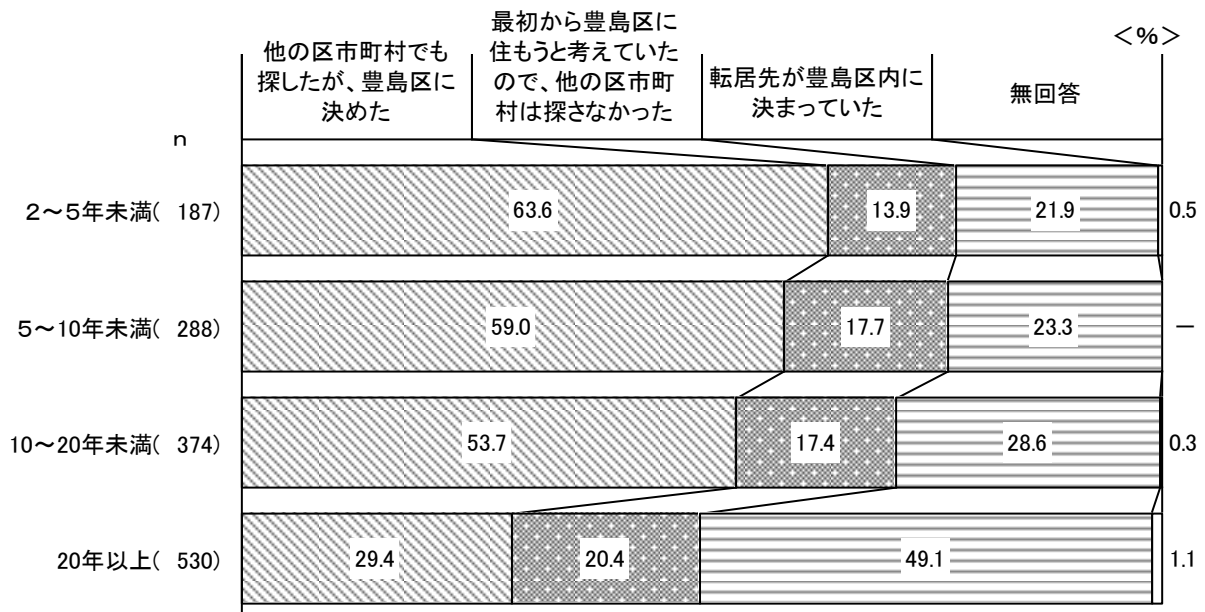
【地域別】

●「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は、南部地域(51.2%)、東部地域(50.8%)、北部地域(49.8%)で約5割となっている。



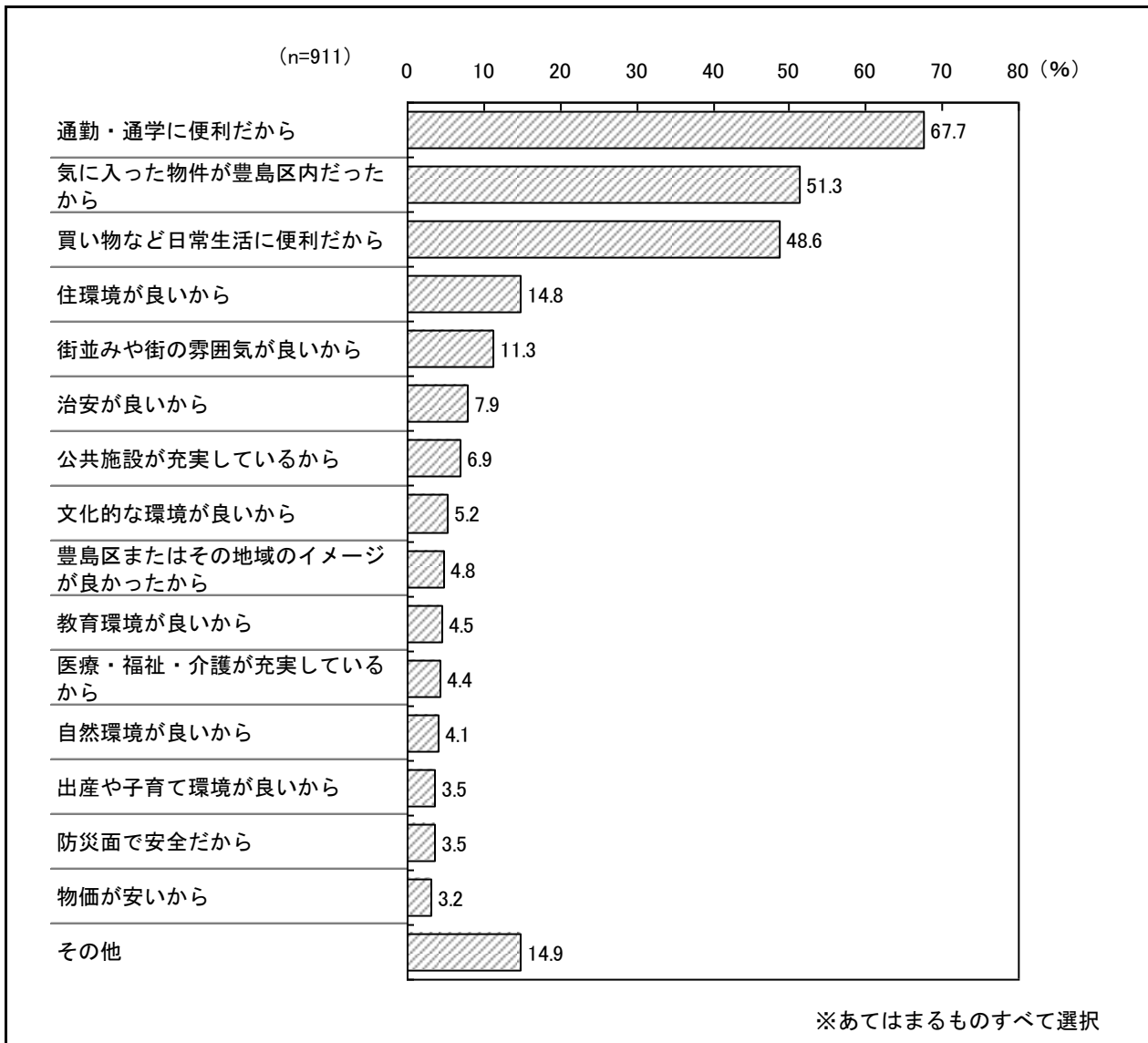
【居住年数別】

●「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は、2～5年未満（63.6%）で6割を超えて最も高く、次いで5～10年未満（59.0%）となっている。



2-③ 豊島区を選んだ理由〔問3-2〕

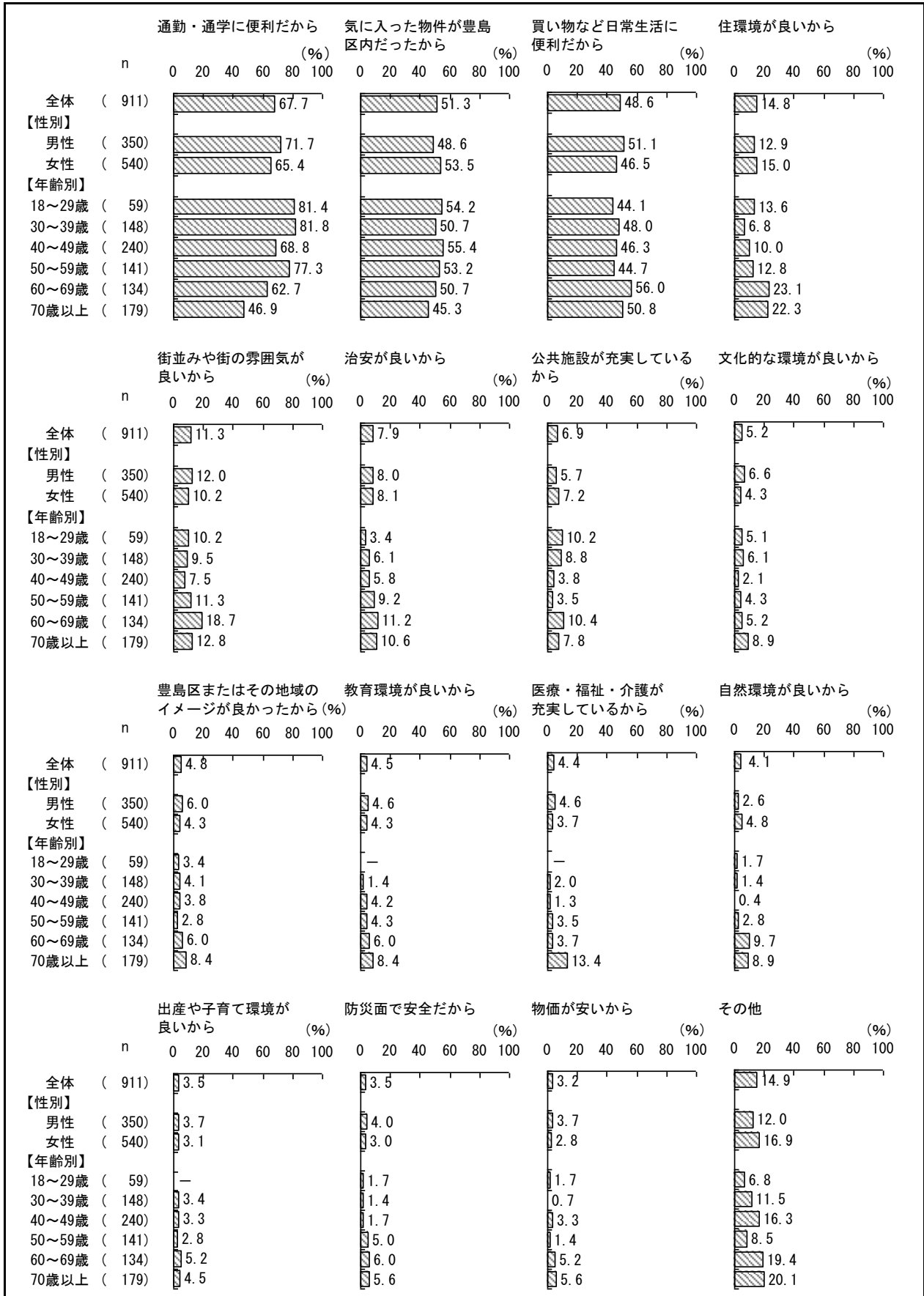
- この設問は、問3-1で「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」と「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」と回答した人に聞いている。
- 住む場所として豊島区を選んだ理由については、「通勤・通学に便利だから」(67.7%)が6割台半ばを超えて最も高く、次いで「気に入った物件が豊島区内だったから」(51.3%)、「買い物など日常生活に便利だから」(48.6%)と続いている。



- 豊島区を選んだ理由で「その他」を回答した人の主な理由は、下記のとおりである。
 - ・実家の近く、配偶者の実家の近く、実家から出てきやすかった (38件)
 - ・結婚相手が住んでいた (12件)
 - ・以前住んでいた、通学していて親しみがあつた (9件)
 - ・兄弟姉妹、祖父母、親戚が住んでいた (8件)
 - ・友人が住んでいた (7件)

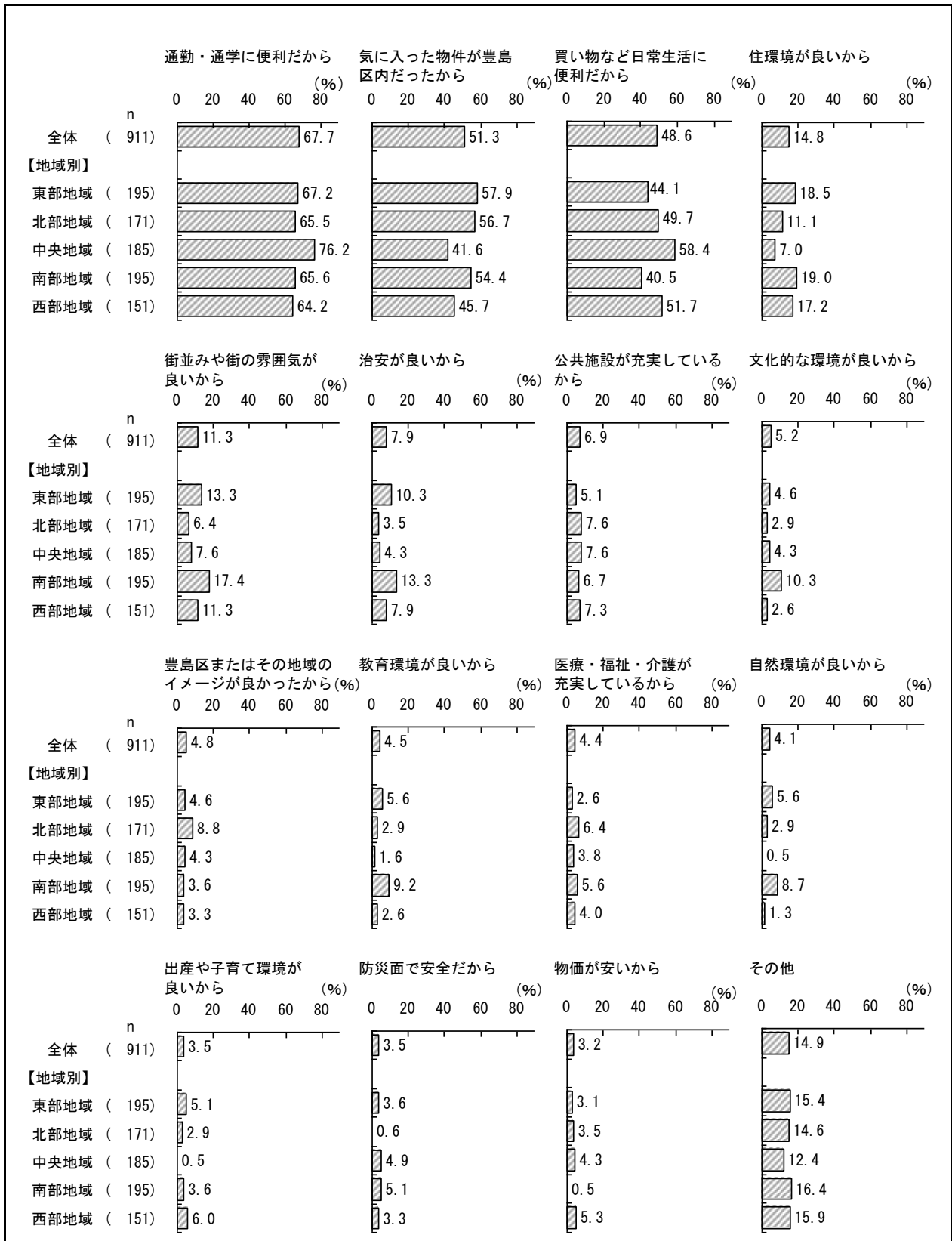
【性別・年齢別】

●「通勤・通学に便利だから」は、30～39歳（81.8%）と18～29歳（81.4%）で8割を超えている。



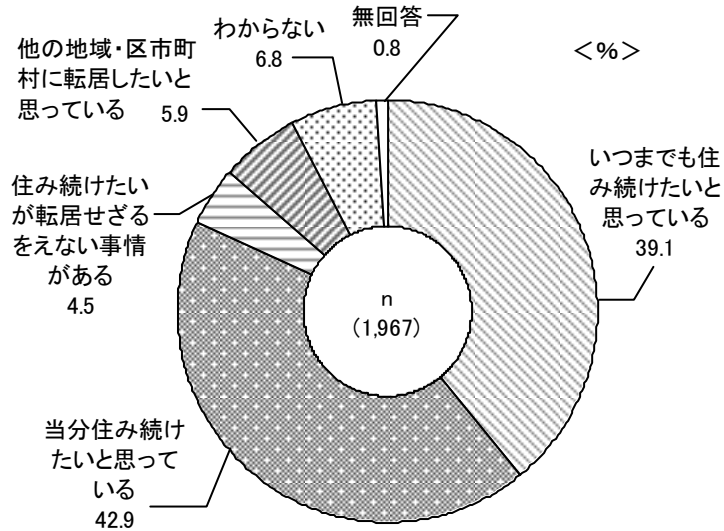
【地域別】

●「通勤・通学に便利だから」は、中央地域（76.2%）が7割台半ばで最も高く、他の地域でも6割台半ばとなっている。



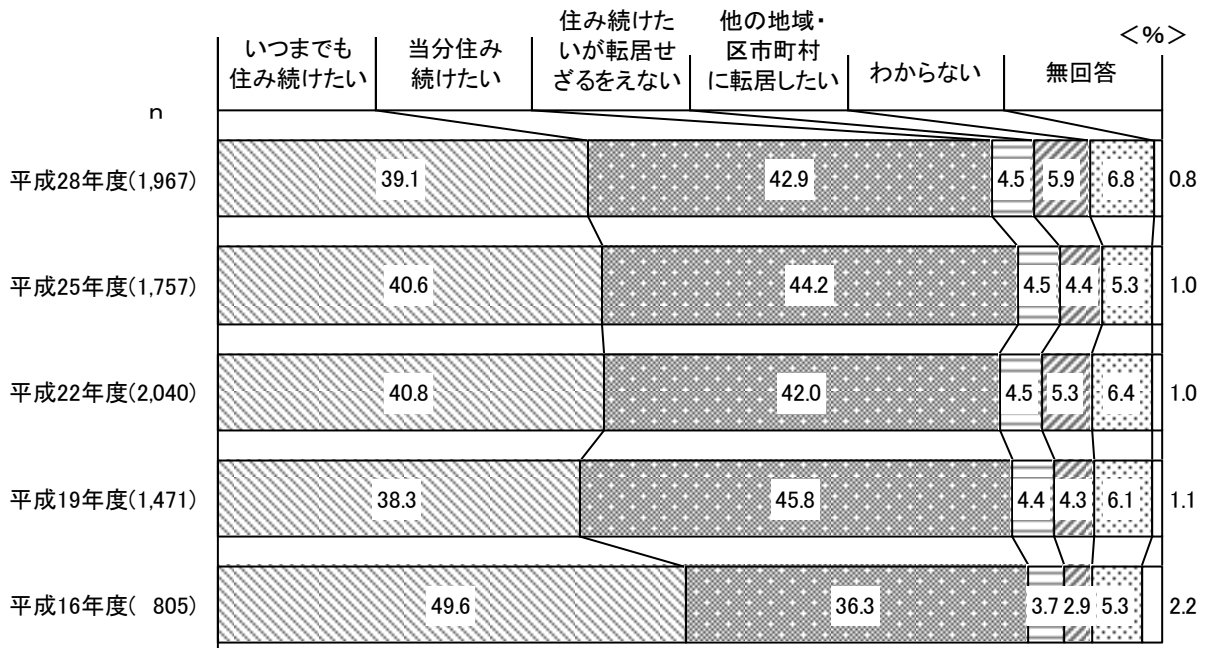
3-① 定住意向〔問4〕

- 定住意向について聞いたところ、「当分住み続けたいと思っている」(42.9%) が最も高く、「いつまでも住み続けたいと思っている」(39.1%) と合わせた“住み続けたい”(82.0%) としてみると、8割強となっている。
- 「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」(5.9%)、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(4.5%) はともに1割を下回っている。



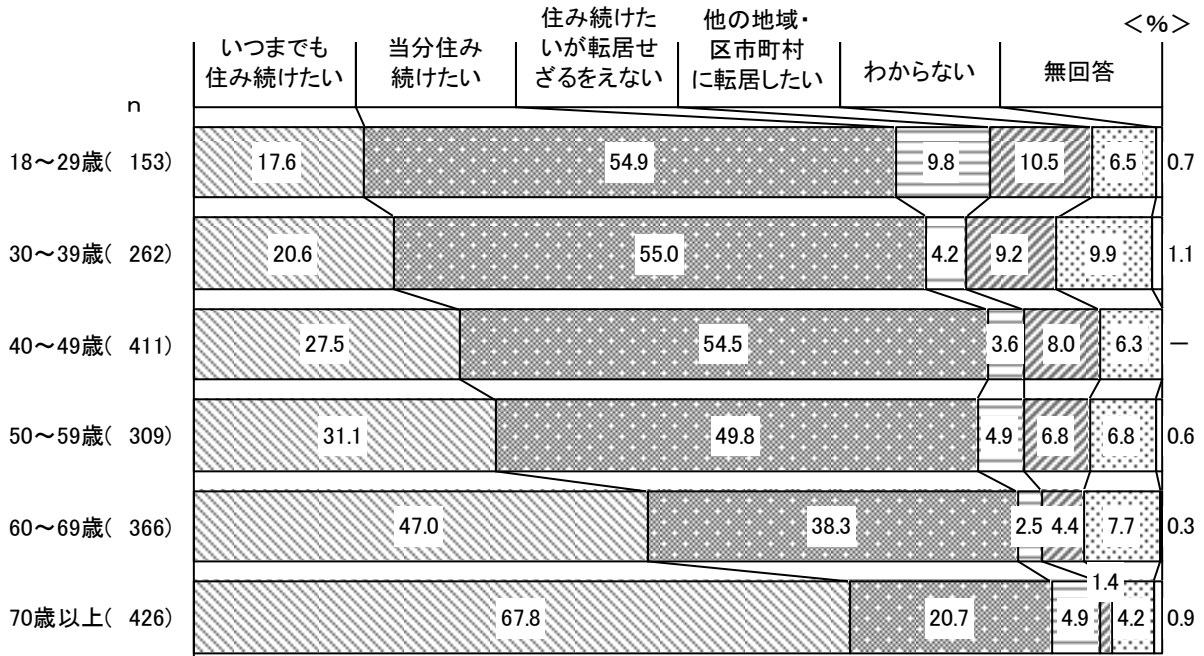
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、“住み続けたい”は平成25年度から2.8ポイント低くなっているが、大きな変化はみられない。



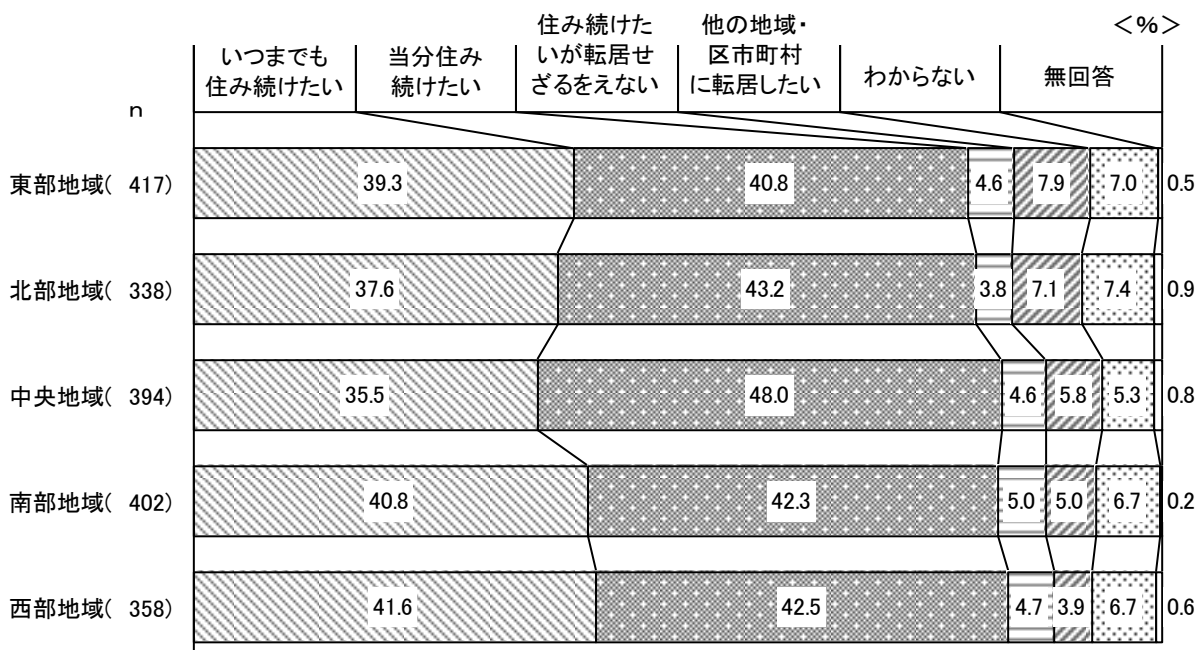
【年齢別】

- 「いつまでも住み続けたい」は年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、70歳以上（67.8%）で6割台半ばを超えている。
- 「他の地域・区市町村に転居したい」は18～29歳（10.5%）で1割を超えている。



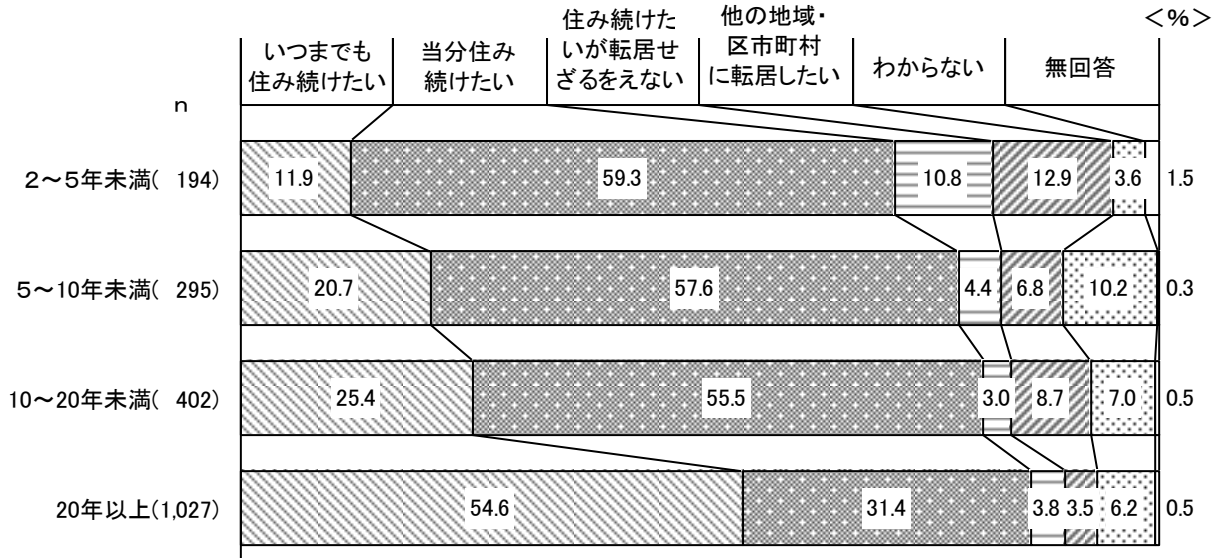
【地域別】

- 「いつまでも住み続けたい」は西部地域（41.6%）と南部地域（40.8%）で4割を超えている。



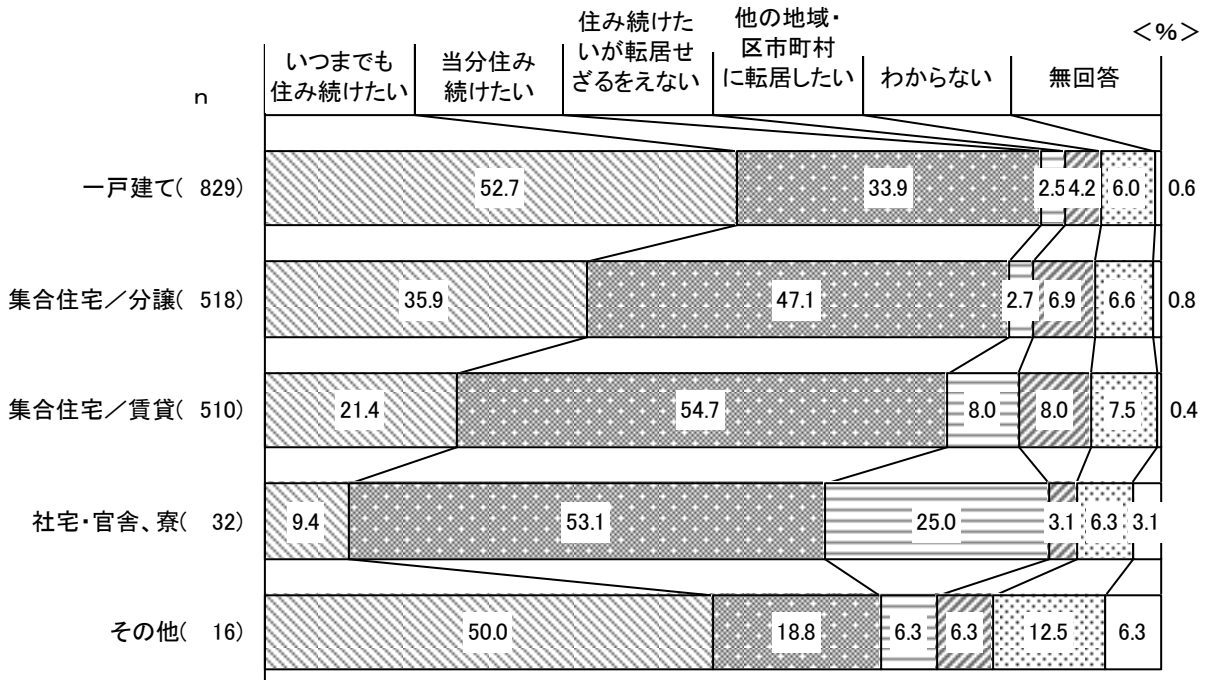
【居住年数別】

● “住み続けたい” は居住年数が長くなるほど高くなり、20年以上（86.0%）で最も高くなっている。



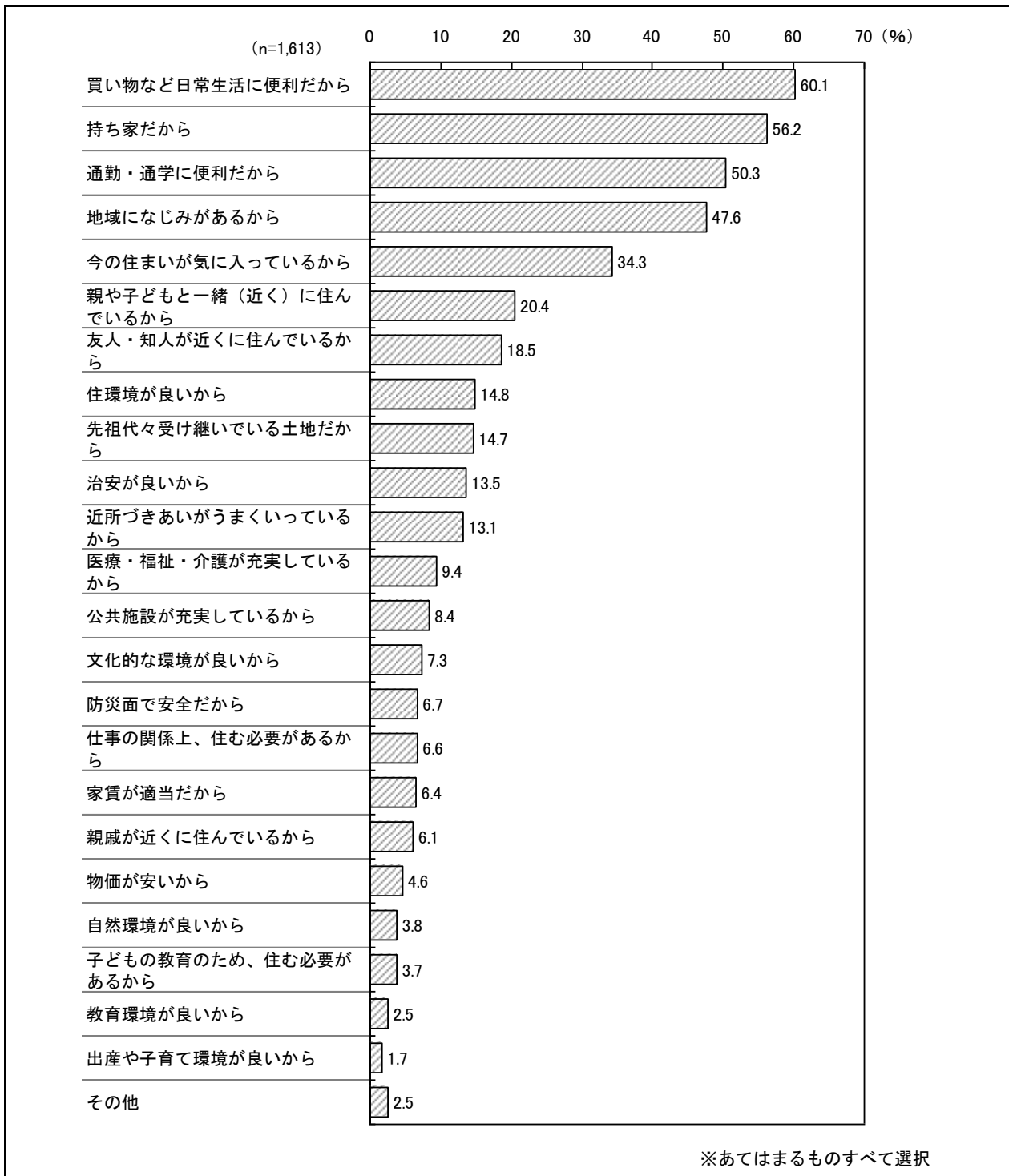
【住まい形態別】

● “住み続けたい” は一戸建て（86.6%）で8割台半ばと最も高く、次いで、集合住宅（分譲）（83.0%）となっている。



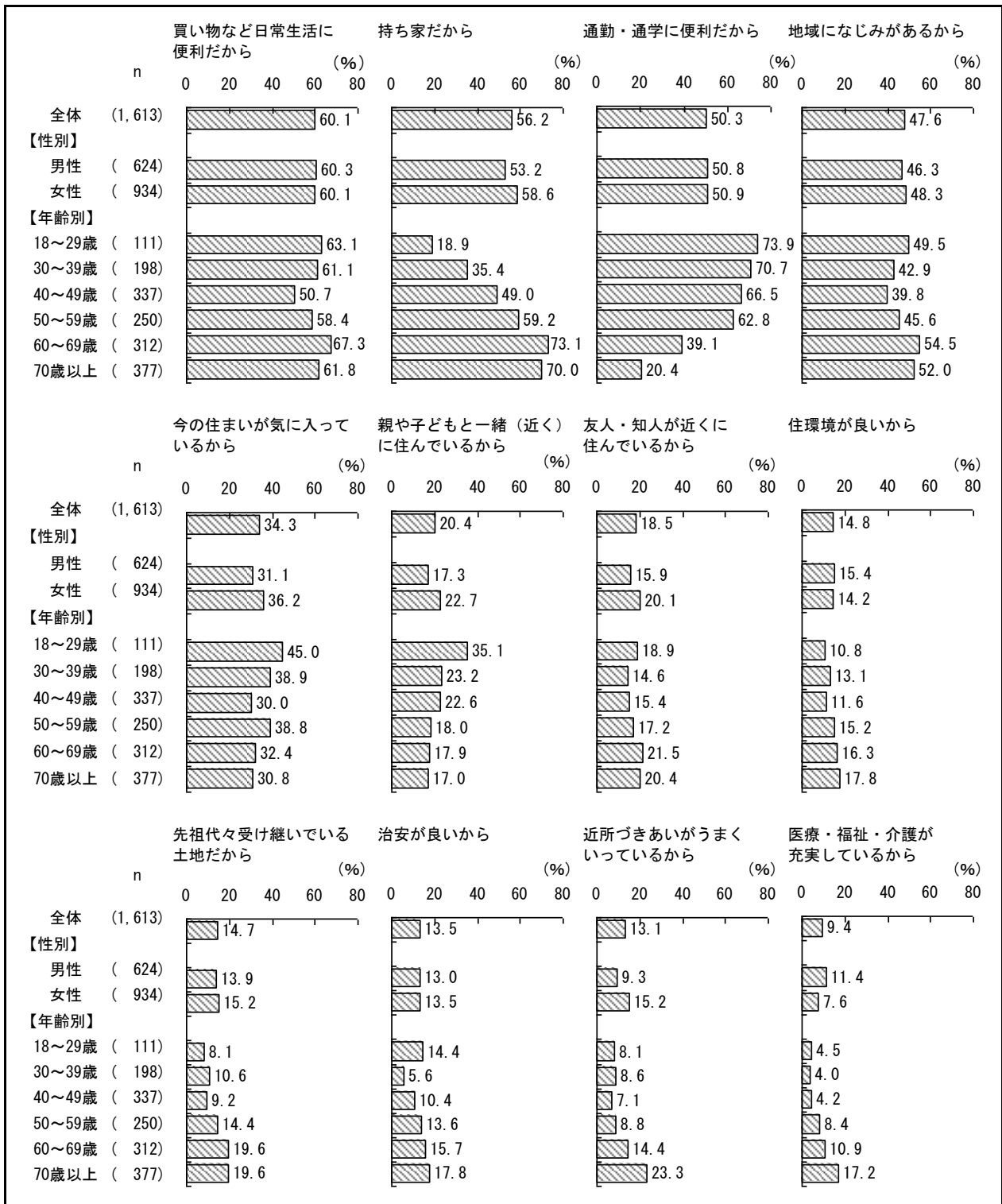
3-② 住み続けたい理由〔問4-1〕

- この設問は、問4で「いつまでも住み続けたいと思っている」と「当分住み続けたいと思っている」と回答した人に聞いている。
- 「買い物など日常生活に便利だから」(60.1%)が約6割で最も高く、次いで「持ち家だから」(56.2%)、「通勤・通学に便利だから」(50.3%)、「地域になじみがあるから」(47.6%)と続いている。

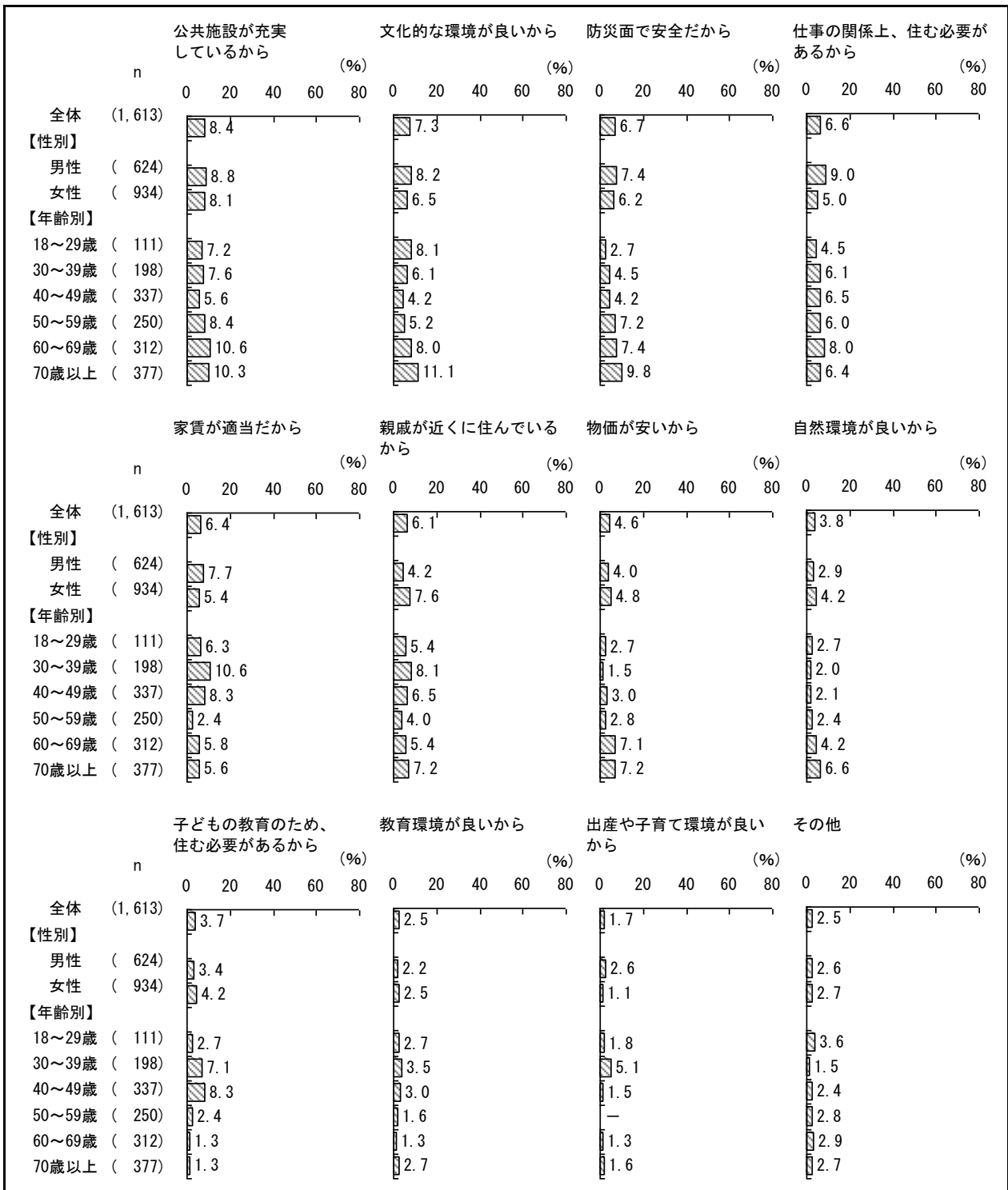


【性別・年齢別】

- 「買い物など日常生活に便利だから」は、60～69歳（67.3%）で6割台半ばと最も高く、いずれの年代でも半数を超えている。
- 「通勤・通学に便利だから」は、18～29歳（73.9%）と30～39歳（70.7%）で7割を超えている。
- 「地域になじみがあるから」は、60～69歳（54.5%）と70歳以上（52.0%）で5割を超えている。

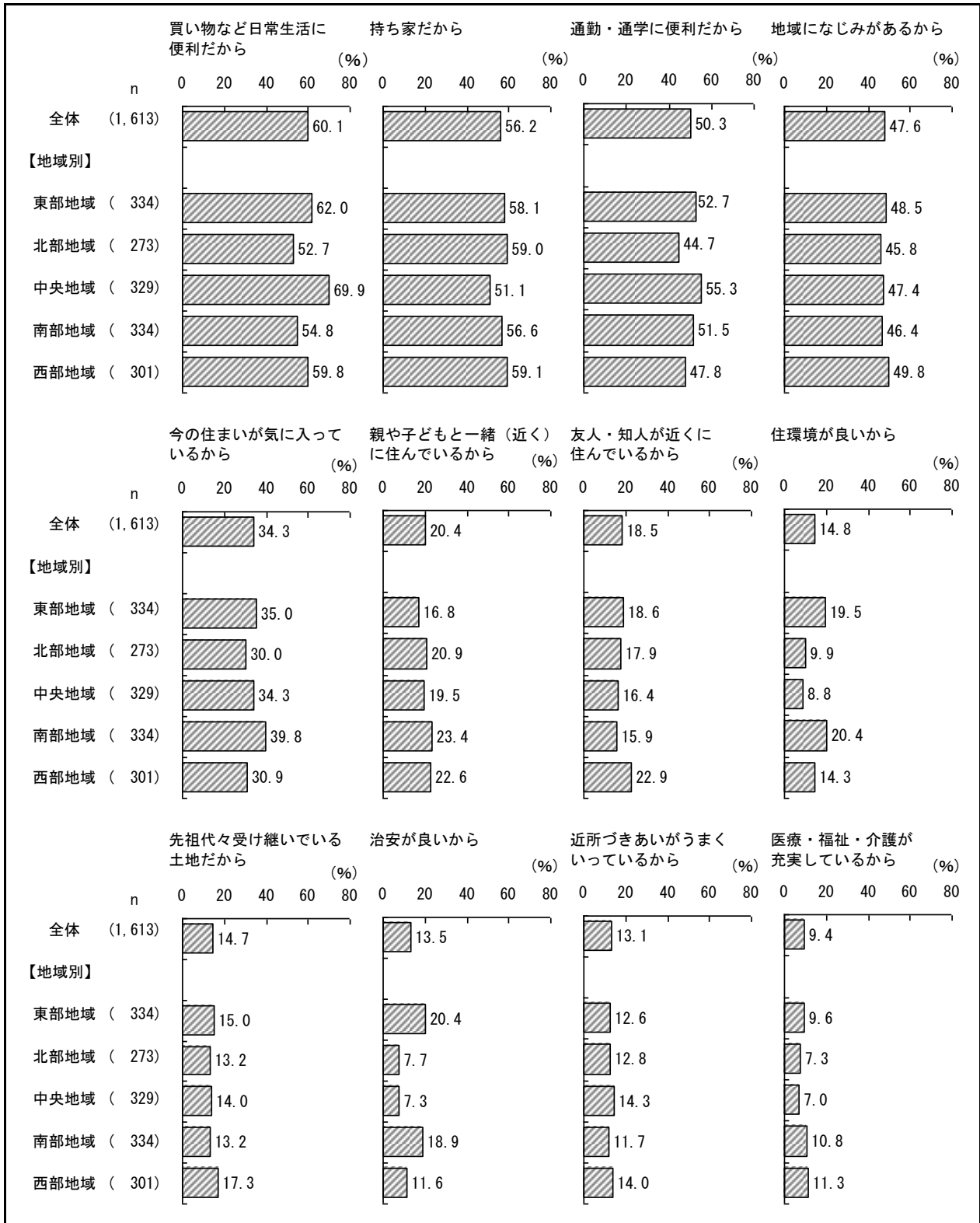


【性別・年齢別】(つづき)



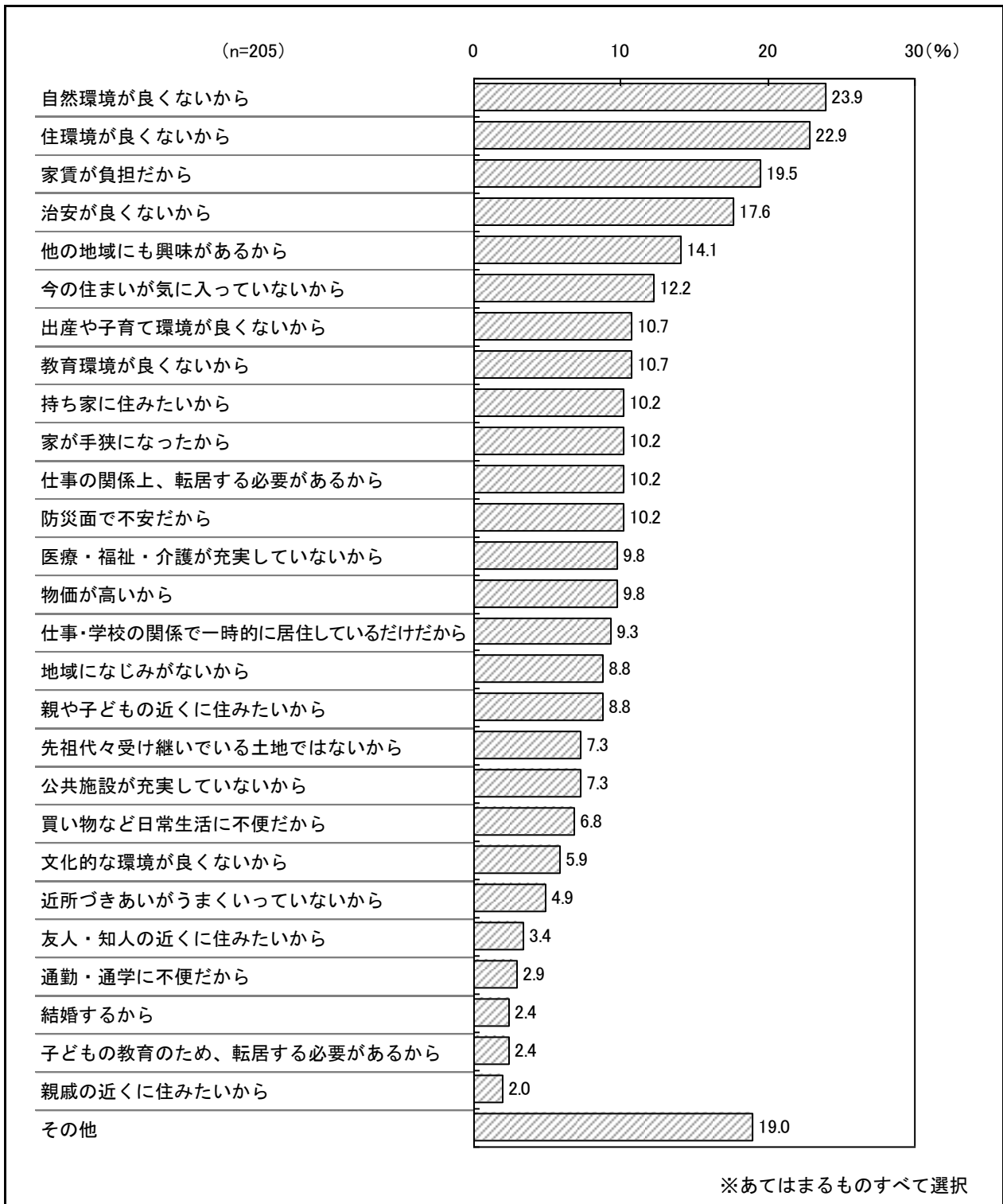
【地域別】（上位12項目）

- 「買い物など日常生活に便利だから」は、中央地域（69.9%）で約7割と最も高くなっている。
- 「住環境が良いから」と「治安が良いから」は、東部地域と南部地域が他の地域に比べて高い傾向にある。



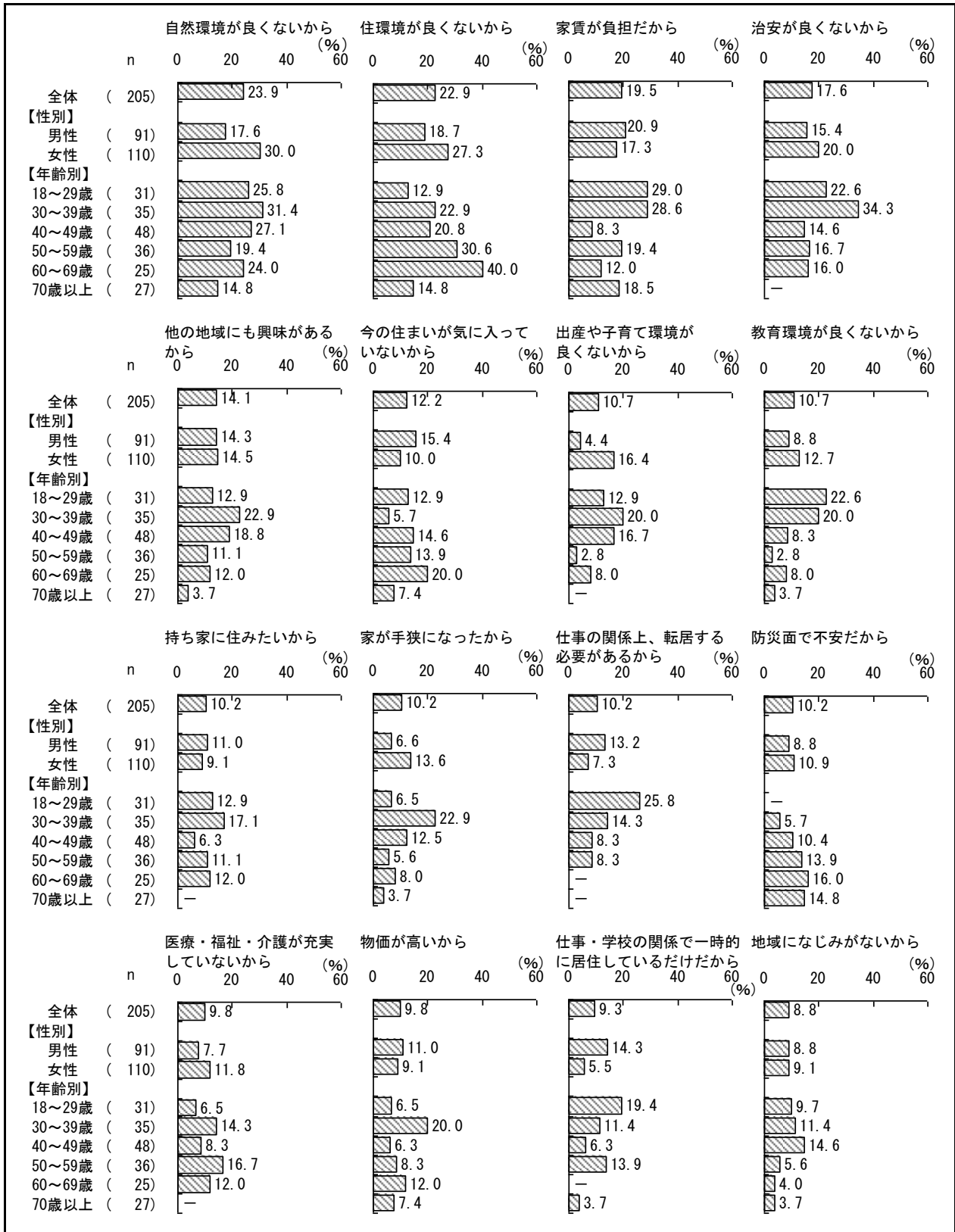
3-③ 転居せざるをえない、転居したい理由〔問4-2〕

- この設問は、問4で「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」と「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」と回答した人に聞いている。
- 「自然環境が良くないから」(23.9%)と「住環境が良くないから」(22.9%)が、それぞれ2割強となっている。次いで「家賃が負担だから」(19.5%)、「治安が良くないから」(17.6%)が続いている。

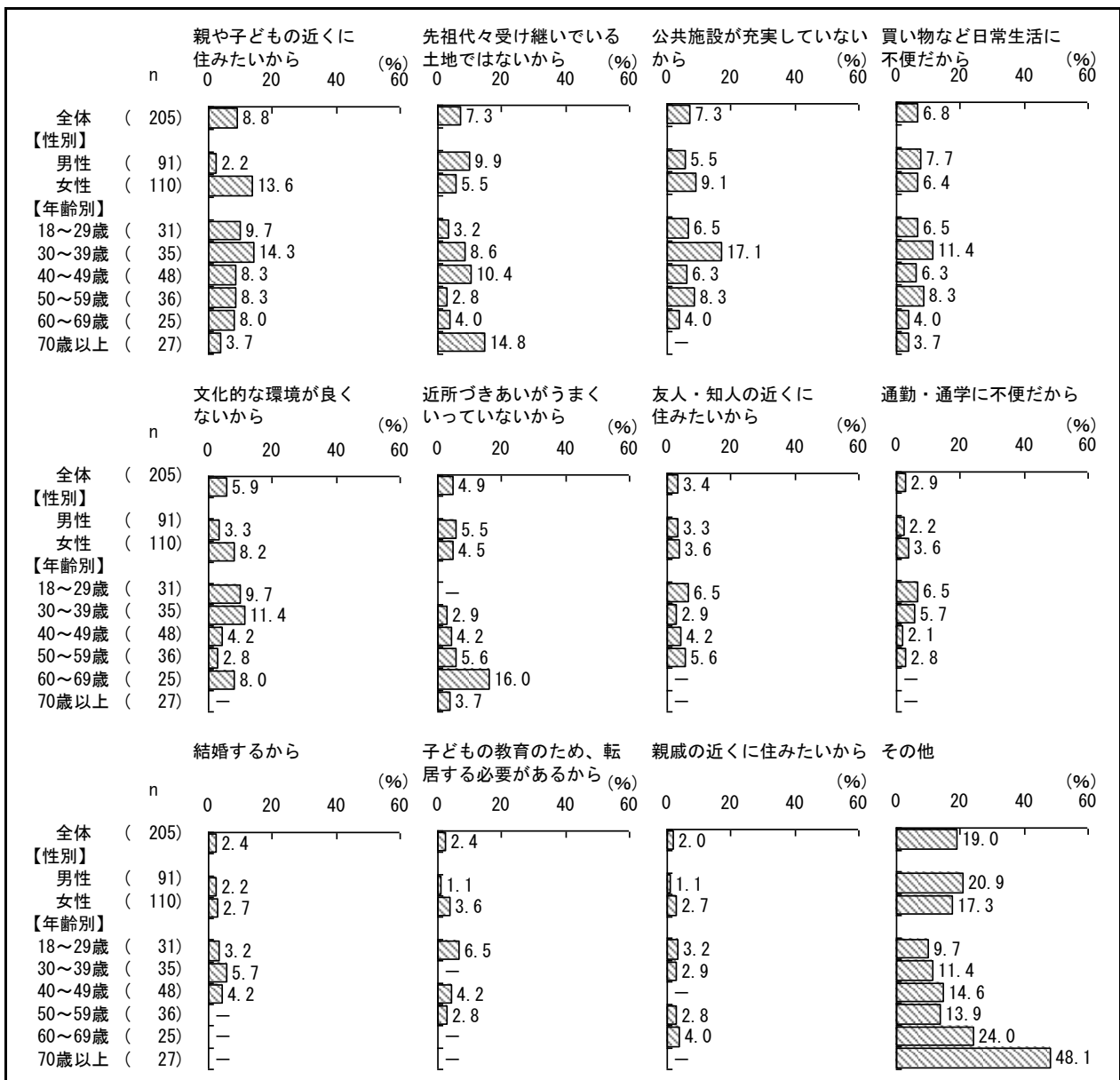


【性別・年齢別】

- 「自然環境が良くないから」は、30～39歳（31.4%）で3割を超えている。
- 「住環境が良くないから」は、60～69歳（40.0%）で4割となっている。
- 「家賃が負担だから」は、18～29歳（29.0%）と30～39歳（28.6%）で約3割となっている。



【性別・年齢別】(つづき)

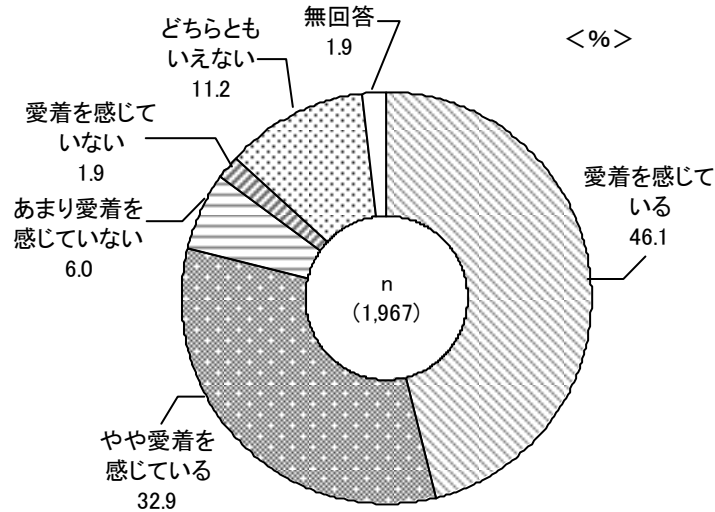


●転居せざるをえない、転居したい理由で「その他」を回答した人の主な理由は、下記のとおりである。

- ・高齢者住宅への入居、老人ホームへの入所、高齢の一人暮らしの不安 (6件)
- ・計画道路による立ち退き (5件)
- ・賃貸や借地のため立ち退き (5件)

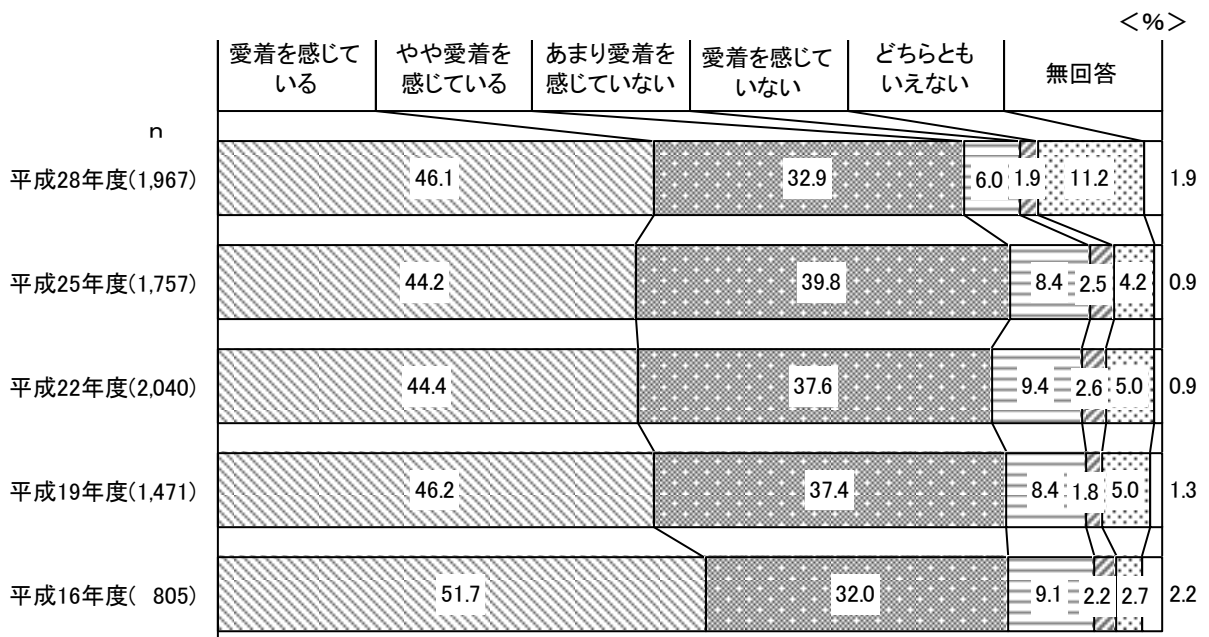
4 地域への愛着〔問5〕

- 地域への愛着について聞いたところ、「愛着を感じている」(46.1%) が4割台半ばと最も高く、「やや愛着を感じている」(32.9%) と合わせた“愛着を感じている” (79.0%) としてみると約8割となっている。
- 「あまり愛着を感じていない」(6.0%) と「愛着を感じていない」(1.9%) を合わせた“愛着を感じていない” (7.9%) としてみると、1割を下回っている。



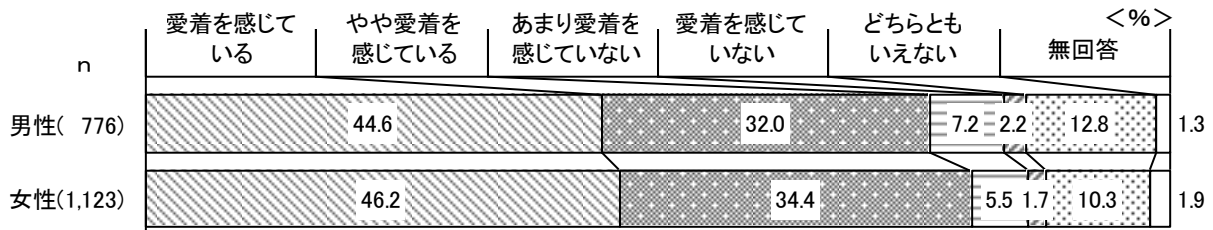
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「愛着を感じている」(46.1%) は平成25年度から1.9ポイント高くなっているが、“愛着を感じている”としてみると、5.0ポイント低くなっている。



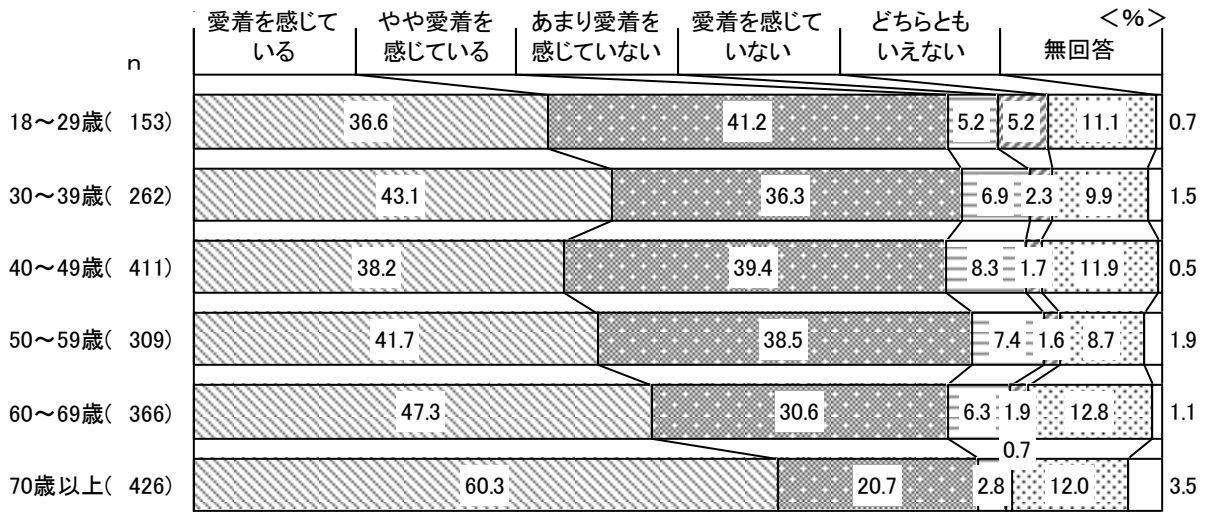
【性別】

- “愛着を感じている” は、女性（80.6%）が男性（76.6%）に比べて4ポイント高くなっている。



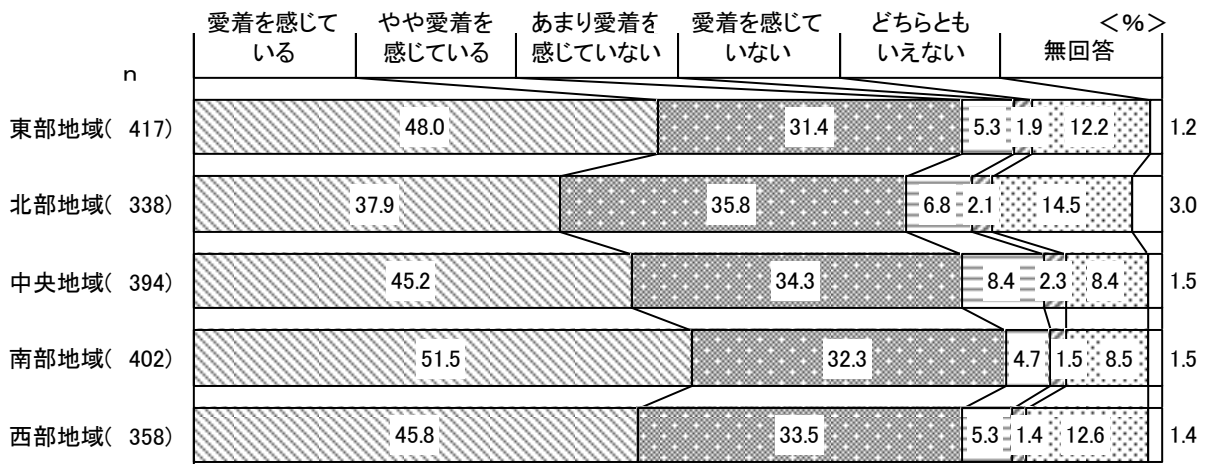
【年齢別】

- “愛着を感じている” は、70歳以上（81.0%）と50～59歳（80.2%）で8割を超えている。



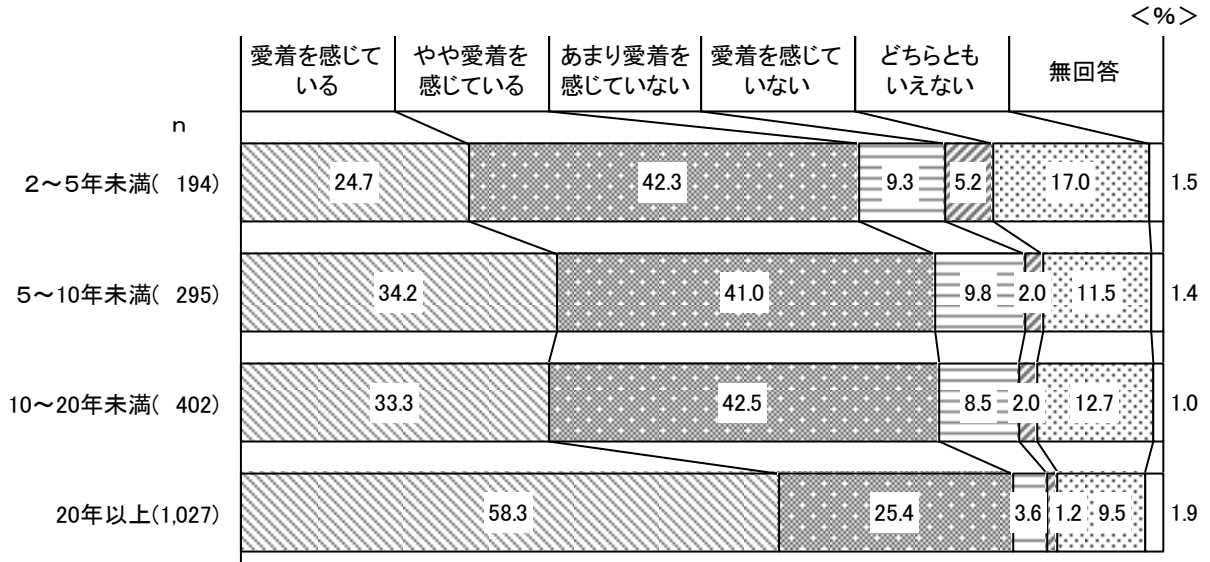
【地域別】

- “愛着を感じている” は、南部地域（83.8%）で8割を超えている。
- “愛着を感じていない” は、中央地域（10.7%）が約1割となっている。



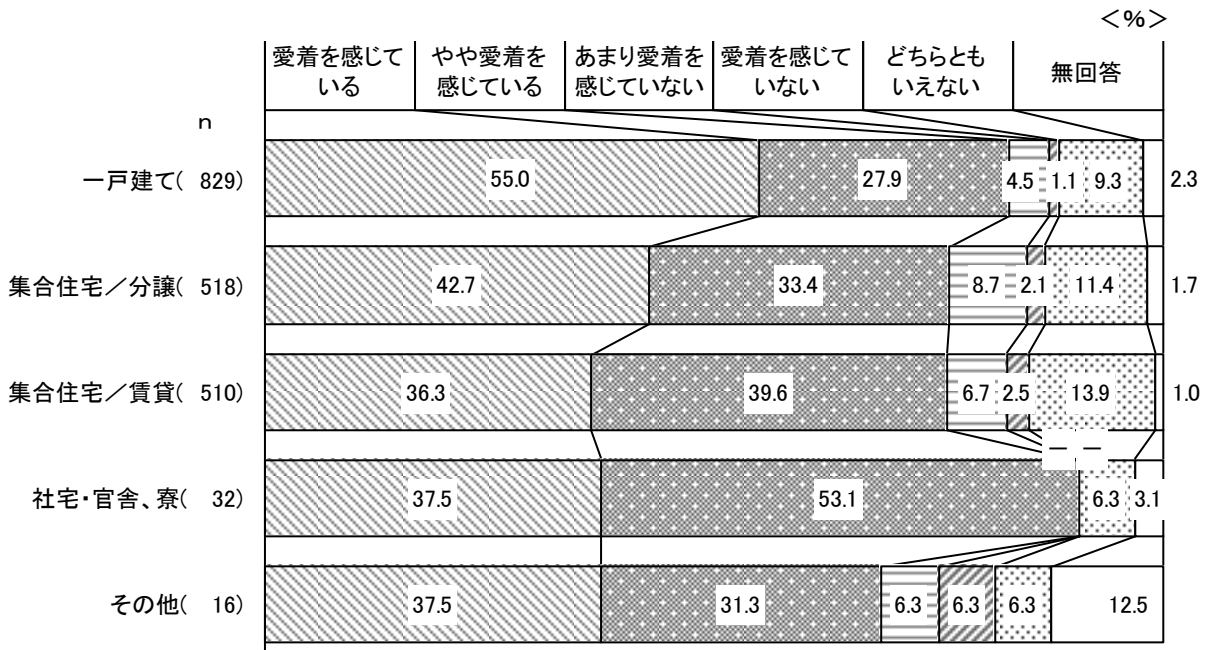
【居住年数別】

- “愛着を感じている” は 20 年以上（83.7%）が8割強と最も高く、5～10 年未満（75.2%）と 10～20 年未満（75.8%）で7割台半ばとなっている。
- “愛着を感じていない” は2～5年未満（14.5%）で1割台半ばとなっている。



【住まい形態別】

- “愛着を感じている” は一戸建て（82.9%）が8割強で、集合住宅（分譲）（76.1%）と集合住宅（賃貸）（75.9%）が7割台半ば、社宅・官舎、寮（90.6%）は約9割となっている。



第2章

地域の生活環境について

第2章 地域の生活環境について

〔設問設定の考え方〕

「豊島区基本計画」（平成28年3月策定）及び「豊島区未来戦略推進プラン」の施策体系に対応するかたちで、生活環境に関して大きく11のグループを設定し、さらに、各グループにおいて複数の「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」は、全部で72項目あり、11のグループごとに、各項目について、「現在の評価」と「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

《調査にあたり設定した11のグループ》

①参画・協働	⑦みどり・環境
②平和・人権	⑧都市再生・交通
③福祉	⑨防災・治安
④健康・保健	⑩商工・観光
⑤子育て	⑪文化
⑥教育	

《各項目についての調査内容》

①目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

- ※ “どちらかというと思う” “どちらともいえない” “どちらかというと思わない” の3つから実感に近いものを選択。
- ※ “どちらかというと思う” から “どちらかというと思わない” の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。

②目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

- ※ 各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を2つ又は3つまで選択。

《グループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧》

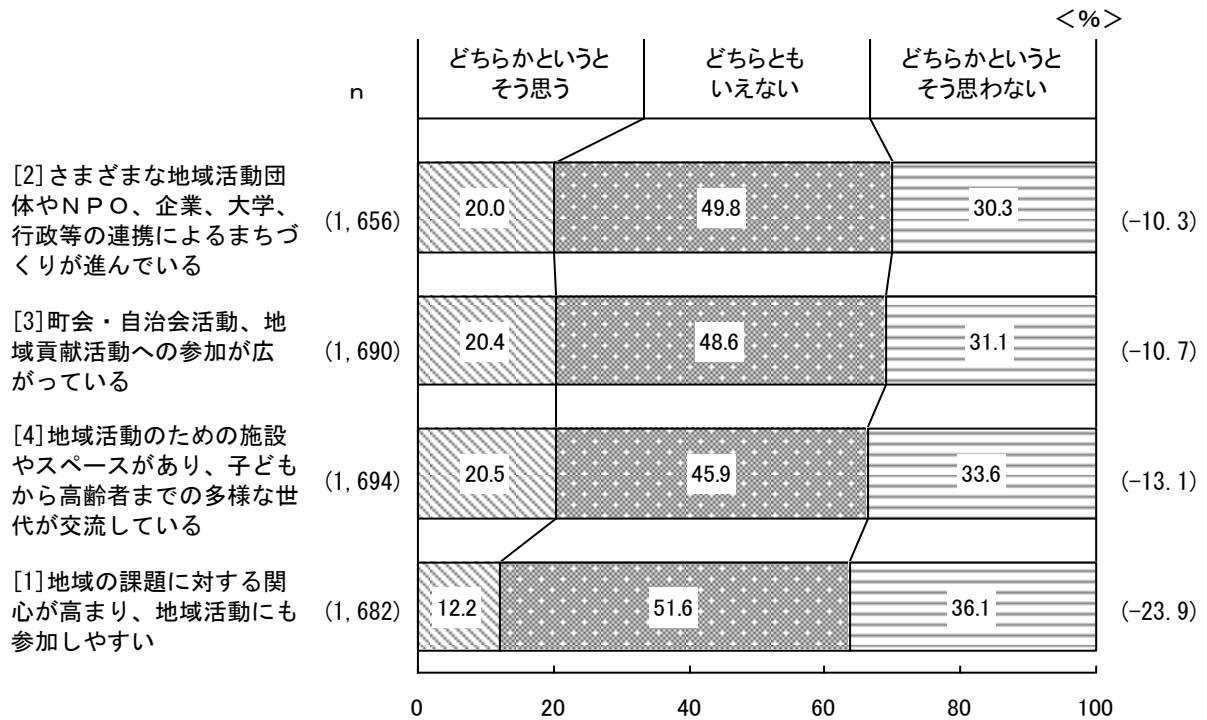
グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
① 参画・協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている
	4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
② 平和・人権	5	外国人の持つ多様な価値観や文化が尊重されている
	6	地域で外国人との交流がある
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている
	8	性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる
	9	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への理解が深まっている
	10	配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている
③ 福祉	11	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	12	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる
	13	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている
	14	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる
	15	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい
	16	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている
	17	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある
④ 健康・保健	18	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある
	19	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している
	20	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	21	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる
⑤ 子育て	22	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある
	23	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている
	24	子どもの成長や安全・安心な生活が地域全体で支えられている
	25	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる
	26	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている
⑥ 教育	27	学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている
	28	学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身についている
	29	学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身についている
	30	信頼される実践力の高い教員が育成されている
	31	家庭での教育に対する支援が充実している
	32	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている
	33	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている
	34	豊島区ならではの特色ある教育が進められている
	35	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
⑦ みどり・環境	36	みどりが豊かで、災害時にも有効な比較的大きな公園がある
	37	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い
	38	CO ₂ 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している
	39	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである
	41	騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない
	42	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている
	43	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている
⑧ 都市再生・交通	44	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる
	46	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている
	47	新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している
	49	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている
	50	鉄道・バス等の交通が便利である
	51	身近な生活道路が安全・快適に通行できる
⑨ 防災・治安	52	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている
	53	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	54	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	55	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています
	56	電柱のない道路が増えている
	57	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない
	58	治安がよく、安心して暮らせる
⑩ 商工・観光	59	交通事故が少ない
	60	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている
	61	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している
	62	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している
	63	区内の観光スポットがにぎわっている
	64	区内の観光情報が国内外にPRされている
	65	区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている
⑪ 文化	66	多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い
	67	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	68	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる
	69	豊島区の文化芸術の魅力が国内外に発信されている
	70	図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある
	71	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある
	72	地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている

1 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」〔問6〕

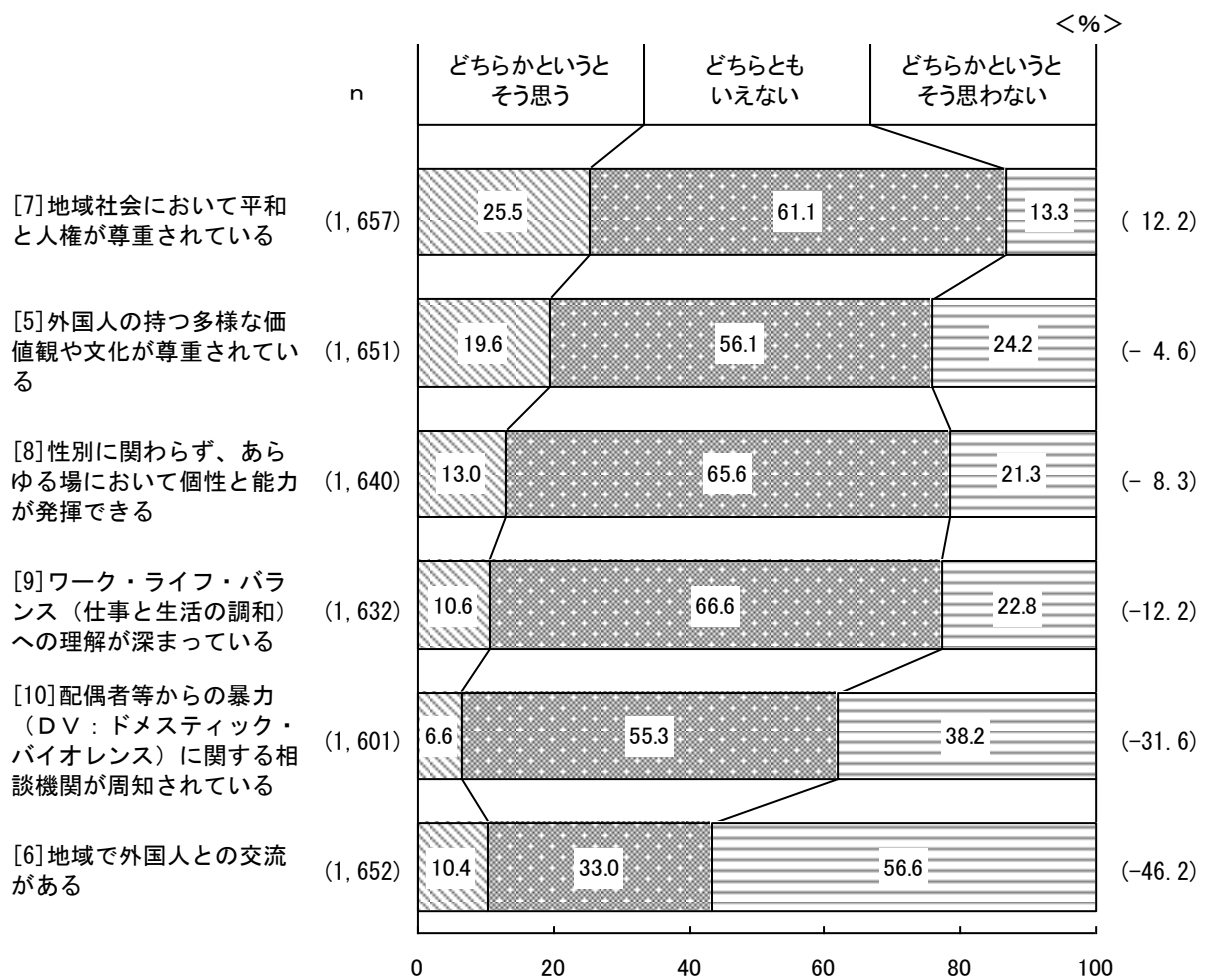
① 参画・協働

- 参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」であり、以下、「町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい」である。



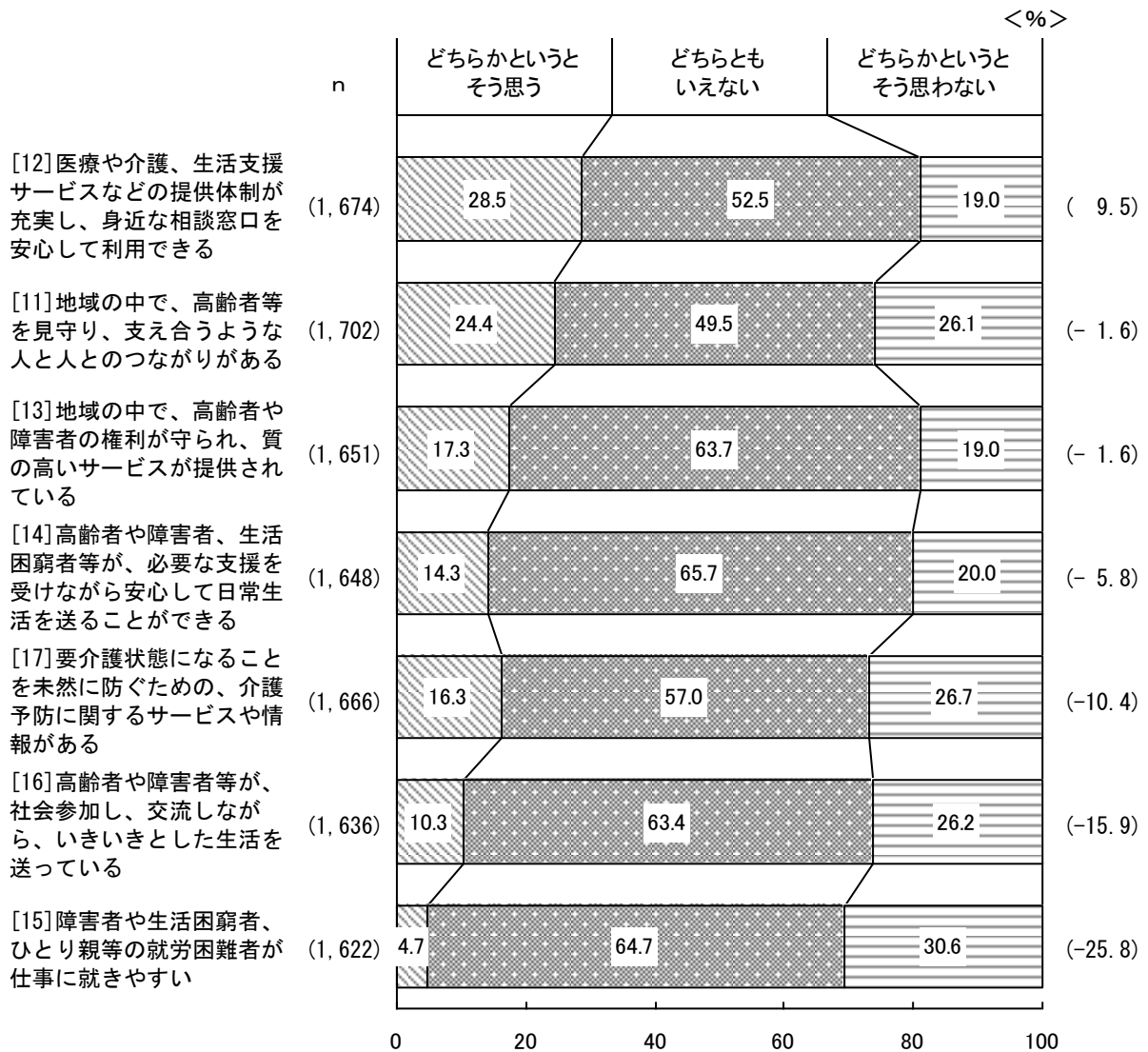
② 平和・人権

- 平和・人権に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域社会において平和と人権が尊重されている」であり、以下、「外国人の持つ多様な価値観や文化が尊重されている」、「性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域で外国人との交流がある」である。



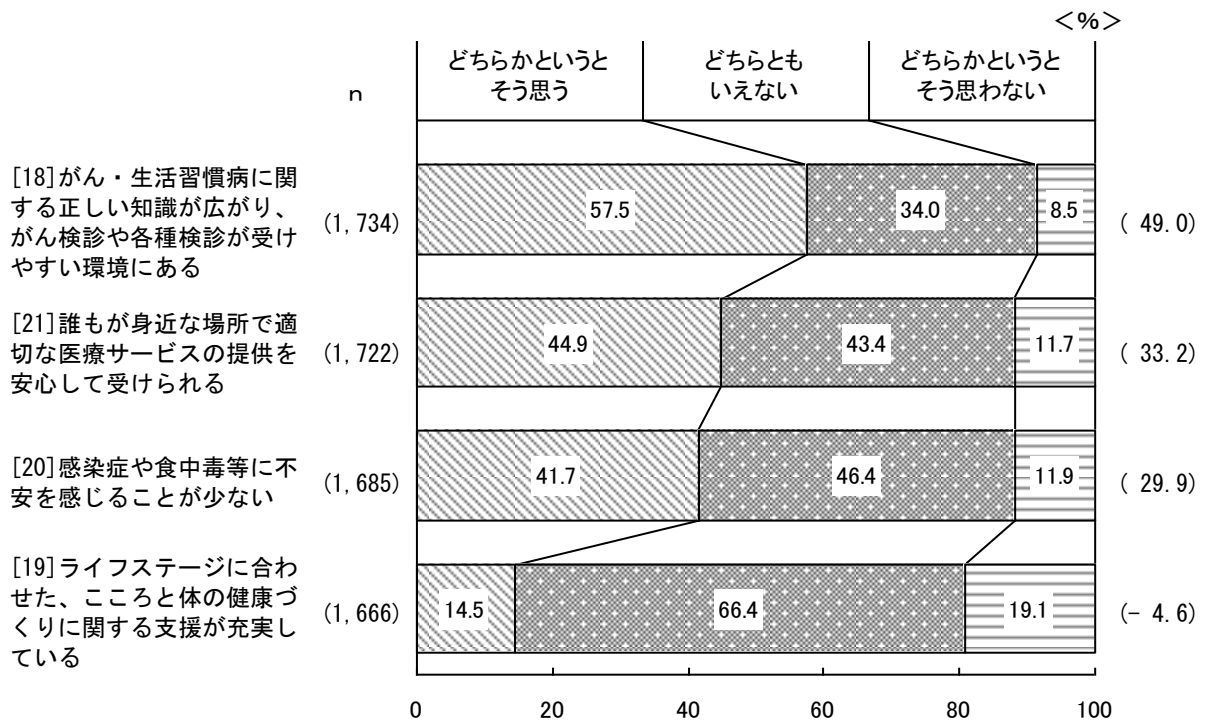
③ 福祉

- 福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」であり、以下、「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」、「地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい」である。



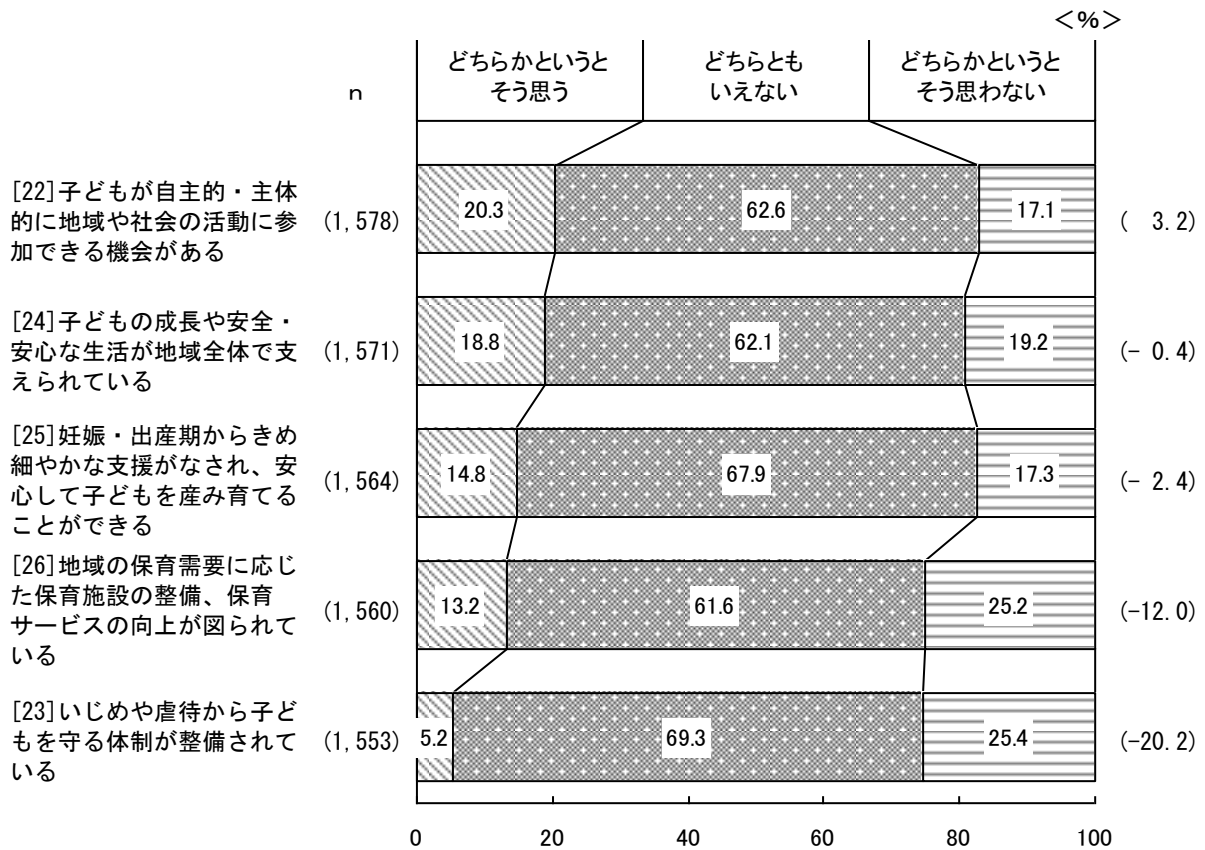
④ 健康・保健

- 健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」となっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」である。



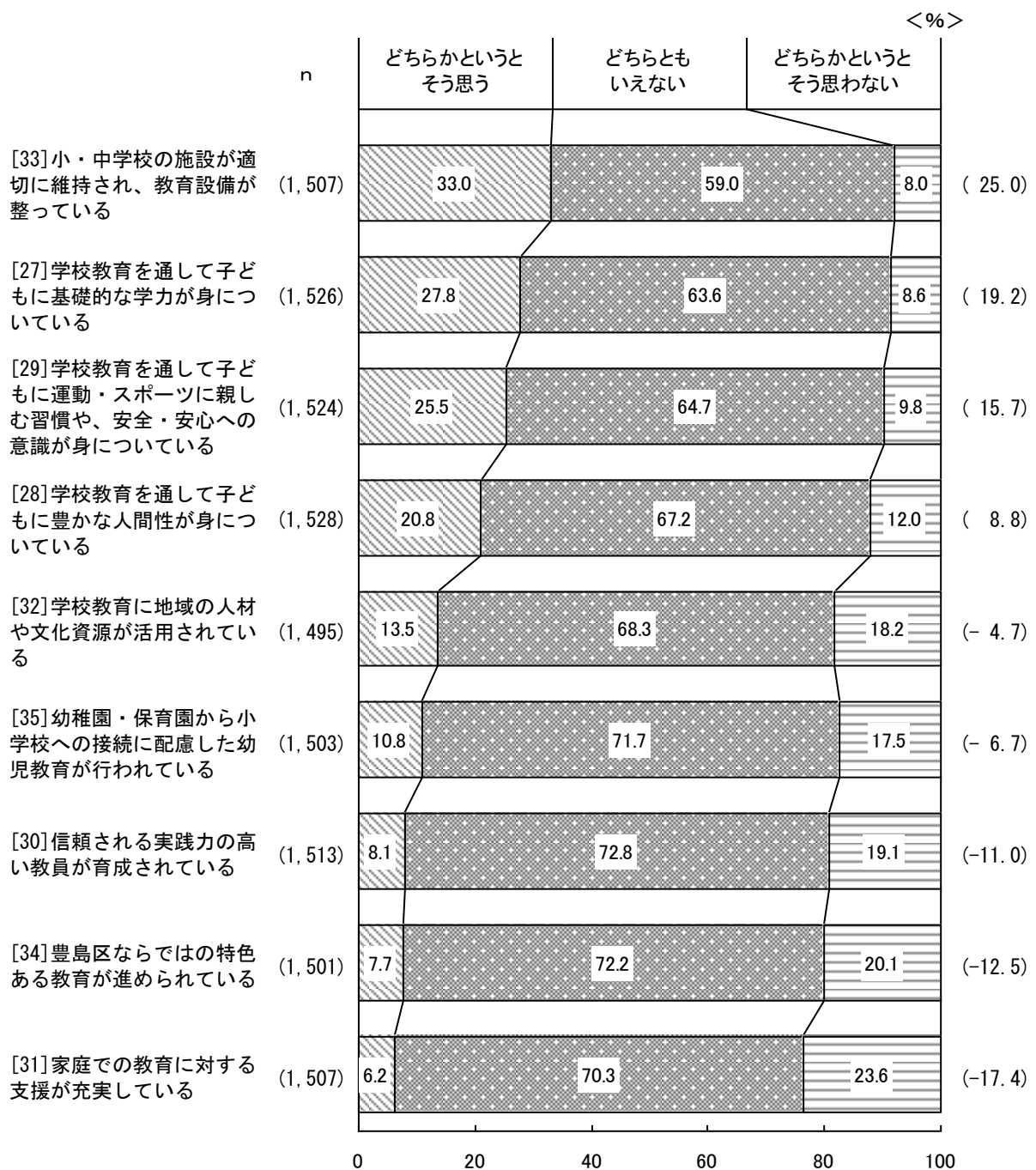
⑤ 子育て

- 子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある」であり、以下、「子どもの成長や安全・安心な生活が地域全体で支えられている」、「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」である。



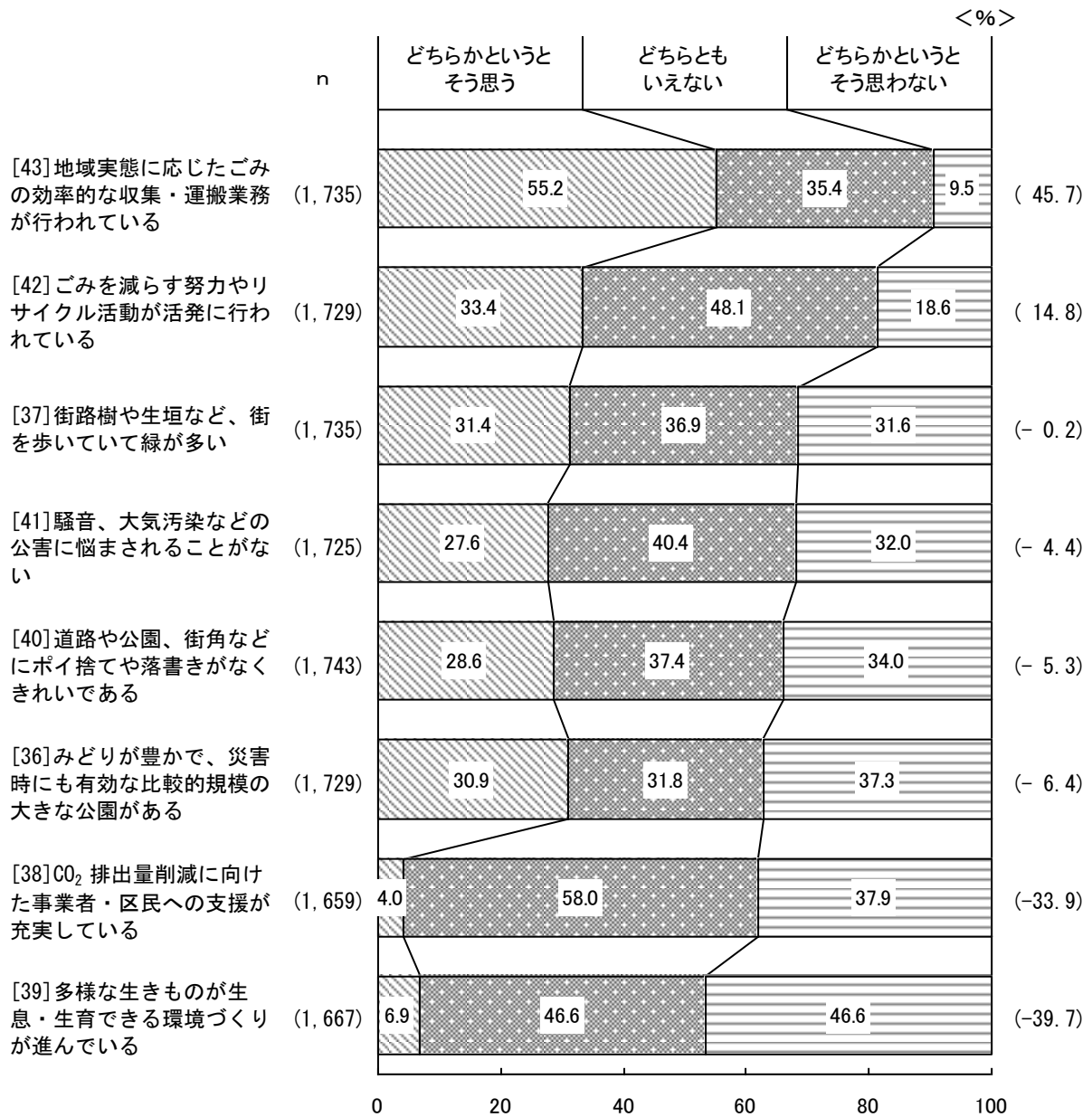
⑥ 教育

- 教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている」であり、以下、「学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている」、「学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身についている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「家庭での教育に対する支援が充実している」である。



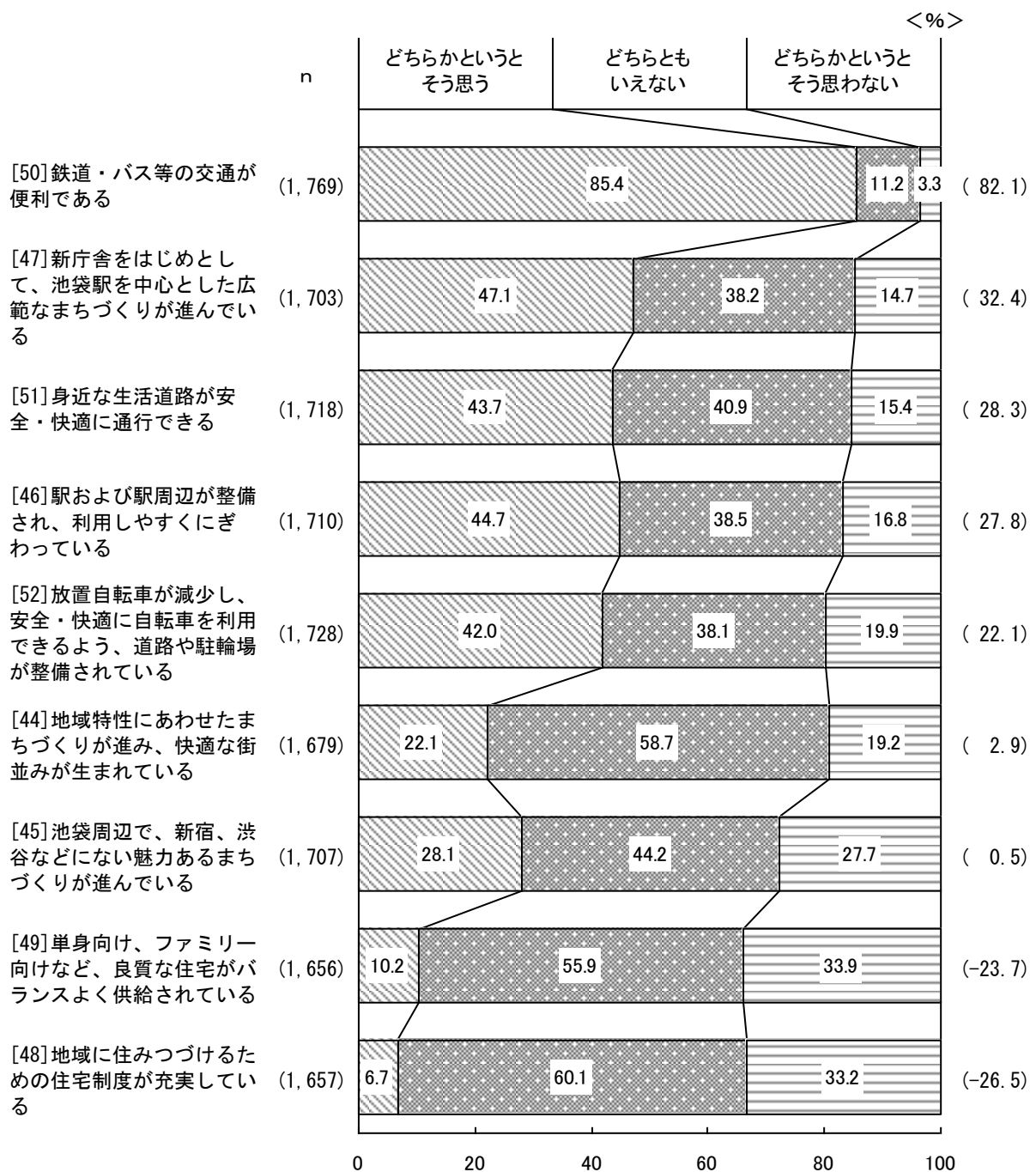
⑦ みどり・環境

- みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている」であり、以下、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」である。



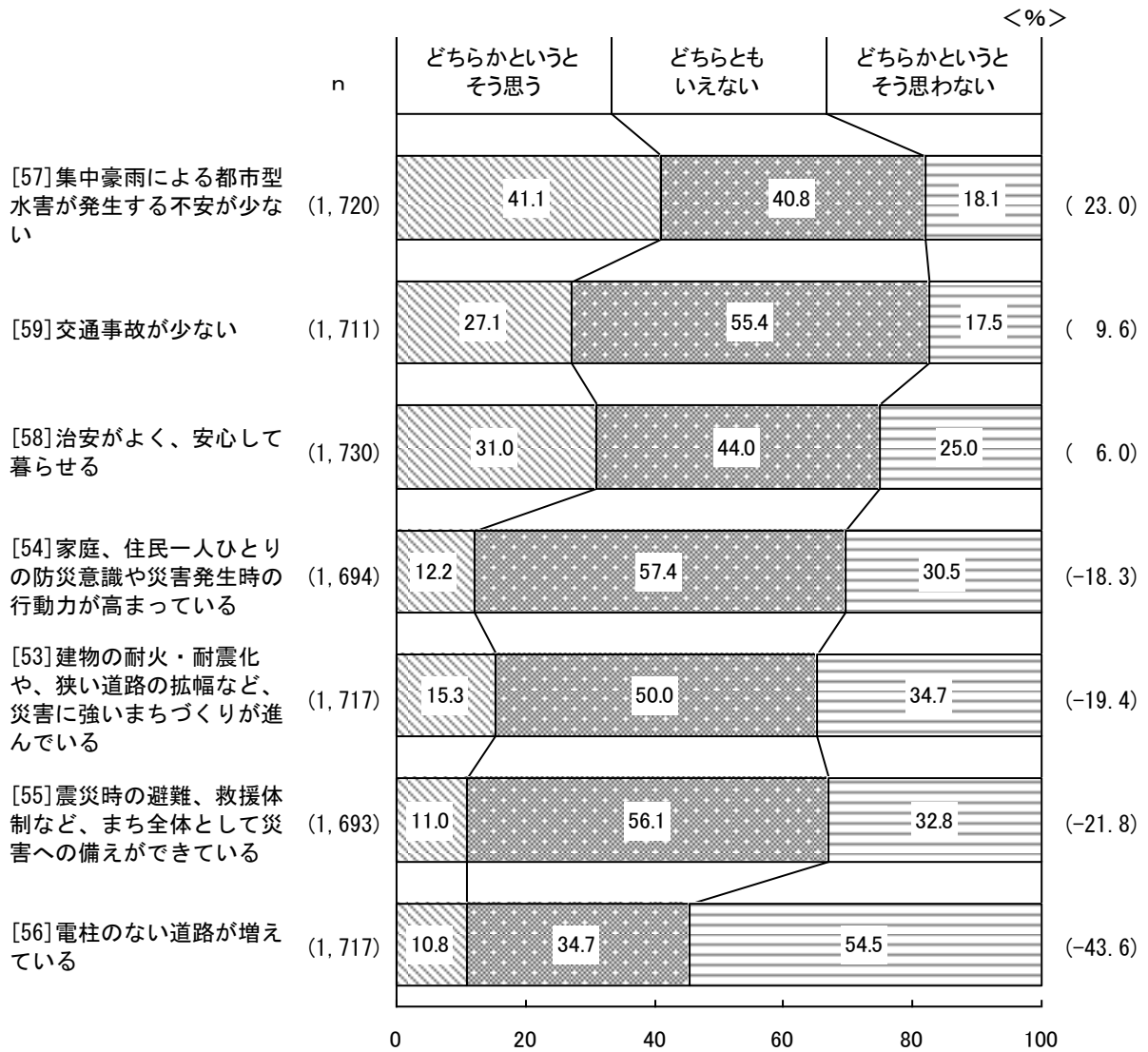
⑧ 都市再生・交通

- 都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「鉄道・バス等の交通が便利である」であり、以下、「新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる」、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」である。



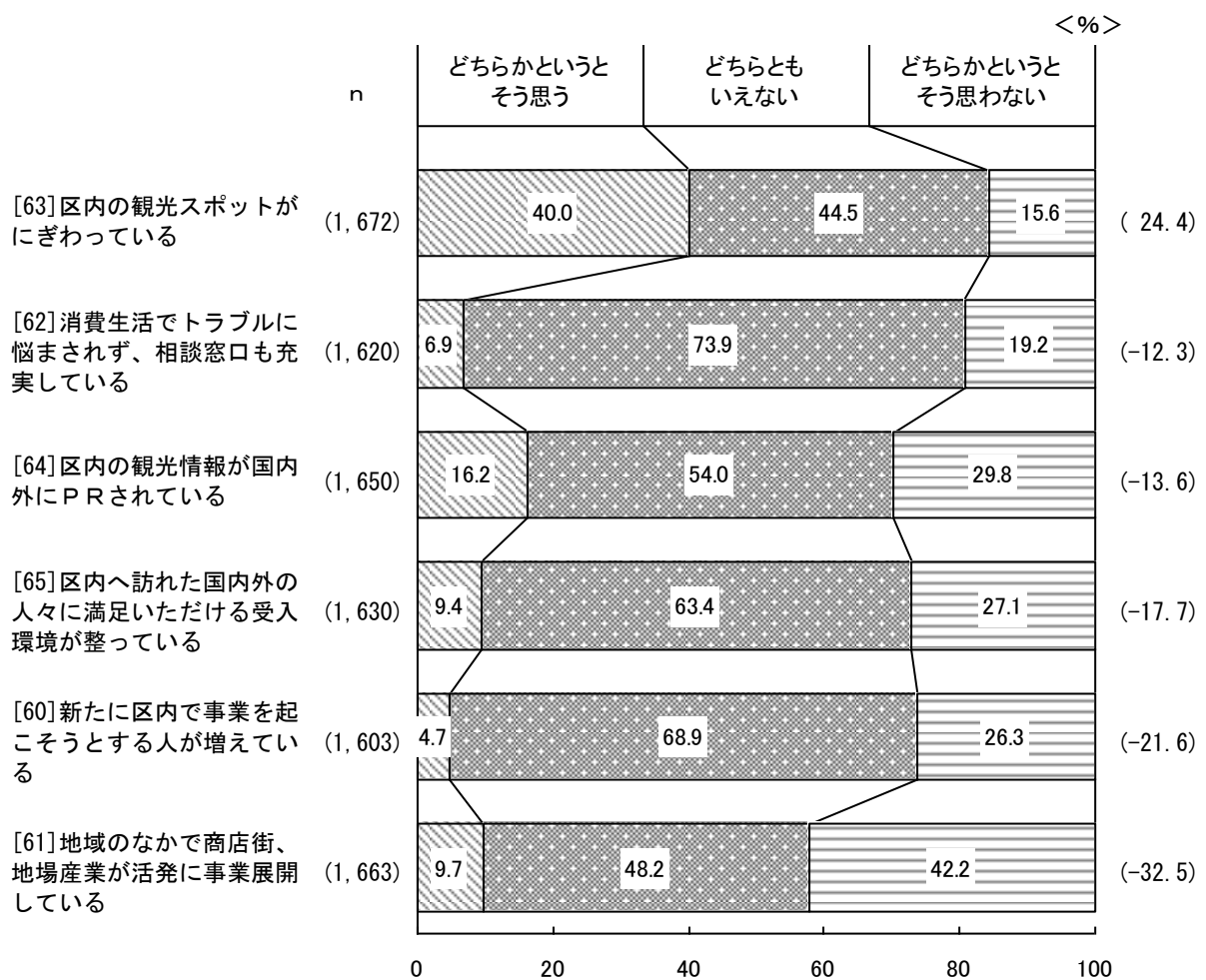
⑨ 防災・治安

- 防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない」であり、以下、「交通事故が少ない」、「治安がよく、安心して暮らせる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「電柱のない道路が増えている」である。



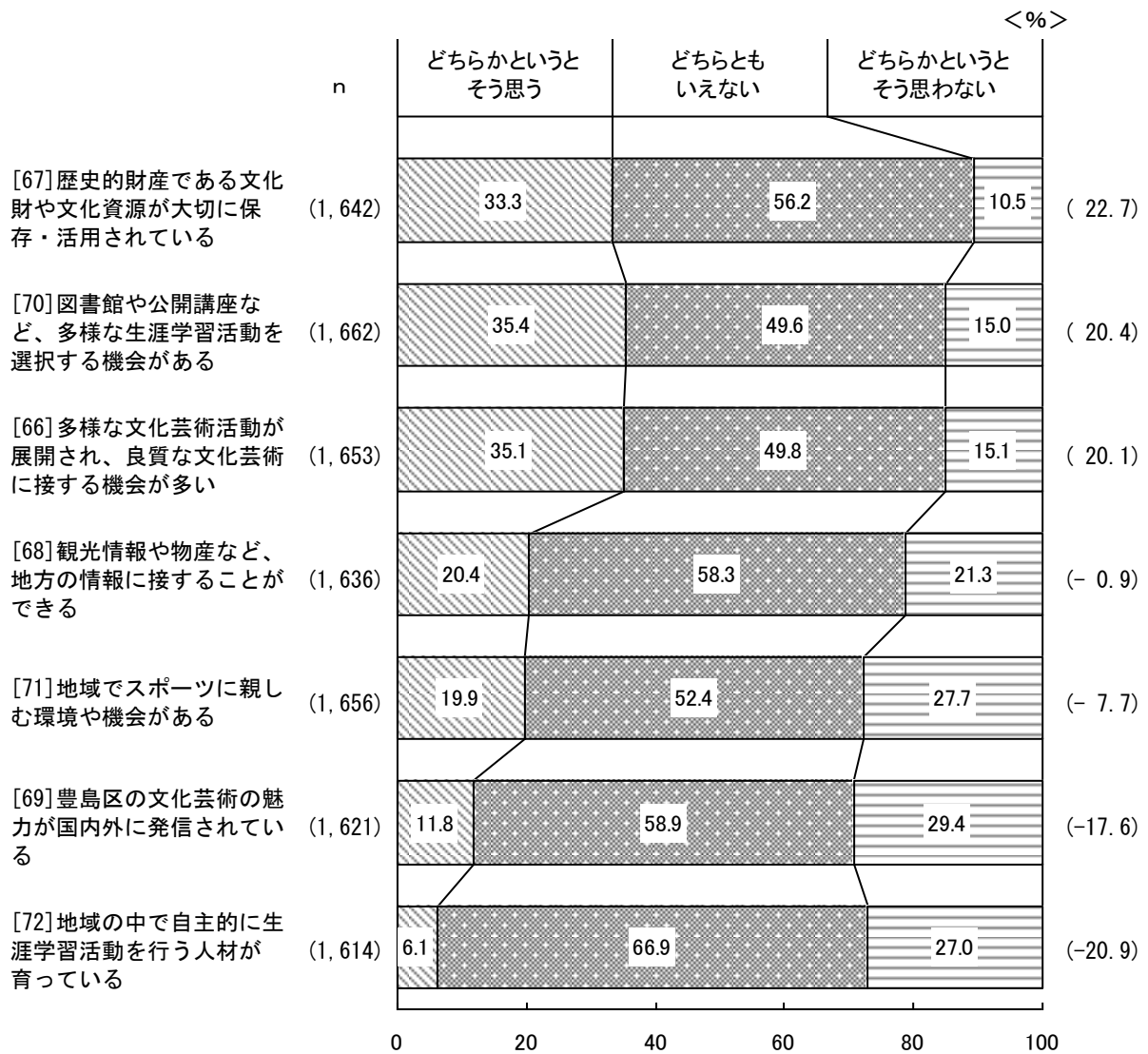
⑩ 商工・観光

- 商工・観光に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「区内の観光スポットがにぎわっている」であり、以下、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」、「区内の観光情報が国内外にPRされている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」である。



⑪ 文化

- 文化に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」であり、以下、「図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある」、「多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている」である。



● グループ全体を通してみた「現在の評価」

ア「現在の評価」が高い項目

生活環境について設定した全 72 項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が高い（満足度が高い）項目は以下のとおりである。

順位	グループ	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	満足度
第1位	⑧都市再生・交通	[50] 鉄道・バス等の交通が便利である	82.1
第2位	④健康・保健	[18] がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある	49.0
第3位	⑦みどり・環境	[43] 地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	45.7
第4位	④健康・保健	[21] 誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	33.2
第5位	⑧都市再生・交通	[47] 新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる	32.4
第6位	④健康・保健	[20] 感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	29.9
第7位	⑧都市再生・交通	[51] 身近な生活道路が安全・快適に通行できる	28.3
第8位	⑧都市再生・交通	[46] 駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	27.8
第9位	⑥教育	[33] 小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	25.0
第10位	⑩商工・観光	[63] 区内の観光スポットがにぎわっている	24.4

イ「現在の評価」が低い項目


生活環境について設定した全 72 項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が低い（満足度が低い）項目は以下のとおりである。

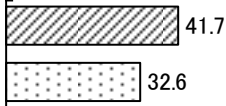
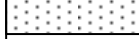
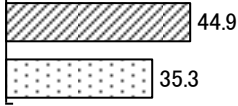
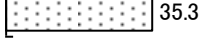
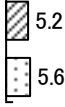

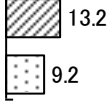

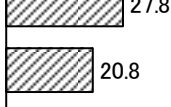
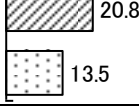

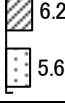

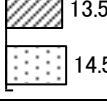
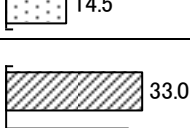
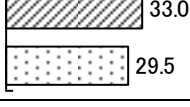

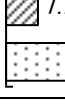

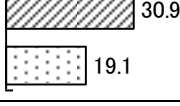

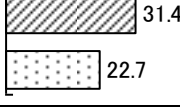
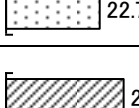
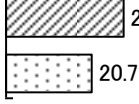

順位	グループ	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	満足度
第1位	②平和・人権	[6] 地域で外国人との交流がある	-46.2
第2位	⑨防災・治安	[56] 電柱のない道路が増えている	-43.6
第3位	⑦みどり・環境	[39] 多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	-39.7
第4位	⑦みどり・環境	[38] CO ₂ 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	-33.9
第5位	⑩商工・観光	[61] 地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	-32.5
第6位	②平和・人権	[10] 配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている	-31.6
第7位	⑧都市再生・交通	[48] 地域に住みつけるための住宅制度が充実している	-26.5
第8位	③福祉	[15] 障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい	-25.8
第9位	①参画・協働	[1] 地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	-23.9
第10位	⑧都市再生・交通	[49] 単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	-23.7

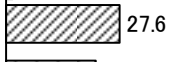
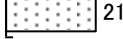

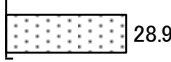

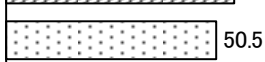

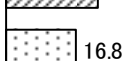
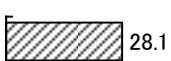
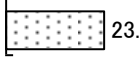

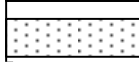

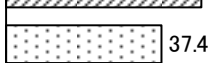



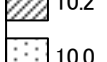

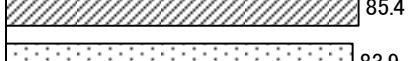

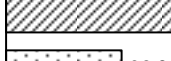
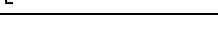
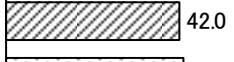
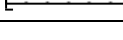
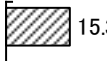
●「現在の評価」の経年比較

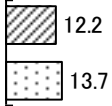
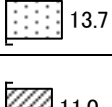
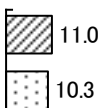
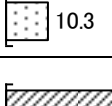
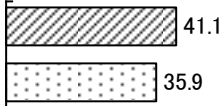
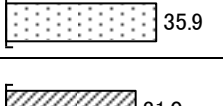
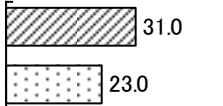
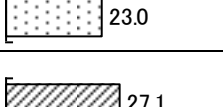
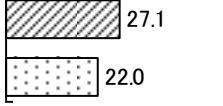
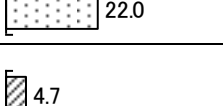
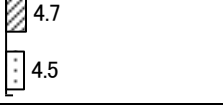
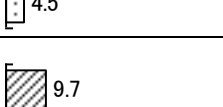
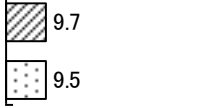
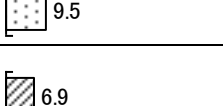

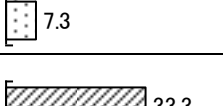
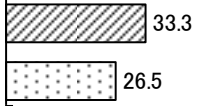
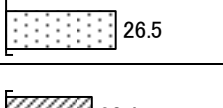
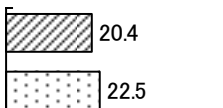
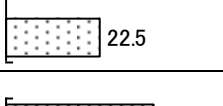
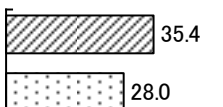
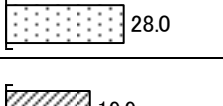
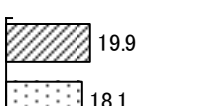
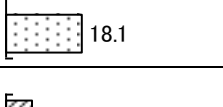
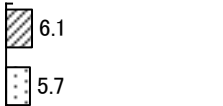
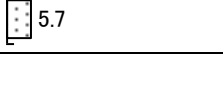
現在の評価のうち「どちらかというと思う」の割合を、同じ「現在の評価」として聞いている「豊島区基本計画策定のための区民意識調査（平成 26 年度実施）」と比較した。評価の対象項目は、当時から一部変更しているため、同じ内容として捉えられる項目を比較の対象としている。

※豊島区基本計画策定のための区民意識調査は、調査対象、標本数など平成 28 年度調査と同じ調査設計である。

番号	評価の対象項目	現在の評価	「どちらかというと思う」の割合(%)
H28-[1]	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	12.2%	 12.2
H26-[31]	地域の課題に対する関心が高まっている	8.8%	 8.8
H28-[2]	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	20.0%	 20.0
H26-[28]	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	15.4%	 15.4
H28-[3]	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	20.4%	 20.4
H26-[30]	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	15.5%	 15.5
H28-[4]	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	20.5%	 20.5
H26-[29]	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	13.7%	 13.7
H28-[6]	地域で外国人との交流がある	10.4%	 10.4
H26-[32]	地域で外国人との交流がある	6.2%	 6.2
H28-[7]	地域社会において平和と人権が尊重されている	25.5%	 25.5
H26-[33]	地域社会において平和と人権が尊重されている	15.4%	 15.4
H28-[11]	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	24.4%	 24.4
H26-[1]	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	19.0%	 19.0
H28-[13]	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている	17.3%	 17.3
H26-[3]	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、身近な相談窓口を安心して利用できる	13.5%	 13.5
H28-[16]	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	10.3%	 10.3
H26-[6]	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	12.5%	 12.5
H28-[17]	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	16.3%	 16.3
H26-[5]	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	13.7%	 13.7
H28-[18]	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある	57.5%	 57.5
H26-[10]	がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある	40.1%	 40.1

番号	評価の対象項目	現在の評価	「どちらかというと思う」の割合(%)
H28-[20]	感染症や食中毒等に不安を感じるが少ない	41.7%	 41.7
H26-[12]	感染症や食中毒等に不安を感じるが少ない	32.6%	 32.6
H28-[21]	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	44.9%	 44.9
H26-[13]	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	35.3%	 35.3
H28-[23]	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	5.2%	 5.2
H26-[15]	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	5.6%	 5.6
H28-[26]	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている	13.2%	 13.2
H26-[19]	区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている	9.2%	 9.2
H28-[27]	学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている	27.8%	 27.8
H28-[28]	学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身についている	20.8%	 20.8
H26-[25]	子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている	13.5%	 13.5
H28-[31]	家庭での教育に対する支援が充実している	6.2%	 6.2
H26-[25]	家庭での教育に対する支援が充実している	5.6%	 5.6
H28-[32]	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている	13.5%	 13.5
H26-[26]	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている	14.5%	 14.5
H28-[33]	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	33.0%	 33.0
H26-[23]	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	29.5%	 29.5
H28-[34]	豊島区ならではの特色ある教育が進められている	7.7%	 7.7
H26-[22]	地域や保護者による学校教育への関わりを通じ、特色ある学校づくりがなされている	15.6%	 15.6
H28-[36]	みどりが豊かで、災害時にも有効な比較的大きな公園がある	30.9%	 30.9
H26-[35]	運動ができ、災害時にも有効な比較的大きな公園がある	19.1%	 19.1
H28-[37]	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	31.4%	 31.4
H26-[36]	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	22.7%	 22.7
H28-[40]	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	28.6%	 28.6
H26-[40]	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	20.7%	 20.7

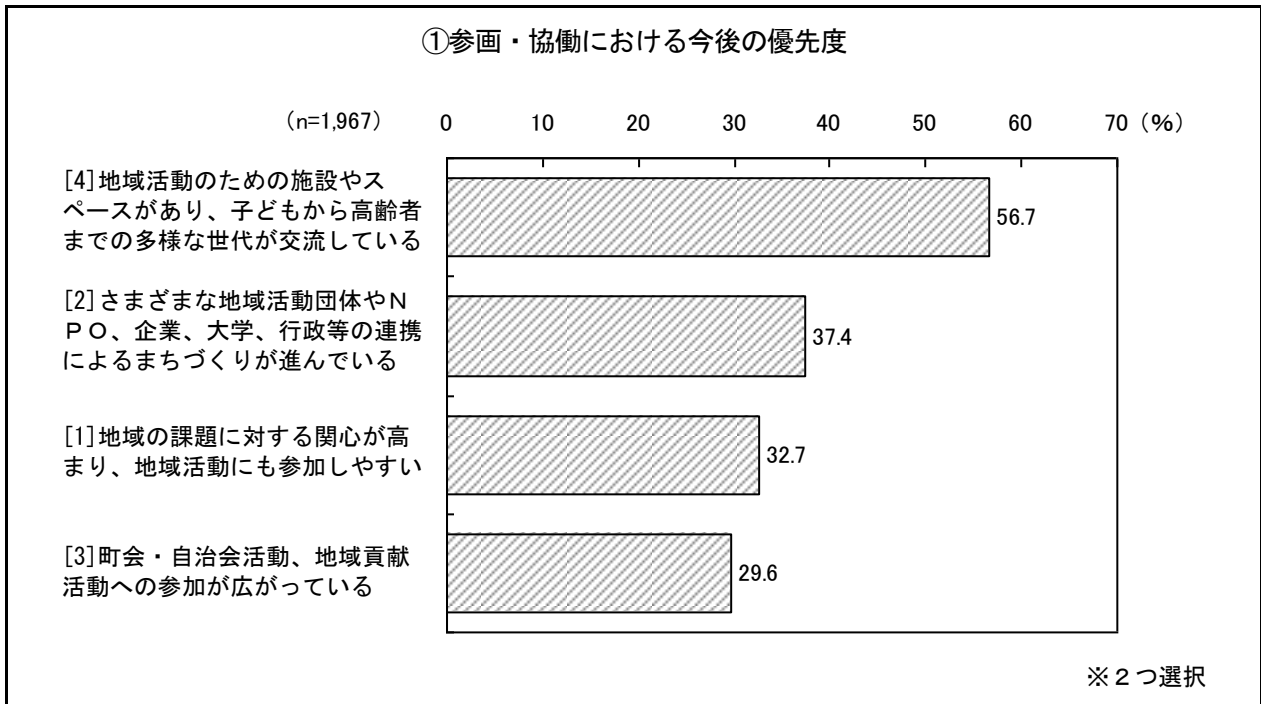
番号	評価の対象項目	現在の評価	「どちらかというと思う」の割合(%)
H28-[41]	騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない	27.6%	 27.6
H26-[37]	騒音、大気汚染などに悩まされることがない	21.6%	 21.6
H28-[42]	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	33.4%	 33.4
H26-[41]	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	28.9%	 28.9
H28-[43]	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	55.2%	 55.2
H26-[42]	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	50.5%	 50.5
H28-[44]	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	22.1%	 22.1
H26-[43]	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	16.8%	 16.8
H28-[45]	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	28.1%	 28.1
H26-[45]	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	23.6%	 23.6
H28-[46]	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	44.7%	 44.7
H26-[47]	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	41.1%	 41.1
H28-[47]	新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる	47.1%	 47.1
H26-[46]	新庁舎整備をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる	37.4%	 37.4
H28-[48]	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	6.7%	 6.7
H26-[48]	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	6.1%	 6.1
H28-[49]	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	10.2%	 10.2
H26-[49]	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	10.0%	 10.0
H28-[50]	鉄道・バス等の交通が便利である	85.4%	 85.4
H26-[52]	鉄道・バス等の交通が便利である	83.9%	 83.9
H28-[51]	身近な生活道路が安全・快適に通行できる	43.7%	 43.7
H26-[50]	身近な生活道路が快適に通行できる	28.0%	 28.0
H28-[52]	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	42.0%	 42.0
H26-[51]	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている	42.9%	 42.9
H28-[53]	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる	15.3%	 15.3
H26-[55]	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	11.2%	 11.2

番号	評価の対象項目	現在の評価	「どちらかというと思う」の割合(%)
H28-[54]	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	12.2%	 12.2
H26-[53]	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	13.7%	 13.7
H28-[55]	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています	11.0%	 11.0
H26-[54]	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています	10.3%	 10.3
H28-[57]	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	41.1%	 41.1
H26-[56]	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	35.9%	 35.9
H28-[58]	治安がよく、安心して暮らせる	31.0%	 31.0
H26-[57]	治安がよく、安心して暮らせる	23.0%	 23.0
H28-[59]	交通事故が少ない	27.1%	 27.1
H26-[58]	交通事故が少ない	22.0%	 22.0
H28-[60]	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	4.7%	 4.7
H26-[62]	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	4.5%	 4.5
H28-[61]	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	9.7%	 9.7
H26-[63]	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	9.5%	 9.5
H28-[62]	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	6.9%	 6.9
H26-[64]	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	7.3%	 7.3
H28-[67]	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	33.3%	 33.3
H26-[67]	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	26.5%	 26.5
H28-[68]	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる	20.4%	 20.4
H26-[61]	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる	22.5%	 22.5
H28-[70]	図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある	35.4%	 35.4
H26-[70]	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある	28.0%	 28.0
H28-[71]	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	19.9%	 19.9
H26-[72]	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	18.1%	 18.1
H28-[72]	地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	6.1%	 6.1
H26-[71]	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	5.7%	 5.7

2 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問6〕

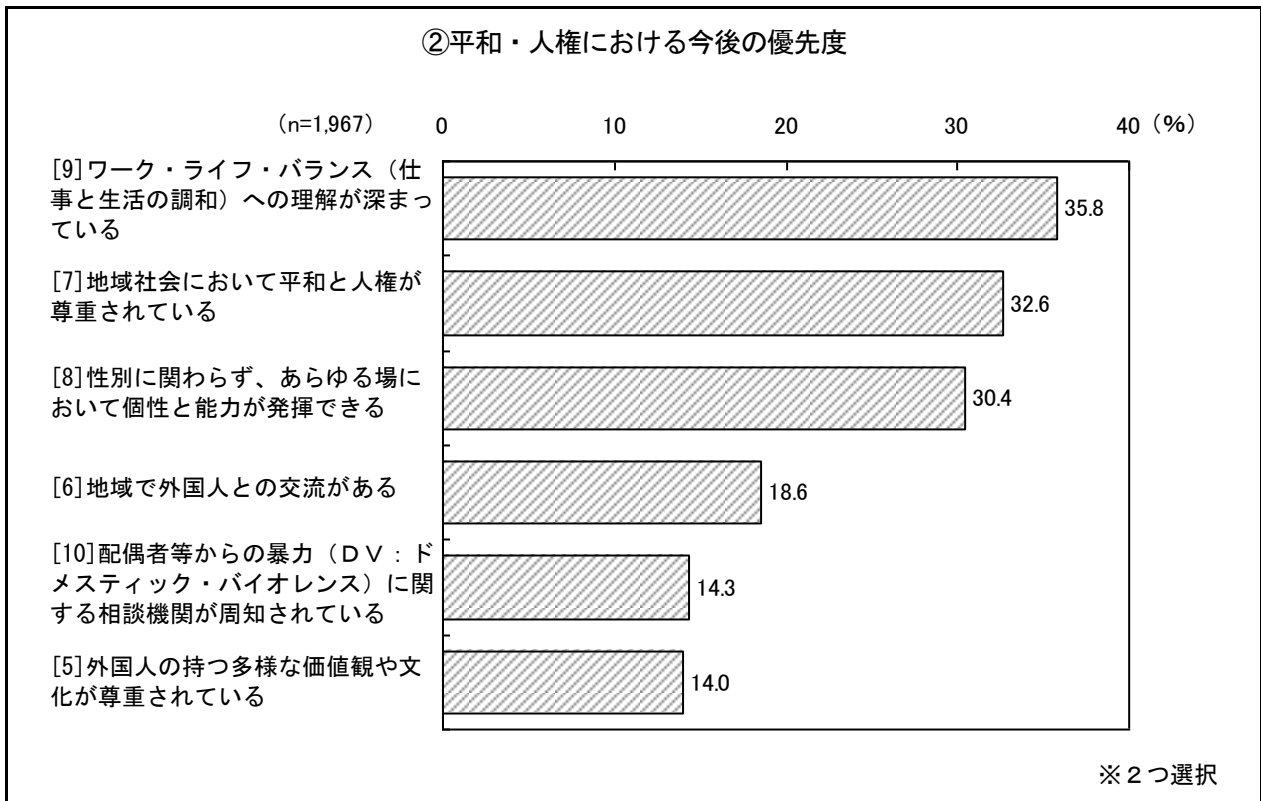
① 参画・協働

●参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」(56.7%)が6割台半ばと最も高く、以下、「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」(37.4%)、「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい」(32.7%)、「町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている」(29.6%)などとなっている。



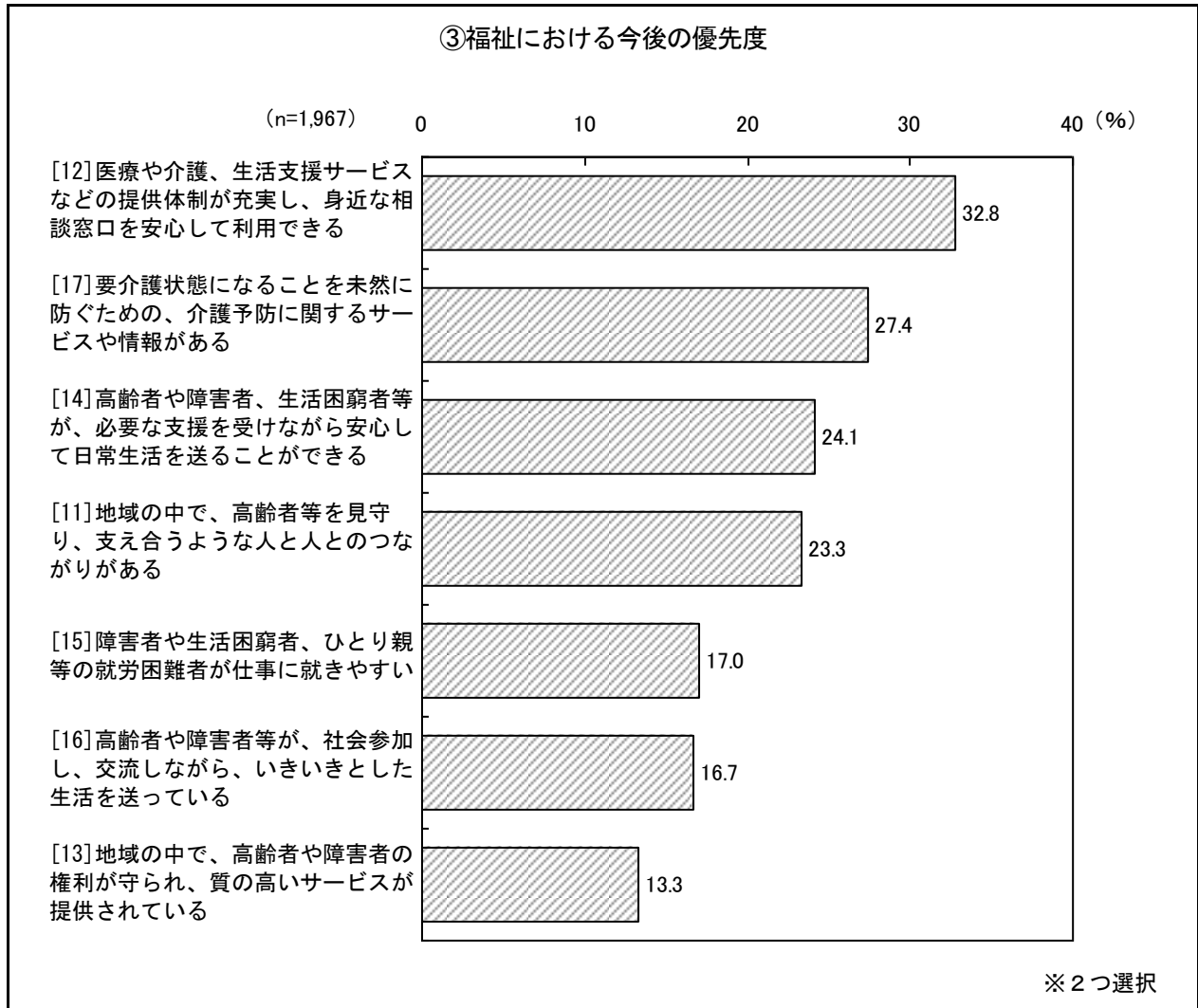
② 平和・人権

- 平和・人権に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への理解が深まっている」（35.8%）が3割台半ばと最も高く、以下、「地域社会において平和と人権が尊重されている」（32.6%）、「性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる」（30.4%）などとなっている。



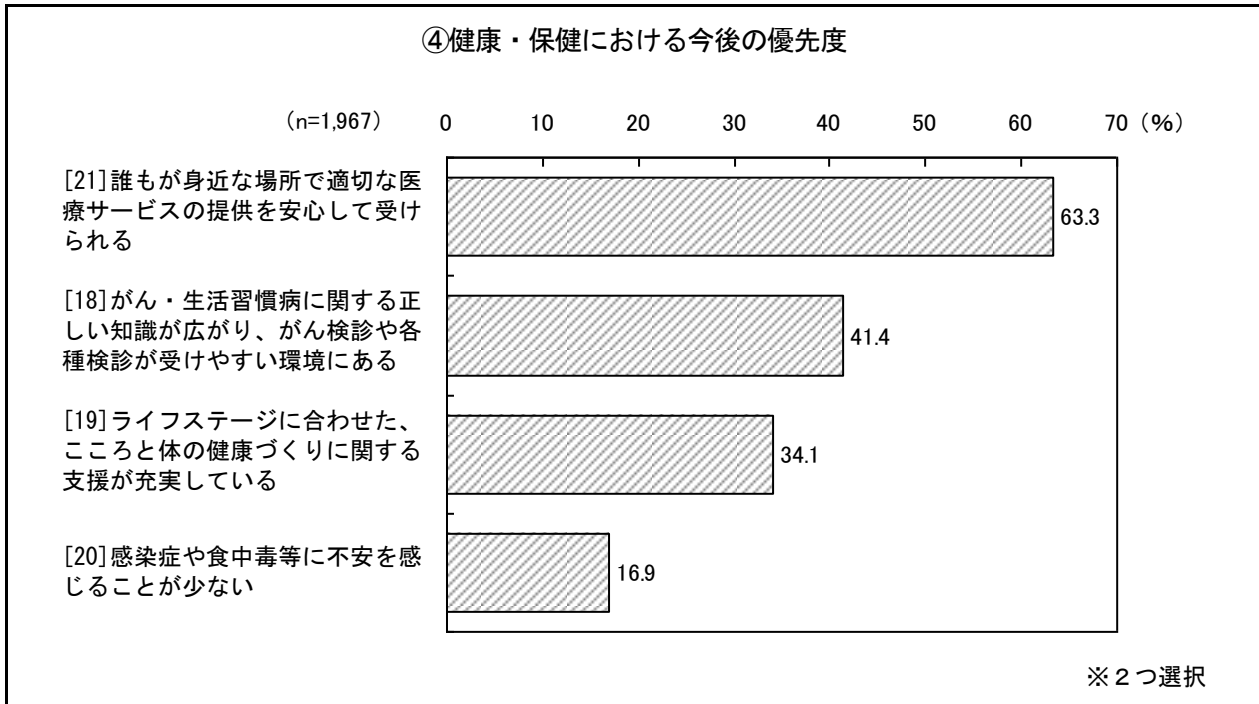
③ 福祉

- 福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」(32.8%)が3割強と最も高く、以下、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」(27.4%)、「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」(24.1%) などとなっている。



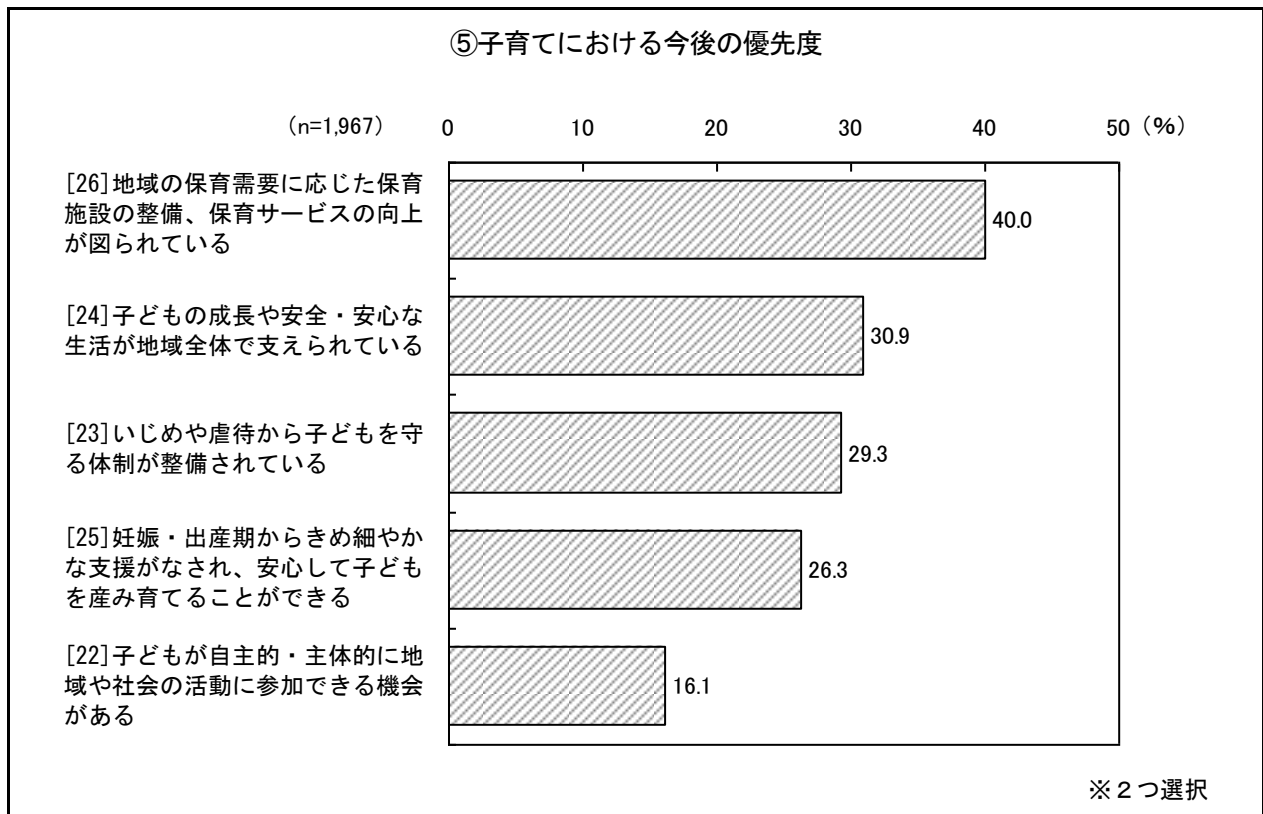
④ 健康・保健

- 健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」(63.3%)が6割強と最も高く、以下、「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」(41.4%)、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」(34.1%) などとなっている。



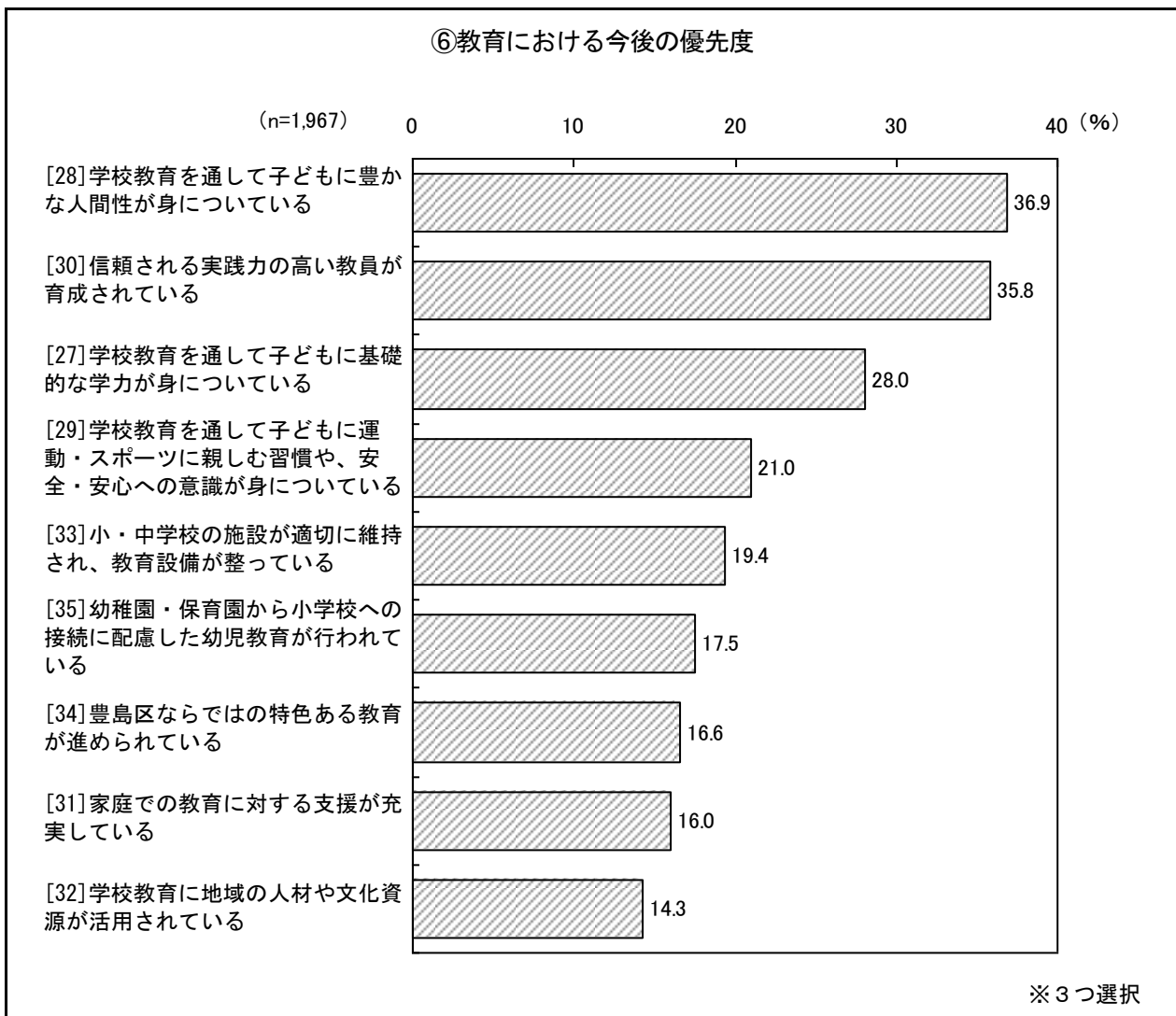
⑤ 子育て

- 子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」(40.0%)が4割と最も高く、以下、「子どもの成長や安全・安心な生活が地域全体で支えられている」(30.9%)、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」(29.3%)などとなっている。



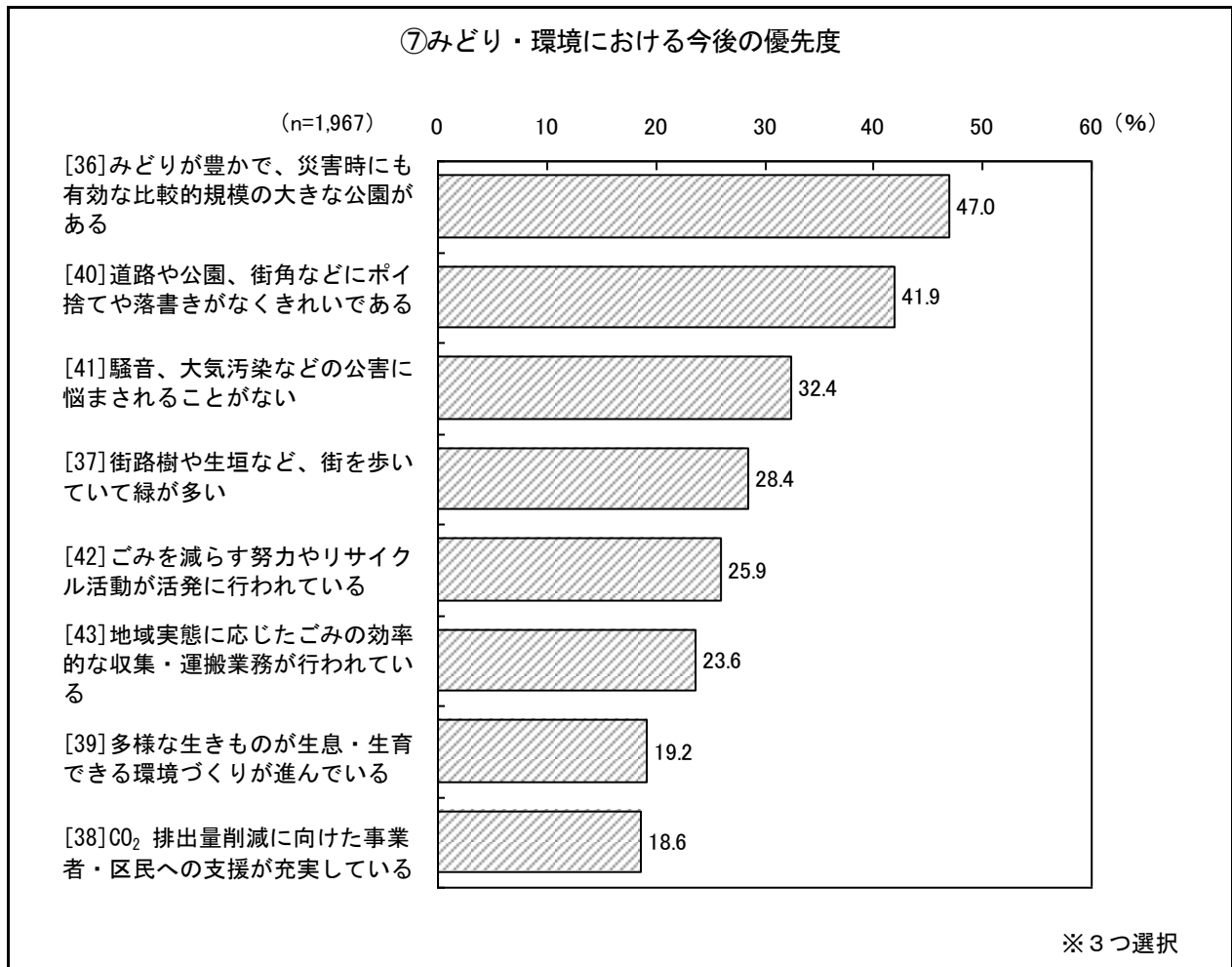
⑥ 教育

- 教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身についている」(36.9%)と「信頼される実践力の高い教員が育成されている」(35.8%)の2つが、それぞれ3割台半ばと高く、以下、「学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている」(28.0%)、「学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身についている」(21.0%) などとなっている。



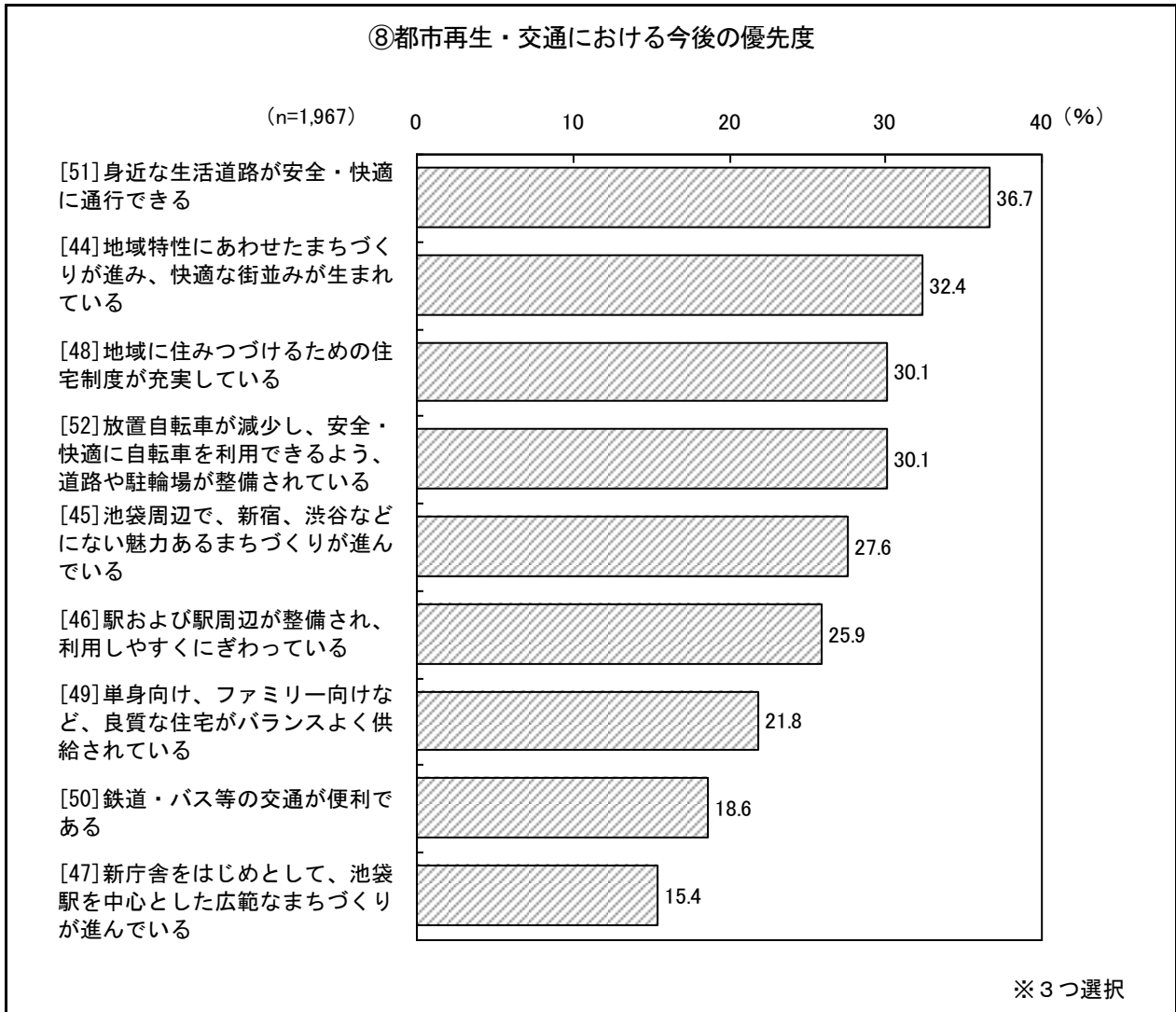
⑦ みどり・環境

- みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「みどりが豊かで、災害時にも有効な比較的大きな公園がある」(47.0%)が4割台半ばと最も高く、以下、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」(41.9%)、「騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない」(32.4%)などとなっている。



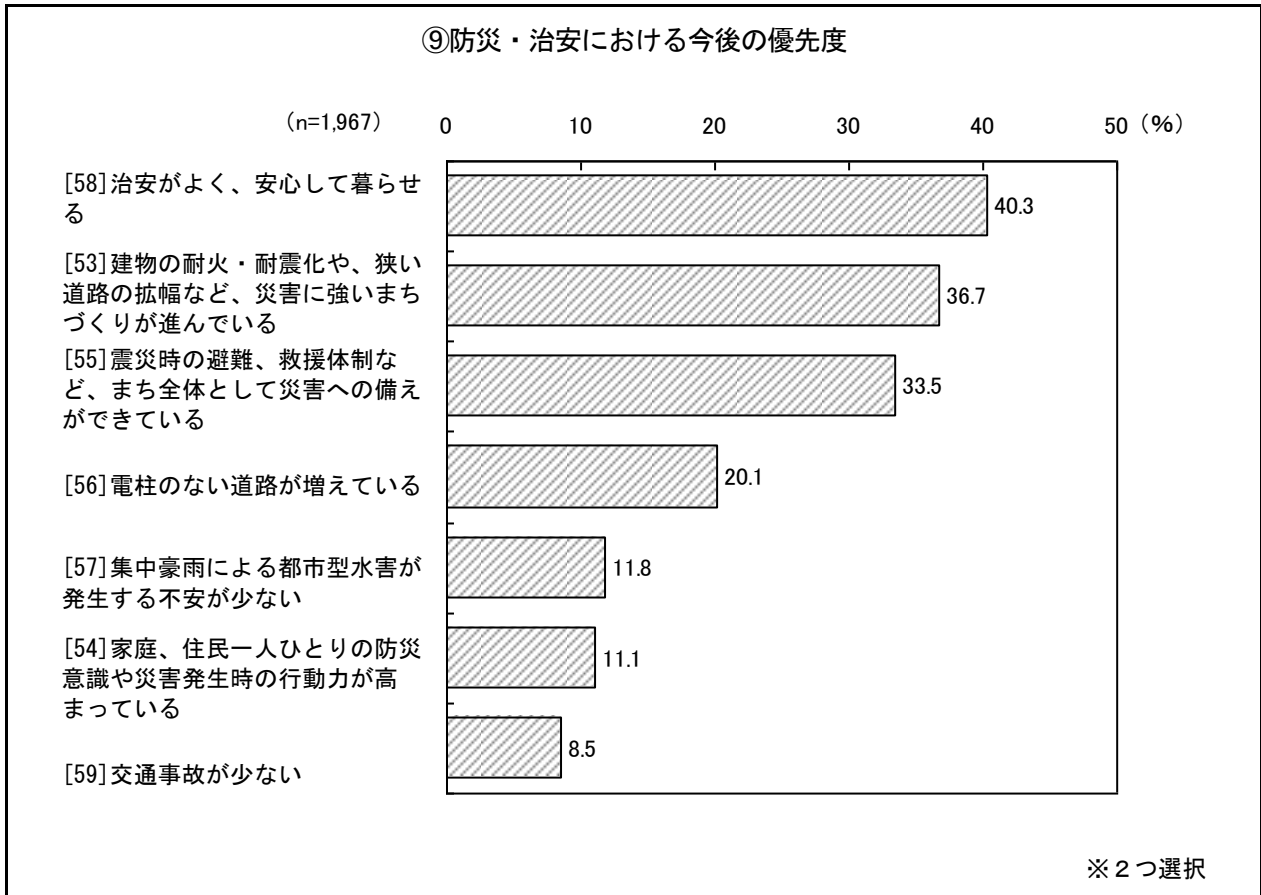
⑧ 都市再生・交通

●都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」(36.7%)が3割台半ばと最も高く、以下、「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」(32.4%)、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」(30.1%)、「放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている」(30.1%)などとなっている。



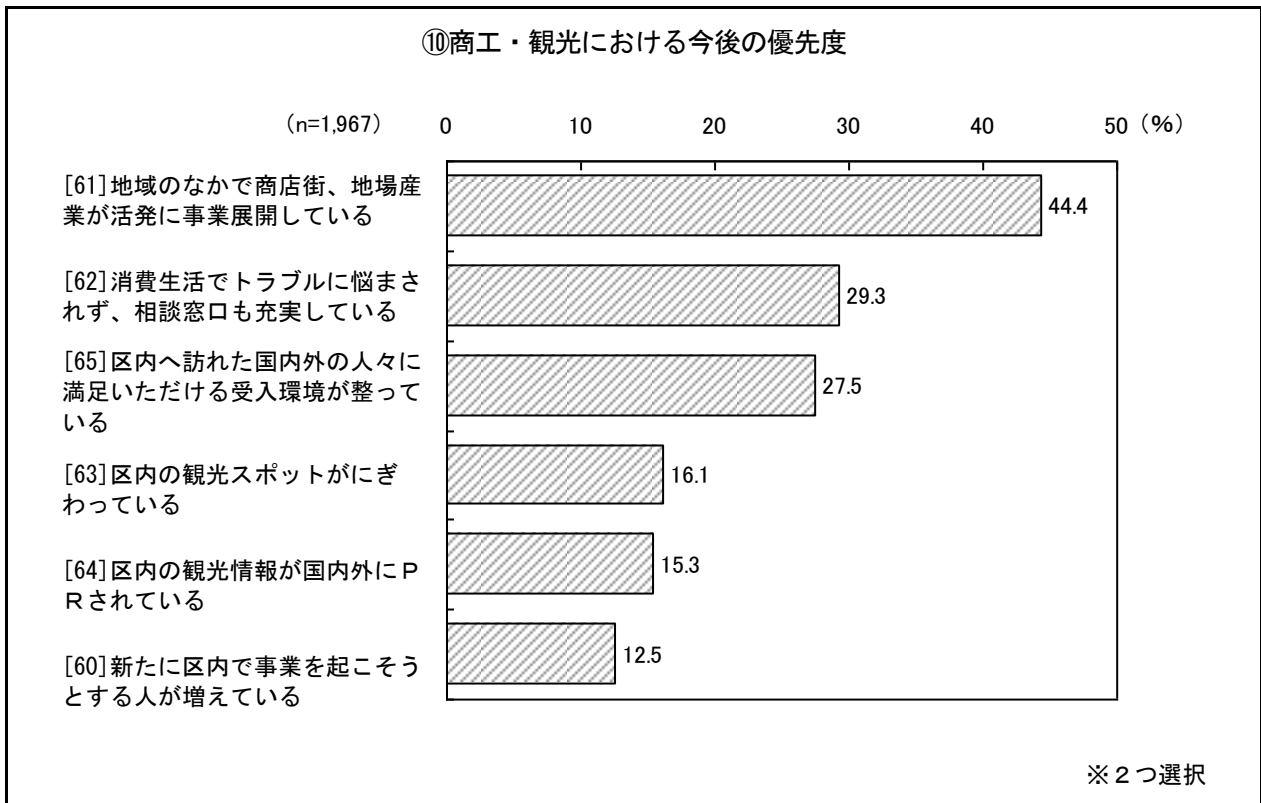
⑨ 防災・治安

- 防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「治安がよく、安心して暮らせる」(40.3%) が約4割と最も高く、以下、「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」(36.7%)、「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができている」(33.5%) などとなっている。



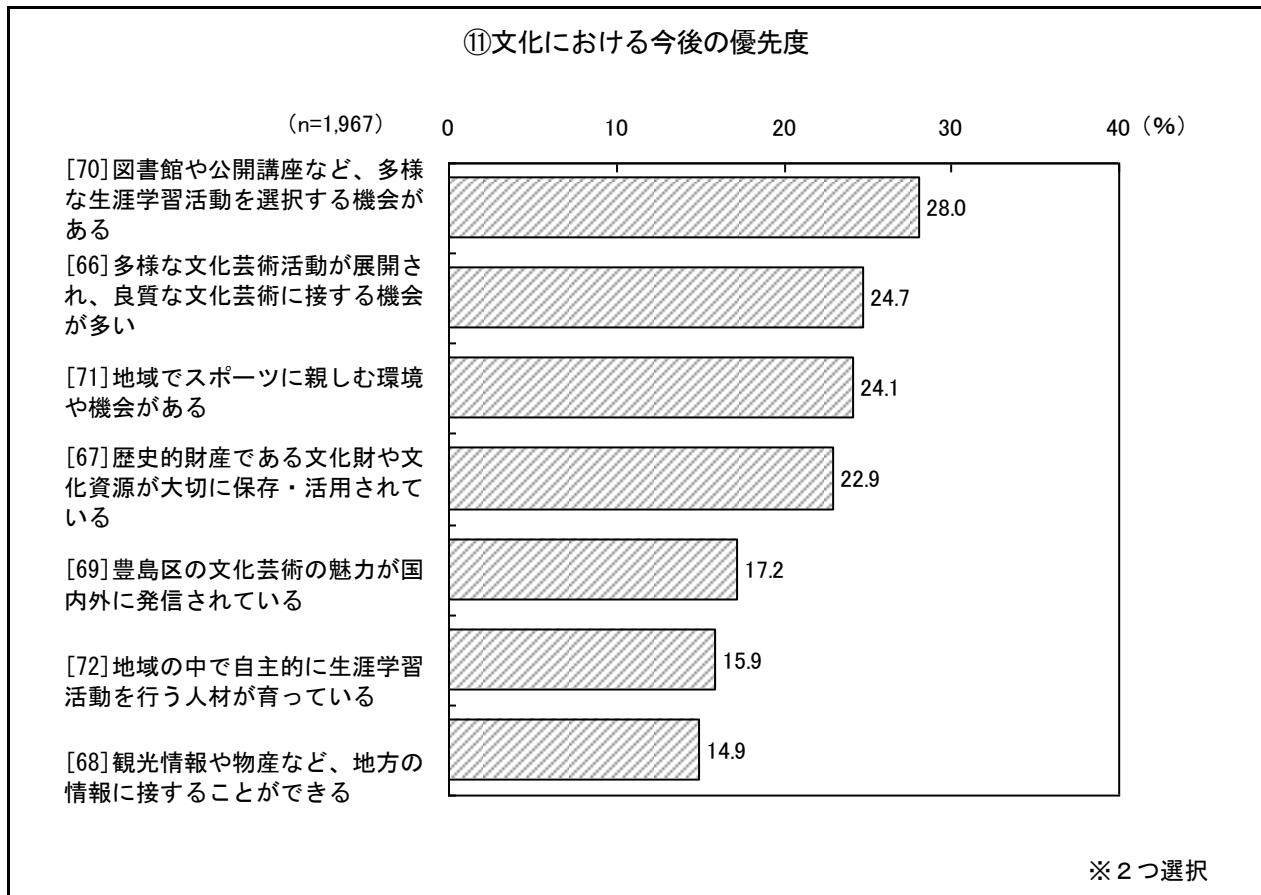
⑩ 商工・観光

●商工・観光に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」(44.4%)が4割台半ばと最も高く、以下、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」(29.3%)、「区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている」(27.5%)などとなっている。



⑪ 文化

- 文化に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある」(28.0%)が約3割と最も高く、以下、「多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い」(24.7%)、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(24.1%)などとなっている。



3 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問6〕

11のグループごとに、「現在の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。

《数値化の方法》

<p>それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。</p> <p>■現在の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか） 各項目の加重平均値 ＝（「どちらかというと思う」の回答者数×1点＋「どちらともいえない」の回答者数×0点＋「どちらかというと思わない」の回答者数×－1点）÷回答者数</p> <p>■今後の優先度 各項目の回答割合（％）</p> <p>■基準軸の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の評価：0（ゼロ）を基準 ・今後の優先度：グループごとの各項目の平均優先度を基準

「現在の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

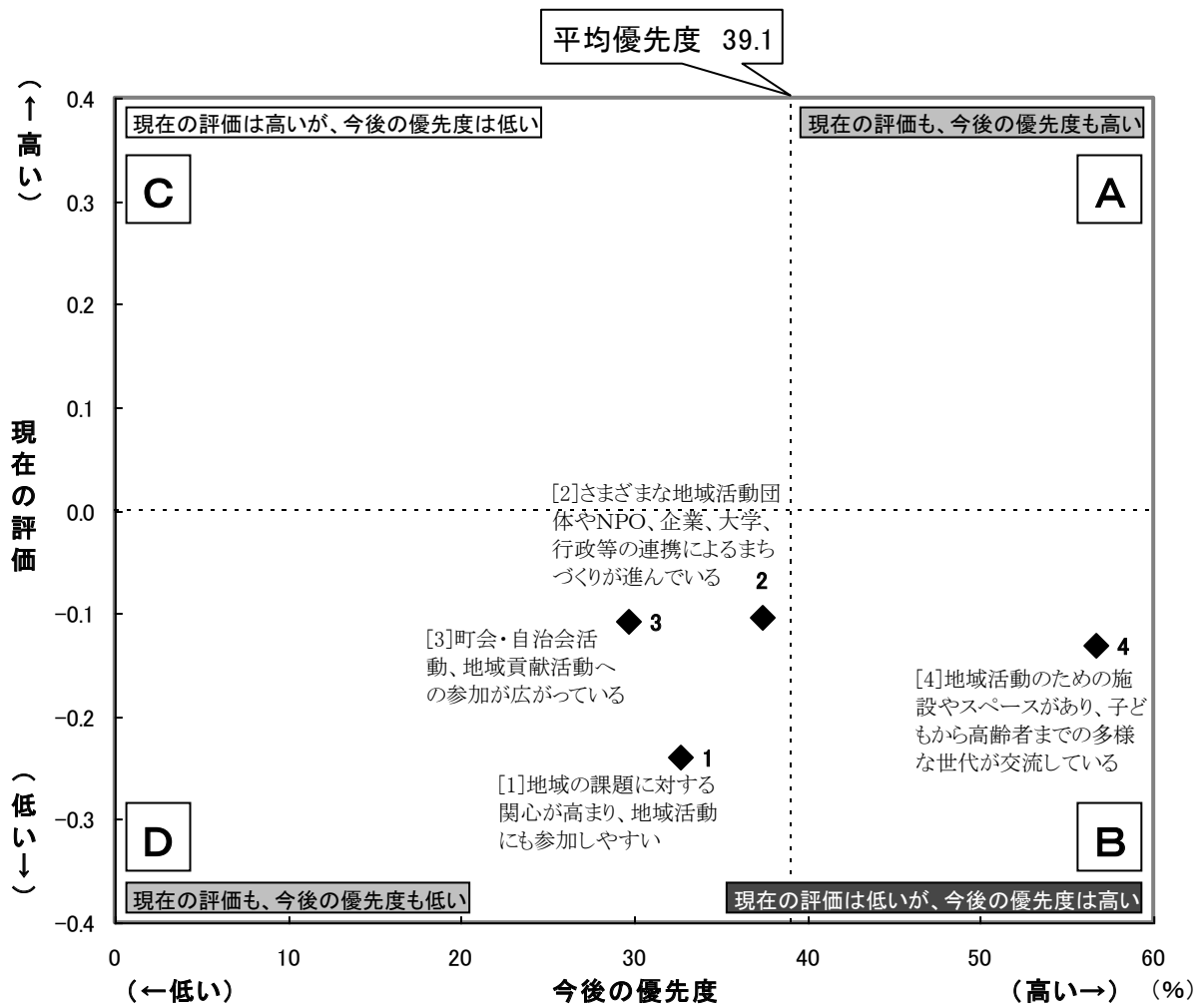
(＋) 「現在の評価」の軸 (－)	C	A	
	現在の評価は高いが、今後の優先度は低い ○現在の評価 (＋) プラス ▲各項目の優先度 (<) 平均優先度	現在の評価も、今後の優先度も高い ○現在の評価 (＋) プラス ○各項目の優先度 (>) 平均優先度	
	D	B	
	現在の評価も、今後の優先度も低い ▲現在の評価 (－) マイナス ▲各項目の優先度 (<) 平均優先度	現在の評価は低いが、今後の優先度は高い ▲現在の評価 (－) マイナス ○各項目の優先度 (>) 平均優先度	
	(－)	「今後の優先度」の軸	(＋)

上記のチャート図において、右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

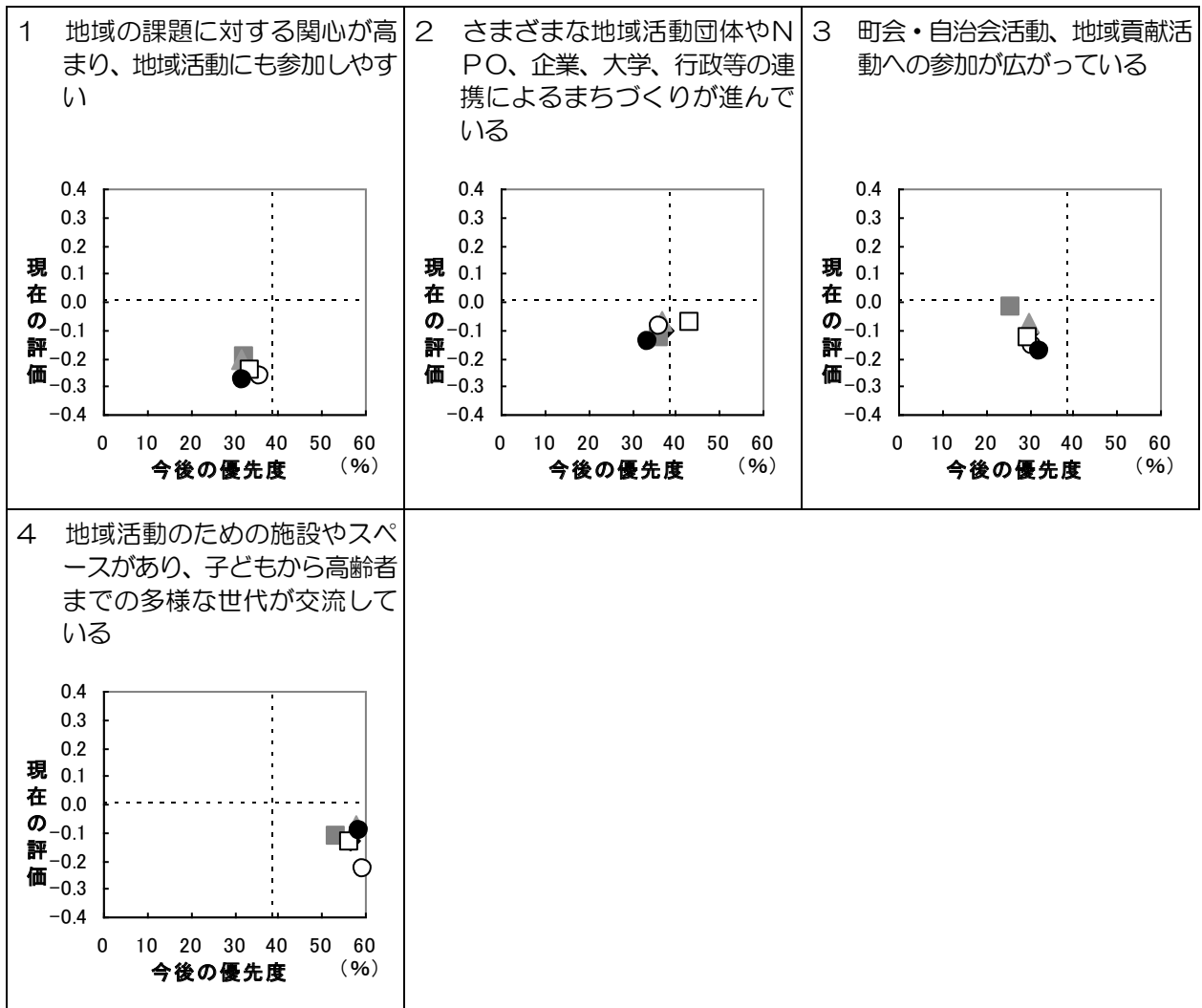
B	評価【低】かつ 優先度【高】	行政として重点的に取り組む
A	評価【高】かつ 優先度【高】	現状維持
D	評価【低】かつ 優先度【低】	
C	評価【高】かつ 優先度【低】	行政の役割は小さい

① 参画・協働

- 参画・協働に関する生活環境では、4項目のうち1項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、また、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」が位置している。



【地域別比較】

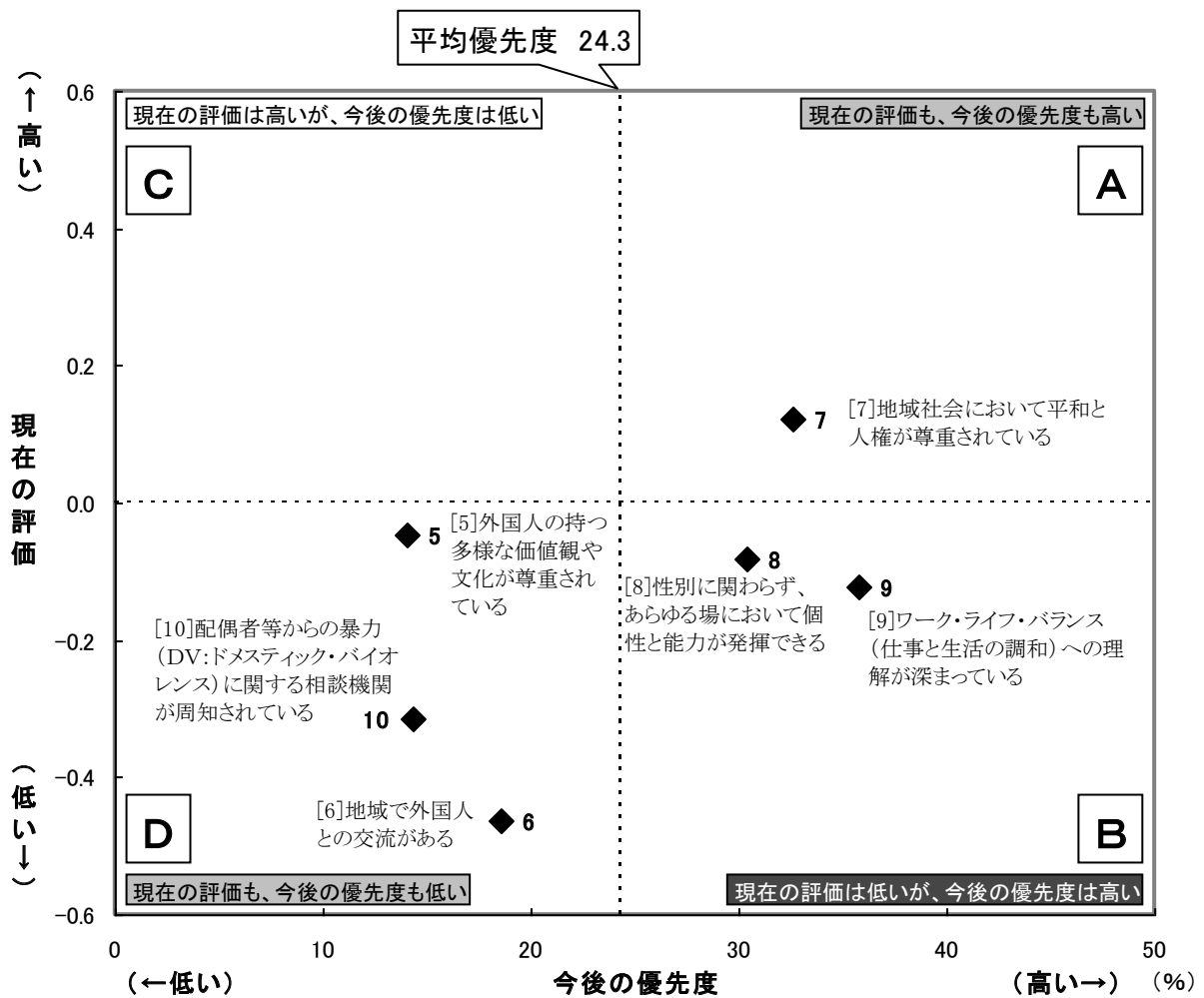


【凡例】			
全 (◆) : 区全体	東 (■) : 東部地域	西 (●) : 西部地域	南 (□) : 南部地域
北 (▲) : 北部地域	中 (○) : 中央地域		

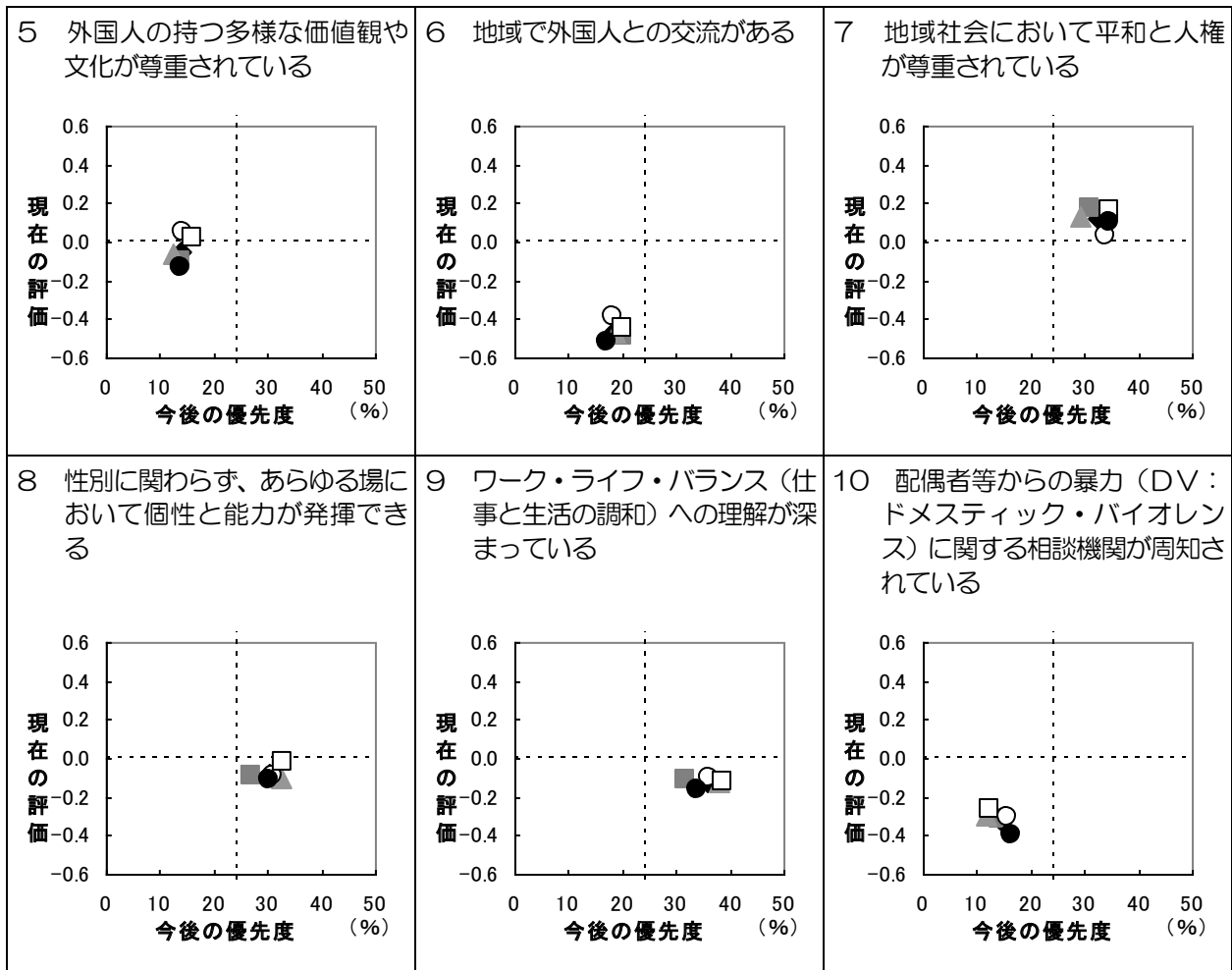
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

② 平和・人権

- 平和・人権に関する生活環境では、6項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への理解が深まっている」「性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる」が位置している。



【地域別比較】

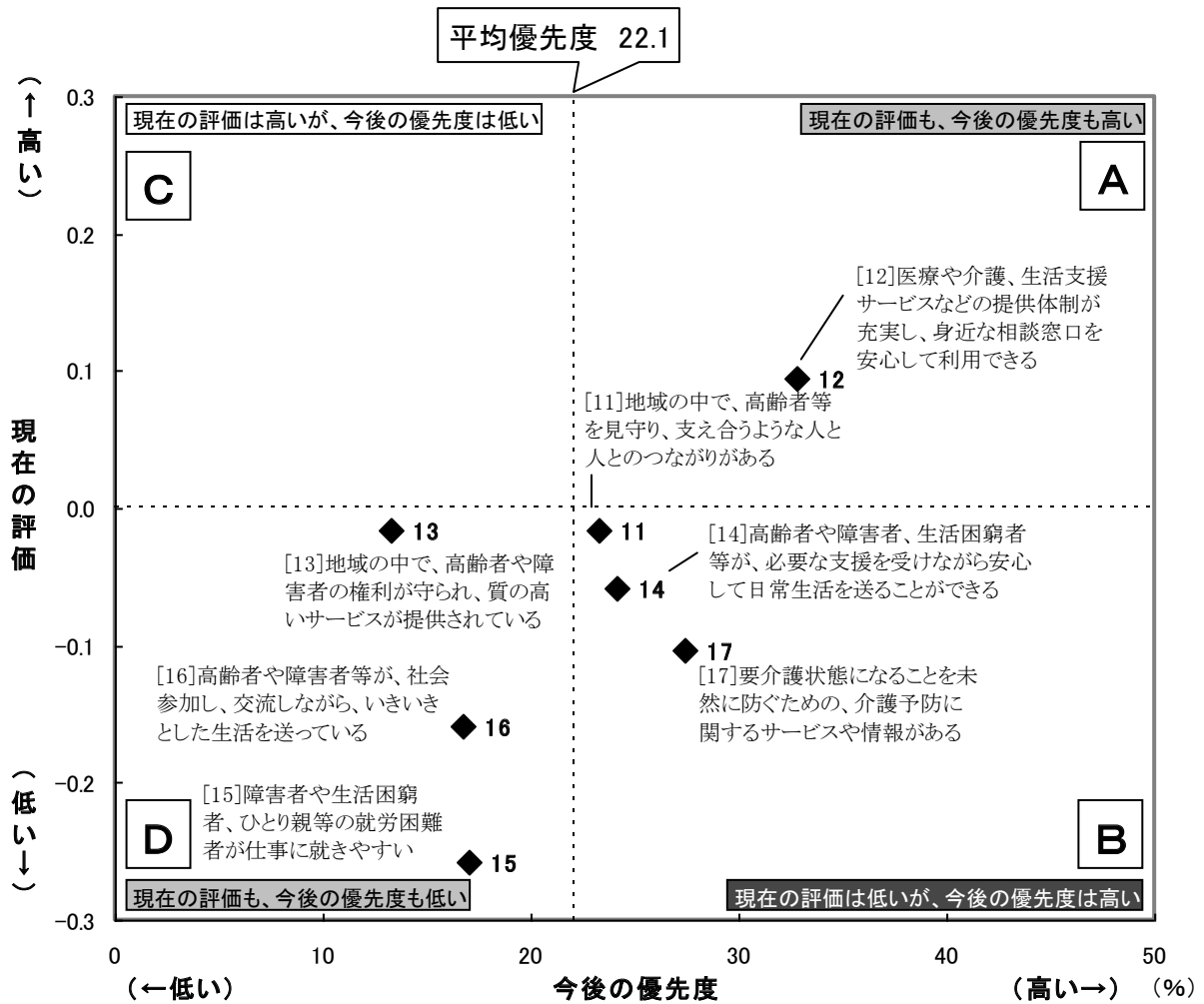


【凡例】
 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

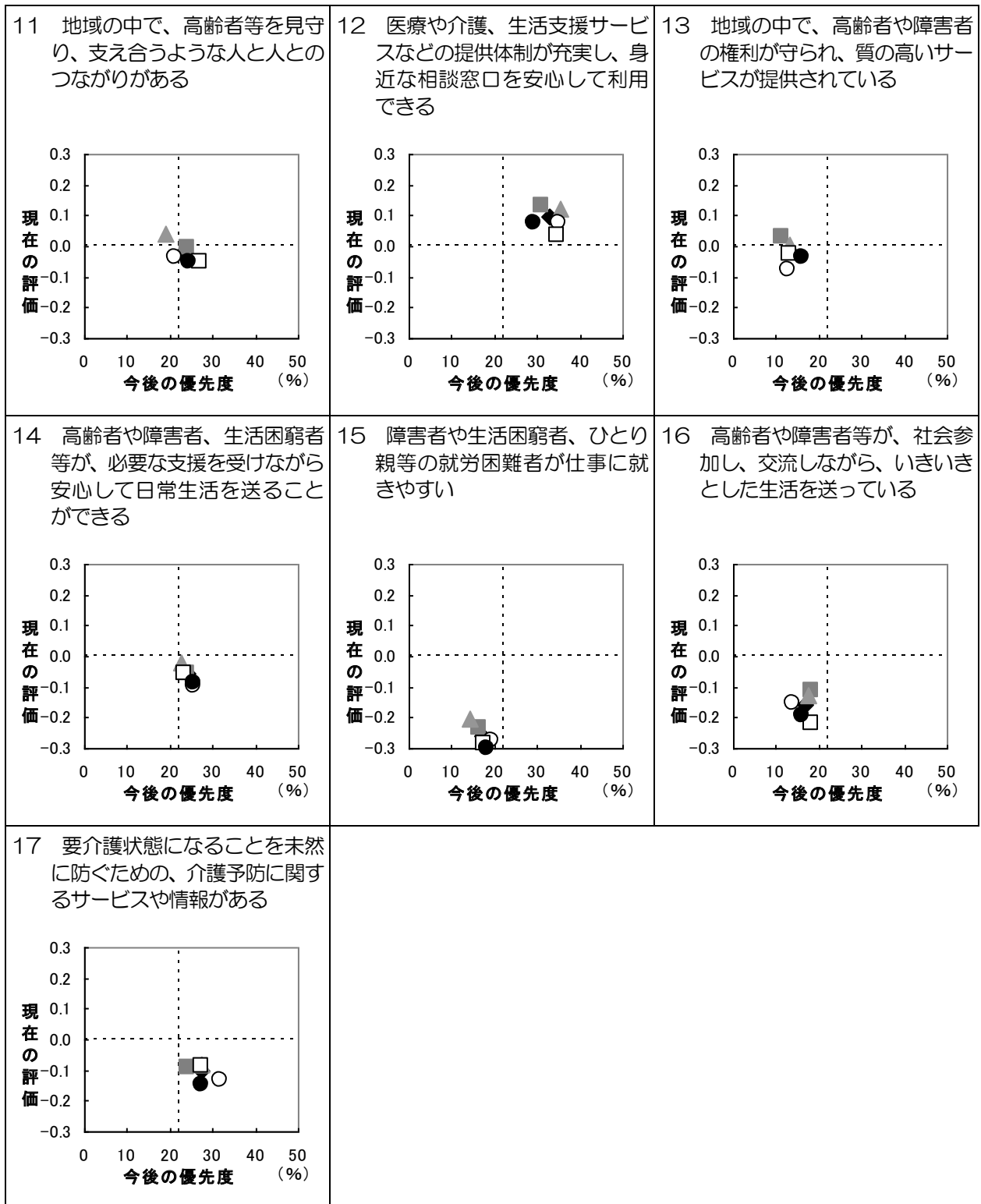
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

③ 福祉

- 福祉に関する生活環境では、7項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、3項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」が位置している。



【地域別比較】



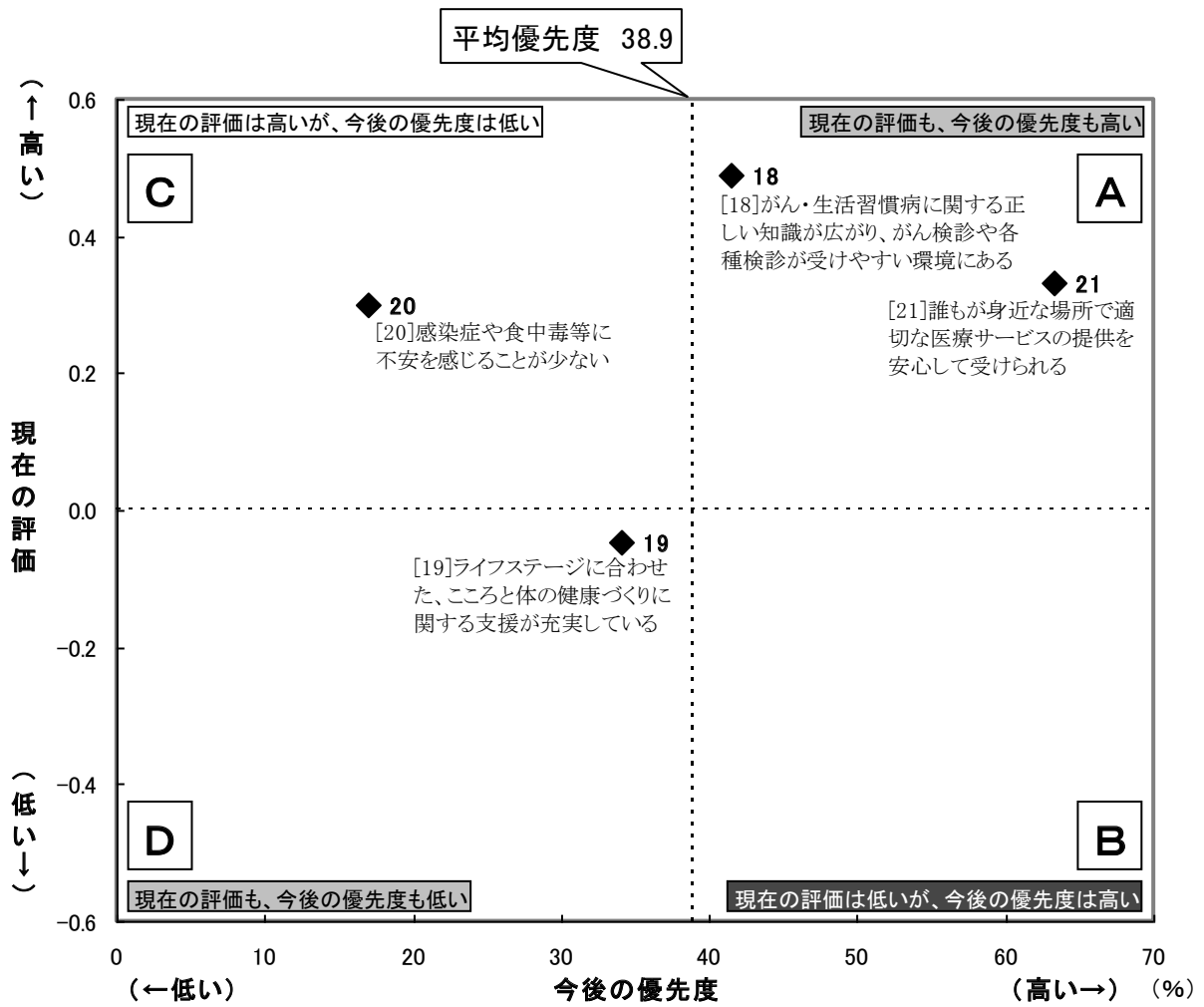
【凡例】

全 (◆) : 全区	東 (■) : 東部地域	西 (●) : 西部地域	南 (□) : 南部地域
北 (▲) : 北部地域	中 (○) : 中央地域		

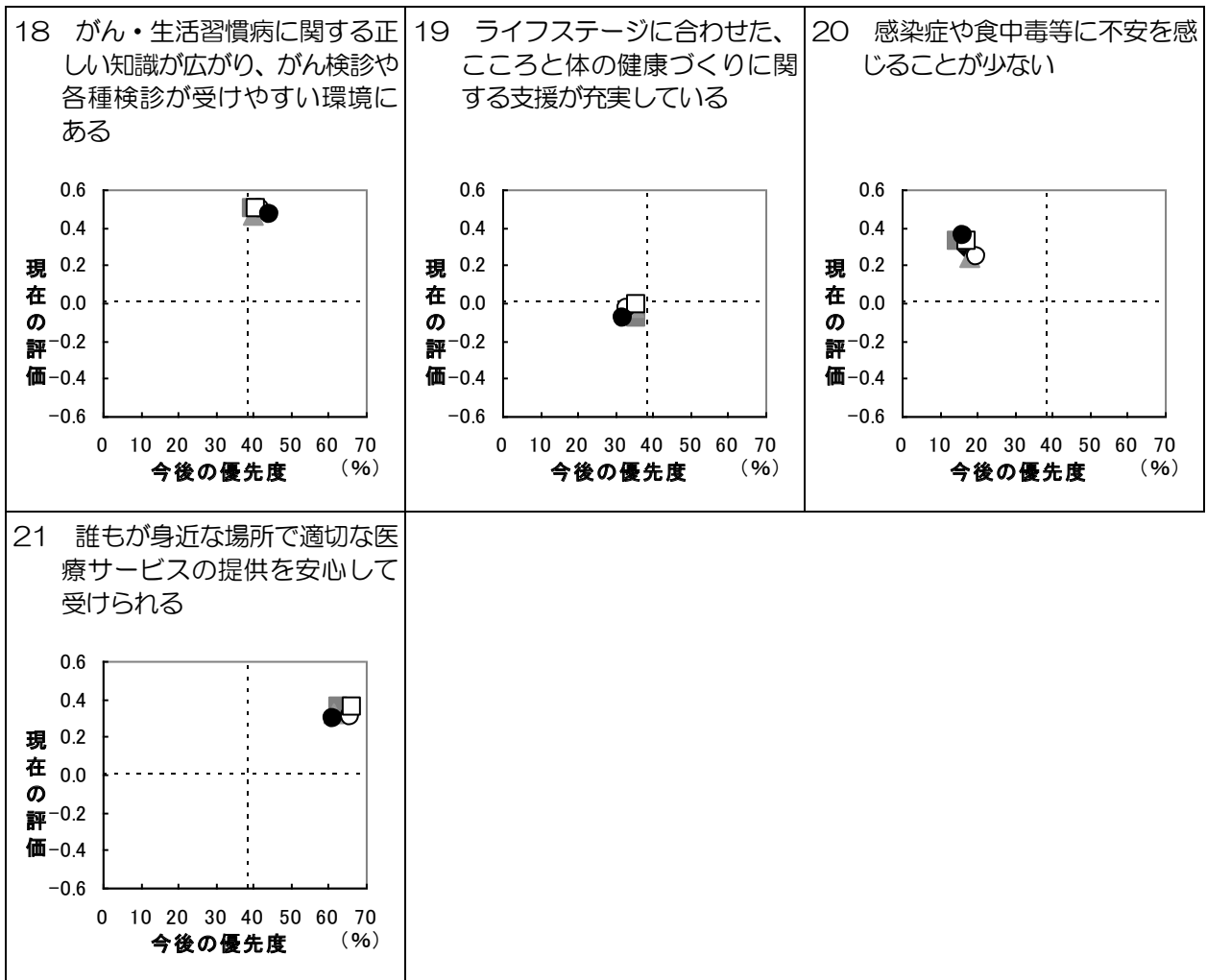
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

④ 健康・保健

- 健康・保健に関する生活環境では、4項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。



【地域別比較】



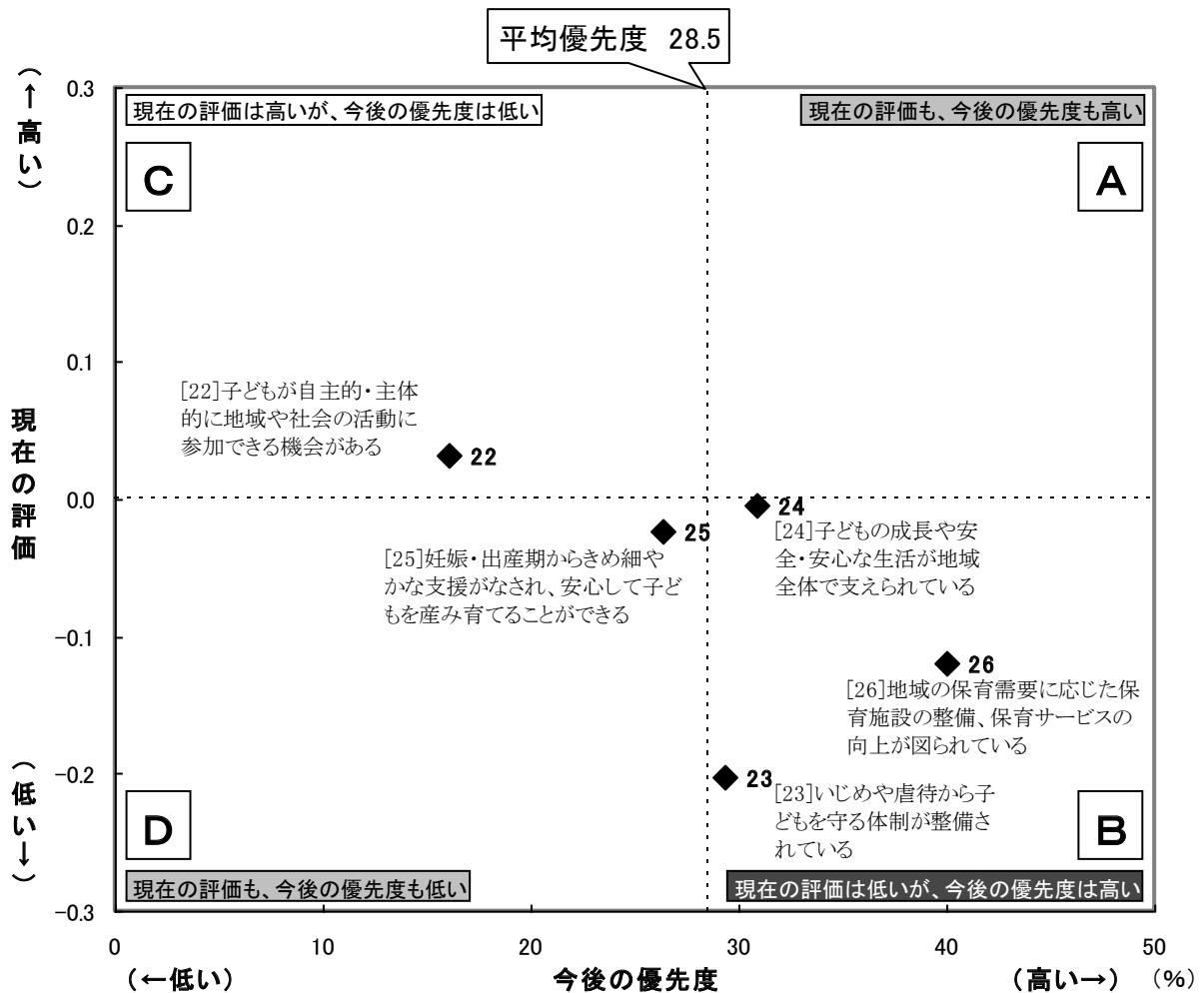
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

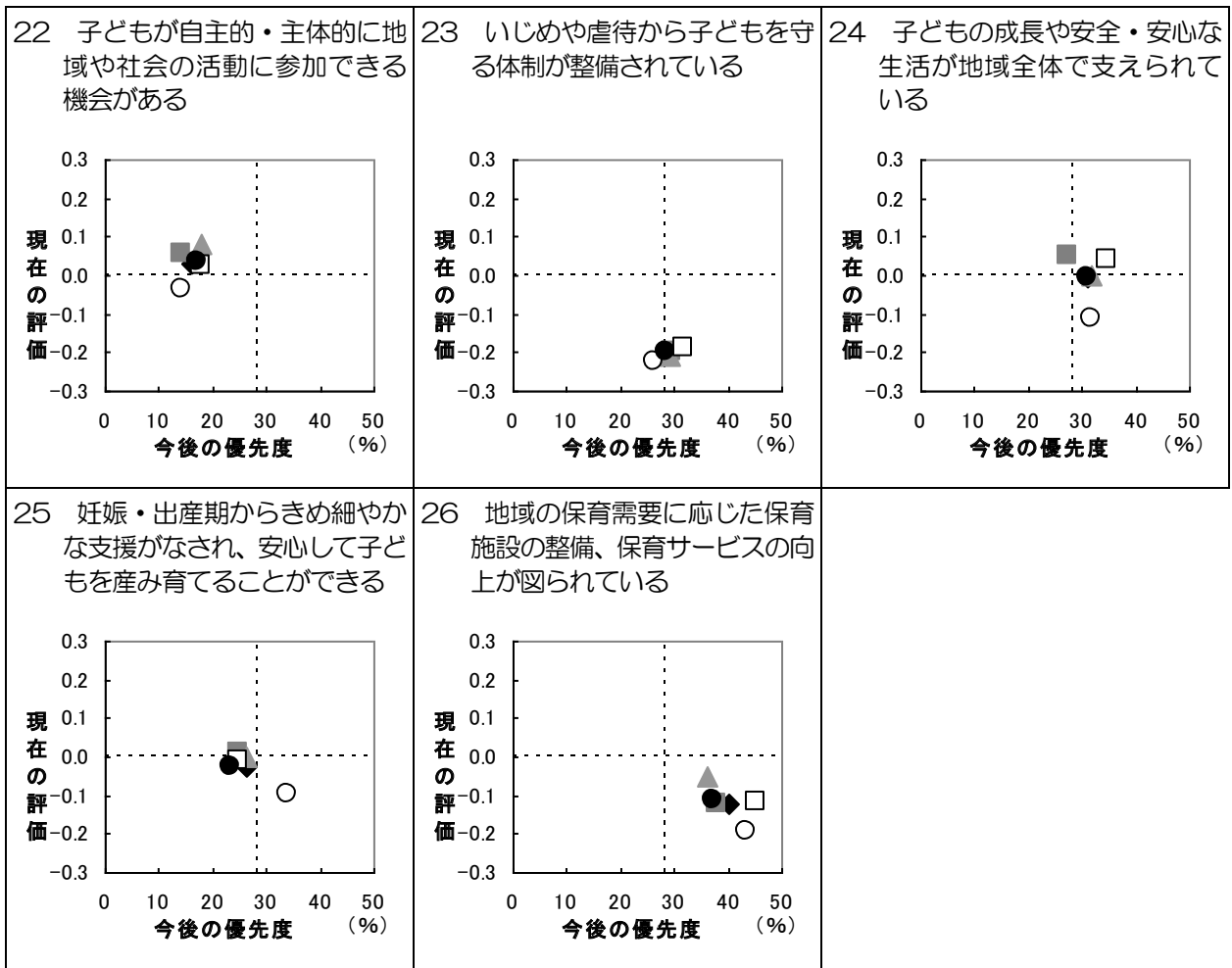
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑤ 子育て

- 子育てに関する生活環境では、5項目のうち3項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」「子どもの成長や安全・安心な生活が地域全体で支えられている」「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」が位置している。



【地域別比較】



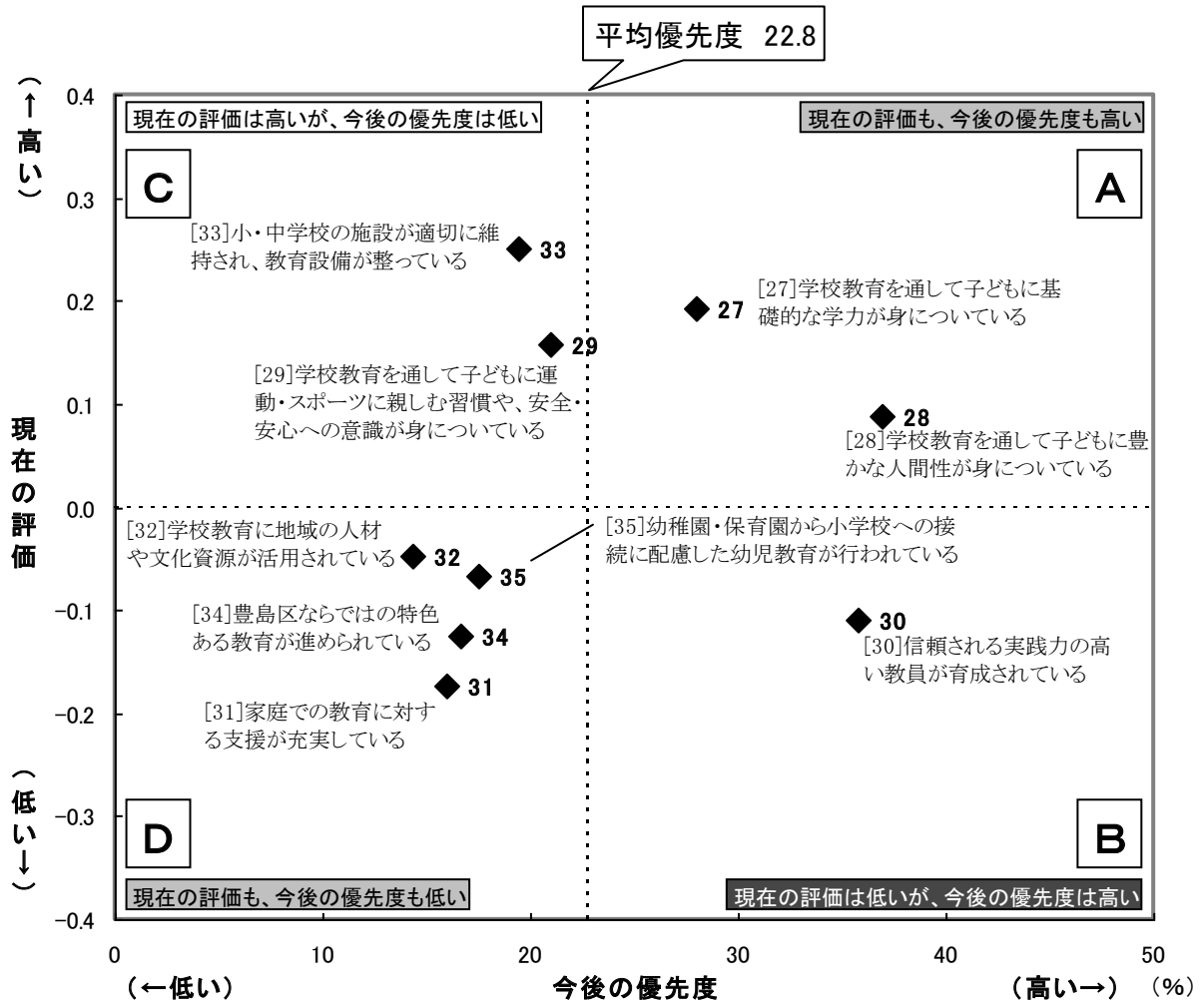
【凡例】

全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

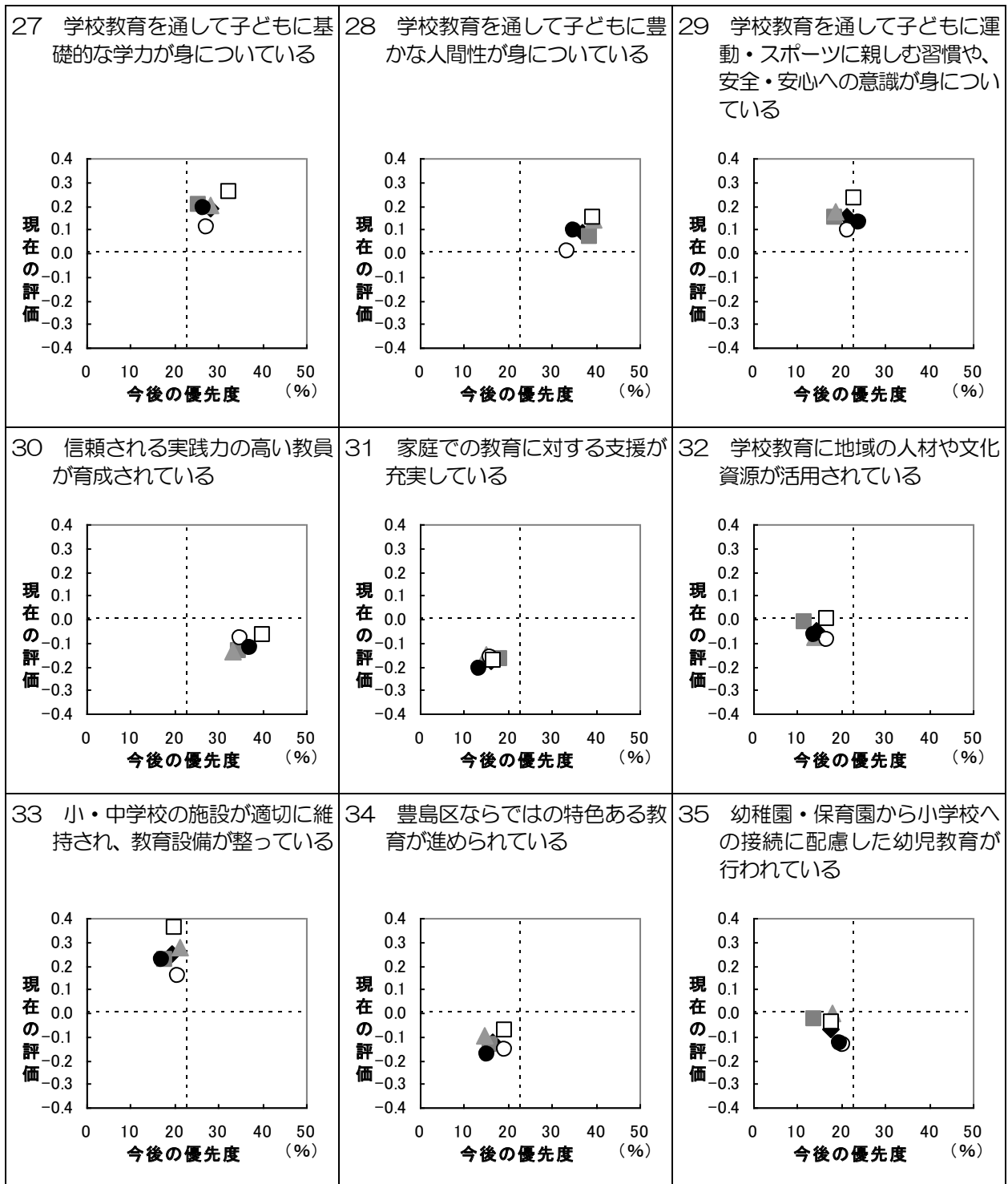
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑥ 教育

- 教育に関する生活環境では、9項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、4項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「信頼される実践力の高い教員が育成されている」が位置している。



【地域別比較】



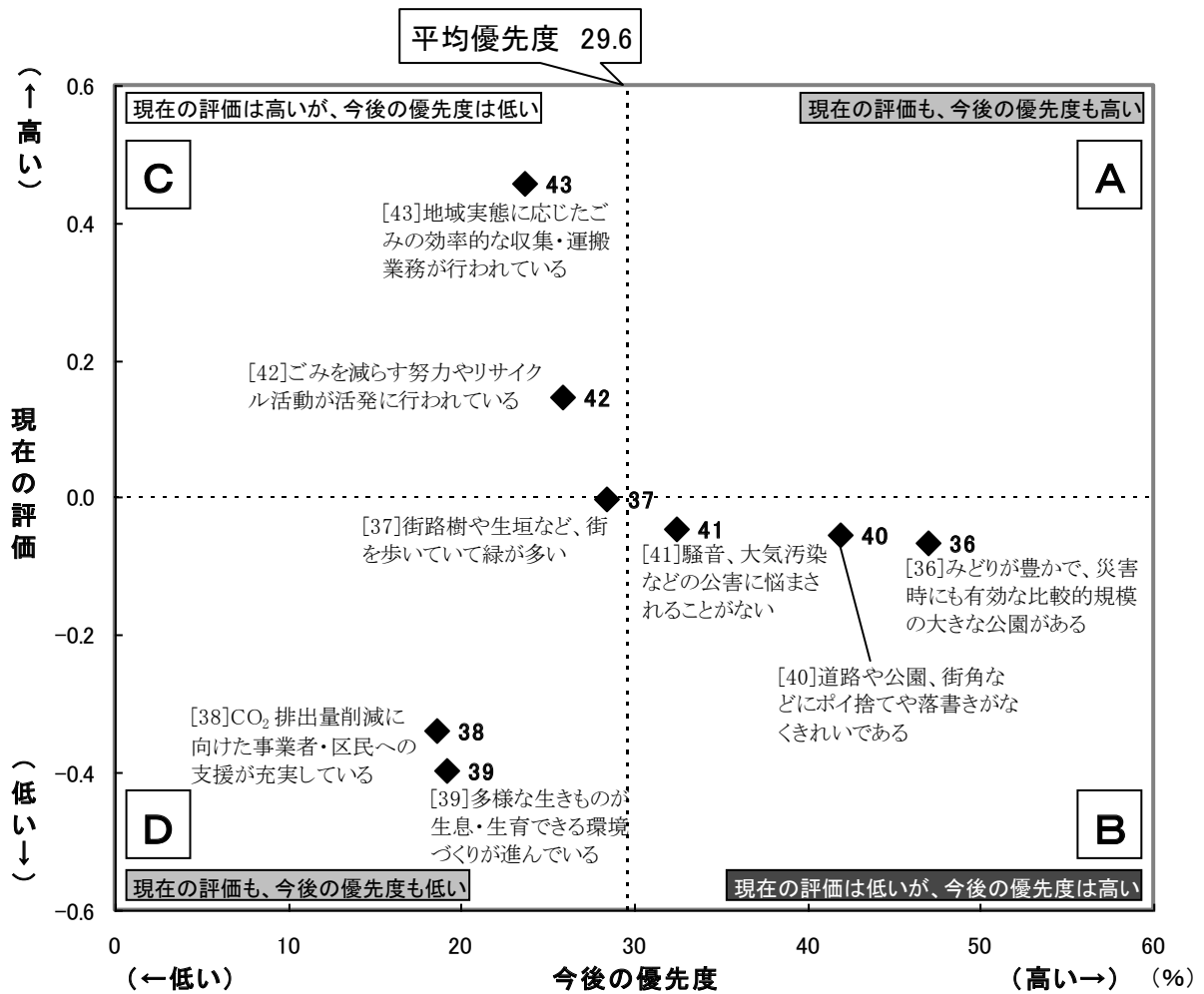
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

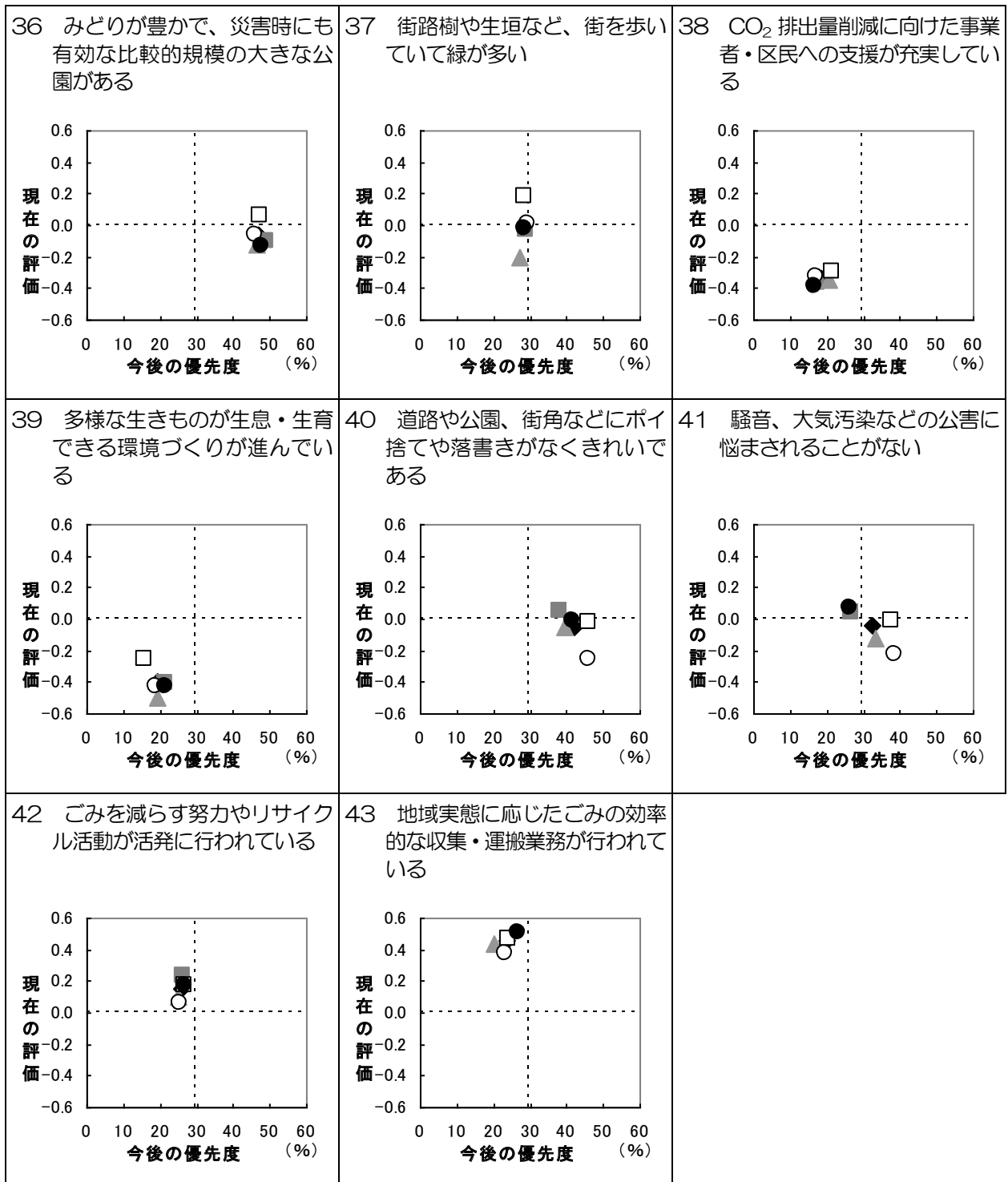
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑦ みどり・環境

- みどり・環境に関する生活環境では、8項目のうち3項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。また、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「みどりが豊かで、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」「騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない」が位置している。



【地域別比較】



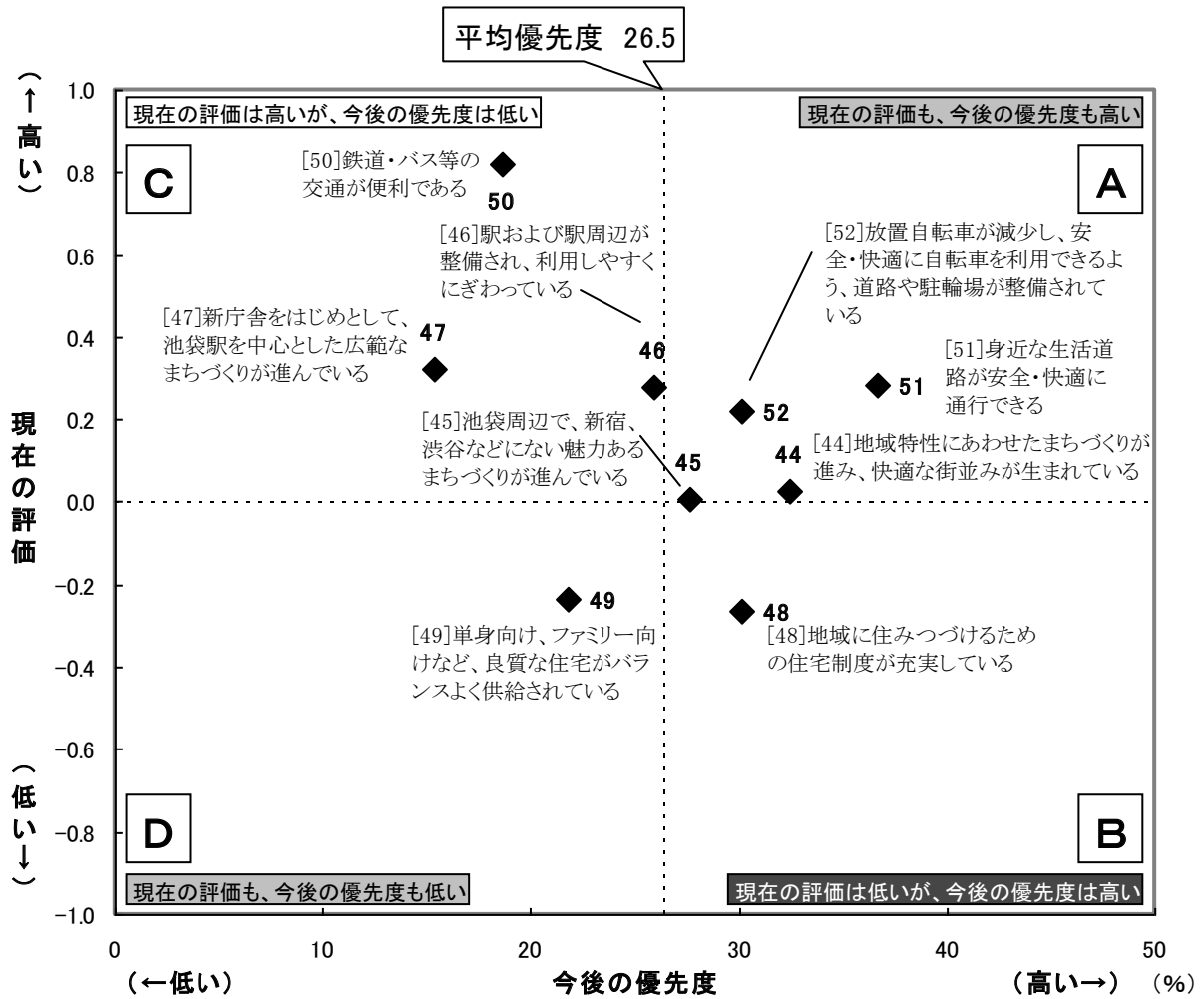
【凡例】

全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

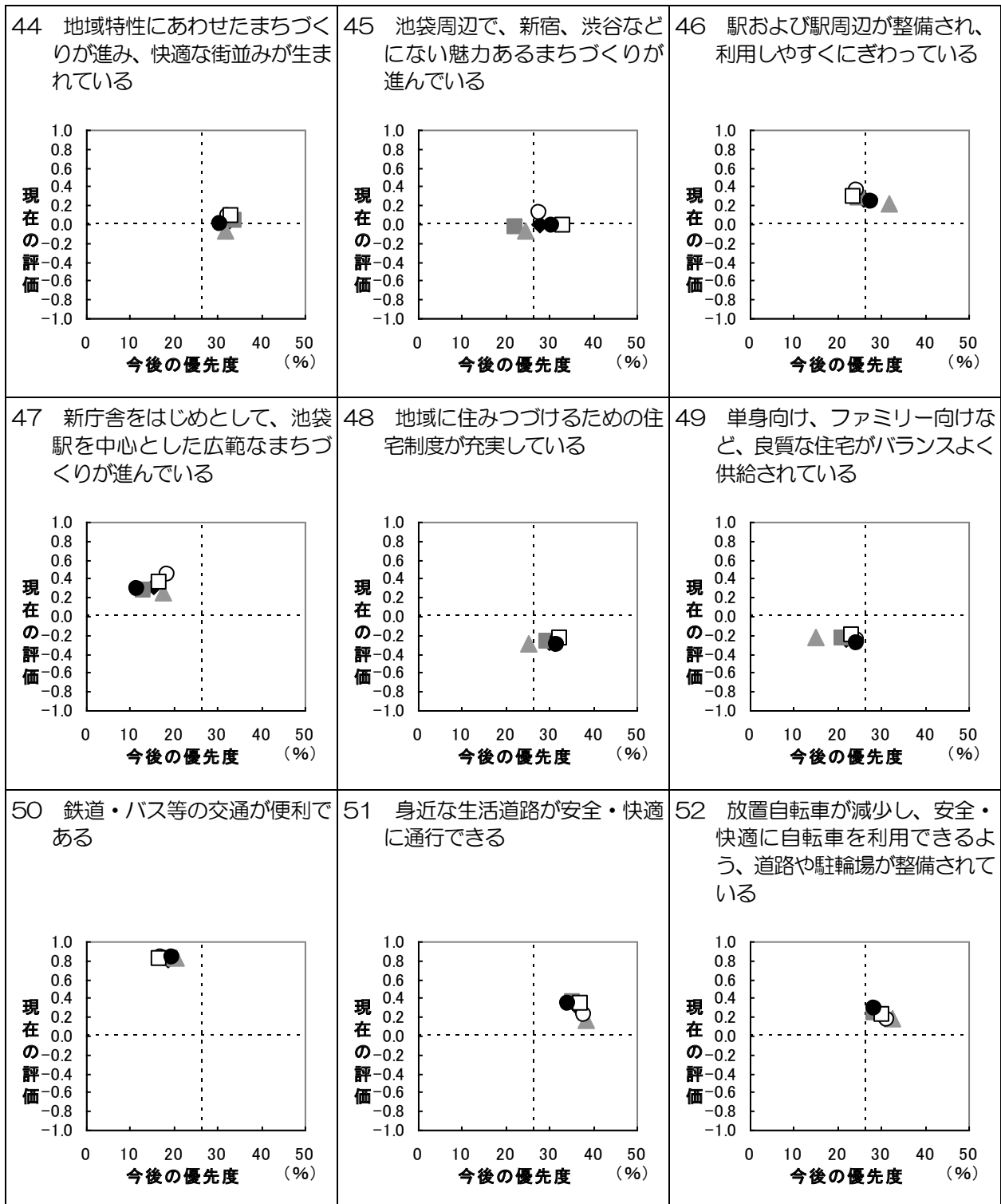
※ 地域の具体的な区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑧ 都市再生・交通

- 都市再生・交通に関する生活環境では、9項目のうち4項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域に住みつつけるための住宅制度が充実している」が位置している。



【地域別比較】



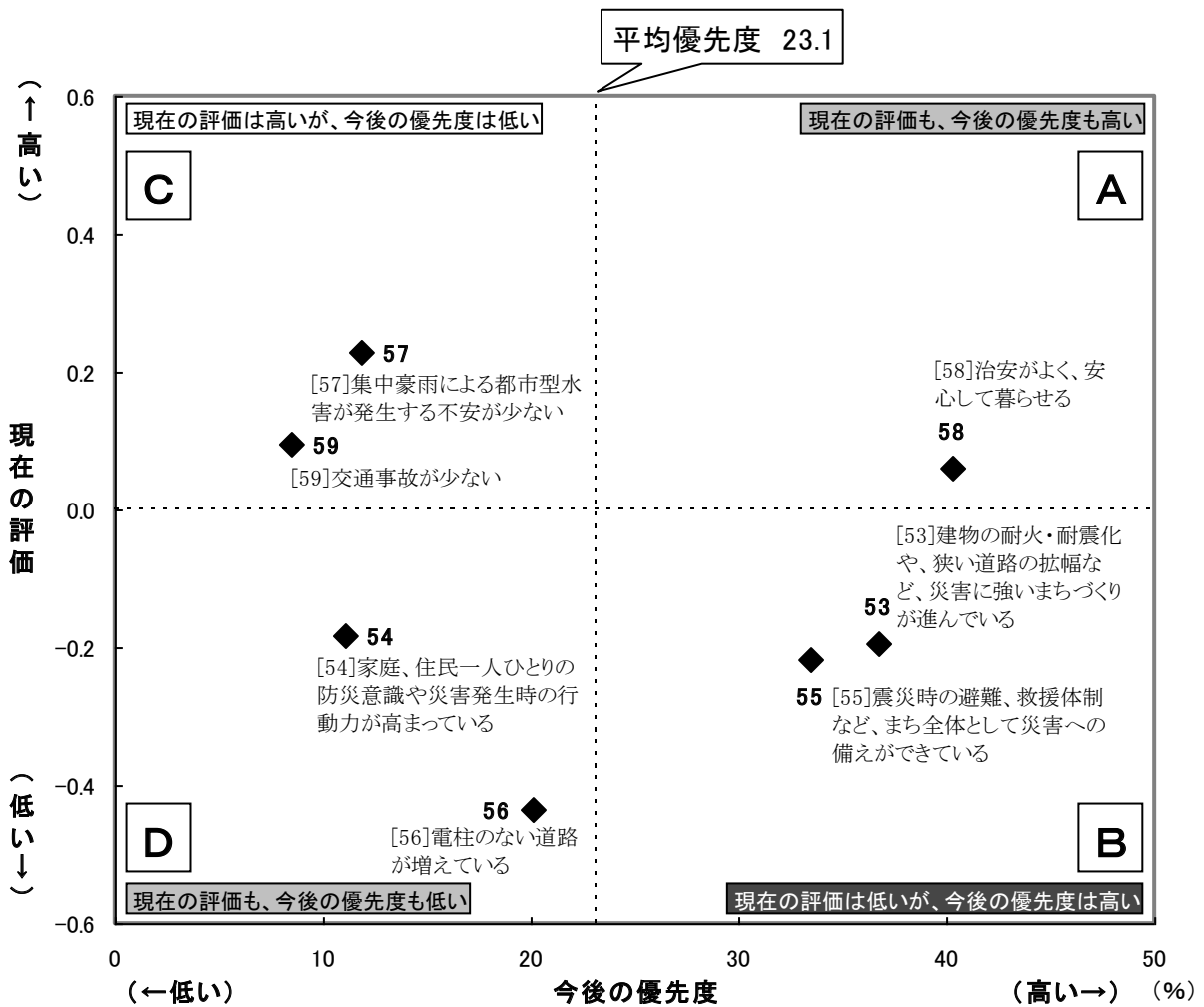
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
- 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

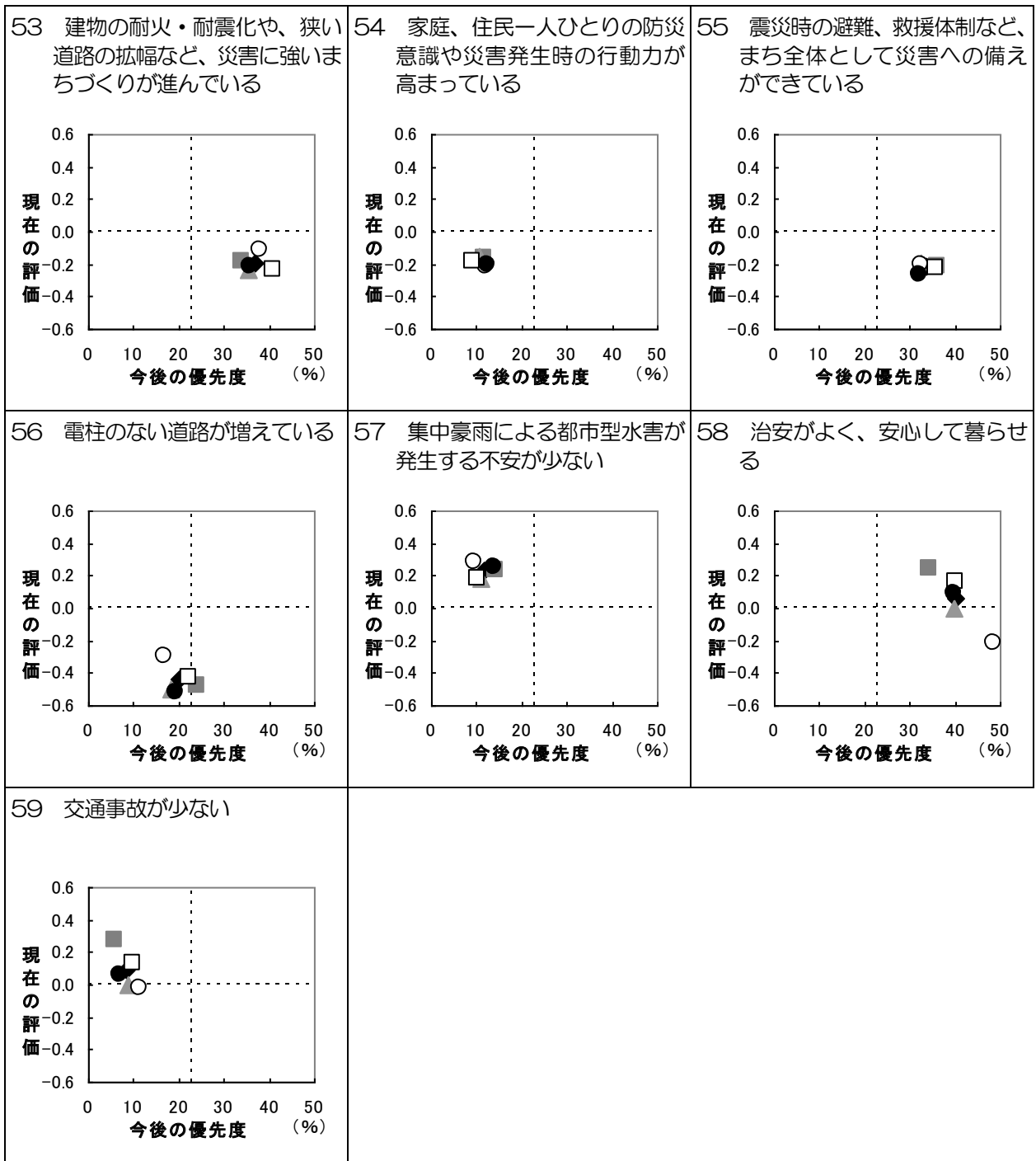
※ 地域の具体的な区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑨ 防災・治安

- 防災・治安に関する生活環境では、7項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています」が位置している。



【地域別比較】



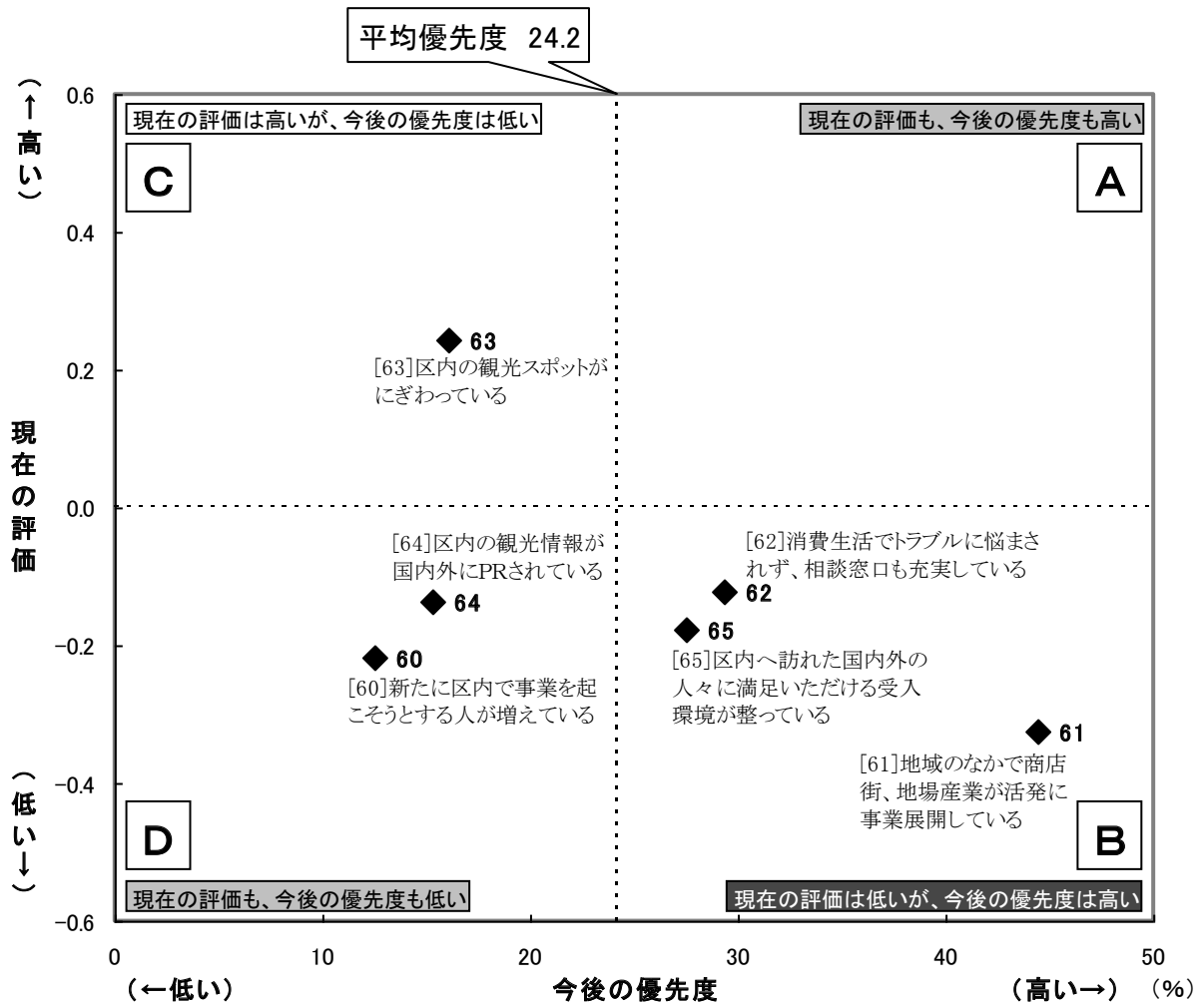
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
- 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

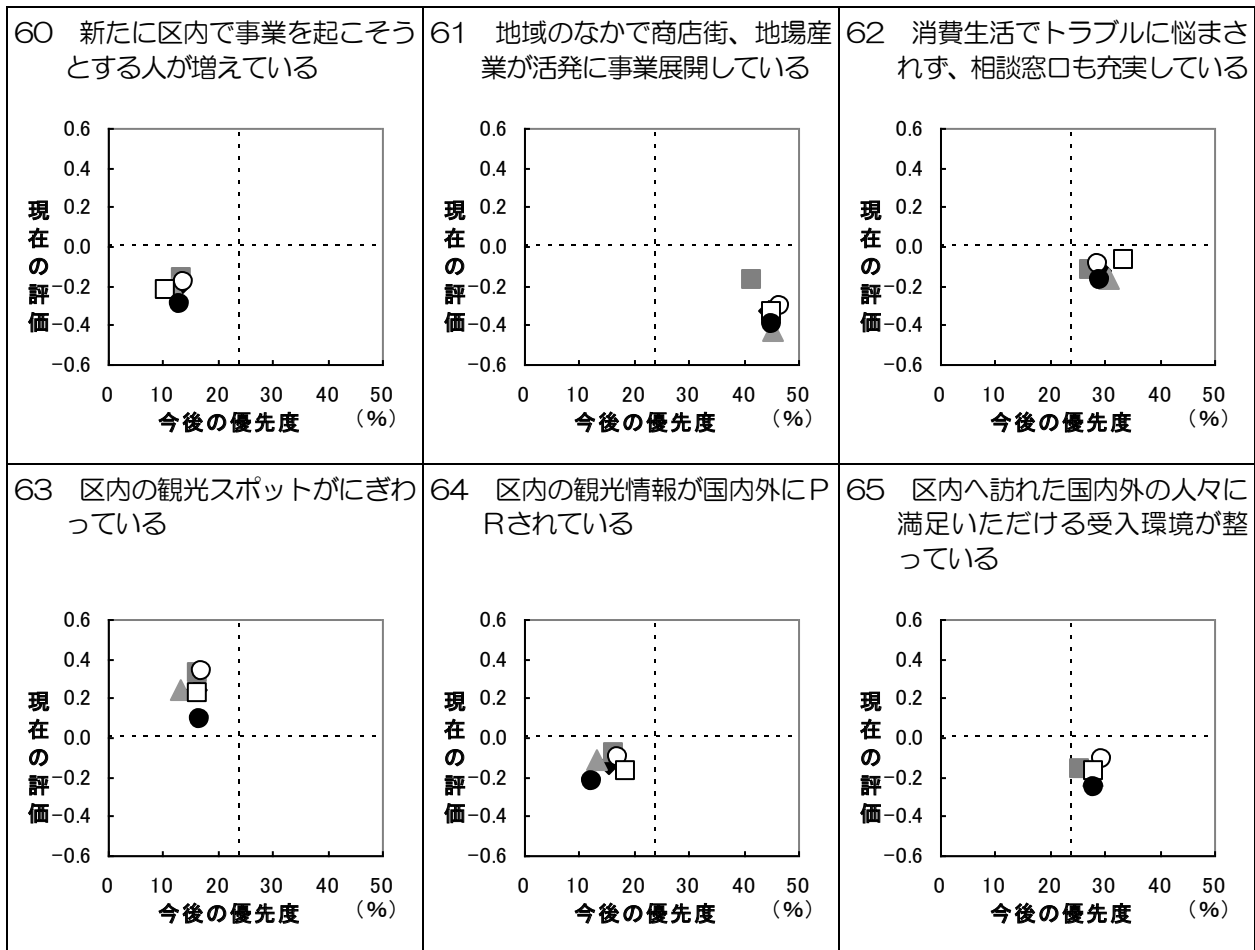
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑩ 商工・観光

- 商工・観光に関する生活環境では、6項目のうち3項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」「区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている」が位置している。



【地域別比較】

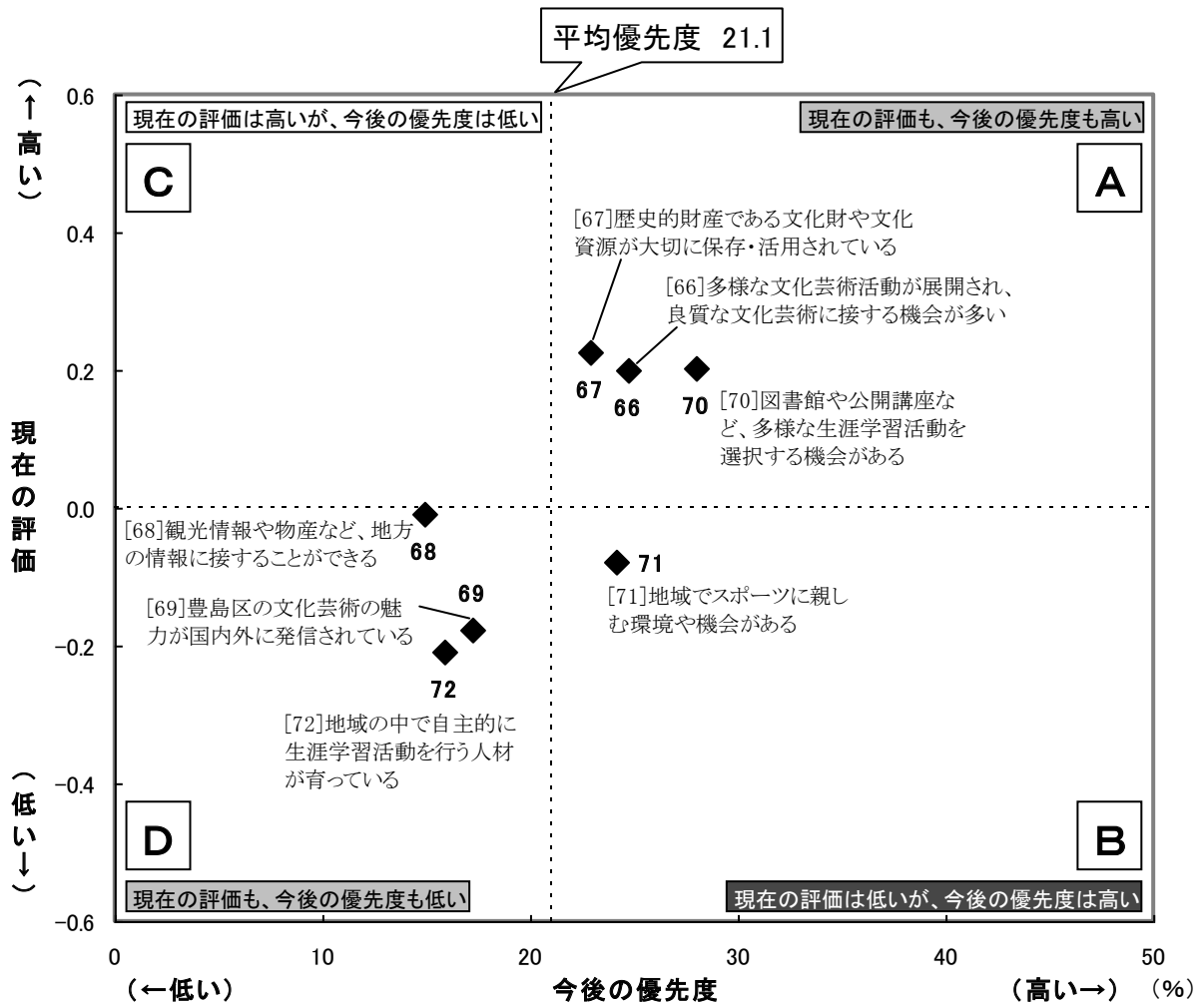


【凡例】
 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

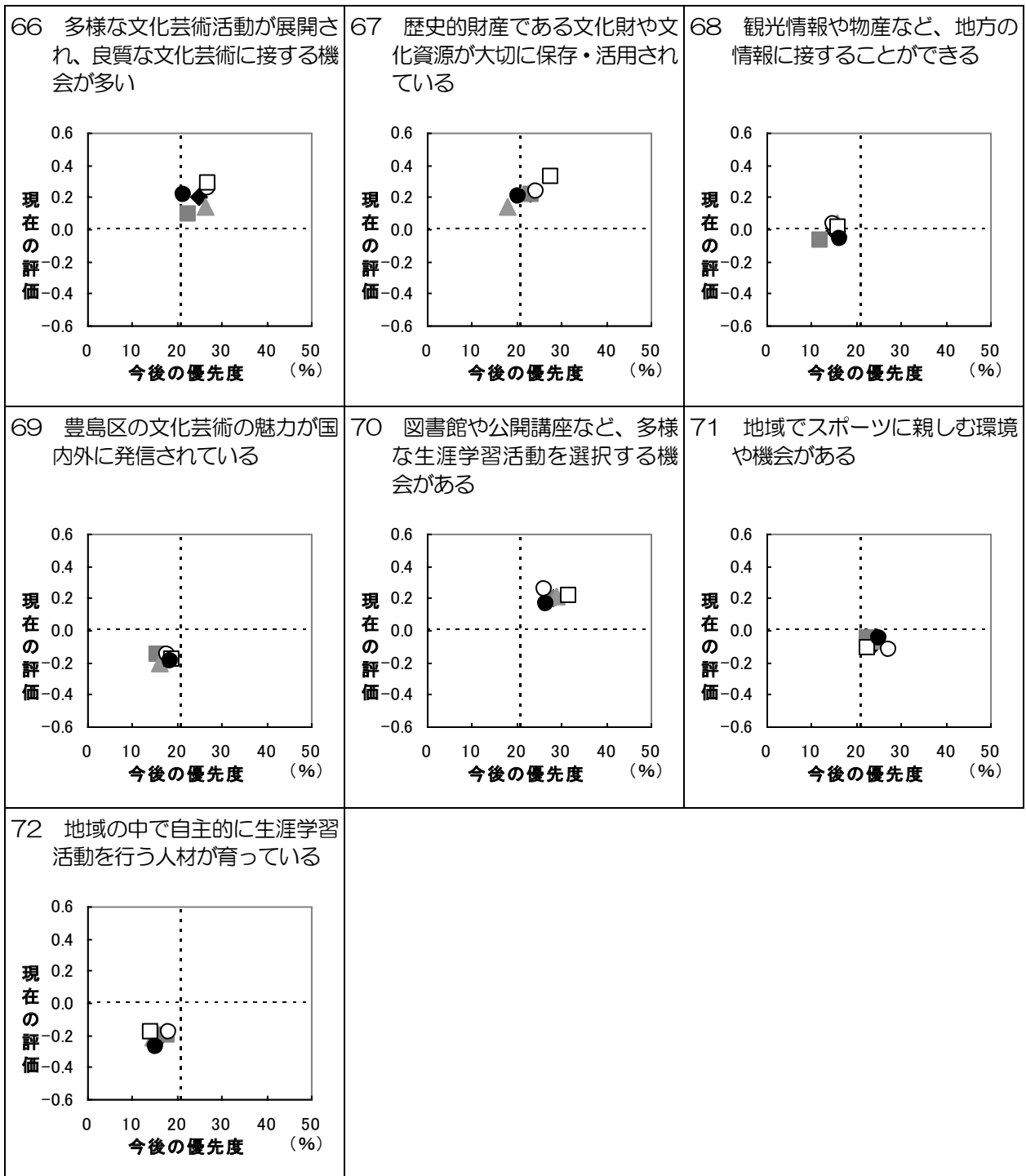
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑪ 文化

- 文化に関する生活環境では、7項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が位置している。



【地域別比較】



【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的な区分は4ページの(6)居住地域名を参照

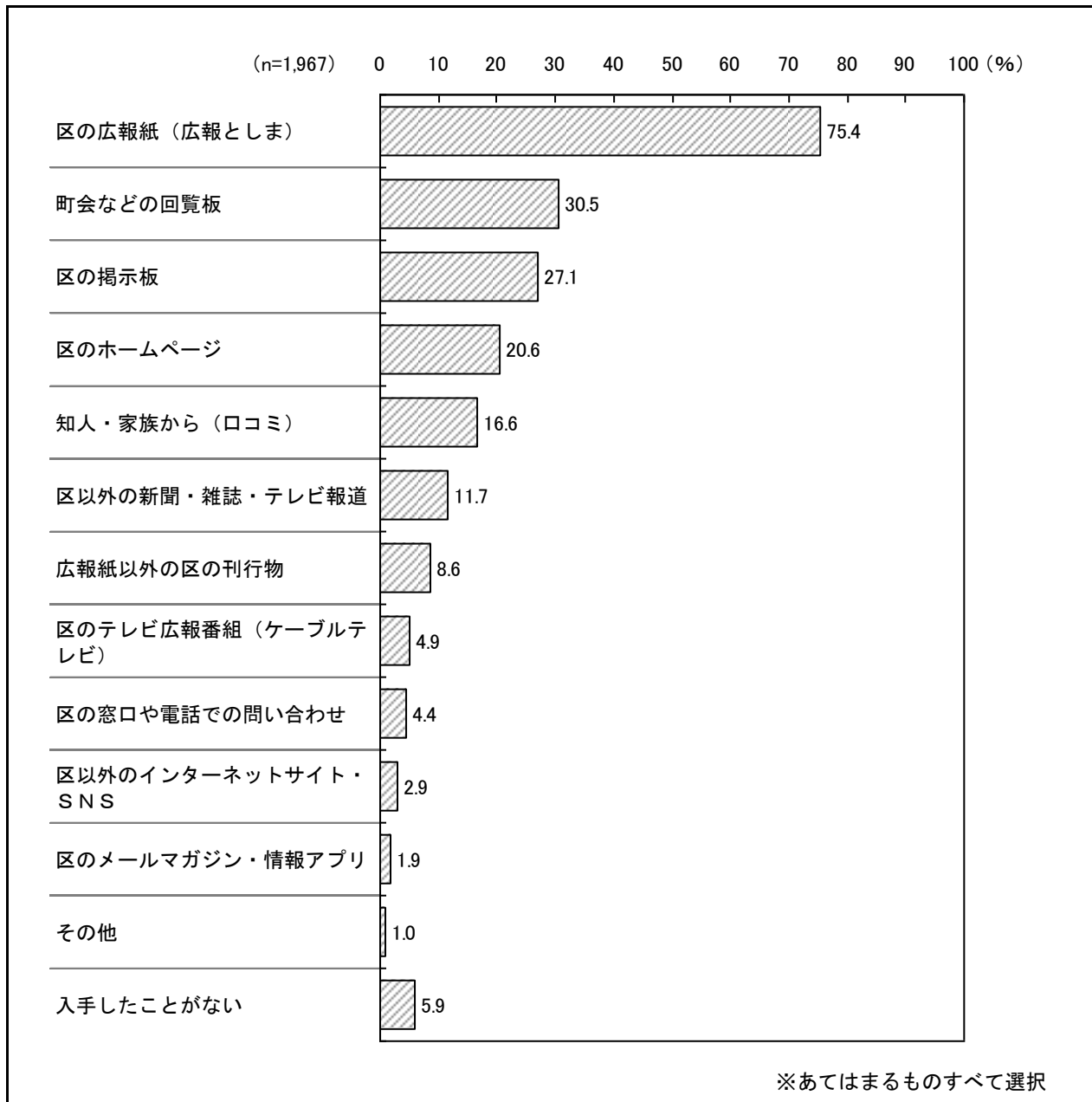
第3章

区の情報・区の政策等について

第3章 区の情報・区の政策等について

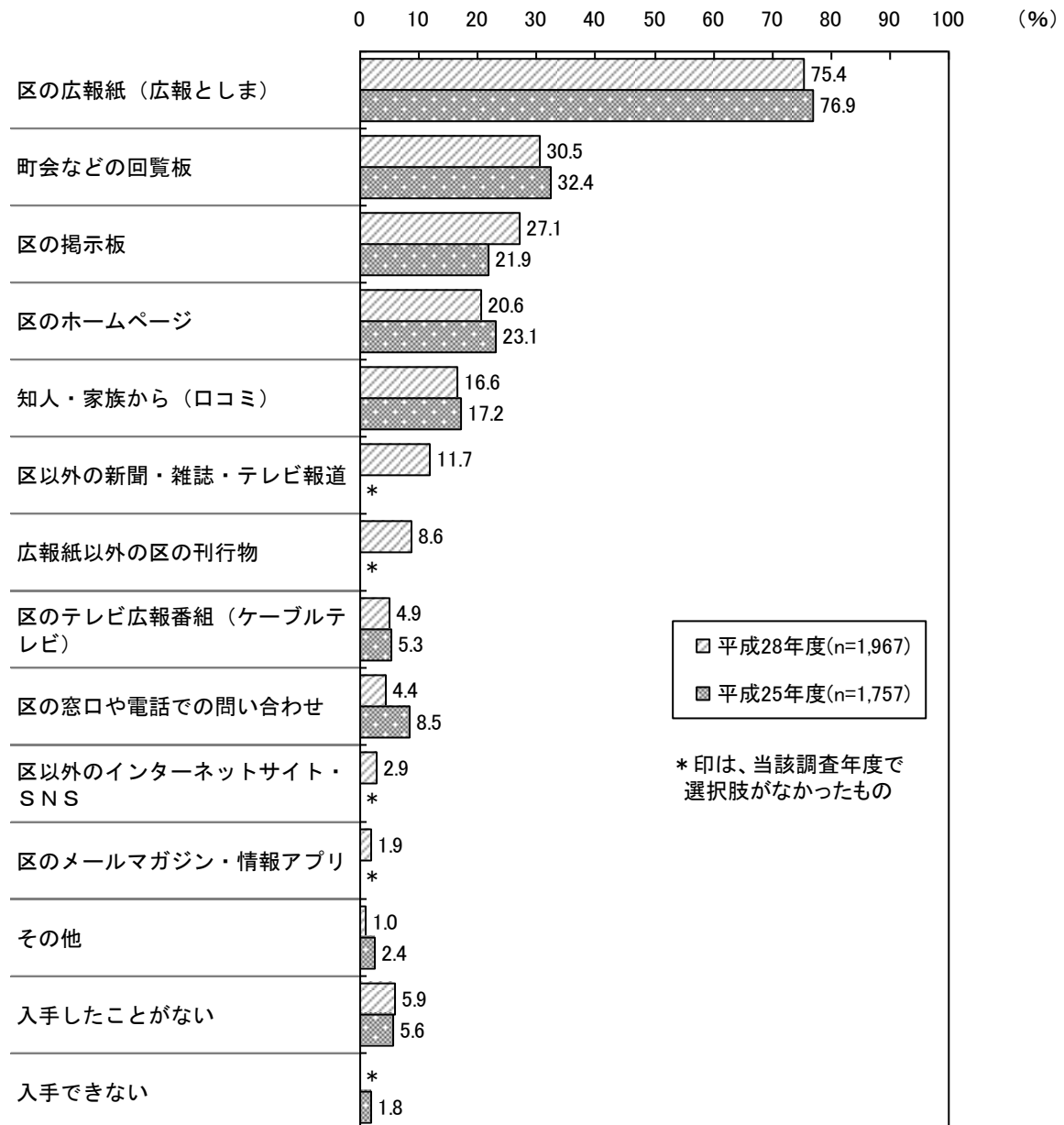
1 区の情報を知るための手段〔問7〕

- 区の情報を知るための手段について聞いたところ、「区の広報紙（広報としま）」（75.4%）が7割台半ばと最も高く、以下、「町会などの回覧板」（30.5%）、「区の掲示板」（27.1%）、「区のホームページ」（20.6%）などとなっている。



【経年比較】

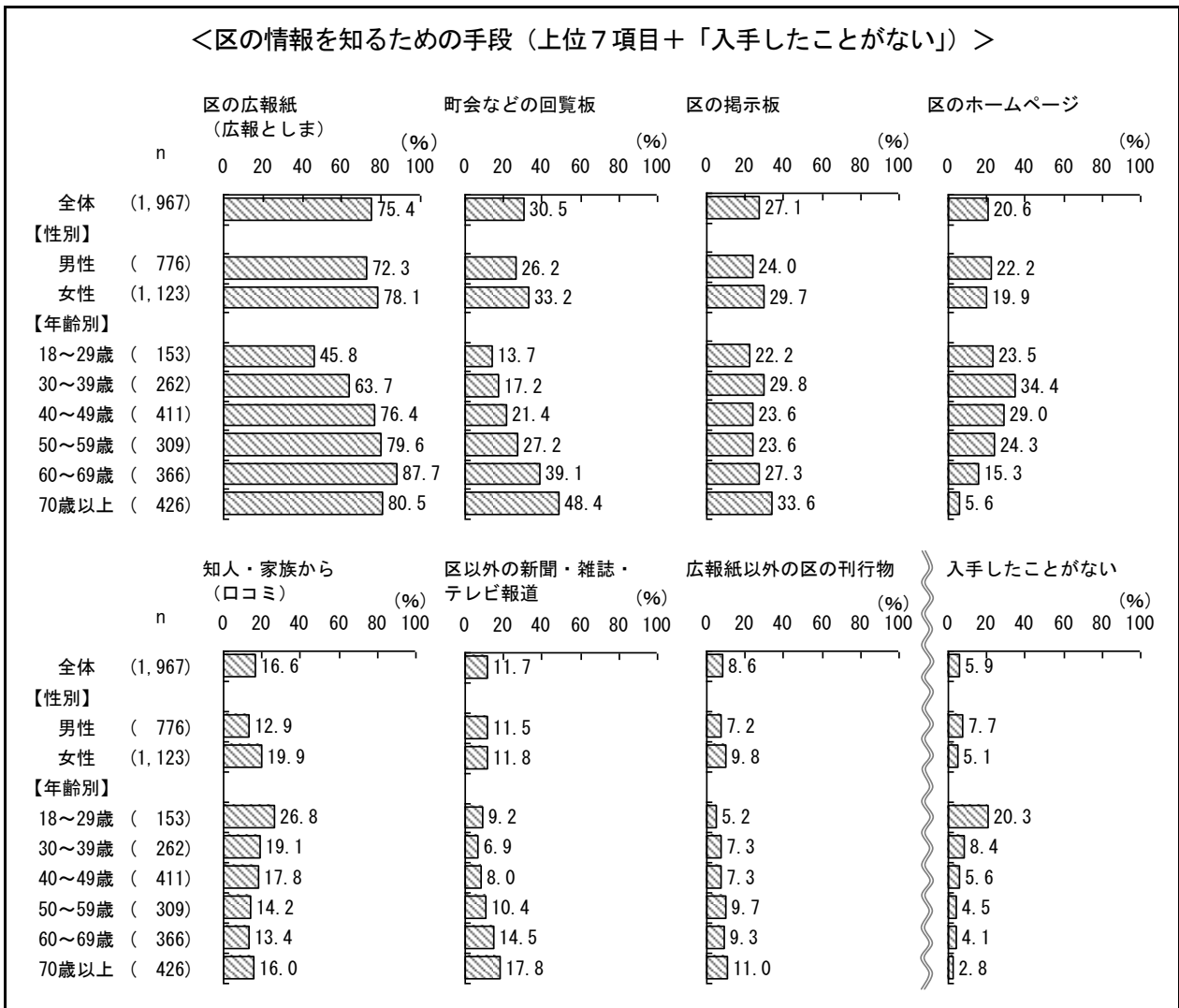
●過去の調査と比較すると、平成25年度と比べて大きな変化はみられないものの、「区の掲示板」は平成25年度から5.2ポイント高くなっており、また、「区の窓口や電話での問い合わせ」は4.1ポイント、「区のホームページ」は2.5ポイント低くなっている。



※あてはまるものすべて選択

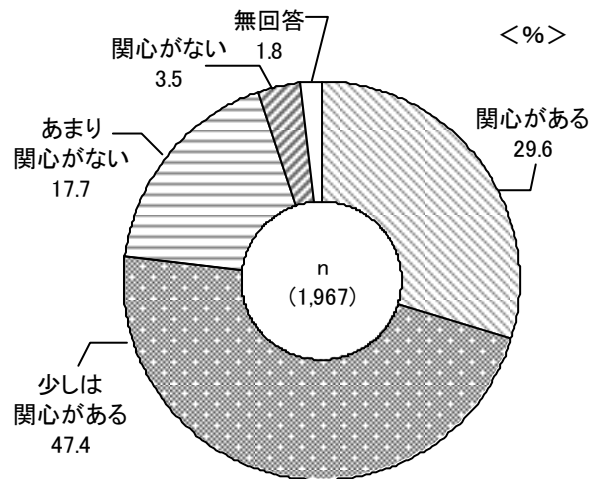
【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「区の広報紙（広報としま）」は、女性（78.1%）が男性（72.3%）よりも5.8ポイント高くなっている。また、「町会などの回覧板」や「区の掲示板」についても、女性の回答割合が男性に比べて高くなっている。
- 年齢別で見ると、「区の広報紙（広報としま）」と「町会などの回覧板」は、おおむね年齢が上がるほど高くなっている。一方、「区のホームページ」は30～39歳（34.4%）が最も高く、年齢が上がるほど低くなる傾向がみられる。



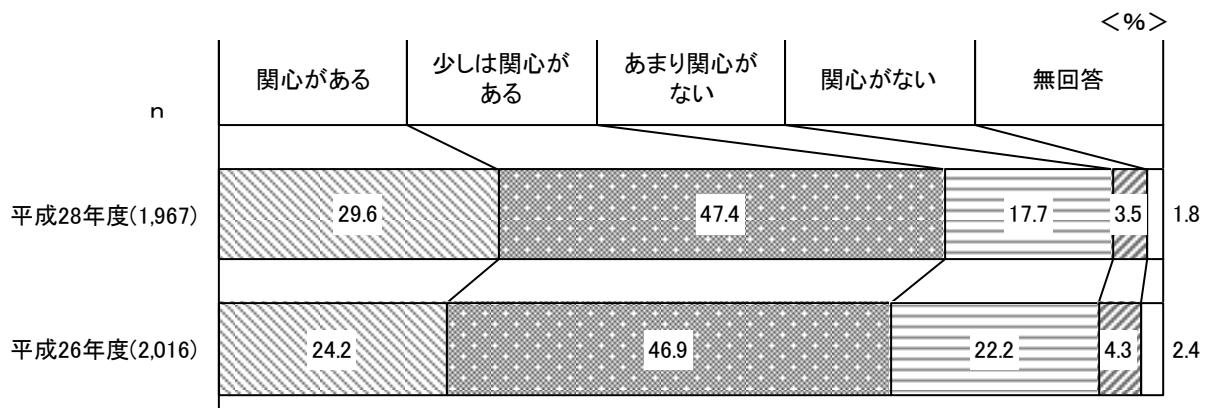
2 区政への関心〔問8〕

- 区政に対する関心については、「少しは関心がある」(47.4%)が4割台半ばと最も高く、「関心がある」(29.6%)と合わせた“関心がある”(77.0%)としてみると7割台半ばとなっている。
- 「あまり関心がない」(17.7%)と「関心がない」(3.5%)を合わせた“関心がない”(21.2%)としてみると、2割強となっている。



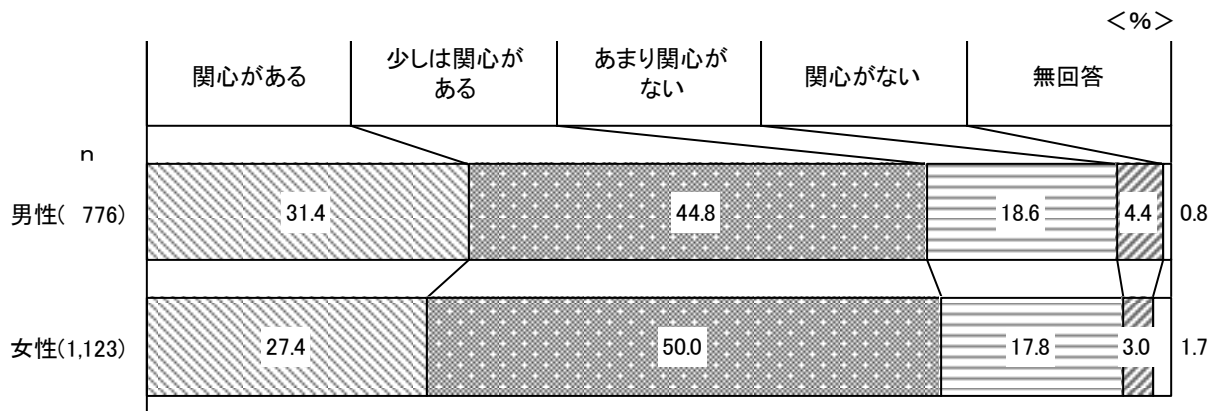
【経年比較】

- 平成26年度調査（豊島区基本計画策定のための区民意識調査）と比較すると、“関心がある”は5.9ポイント高くなっている。



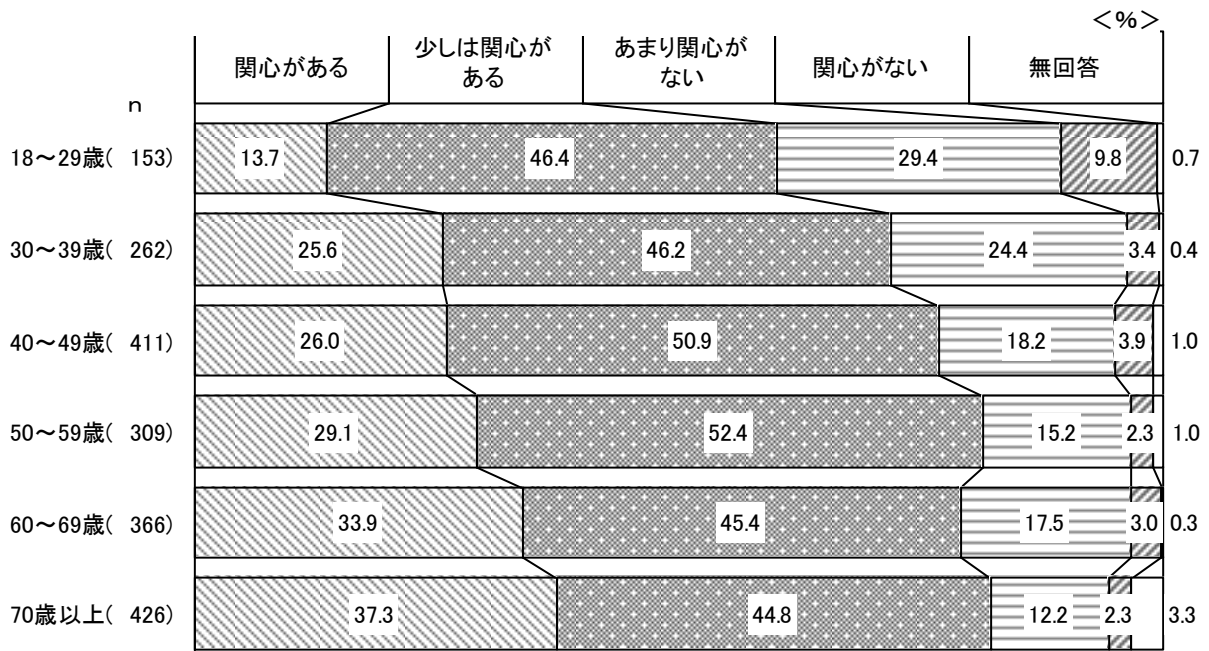
【性別】

- 「関心がある」は、男性（31.4%）が女性（27.4%）に比べて4.0ポイント高くなっているが、“関心がある”でみると、女性が1.2ポイント高くなっている。



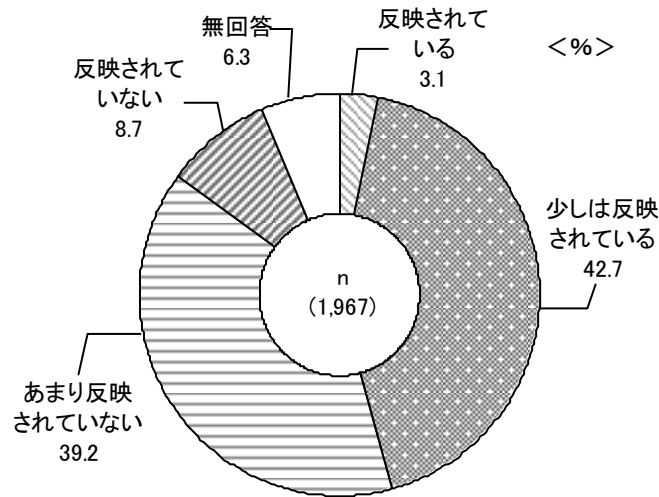
【年齢別】

- 「関心がある」は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、18～29歳（13.7%）は1割強と低いものの、60～69歳（33.9%）や70歳以上（37.3%）では3割を超えている。
- “関心がある”は50～59歳（81.5%）と70歳以上（82.1%）で8割を超えている。



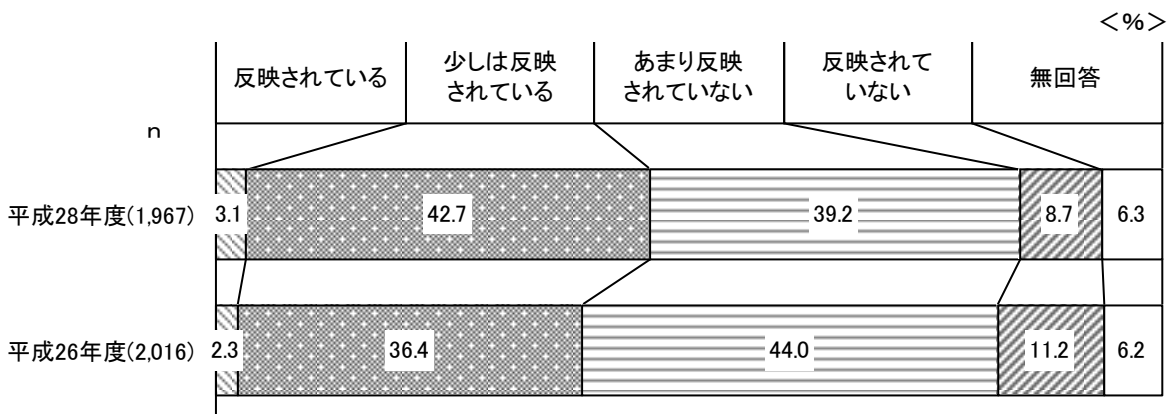
3 区の政策に区民の意見が反映されているか〔問9〕

- 区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されているかについては、「少しは反映されている」(42.7%)が4割強と最も高く、「反映されている」(3.1%)と合わせた“反映されている”(45.8%)としてみると4割台半ばとなっている。
- 「あまり反映されていない」(39.2%)と「反映されていない」(8.7%)を合わせた“反映されていない”(47.9%)としてみると、4割台半ばを超えている。



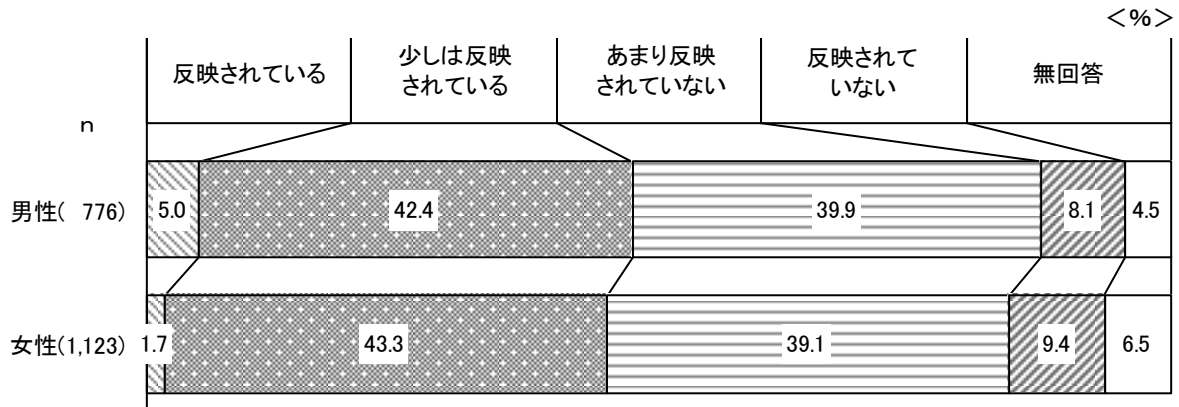
【経年比較】

- 平成26年度調査(豊島区基本計画策定のための区民意識調査)と比較すると、“反映されている”は7.1ポイント高くなっている。



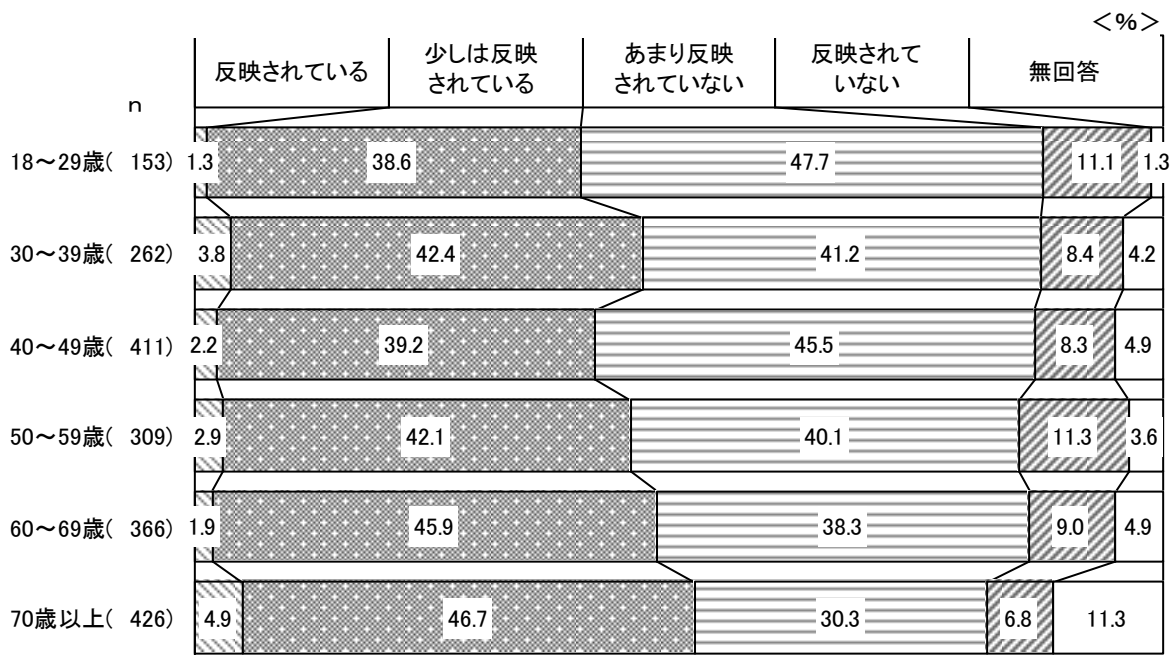
【性別】

- 「反映されている」は、男性（5.0%）が女性（1.7%）に比べて3.3ポイント高くなっている。また、“反映されている”でも、男性（47.4%）が女性（45.0%）に比べて2.4ポイント高くなっている。



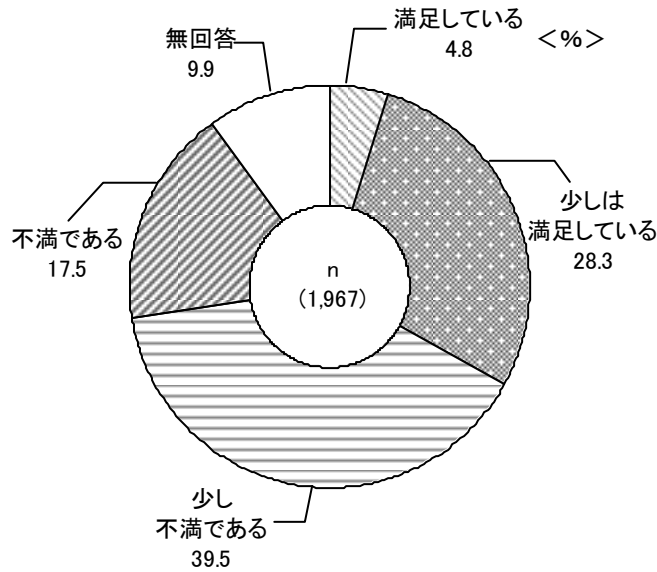
【年齢別】

- “反映されている”は、おおむね年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、70歳以上（51.6%）で5割を超えている。



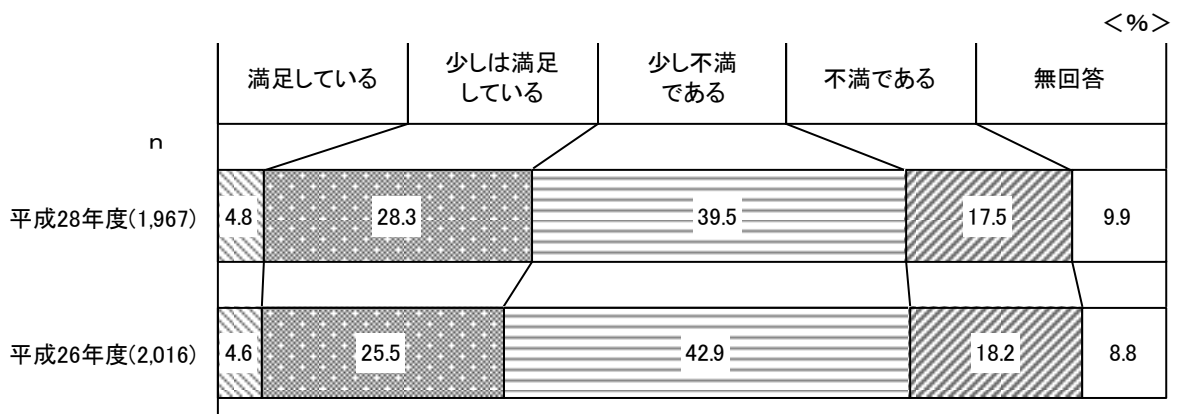
4 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度〔問 10〕

- 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度については、「満足している」(4.8%)と「少しは満足している」(28.3%)と合わせた“満足している”(33.1%)としてみると、3割強となっている。
- 「少し不満である」(39.5%)と「不満である」(17.5%)を合わせた“不満である”(57.0%)としてみると、5割台半ばとなっている。



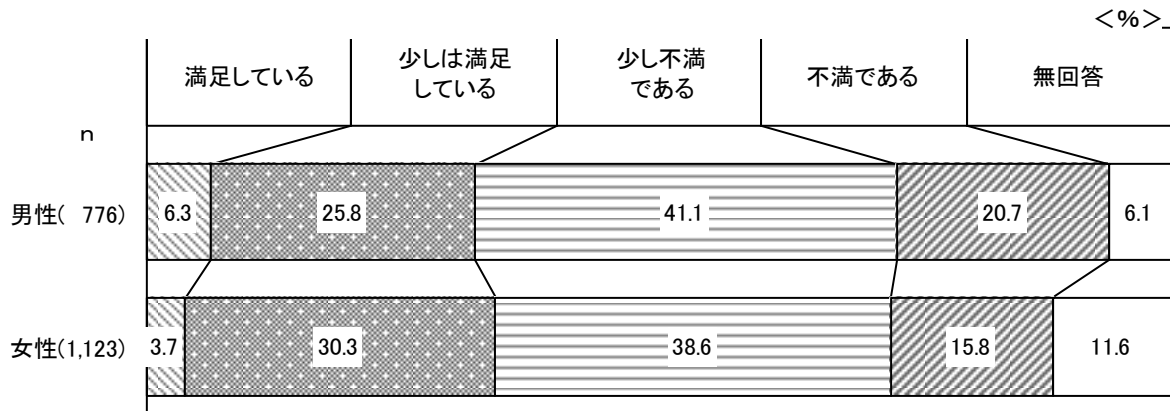
【経年比較】

- 平成 26 年度調査（豊島区基本計画策定のための区民意識調査）と比較すると、“満足している”は 3.0 ポイント高くなっている。



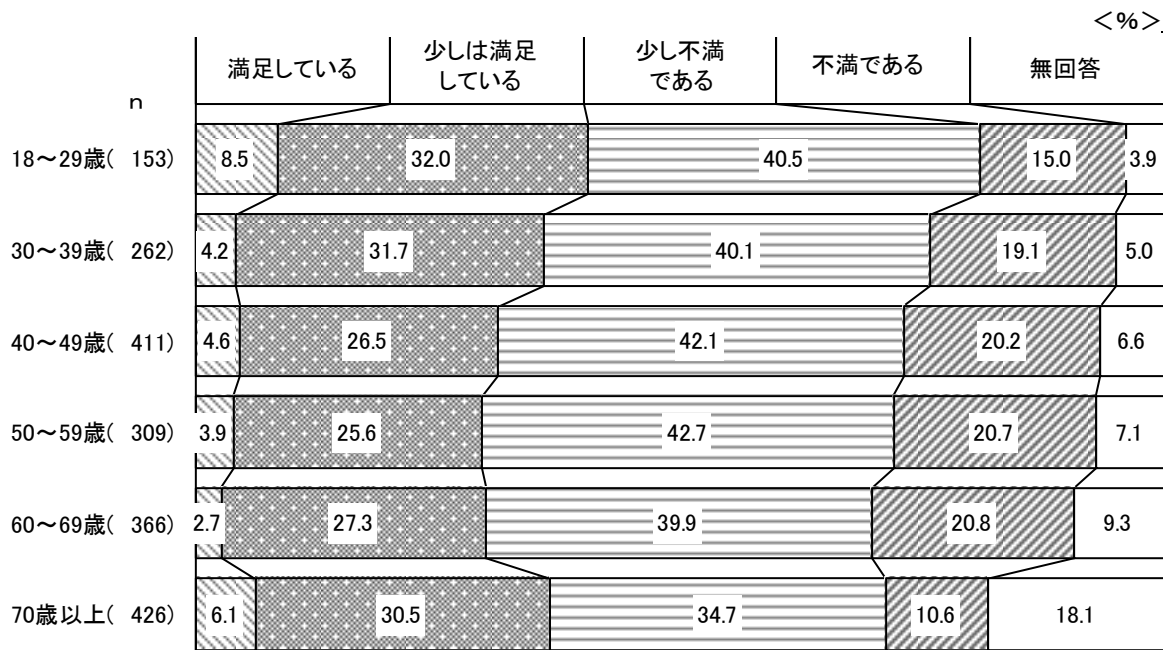
【性別】

- “満足している” は、女性（34.0%）が男性（32.1%）に比べて1.9ポイント高くなっている。
- 「不満である」は、男性（20.7%）が女性（15.8%）に比べて4.9ポイント高くなっている。



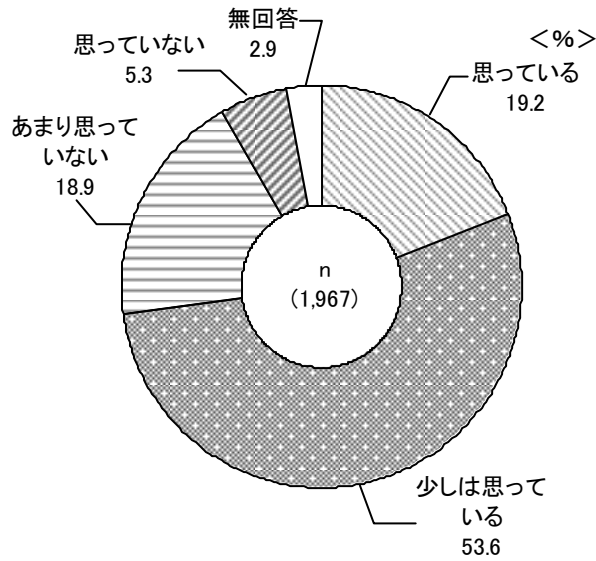
【年齢別】

- “満足している” は、18～29歳（40.5%）で約4割と最も高く、次いで70歳以上（36.6%）が3割台半ばとなっている。



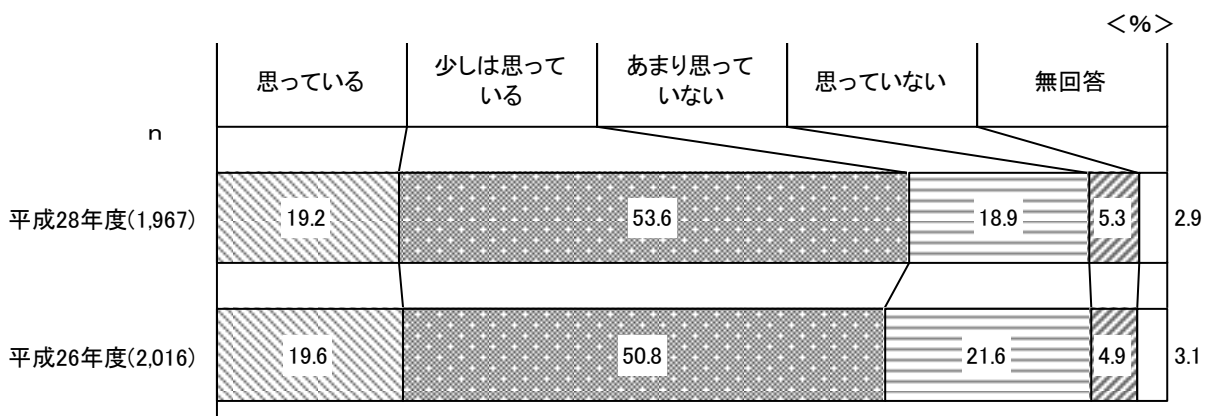
5 地域のために何か役に立ちたいか〔問 11〕

- 日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っているかについては、「少しは思っている」(53.6%)が5割強と最も高く、「思っている」(19.2%)と合わせた“思っている”(72.8%)としてみると、7割強となっている。
- 「あまり思っていない」(18.9%)と「思っていない」(5.3%)を合わせた“思っていない”(24.2%)としてみると、2割台半ばとなっている。



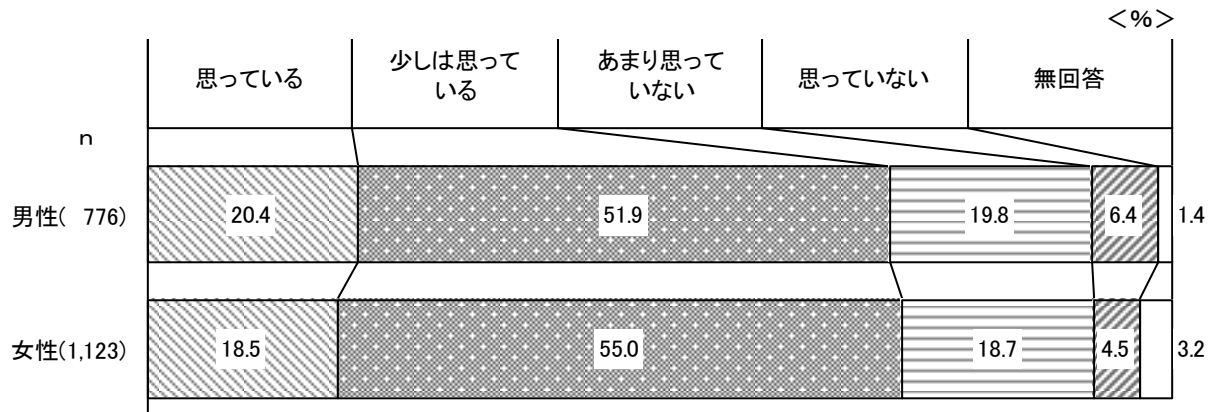
【経年比較】

- 平成 26 年度調査（豊島区基本計画策定のための区民意識調査）と比較すると、“思っている”は2.4ポイント高くなっている。



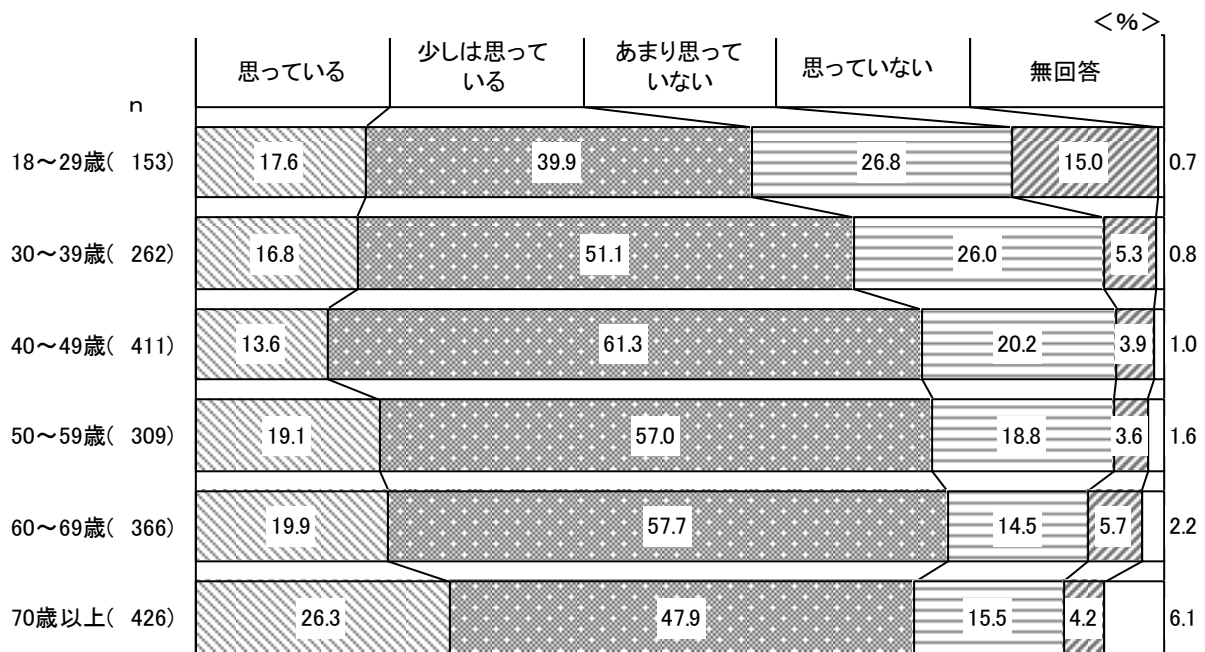
【性別】

- 「思っている」は、男性（20.4%）が女性（18.5%）に比べて 1.9 ポイント高くなっている。また、“思っている”でみると、女性（73.5%）が男性（72.3%）に比べて 1.2 ポイント高くなっている。



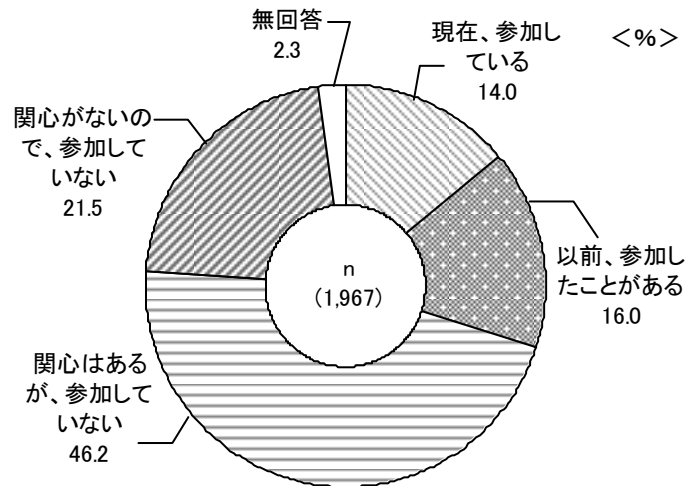
【年齢別】

- 「思っている」は 70 歳以上（26.3%）で最も高くなっており、40～49 歳（13.6%）では 1 割強と他の年代に比べてやや低くなっている。
- “思っている”でみると、40～49 歳（74.9%）では 7 割半ばとなっており、60～69 歳（77.6%）、50～59 歳（76.1%）に次ぐ割合となっている。



6 町会、自治会などの地域活動への参加状況〔問12〕

- 町会、自治会などの地域活動への参加状況については、「関心はあるが、参加していない」（46.2%）が4割台半ばと最も多く、次いで「関心がないので、参加していない」（21.5%）が2割強である。
- 「以前、参加したことがある」（16.0%）と「現在、参加している」（14.0%）が、それぞれ1割台半ばとなっている。



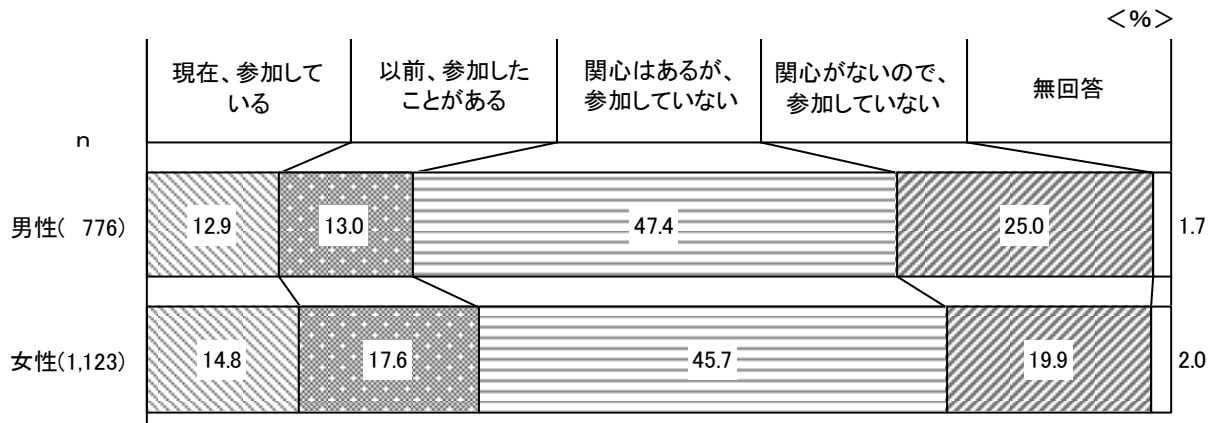
【経年比較】

- 平成26年度調査（豊島区基本計画策定のための区民意識調査）と比較すると、「関心がないので、参加していない」は2.4ポイント低くなっている。

n	<%>				
	現在、参加している	以前、参加したことがある	関心はあるが、参加していない	関心がないので、参加していない	無回答
平成28年度(1,967)	14.0	16.0	46.2	21.5	2.3
平成26年度(2,016)	13.9	14.9	45.0	23.9	2.3

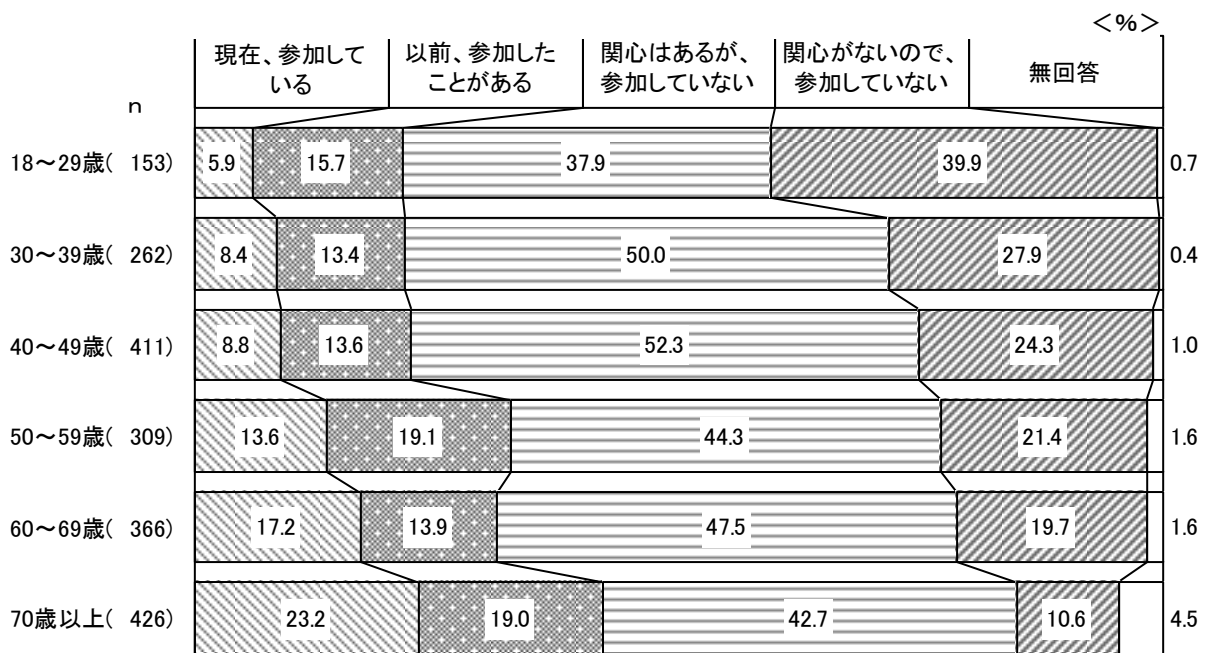
【性別】

- 「現在、参加している」と「以前、参加したことがある」のどちらも、女性が男性に比べて高い割合となっている。
- 「関心がないので、参加していない」は男性（25.0%）が女性（19.9%）に比べて5.1ポイント高くなっている。



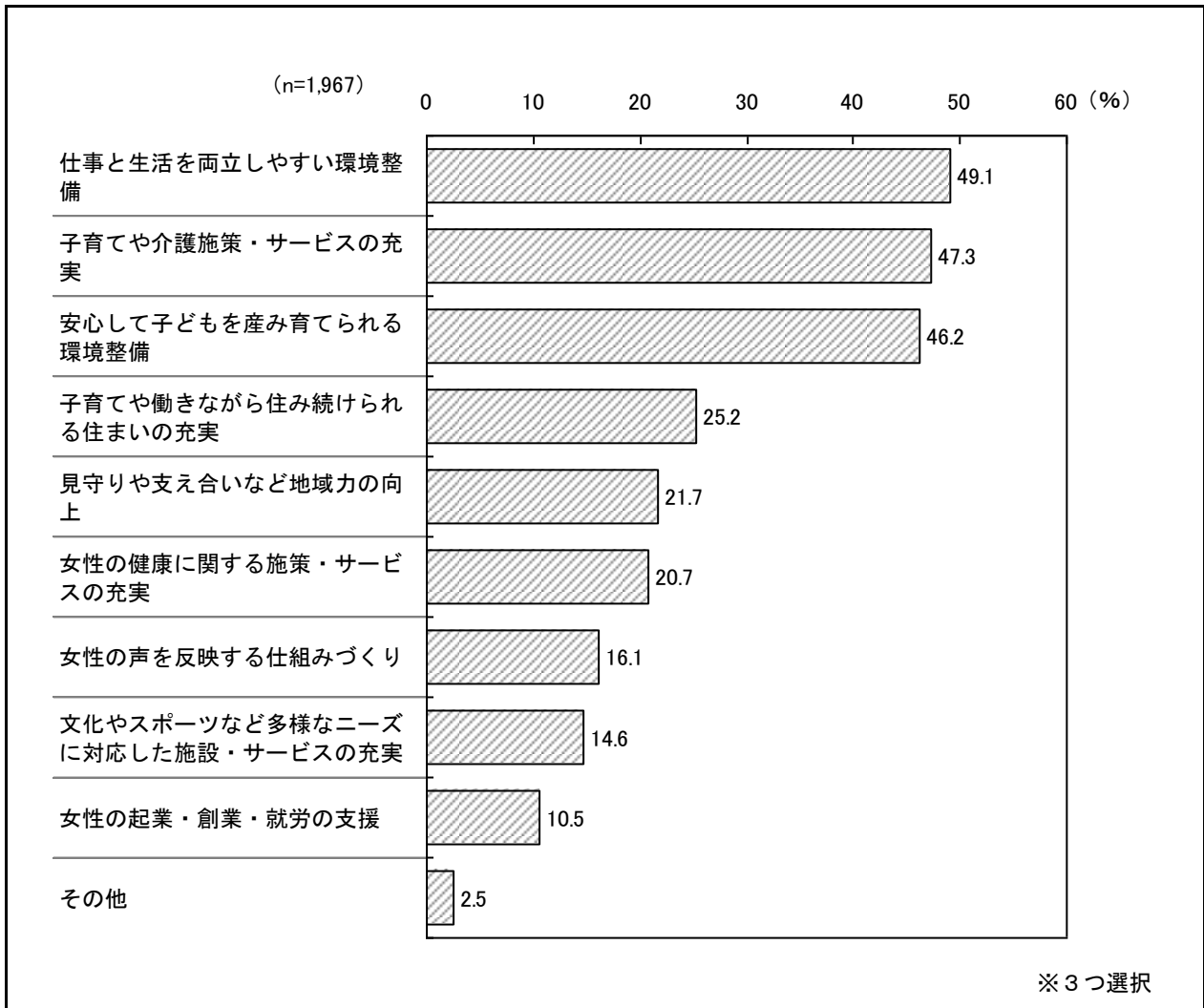
【年齢別】

- 「現在、参加している」は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、70歳以上（23.2%）では2割強となっている。
- 「関心がないので、参加していない」は、18～29歳（39.9%）で約4割と最も高くなっている。また、「関心はあるが、参加していない」は、30～39歳（50.0%）と40～49歳（52.3%）で5割台となっている。



7 女性にやさしいと感じるまちに大切だと思うこと〔問13〕

- 女性にやさしく、暮らしやすいと感じるまちに、大切だと思うことについては、「仕事と生活を両立しやすい環境整備」(49.1%)が約5割と最も高く、以下、「子育てや介護施策・サービスの充実」(47.3%)、「安心して子どもを産み育てられる環境整備」(46.2%)などとなっている。



わたしらしく、暮らせるまち。



わたしらしく、
暮らせるまち。

個性的な地域が混在する豊島区に暮らす方々が、お互いの“らしさ”を認め合い、誰もが自分らしさを大切にしながら暮らすことのできるようにという想いをこめ、女性にやさしいまちづくりのキャッチコピーを「わたしらしく、暮らせるまち。」としました。

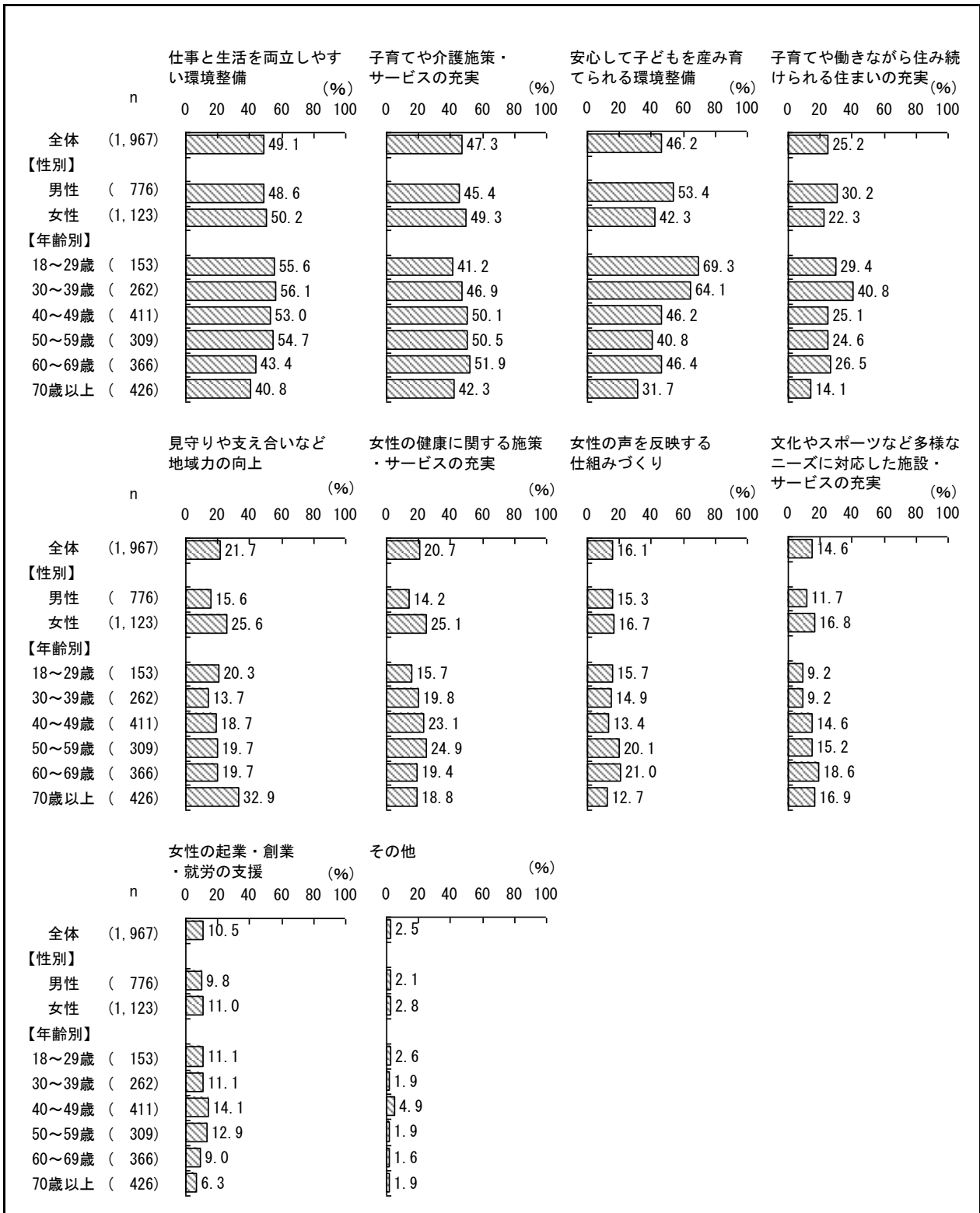
シンボルマークは、「さまざまな人が集まることで、まち全体も個人も輝く」ことを、複数の形(いえ)からなる輝く石(ダイヤモンド)で表わしています。

〈女性にやさしい〉からまちを見つめ、ひとりひとりが自分らしい暮らしを作るための情報発信サイト《としまscope》をオープンしました。



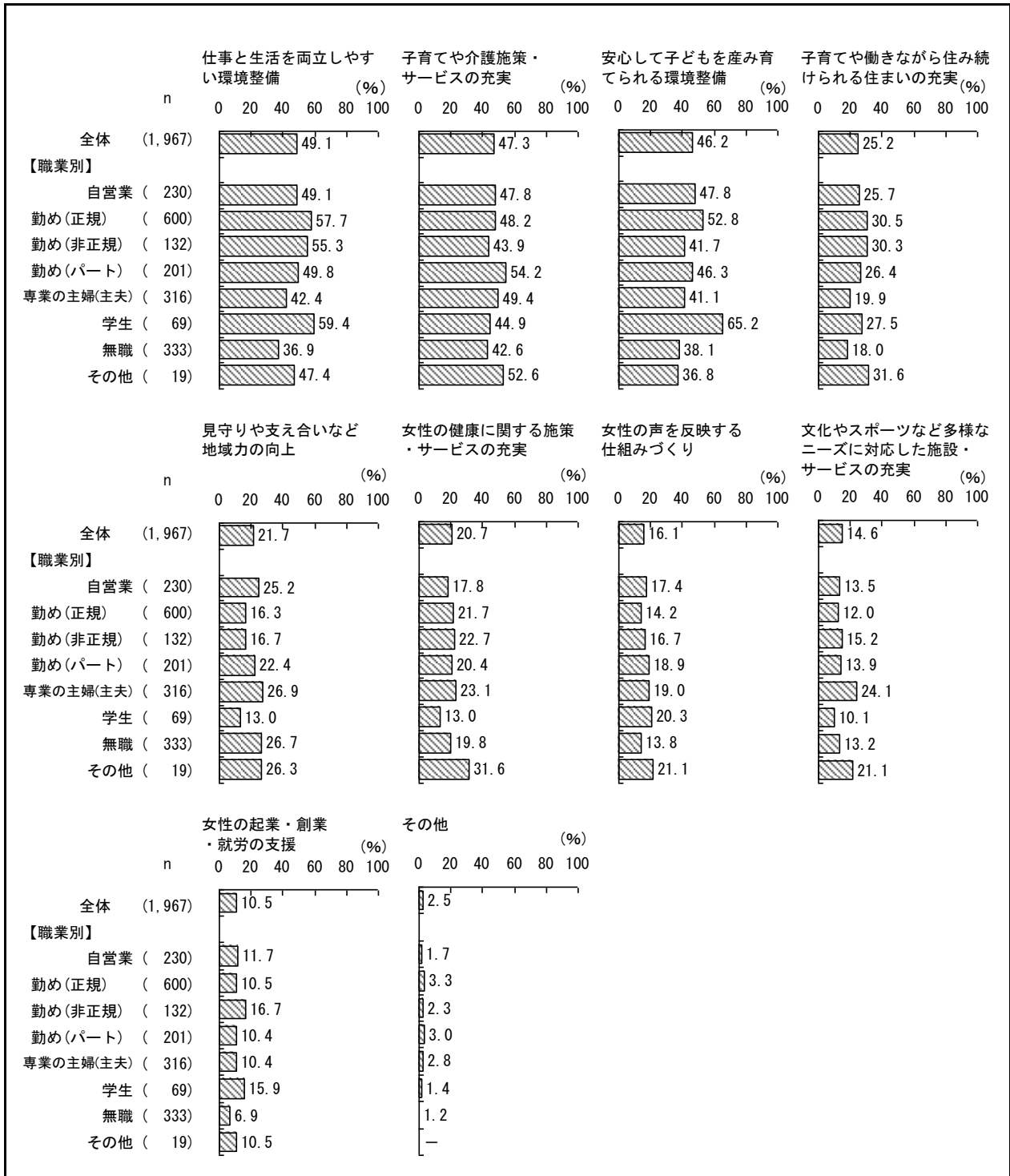
【性別・年齢別】

- 性別でみると、「安心して子どもを産み育てられる環境整備」は、男性(53.4%)が女性(42.3%)に比べて11.1ポイント高くなっている。一方で、「見守りや支え合いなど地域力の向上」は、女性(25.6%)が男性(15.6%)に比べて10.0ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「安心して子どもを産み育てられる環境整備」は、18~29歳(69.3%)と30~39歳(64.1%)で6割を超えている。



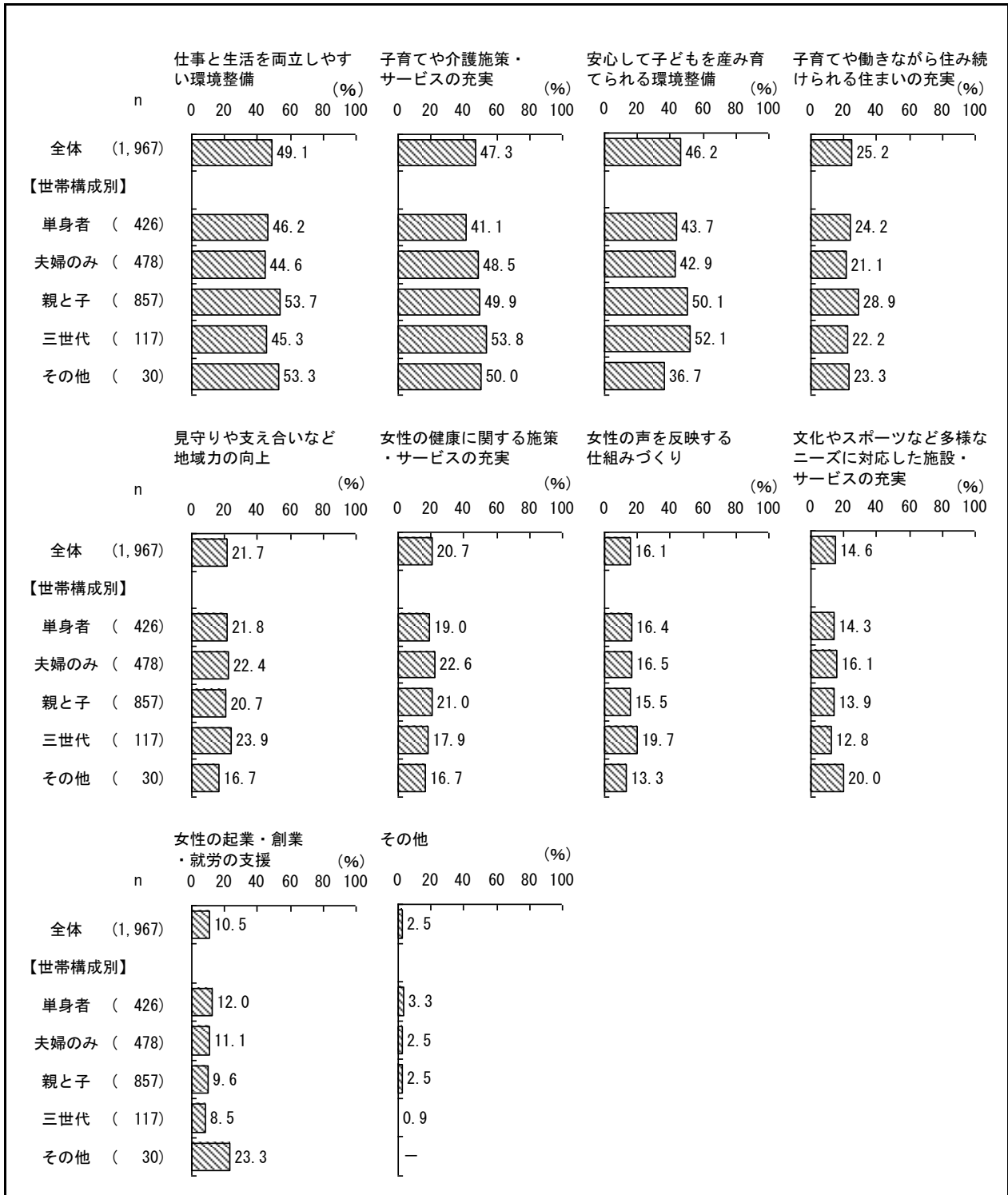
【職業別】

●職業別でみると、「安心して子どもを産み育てられる環境整備」は、学生（65.2%）が6割台半ばで最も高く、次いで、勤め（全日・正規）（52.8%）が続いている。



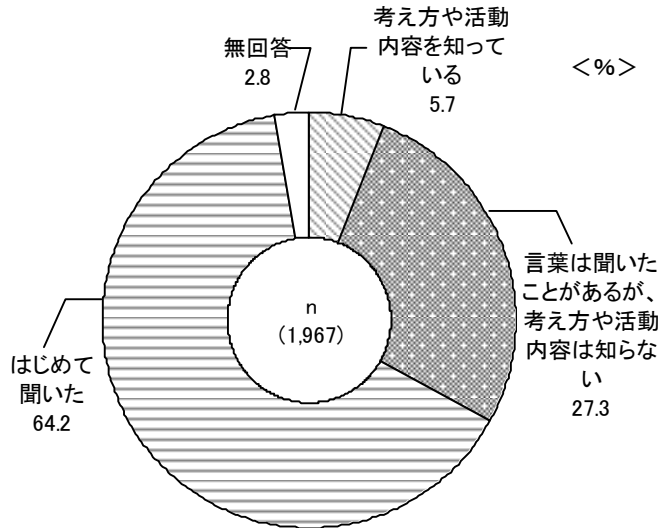
【世帯構成別】

●世帯構成別で見ると、「仕事と生活を両立しやすい環境整備」は親と子（53.7%）が、「子育てや介護施策・サービスの充実」と「安心して子どもを産み育てられる環境整備」では、三世代が最も高くなっている。



8 セーフコミュニティ活動の認知度〔問 14〕

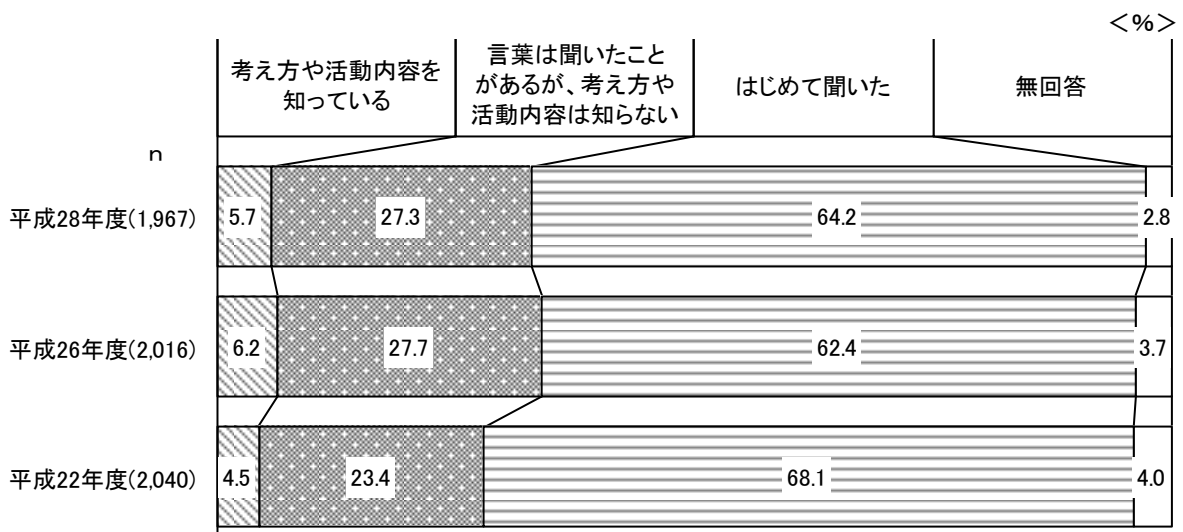
- セーフコミュニティ活動の認知度については、「はじめて聞いた」(64.2%)が6割台半ばと最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」(27.3%)が2割台半ばとなっている。



「セーフコミュニティ」とは、WHO（世界保健機関）が推奨する、安全・安心まちづくりの国際認証制度です。豊島区は平成 24 年 11 月、世界で 296 番目、日本で 5 番目、東京のような大都市では初めて認証を取得しました。「けがや事故等は、偶然の結果ではなく、原因を分析することで予防することができる」との理念に基づき、人と人との絆を広げながら、安全と健康の質を高めていく活動です。セーフコミュニティ活動では、活動の効果を測定する指標（成果指標）を設定しています。110頁の9から134頁の16-③までの項目は、その指標の一部となっています。

【経年比較】

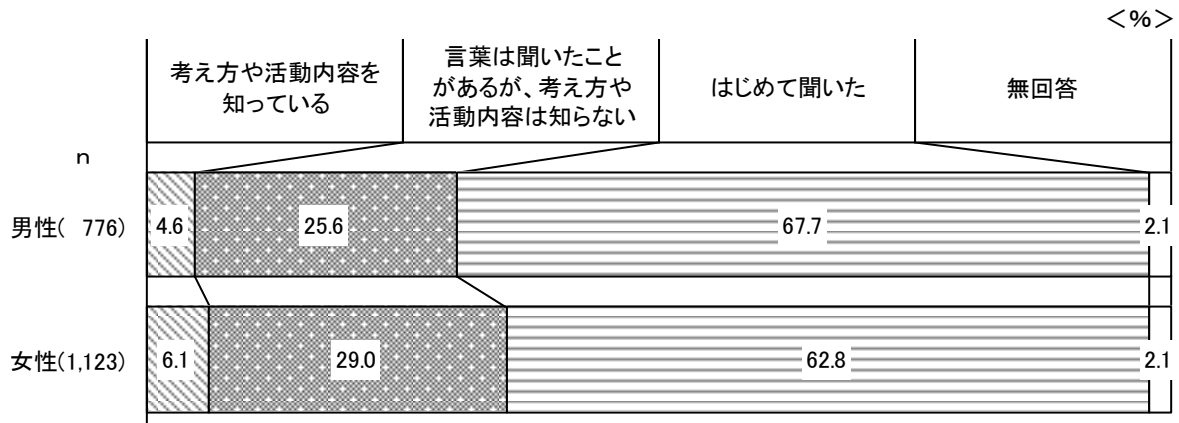
- 平成 26 年度調査（豊島区基本計画策定のための区民意識調査）と比較して大きな変化はみられないが、「考え方や活動内容を知っている」は 0.5 ポイント低くなっている。



※平成 22 年度では、「考え方や活動内容を知っている」「言葉は聞いたことがある」「知らなかった」で聞いている。

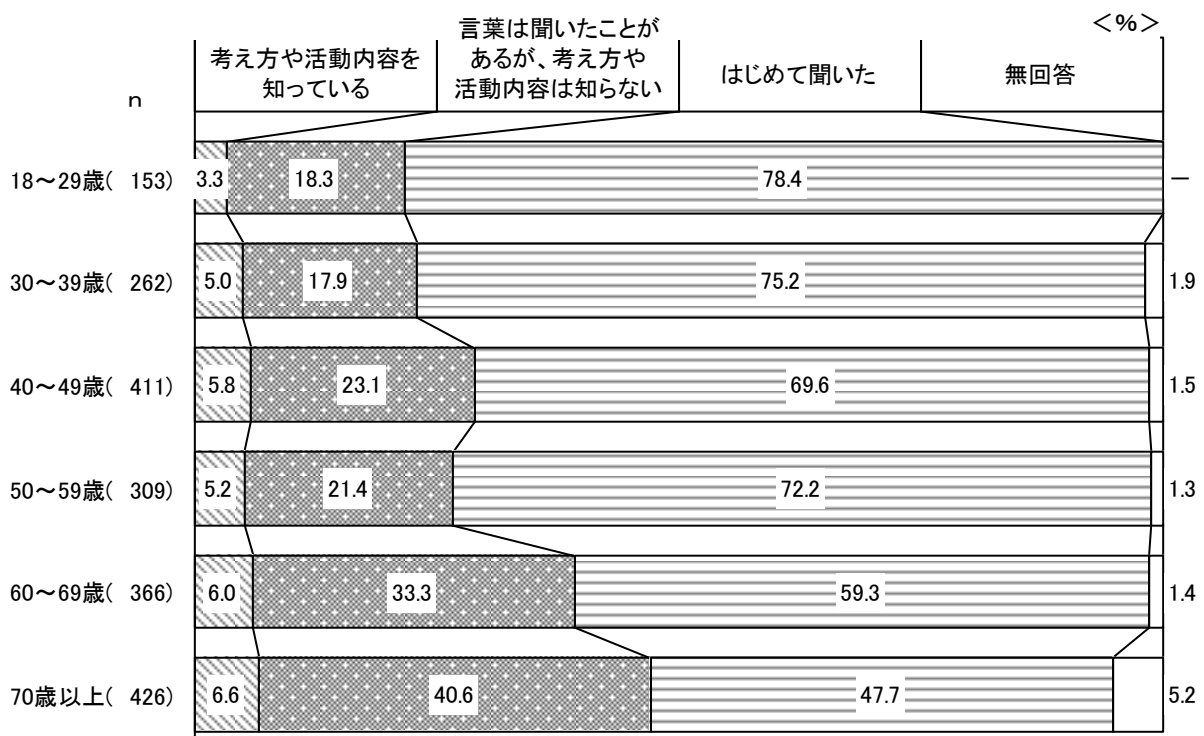
【性別】

- 「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」は、女性（29.0%）が男性（25.6%）に比べて3.4ポイント高くなっている。
- 「はじめて聞いた」は、男性（67.7%）が女性（62.8%）に比べて4.9ポイント高くなっている。



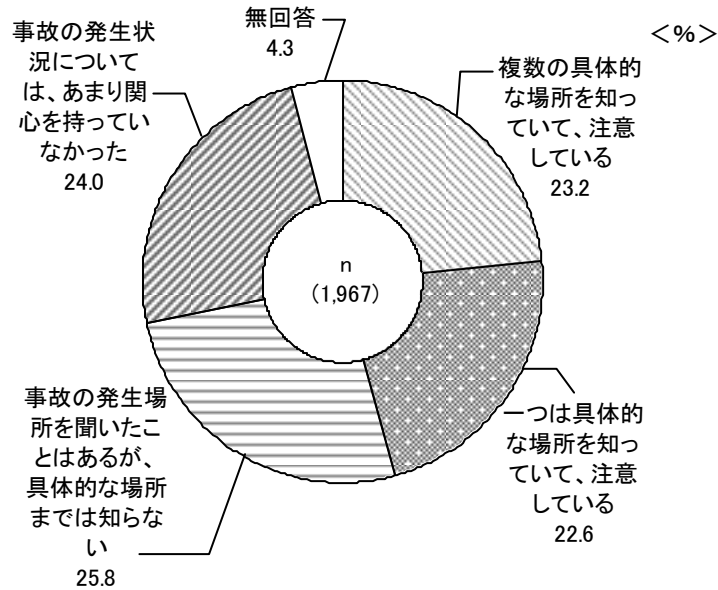
【年齢別】

- 「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」は、おおむね年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、60～69歳（33.3%）で3割強、70歳以上（40.6%）では約4割となっている。
- 「はじめて聞いた」は、18～29歳（78.4%）が8割弱で最も高く、次いで30～39歳（75.2%）が7割台半ばとなっている。



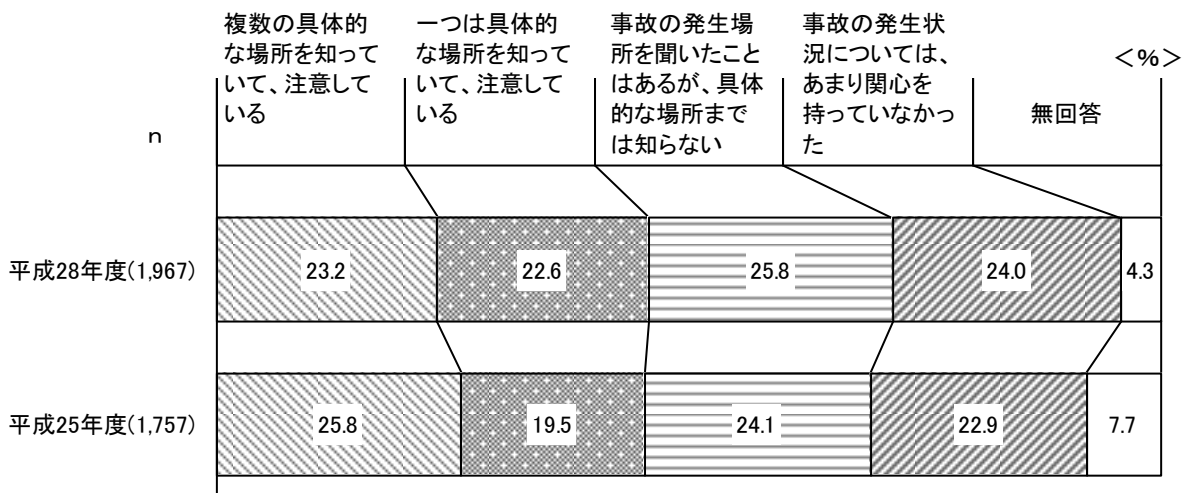
9 交通事故発生場所等の認知度〔問 15〕

- 交通事故発生場所や危ないと思われる場所の認知度について聞いたところ、「事故の発生場所を聞いたことはあるが、具体的な場所までは知らない」(25.8%)が2割台半ばと最も高く、以下、「事故の発生状況については、あまり関心を持っていなかった」(24.0%)、「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」(23.2%)、「一つは具体的な場所を知っていて、注意している」(22.6%)となっている。



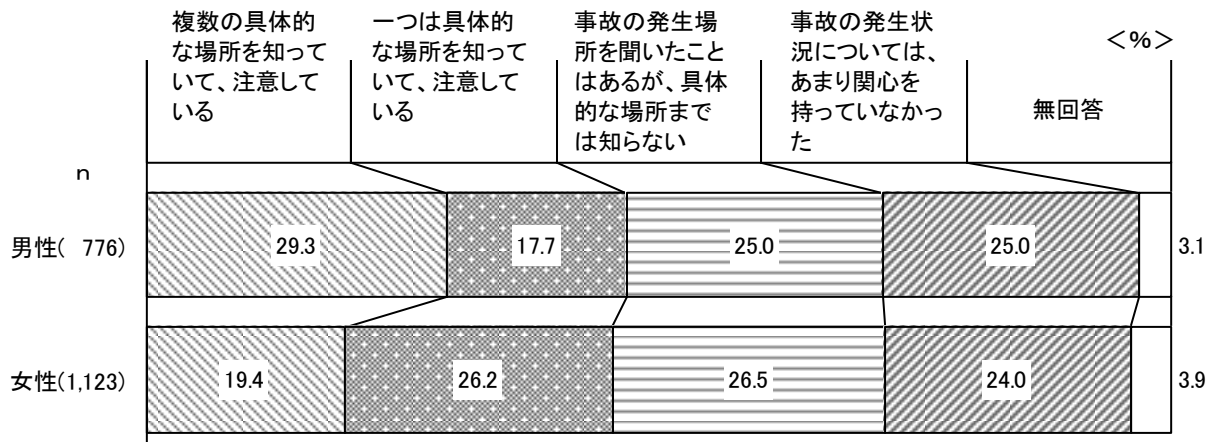
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」は平成 25 年度から 2.6 ポイント低くなっている。



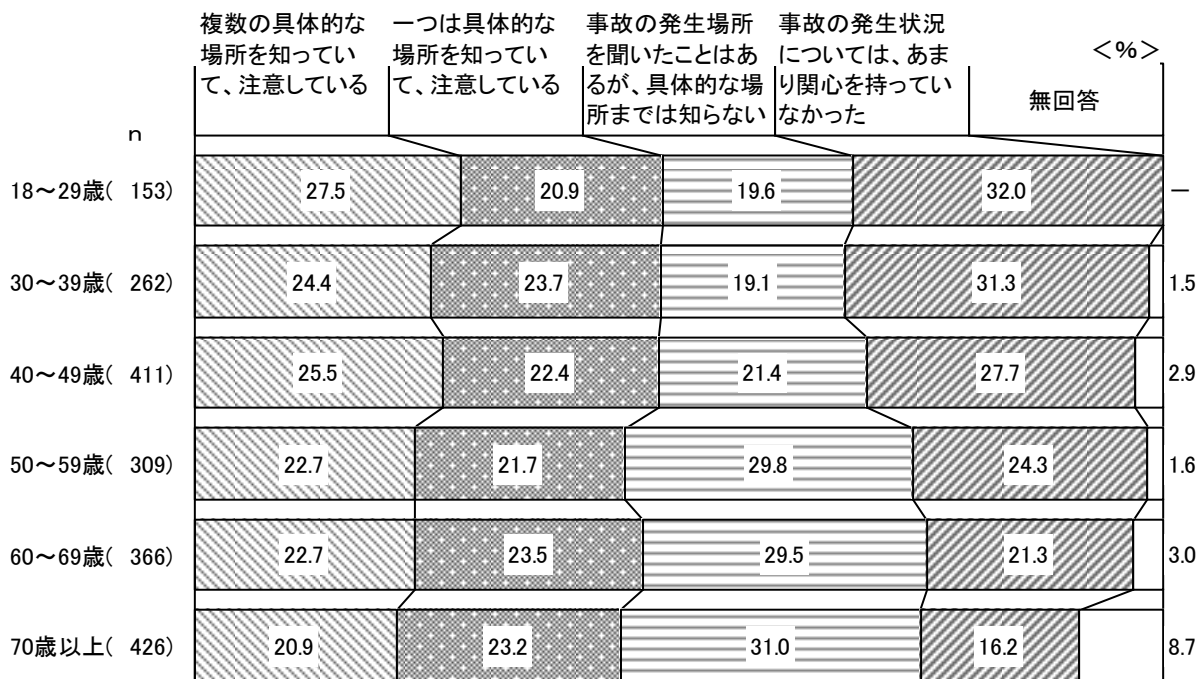
【性別】

- 「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」は、男性（29.3%）が女性（19.4%）に比べて9.9ポイント高くなっている。



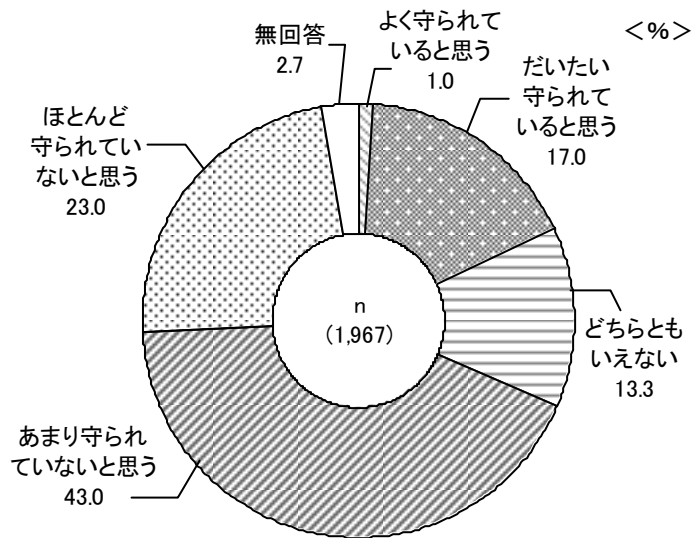
【年齢別】

- 「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」は18～29歳（27.5%）で2割台半ばとなっている。
- 「事故の発生状況については、あまり関心をもっていないかった」は年齢が下がるほど高くなる傾向がみられ、18～29歳（32.0%）で3割強となっている。



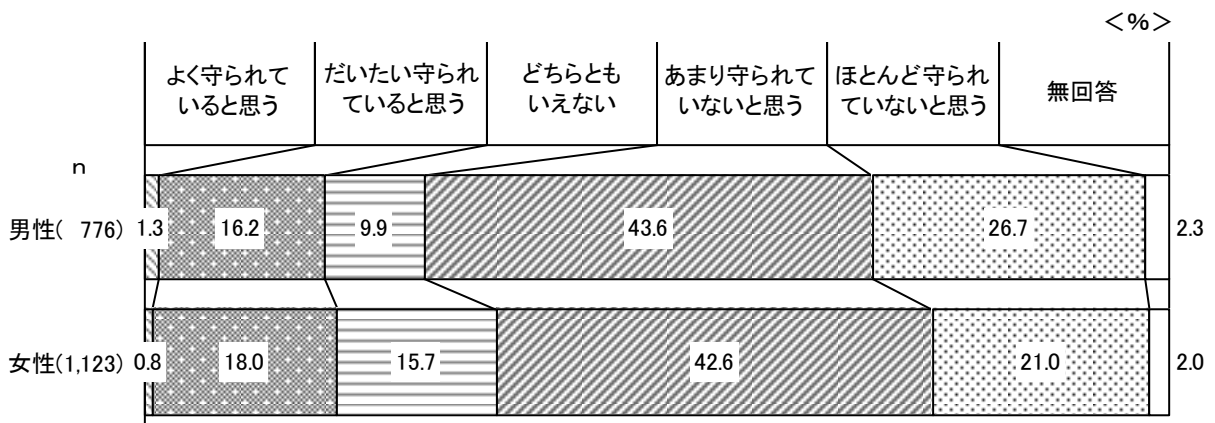
10 自転車の運転ルール遵守状況の実感〔問 16〕

- 自転車の運転ルールが守られていると感じているかについて聞いたところ、「あまり守られていないと思う」(43.0%)が4割強と最も高く、以下、「ほとんど守られていないと思う」(23.0%)、「だいたい守られていると思う」(17.0%)、「どちらともいえない」(13.3%) などとなっている。
- 「よく守られていると思う」(1.0%)と「だいたい守られていると思う」(17.0%)を合わせた“守られていると思う”(18.0%)としてみると、2割を下回っている。



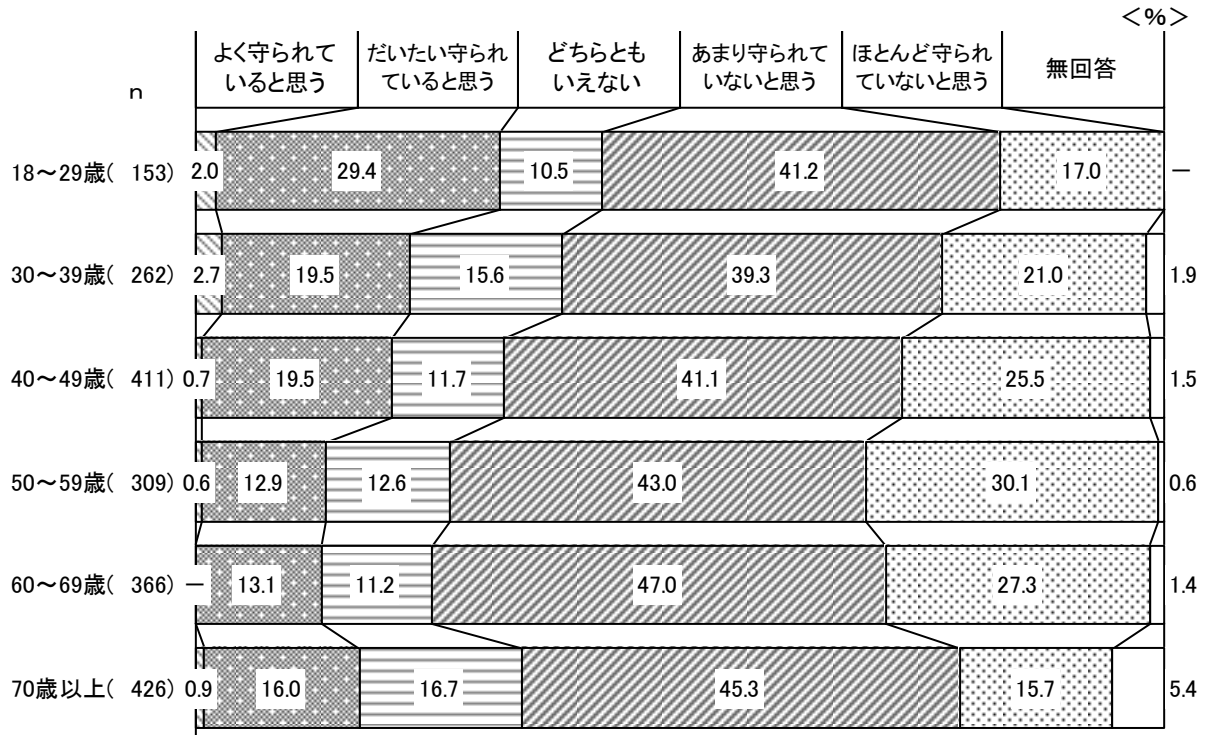
【性別】

- “守られていると思う”は、女性(18.8%)が男性(17.5%)に比べて1.3ポイント高くなっている。
- 「ほとんど守られていないと思う」は、男性(26.7%)が女性(21.0%)に比べて5.7ポイント高くなっている。



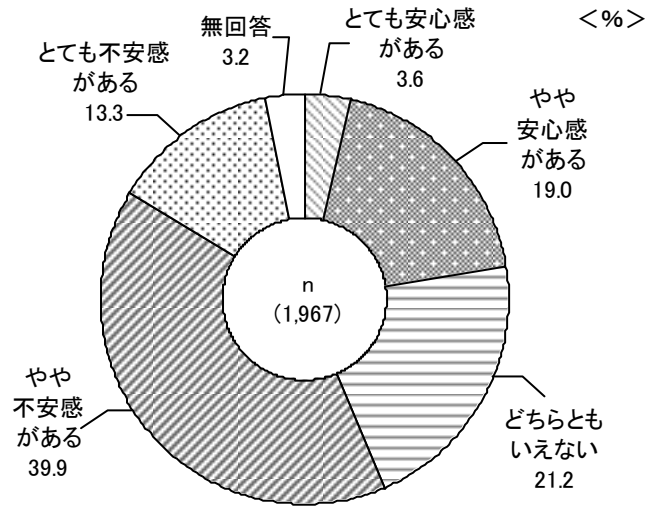
【年齢別】

- “守られていると思う”は、18～29歳（31.4%）では3割強となっているが、年齢が上がるほど低くなる傾向がみられる。
- 「ほとんど守られていないと思う」は、50～59歳（30.1%）で約3割となっている。



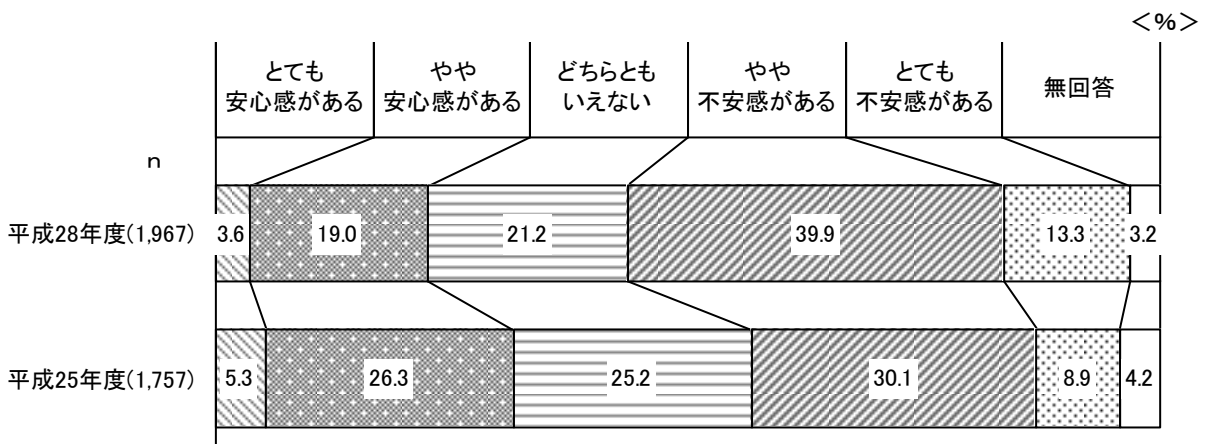
11 池袋駅周辺の体感治安〔問 17〕

- 池袋駅周辺（繁華街）の体感治安について聞いたところ、「とても安心感がある」（3.6％）と「やや安心感がある」（19.0％）を合わせた“安心感がある”（22.6％）としてみると、2割強となっている。
- 「やや不安感がある」（39.9％）と「とても不安感がある」（13.3％）を合わせた“不安感がある”（53.2％）としてみると、5割強となっている。



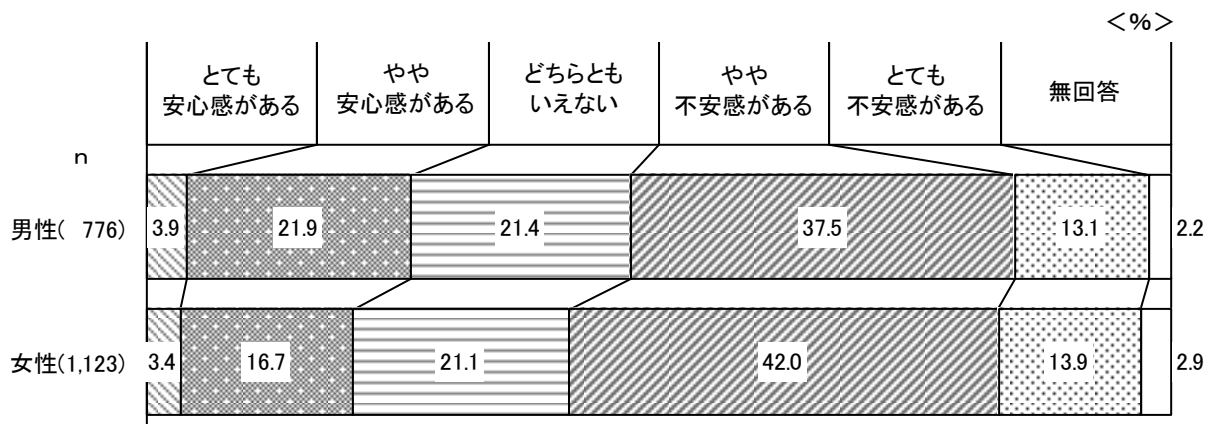
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成25年度に比べて“安心感がある”は9.0ポイント低下して、“不安感がある”が14.2ポイント高くなっている。



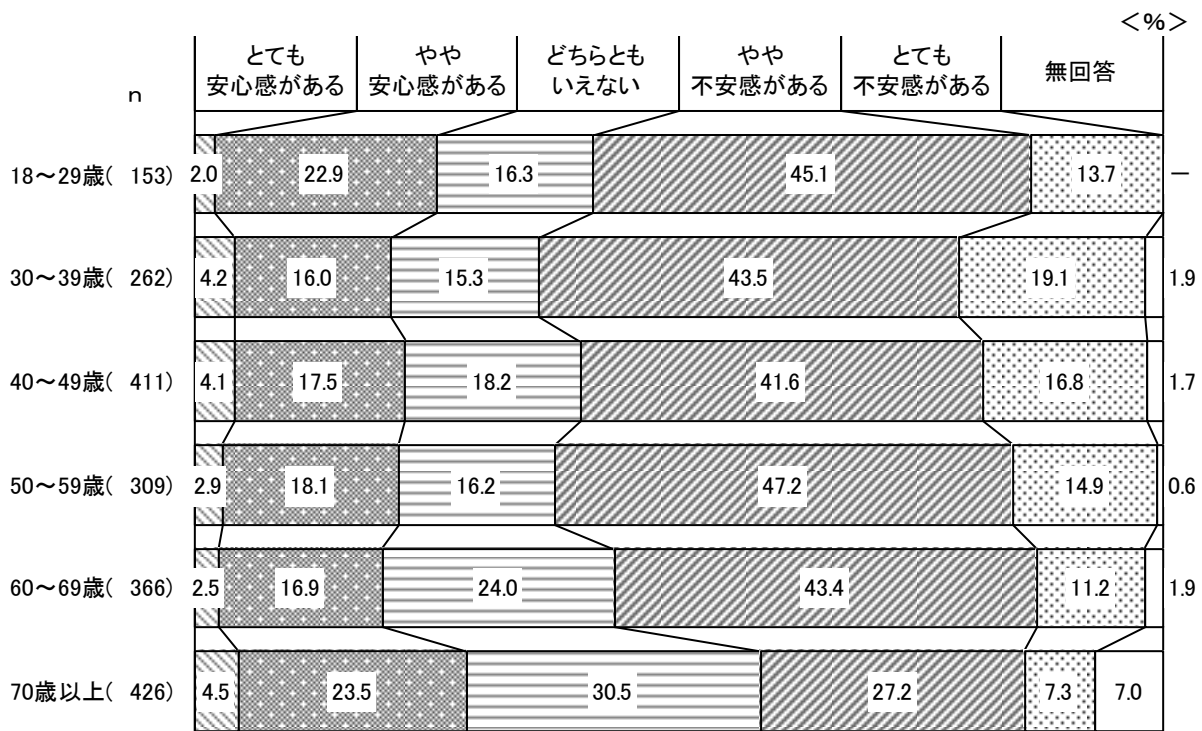
【性別】

- “安心感がある” は男性（25.8%）が女性（20.1%）に比べて5.7ポイント高くなっている。
- “不安感がある” は女性（55.9%）が男性（50.6%）に比べて5.3ポイント高くなっている。



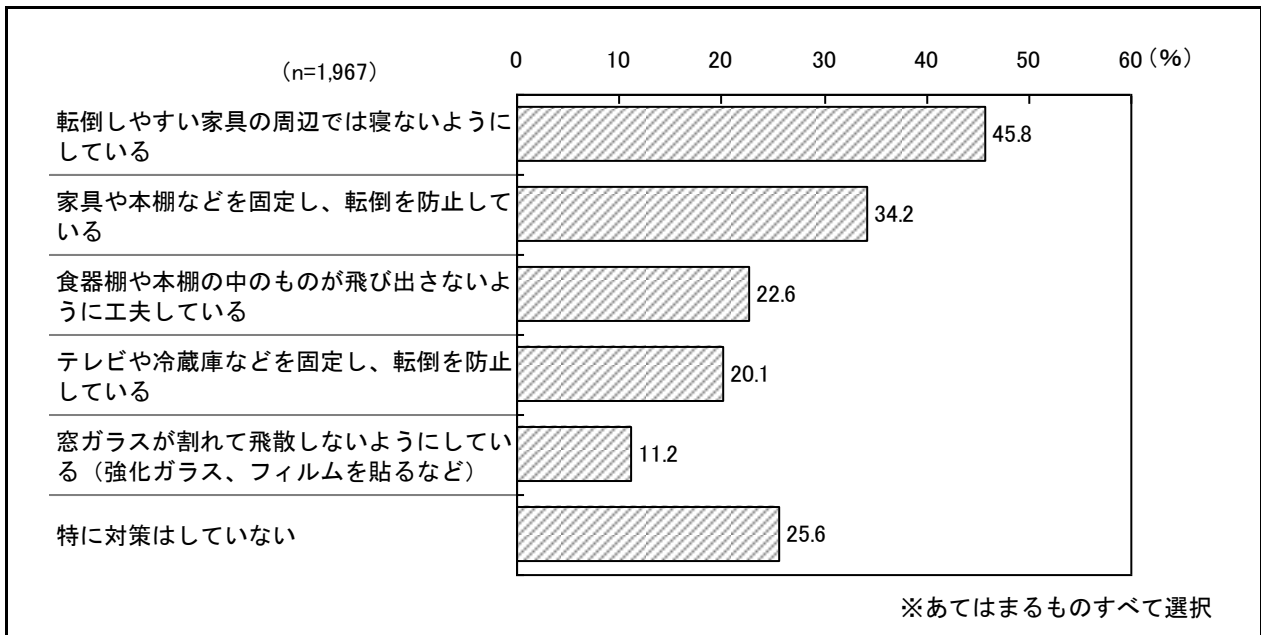
【年齢別】

- “安心感がある” は70歳以上（28.0%）で3割弱、18～29歳（24.9%）で2割台半ばとなっている。
- “不安感がある” は30～39歳（62.6%）と50～59歳（62.1%）で6割を超えている。



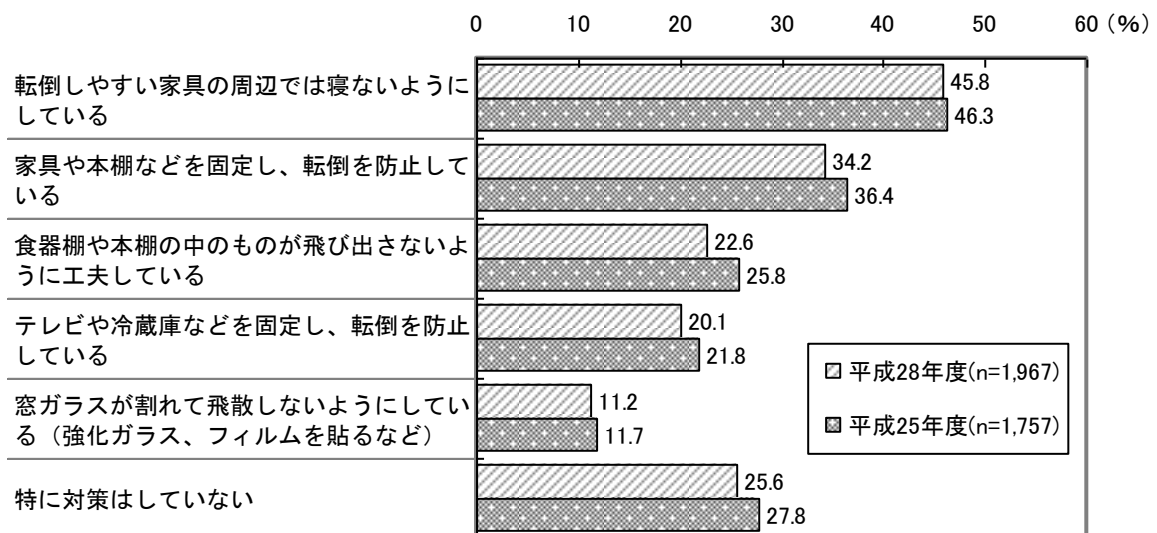
12 地震に備えた家具等の転倒防止対策〔問 18〕

- 屋内での家具等の転倒防止対策について聞いたところ、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」(45.8%)が4割台半ばと最も高く、以下、「家具や本棚などを固定し、転倒を防止している」(34.2%)、「食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している」(22.6%)などとなっている。
- 「特に対策はしていない」(25.6%)は2割台半ばとなっている。



【経年比較】

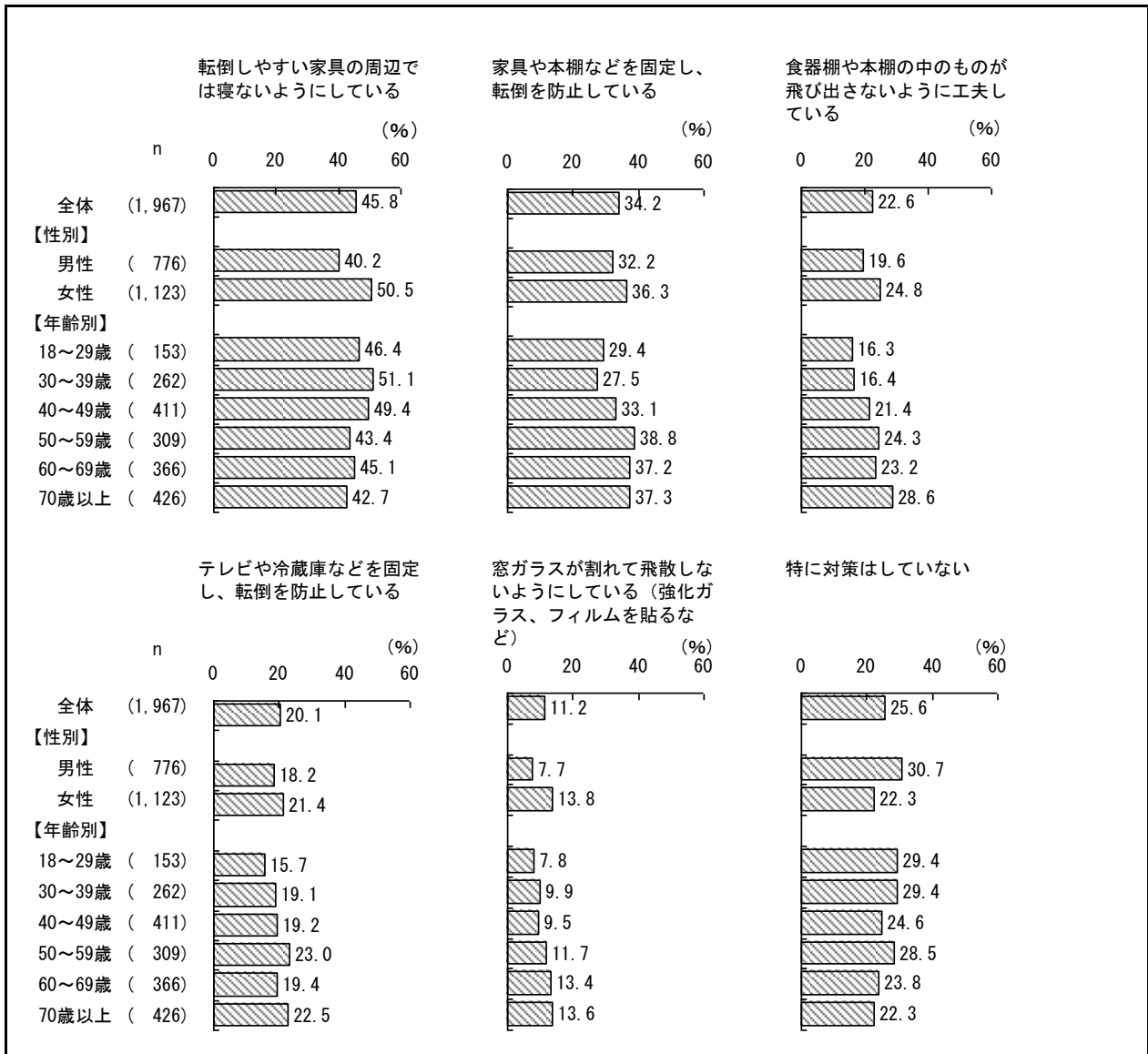
- 過去の調査と比較すると、平成25年度に比べていずれの項目も0.5~3.2ポイント低くなっている。



※あてはまるものすべて選択

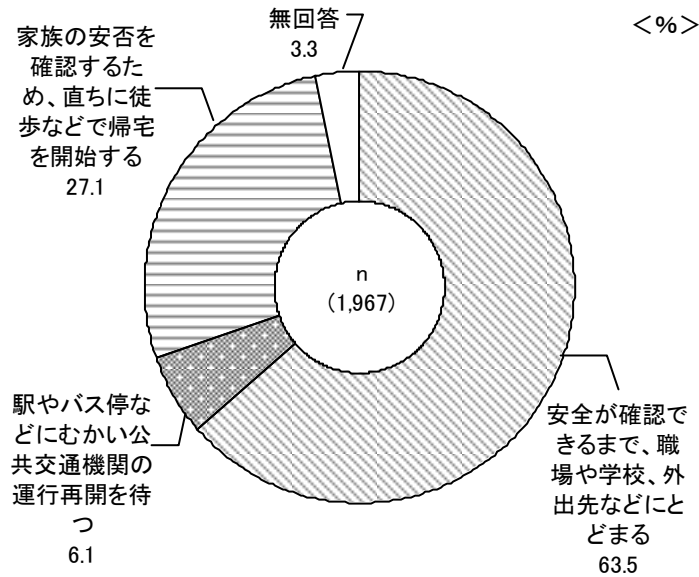
【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」は女性（50.5%）が男性（40.2%）に比べて10.3ポイント高くなっている。また、「特に対策はしていない」では男性（30.7%）が女性（22.3%）に比べて8.4ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」は30～39歳（51.1%）と40～49歳（49.4%）で約5割と高くなっている。



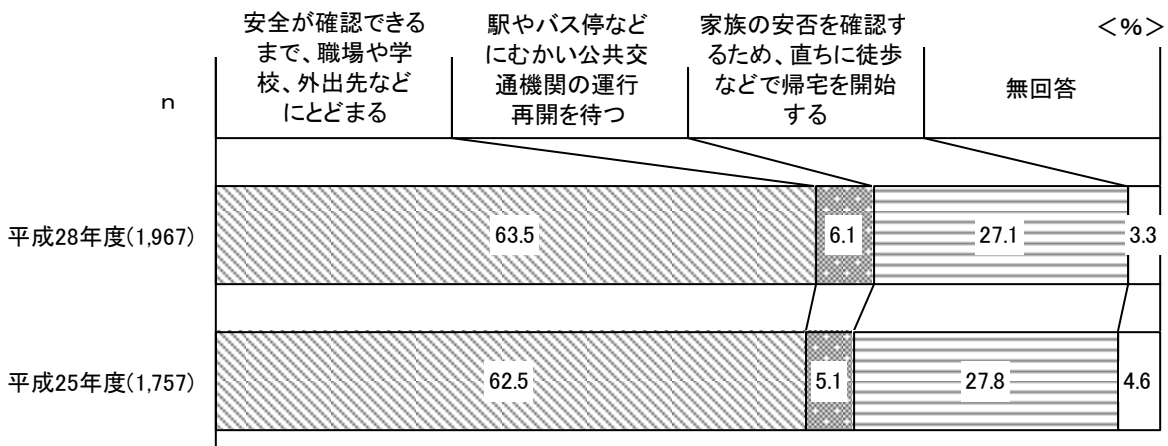
13 大地震により公共交通機関が停止した場合の行動〔問 19〕

●外出中に大地震により公共交通機関が停止した場合の行動について聞いたところ、「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」(63.5%)が6割強と最も高く、次いで、「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」(27.1%)が2割台半ばとなっている。



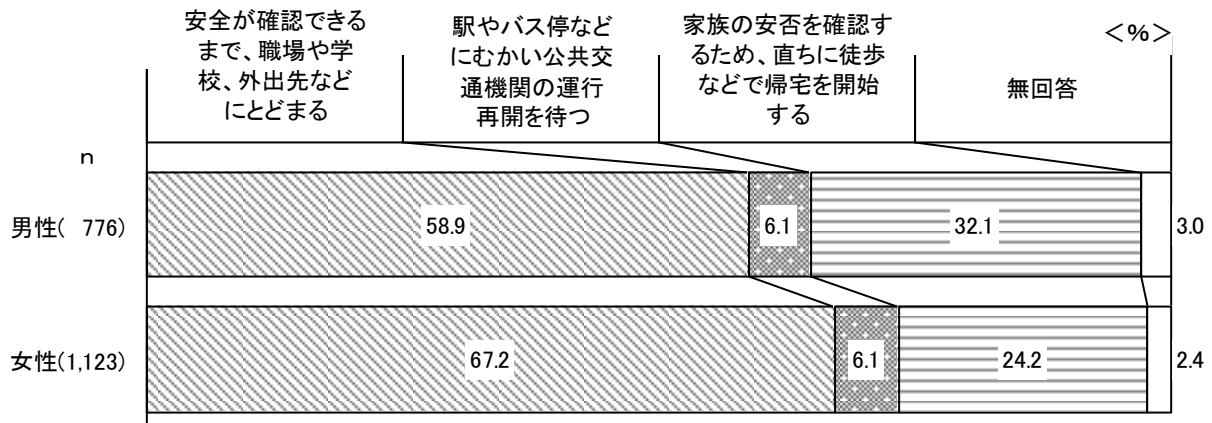
【経年比較】

●過去の調査と比較すると、平成25年度に比べて「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」と「駅やバス停などにむかい公共交通機関の運行再開を待つ」がそれぞれ1.0ポイント高くなっているものの、大きな変化はみられない。



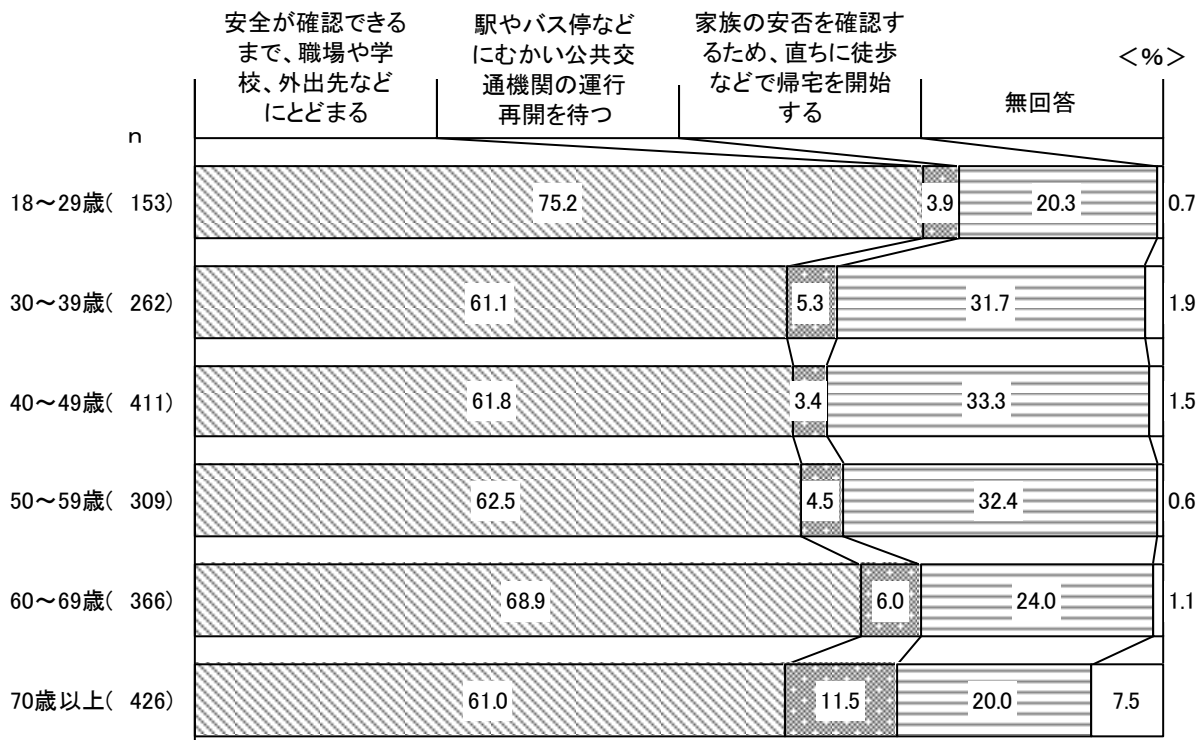
【性別】

- 「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」は、女性(67.2%)が男性(58.9%)に比べて8.3ポイント高くなっている。
- 「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」は、男性(32.1%)が女性(24.2%)に比べて7.9ポイント高くなっている。



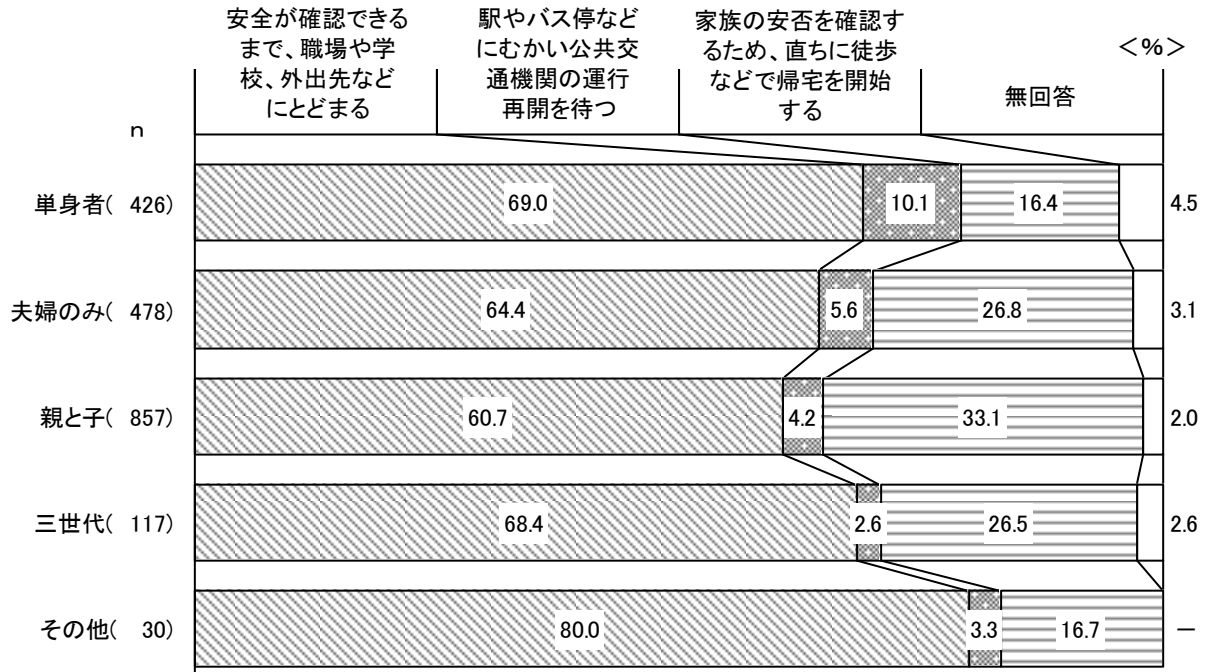
【年齢別】

- 「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」は、18~29歳(75.2%)で7割台半ばと最も高くなっている。
- 「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」は、30~39歳(31.7%)、40~49歳(33.3%)、50~59歳(32.4%)で、それぞれ3割を超えている。



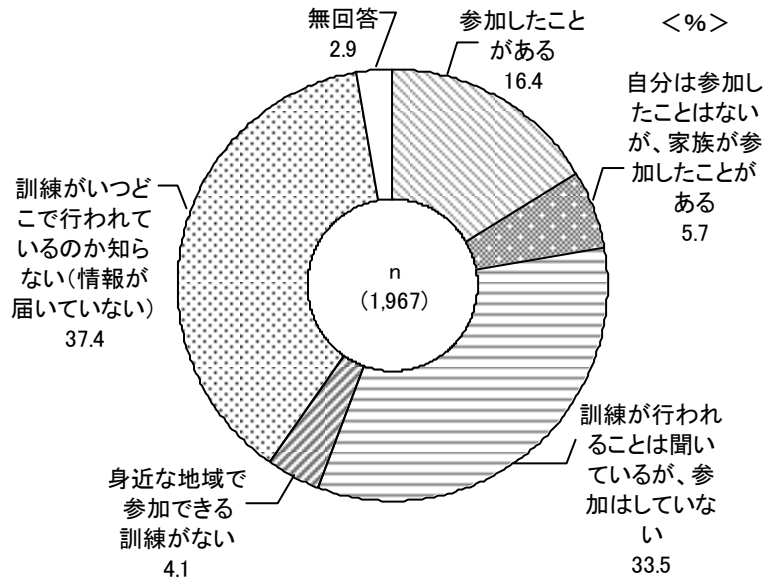
【世帯構成別】

- 「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」は、単身者（69.0%）と「三世代」（68.4%）で、それぞれ約7割と高くなっている。
- 「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」は、親と子（33.1%）で3割強と高くなっている。



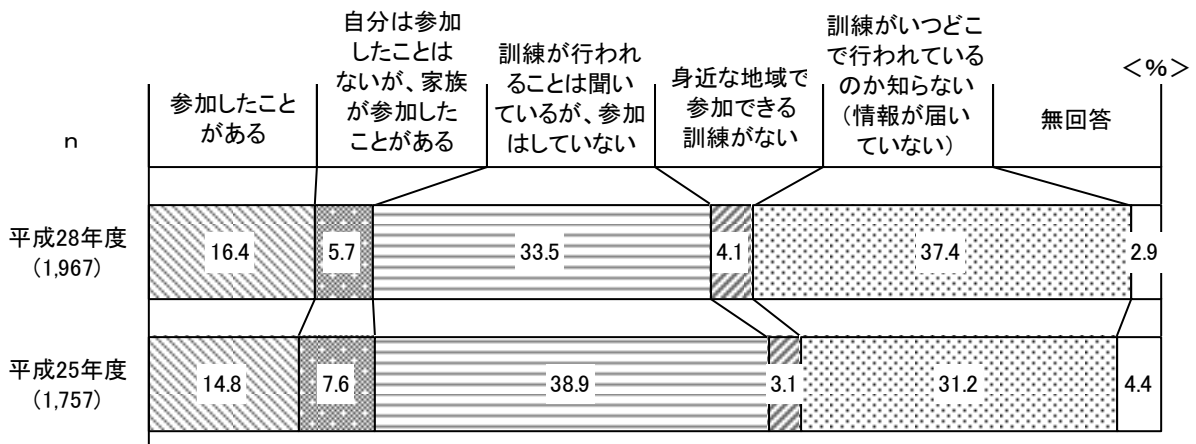
14 防災訓練や避難訓練への参加〔問 20〕

- 最近1年間に区や町会等が実施する防災訓練、避難訓練への参加について聞いたところ、「訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)」(37.4%)が3割台半ばと最も高く、以下、「訓練が行われることは知っているが、参加はしていない」(33.5%)、「参加したことがある」(16.4%) などとなっている。



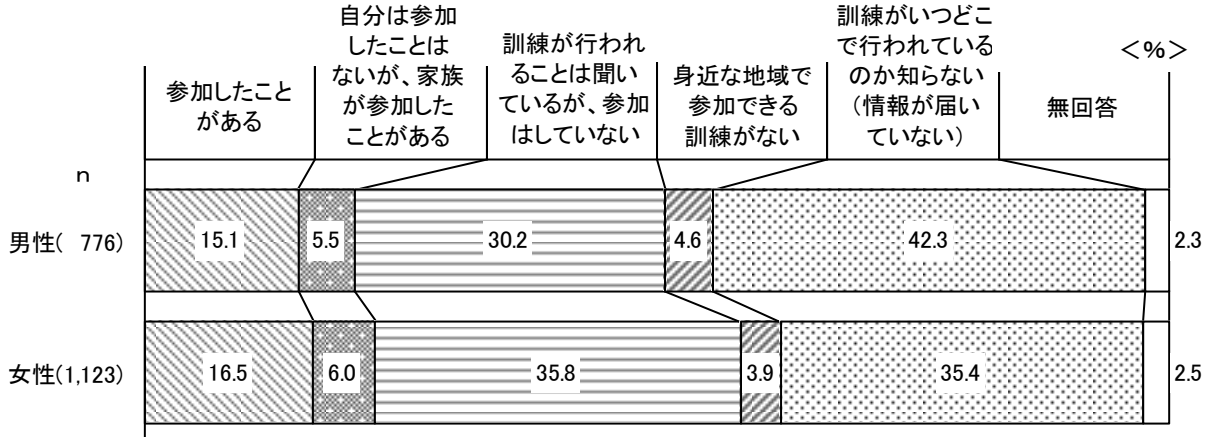
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成25年度に比べて「参加したことがある」は1.6ポイント高くなっている。一方で、「訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)」についても6.2ポイント高くなっている。



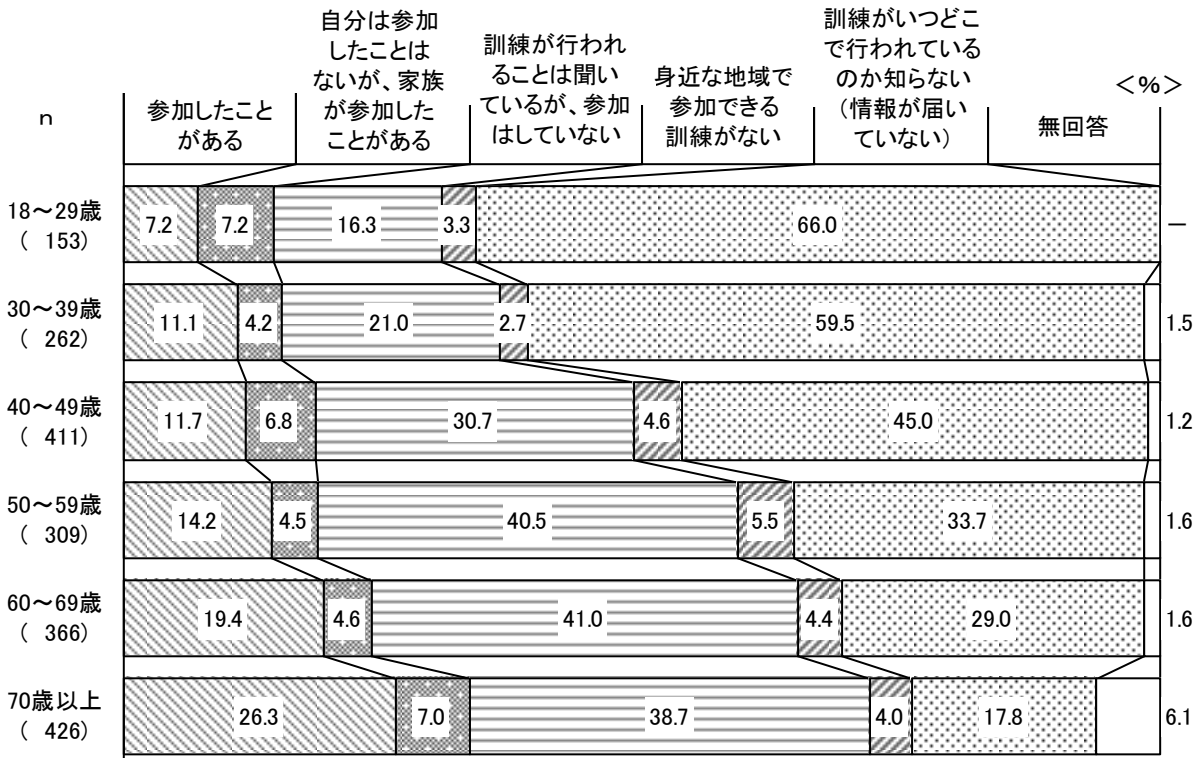
【性別】

- 「参加したことがある」は、女性（16.5%）が男性（15.1%）に比べて1.4ポイント高くなっている。
- 「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は、男性（42.3%）が女性（35.4%）に比べて6.9ポイント高くなっている。



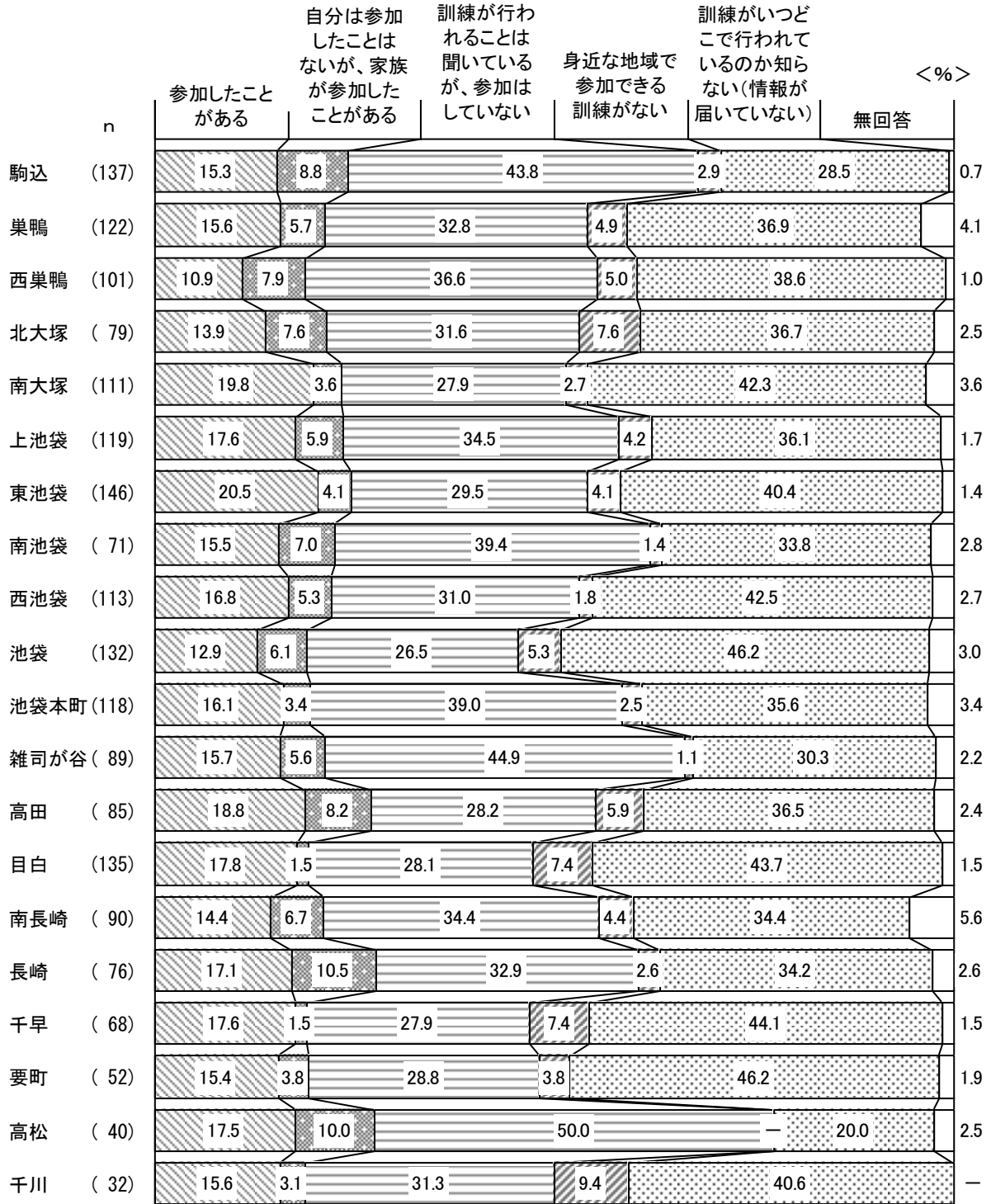
【年齢別】

- 「参加したことがある」は、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、60～69歳（19.4%）では約2割、70歳以上（26.3%）では2割台半ばとなっている。
- 「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は、18～29歳（66.0%）や30～39歳（59.5%）の若い年代で高くなっている。



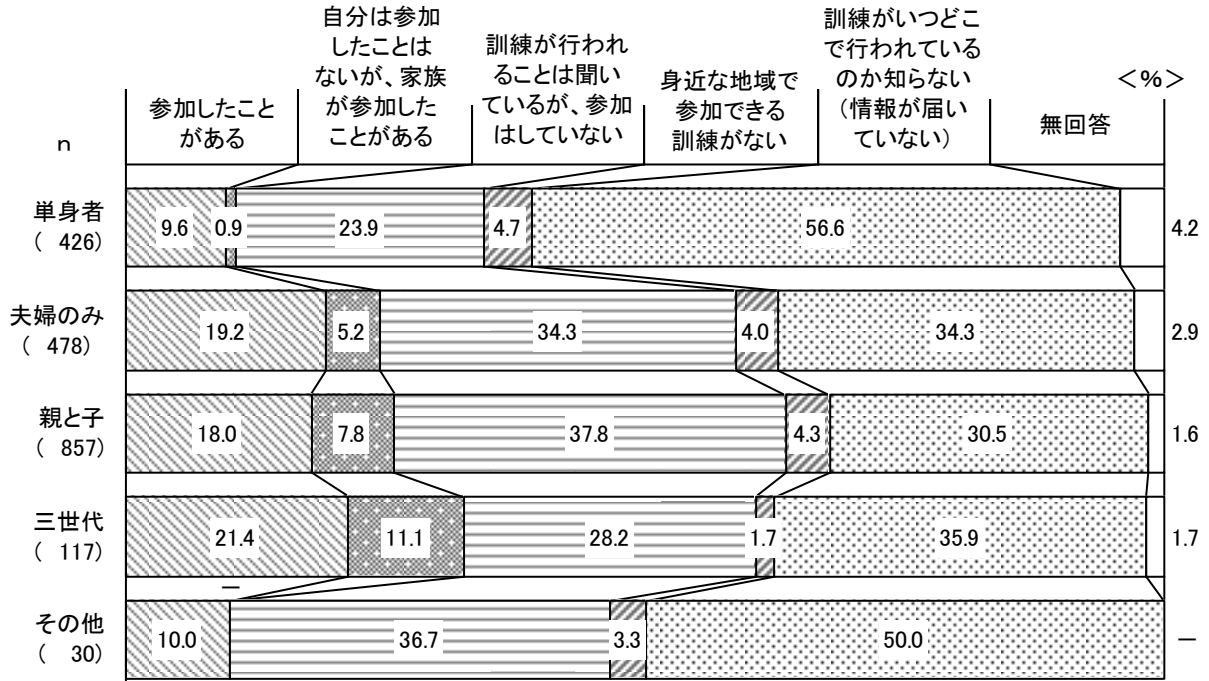
【町別】

- 「参加したことがある」は、東池袋（20.5%）、南大塚（19.8%）、高田（18.8%）で約2割となっている。
- 「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は、池袋（46.2%）、要町（46.2%）、千早（44.1%）で、それぞれ4割台半ばとなっている。



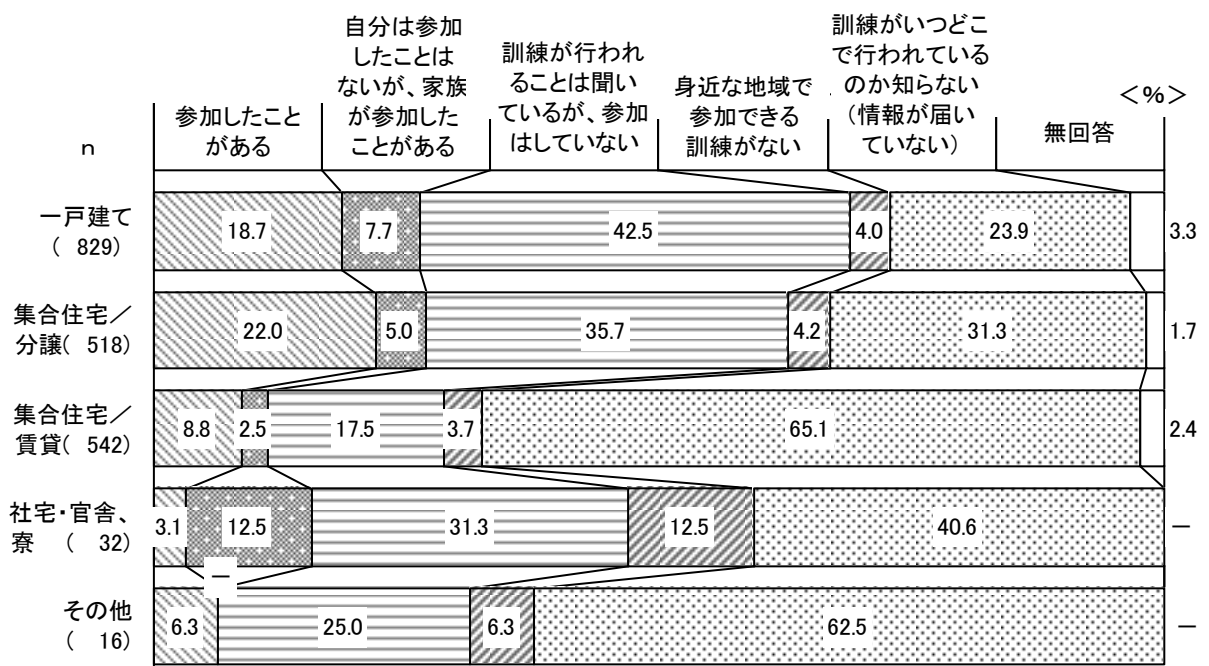
【世帯構成別】

- 「参加したことがある」は、三世代(21.4%)で2割強と最も高くなっている。また、単身者(9.6%)は1割弱と低くなっている。
- 「訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)」は、単身者(56.6%)で5割台半ばとなっている。



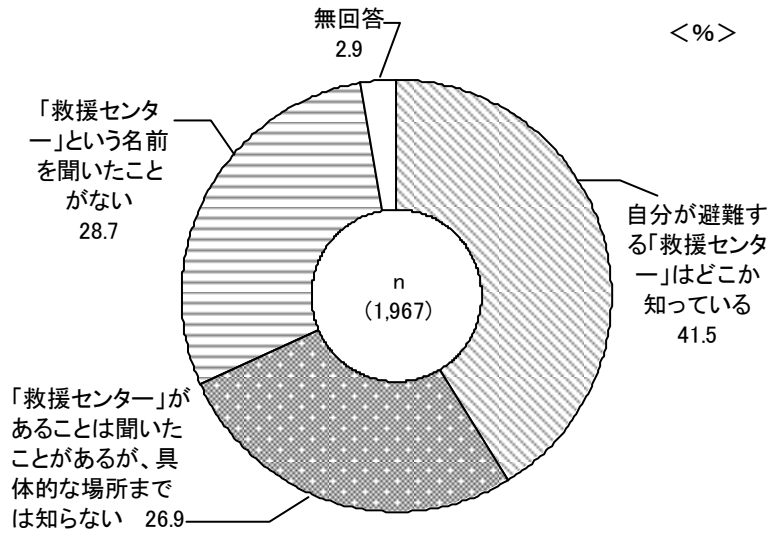
【住まい形態別】

- 「参加したことがある」は、集合住宅(分譲)(22.0%)が2割強と最も高くなっている。
- 「訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)」は、集合住宅(賃貸)(65.1%)で6割台半ばとなっている。



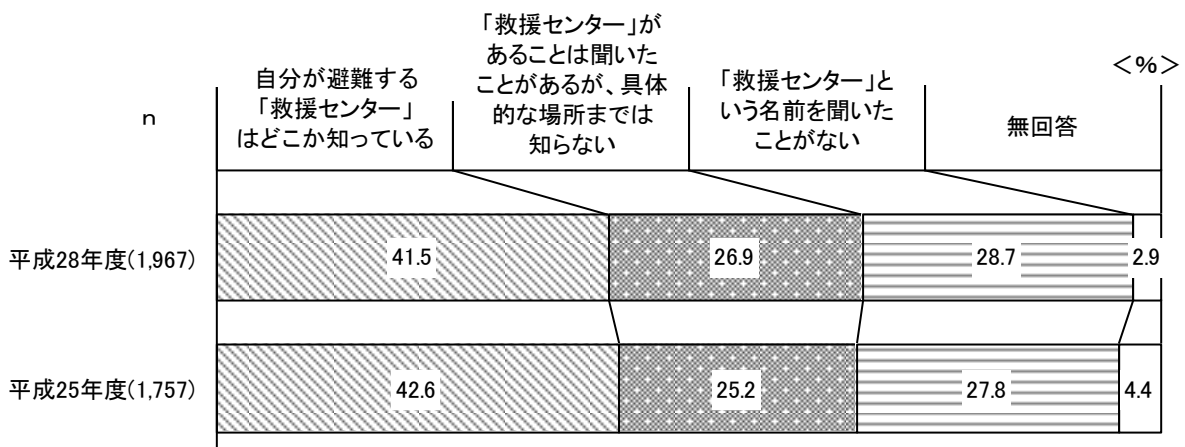
15 「救援センター」の認知度〔問 21〕

- 震災時等における避難所である「救援センター」の認知度について聞いたところ、「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」(41.5%)が4割強と最も高く、以下、「「救援センター」という名前を聞いたことがない」(28.7%)、「「救援センター」があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない」(26.9%)となっている。



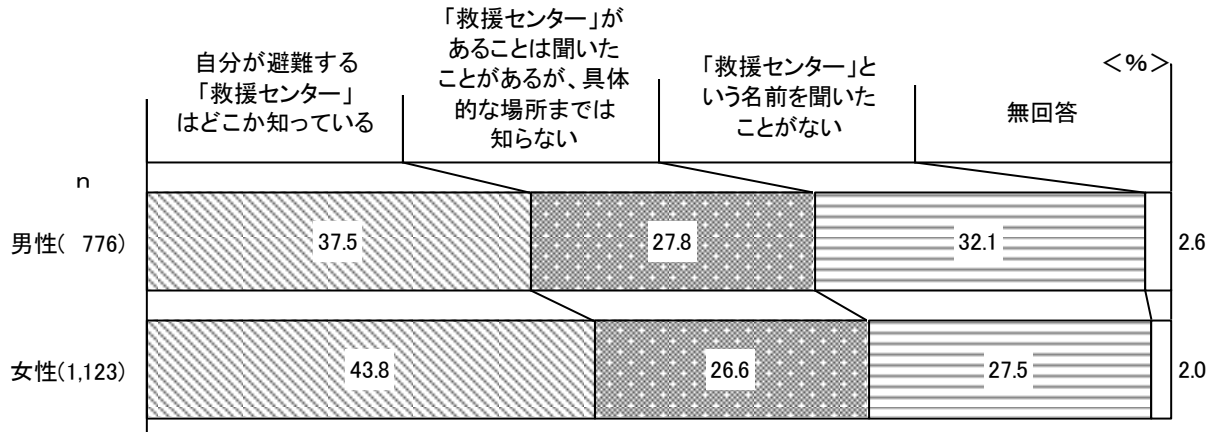
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成25年度に比べて「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は1.1ポイント低く、「「救援センター」という名前を聞いたことがない」は0.9ポイント高くなっているが、大きな変化はみられない。



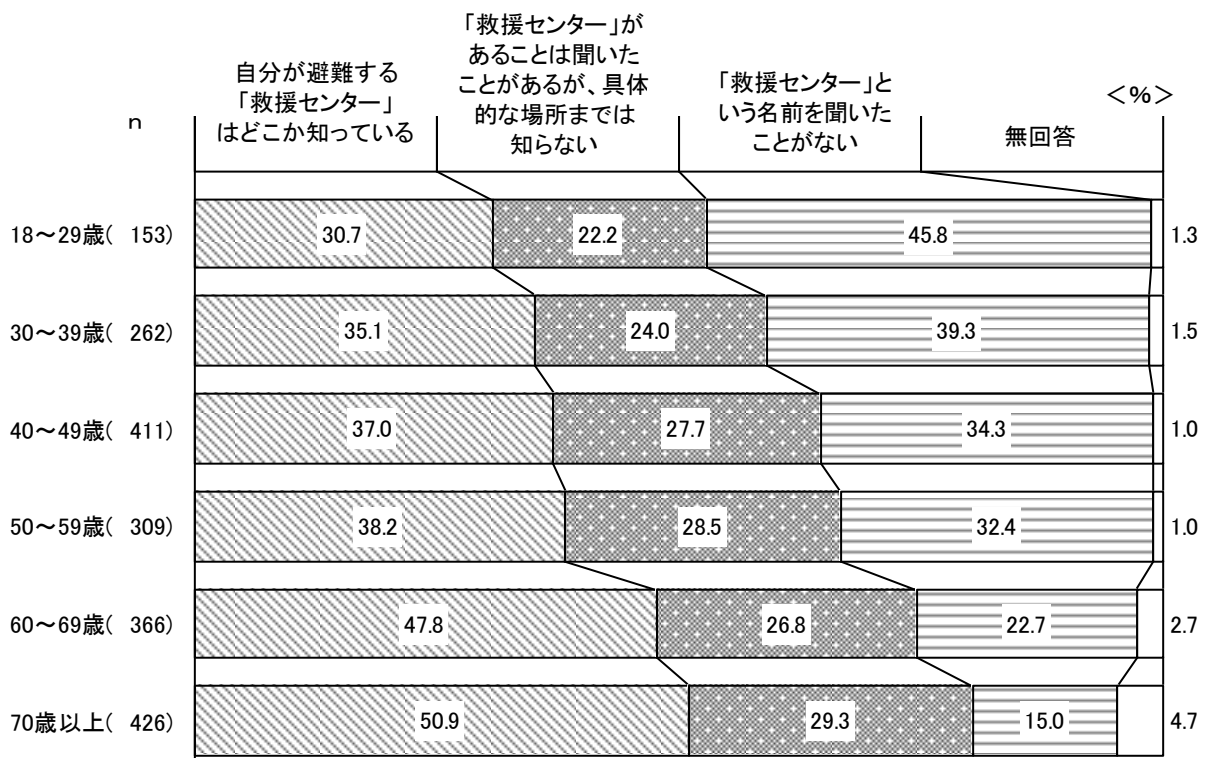
【性別】

- 「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は、女性（43.8%）が男性（37.5%）に比べて6.3ポイント高くなっている。
- 「「救援センター」という名前を聞いたことがない」は、男性（32.1%）が女性（27.5%）に比べて4.6ポイント高くなっている。



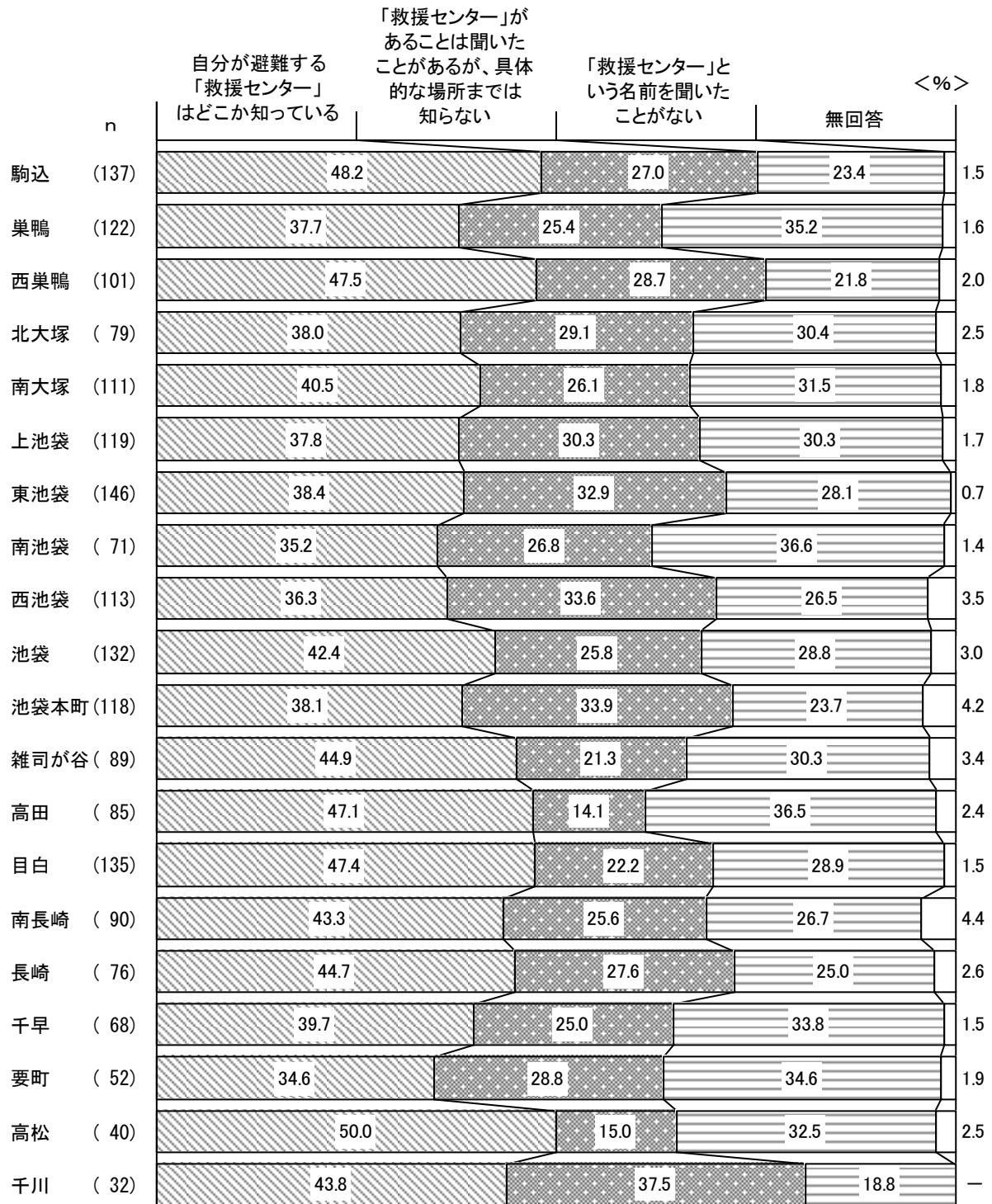
【年齢別】

- 「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、60～69歳（47.8%）で4割台半ばを超え、70歳以上（50.9%）で約5割となっている。
- 「「救援センター」という名前を聞いたことがない」は、年齢が下がるほど高くなる傾向がみられ、18～29歳（45.8%）で4割台半ば、30～39歳（39.3%）で約4割となっている。



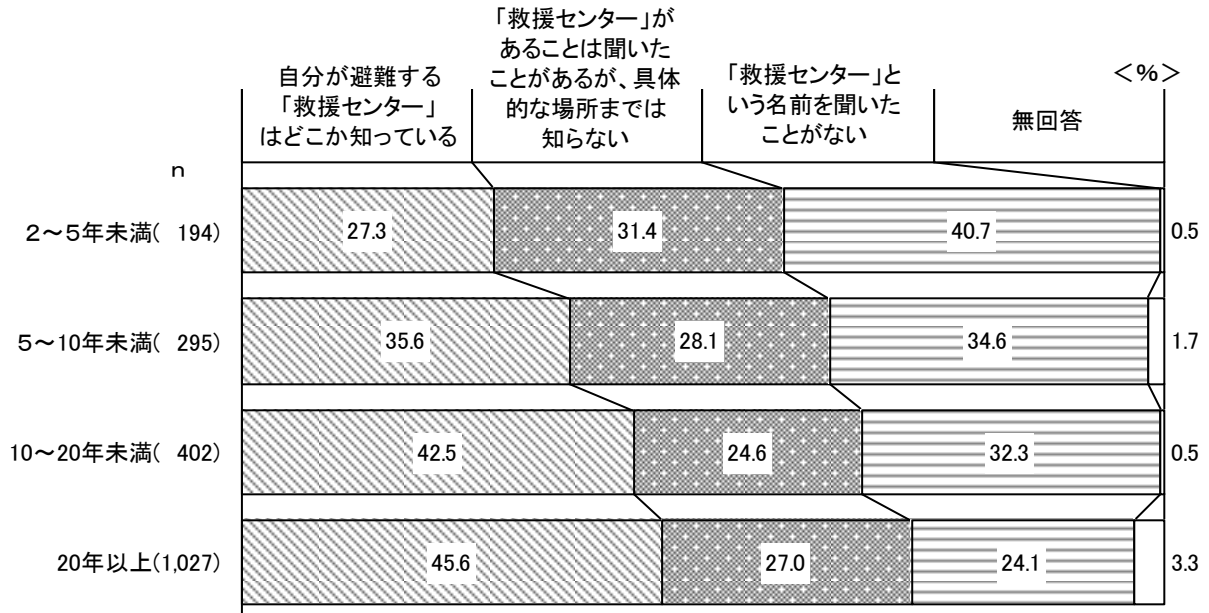
【町別】

- 「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は、高松（50.0%）で5割と最も高くなっており、次いで、駒込（48.2%）、西巣鴨（47.5%）、目白（47.4%）、高田（47.1%）などとなっている。
- 「「救援センター」という名前を聞いたことがない」は、南池袋（36.6%）、高田（36.5%）、巣鴨（35.2%）、要町（34.6%）で3割台半ばとなっている。



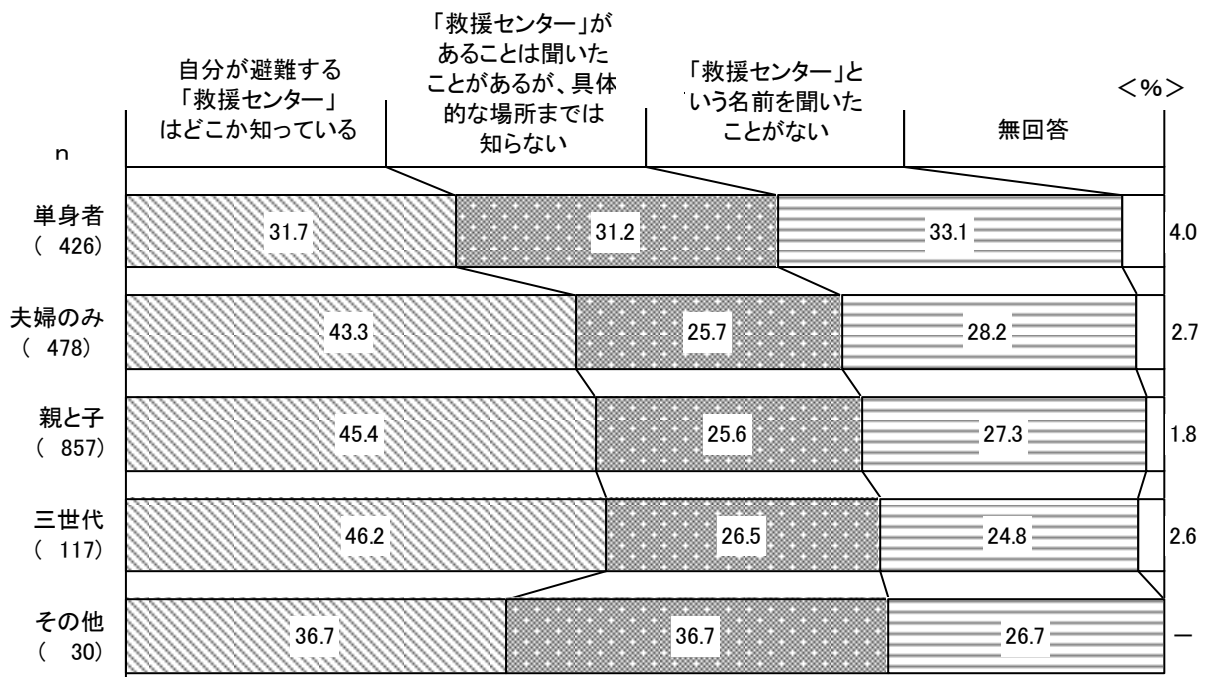
【居住年数別】

- 「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は、居住年数が長くなるほど高くなる傾向がみられ、10～20年未満（42.5%）で4割を超え、20年以上（45.6%）では4割台半ばとなっている。
- 「「救援センター」という名前を聞いたことがない」は、2～5年未満（40.7%）で約4割となっている。



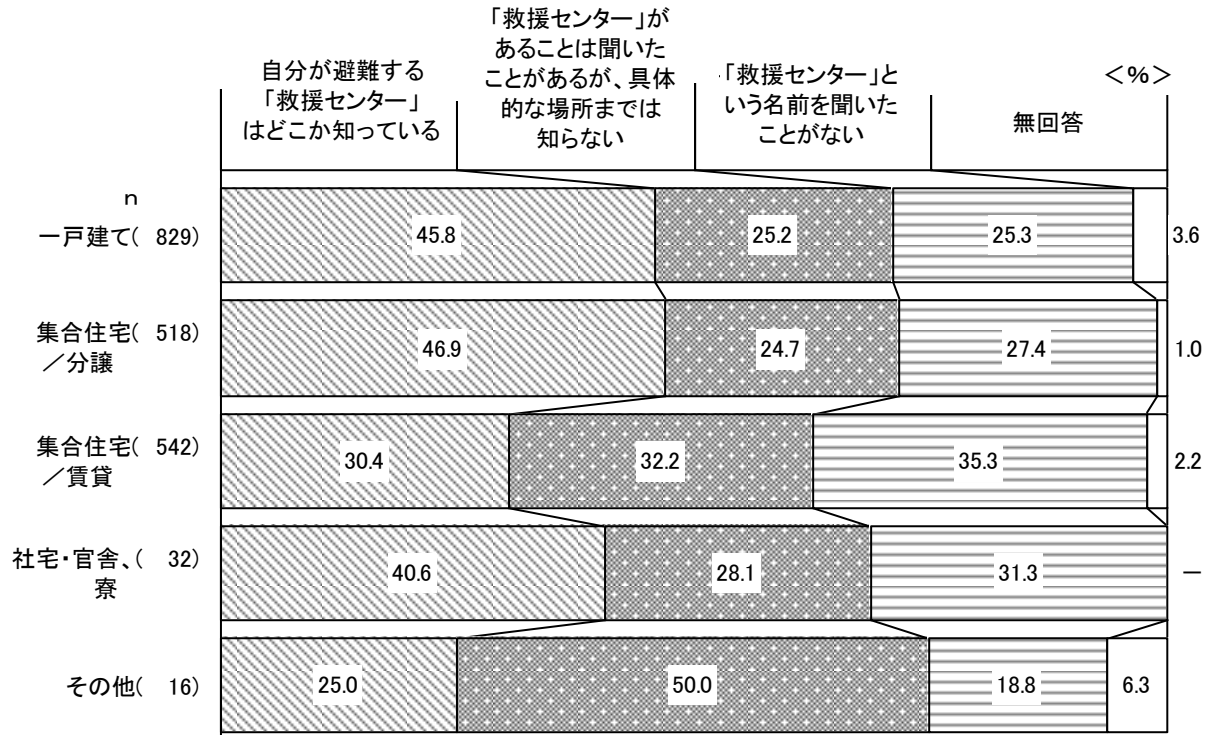
【世帯構成別】

- 「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は、三世帯（46.2%）と親と子（45.4%）で、それぞれ4割台半ばとなっている。
- 「「救援センター」という名前を聞いたことがない」は、単身者（33.1%）で3割を超えている。



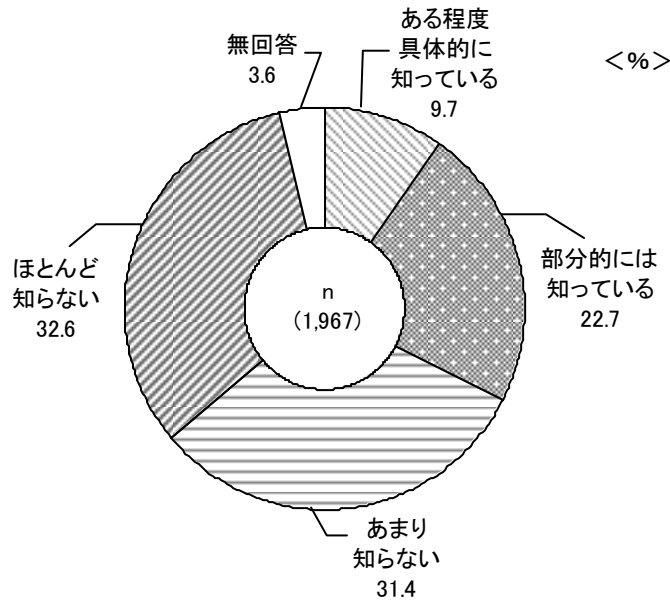
【住まい形態別】

- 「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は、集合住宅（分譲）（46.9%）と一戸建て（45.8%）で、それぞれ4割台半ばとなっている。



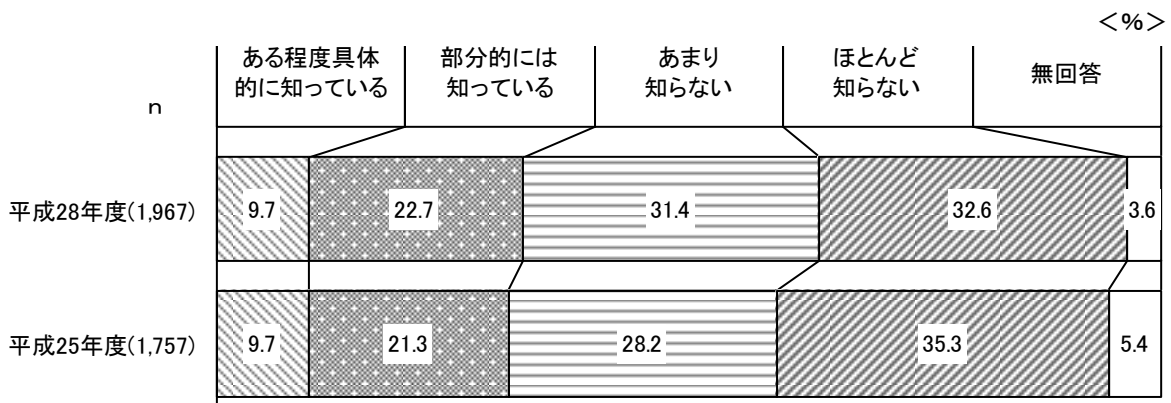
16-① 高齢者虐待に対する区民の理解度〔問 22(1)〕

- 高齢者に関する虐待や暴力及び通告・通報制度、連絡・相談先について聞いたところ、「ある程度具体的に知っている」(9.7%)と「部分的には知っている」(22.7%)を合わせた“知っている”(32.4%)としてみると、3割強となっている。
- 「あまり知らない」(31.4%)と「ほとんど知らない」(32.6%)を合わせた“知らない”(64.0%)でみると、6割台半ばとなっている。



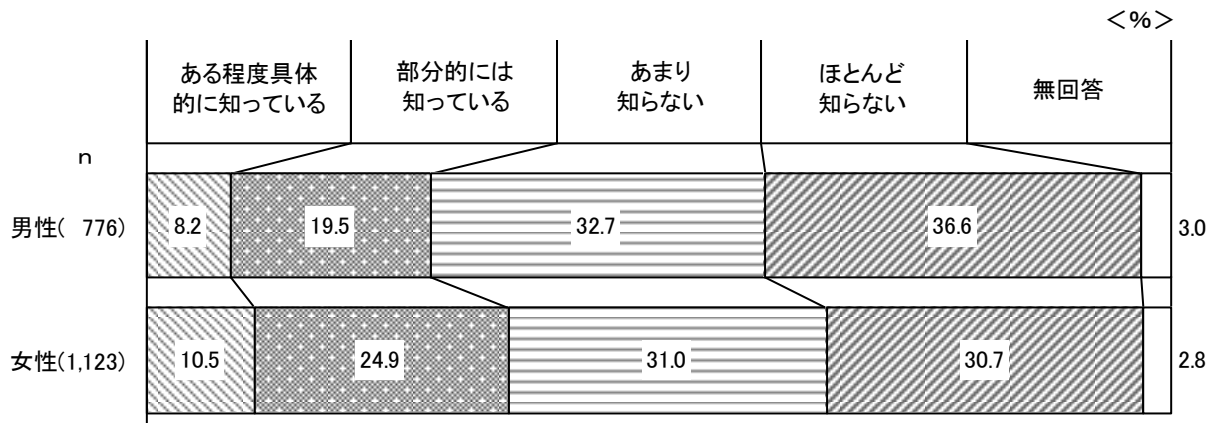
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成 25 年度から大きな変化はみられないが、“知っている”は 1.4 ポイント高くなっている。



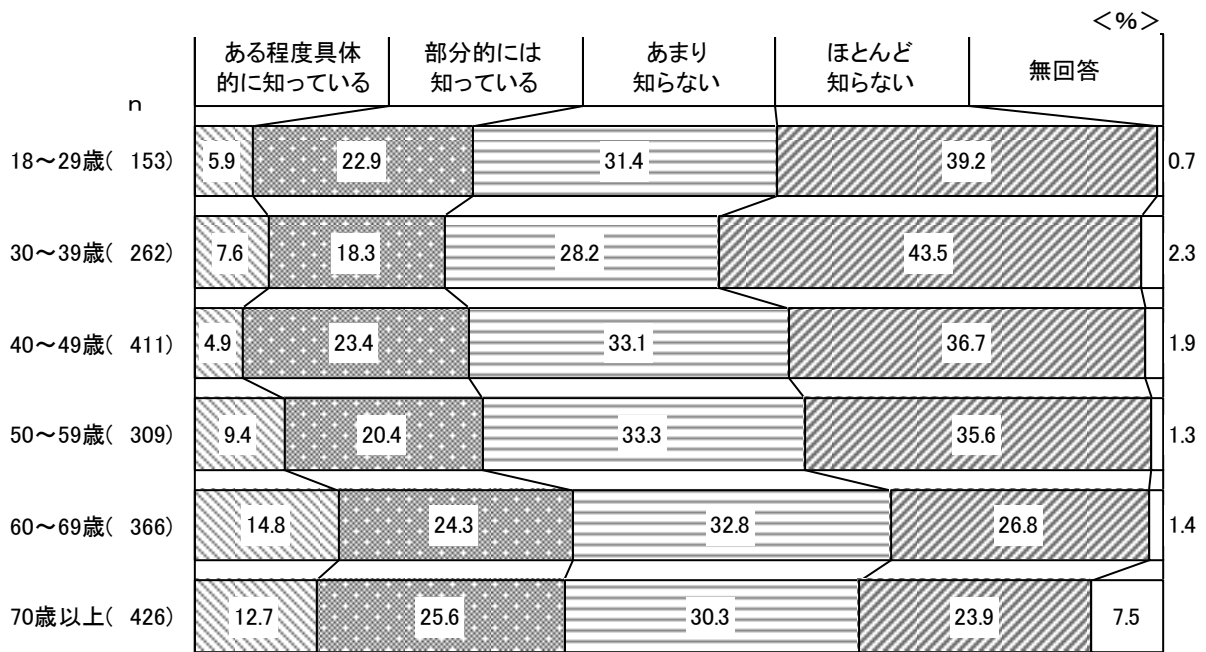
【性別】

- “知っている” は、女性（35.4%）が男性（27.7%）に比べて7.7ポイント高くなっている。



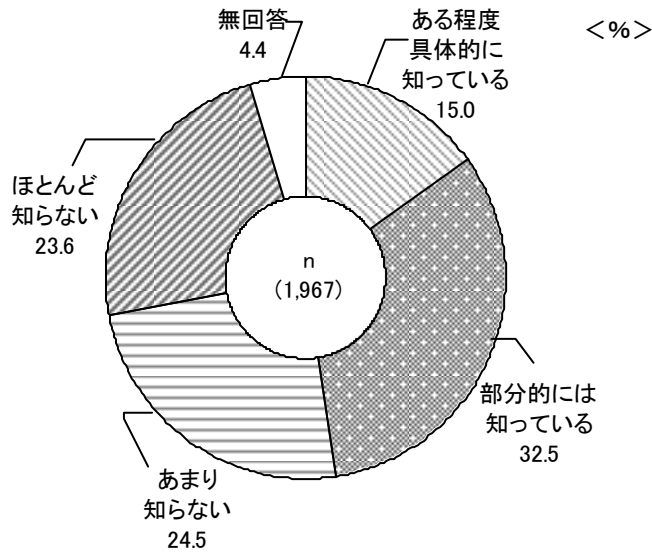
【年齢別】

- “知っている” は、おおむね年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、60～69 歳（39.1%）と70歳以上（38.3%）で4割弱となっている。
- “知らない” は、18～29 歳（70.6%）と30～39 歳（71.7%）で7割を超えている。



16-② 児童虐待に対する区民の理解度〔問 22(2)〕

- 児童に関する虐待や暴力及び通告・通報制度、連絡・相談先について聞いたところ、「ある程度具体的に知っている」(15.0%)と「部分的には知っている」(32.5%)を合わせた“知っている”(47.5%)としてみると、4割台半ばとなっている。
- 「あまり知らない」(24.5%)と「ほとんど知らない」(23.6%)を合わせた“知らない”(48.1%)でみると、5割弱となっている。



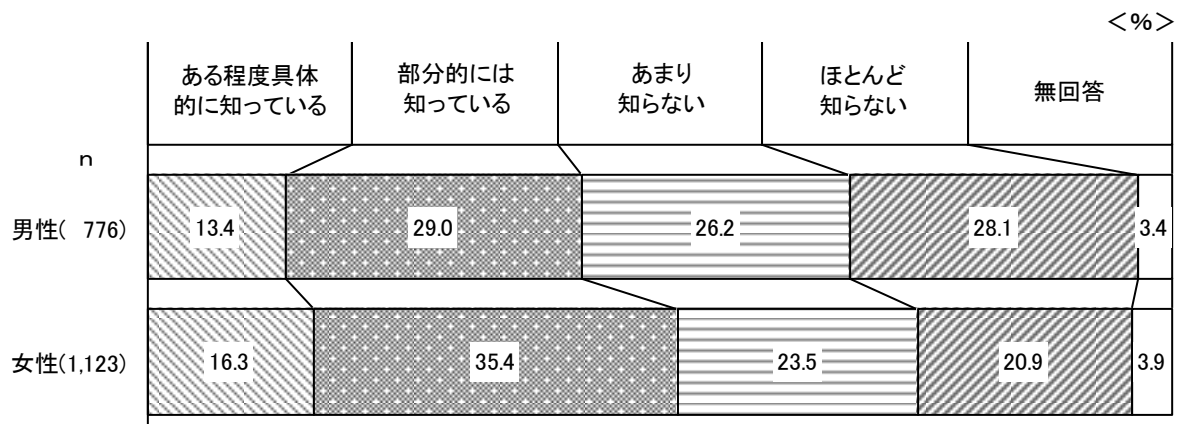
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成 25 年度に比べて“知っている”が 3.8 ポイント高くなっている。また、“知らない”は 1.3 ポイント低くなっている。

n	<%>				
	ある程度具体的に知っている	部分的には知っている	あまり知らない	ほとんど知らない	無回答
平成28年度(1,967)	15.0	32.5	24.5	23.6	4.4
平成25年度(1,757)	14.6	29.1	24.2	25.2	6.8

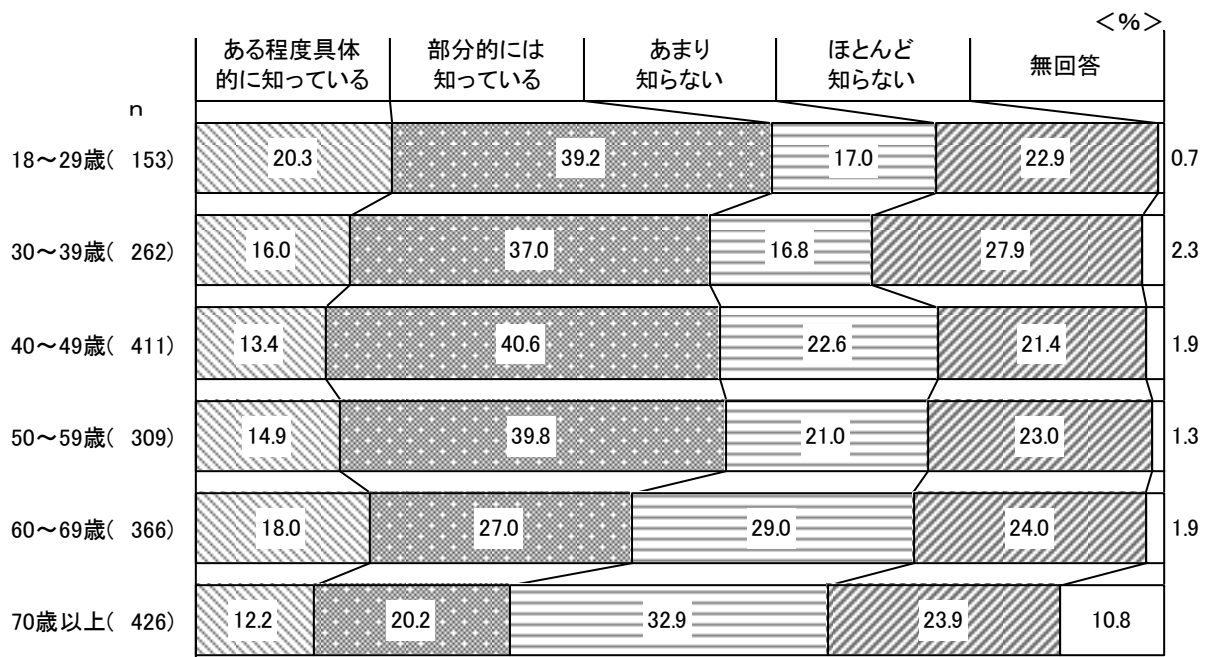
【性別】

- “知っている” は、女性（51.7%）で5割強、男性（42.4%）で4割強となっており、女性が男性に比べて9.3ポイント高くなっている。



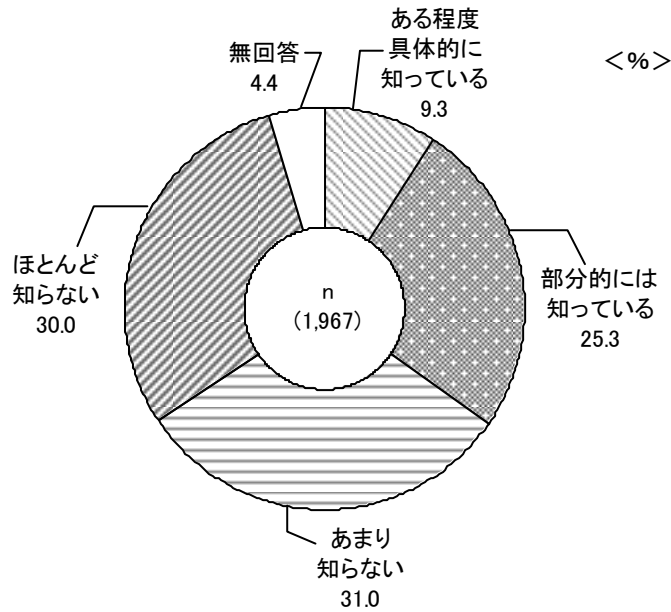
【年齢別】

- “知っている” は、18～29歳（59.5%）が約6割で最も高くなっている。
- “知らない” は、70歳以上（56.8%）と60～69歳（53.0%）で5割を超えている。



16ー③ DV(ドメスティック・バイオレンス)に対する区民の理解度〔問22(3)〕

- DVに関する虐待や暴力及び通告・通報制度、連絡・相談先について聞いたところ、「ある程度具体的に知っている」(9.3%)と「部分的には知っている」(25.3%)を合わせた“知っている”(34.6%)としてみると、3割台半ばとなっている。
- 「あまり知らない」(31.0%)と「ほとんど知らない」(30.0%)を合わせた“知らない”(61.0%)でみると、6割強となっている。



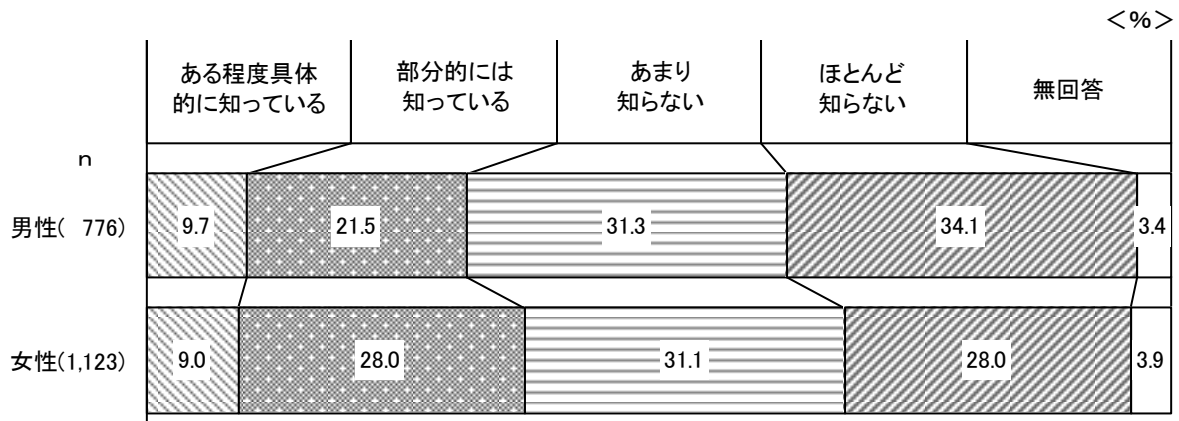
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成 25 年度から大きな変化はみられないが、“知っている”は 0.8 ポイント、“知らない”は 1.7 ポイント、それぞれ高くなっている。

n	<%>				
	ある程度具体的に知っている	部分的には知っている	あまり知らない	ほとんど知らない	無回答
平成28年度(1,967)	9.3	25.3	31.0	30.0	4.4
平成25年度(1,757)	9.4	24.4	28.2	31.1	6.8

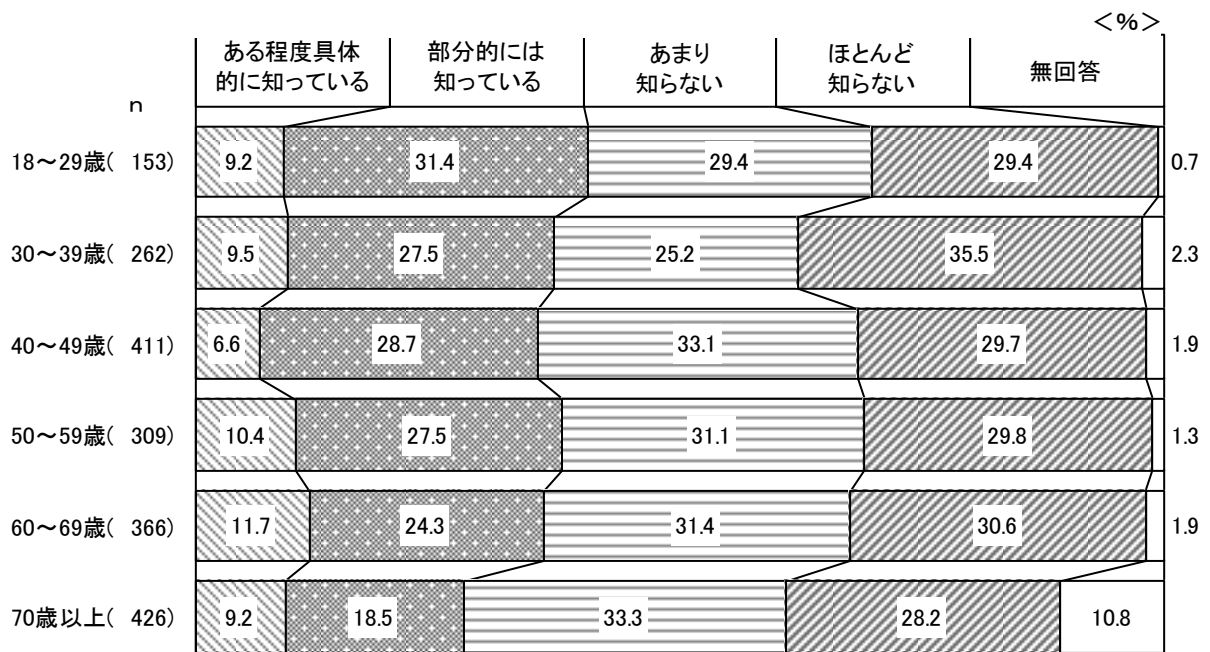
【性別】

● “知っている” は、女性（37.0%）が男性（31.2%）に比べて5.8ポイント高くなっている。



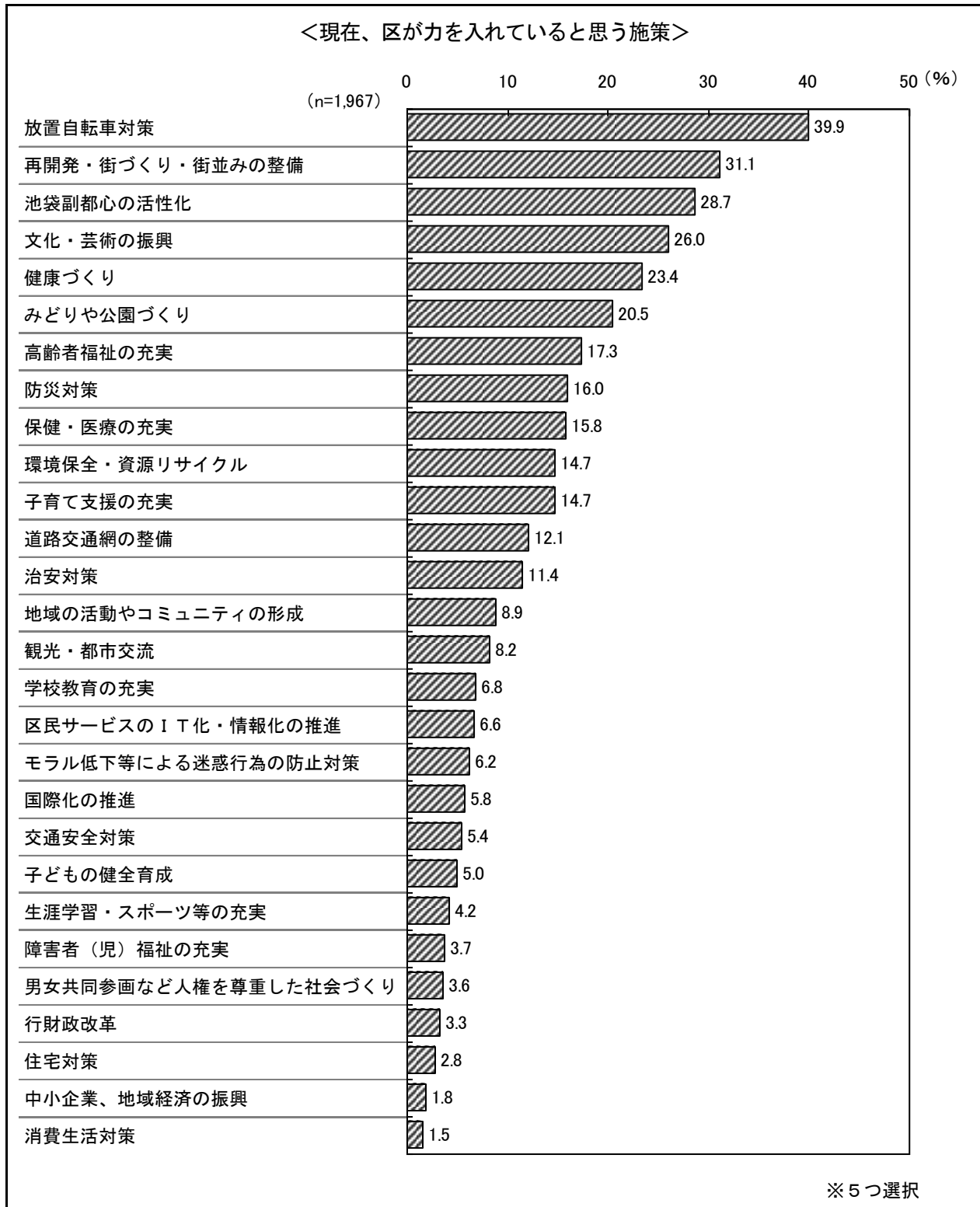
【年齢別】

● “知っている” は、18～29歳（40.6%）が約4割で最も高く、次いで、50～59歳（37.9%）、30～39歳（37.0%）となっている。



17-① 区政全般への要望（現在、区が力を入れていると思う施策）〔問 23〕

- 区政全般をみて、現在、区が力を入れていると思う施策を聞いたところ、「放置自転車対策」（39.9%）が約4割と最も高く、以下、「再開発・街づくり・街並みの整備」（31.1%）、「池袋副都心の活性化」（28.7%）、「文化・芸術の振興」（26.0%）などとなっている。



【経年比較】

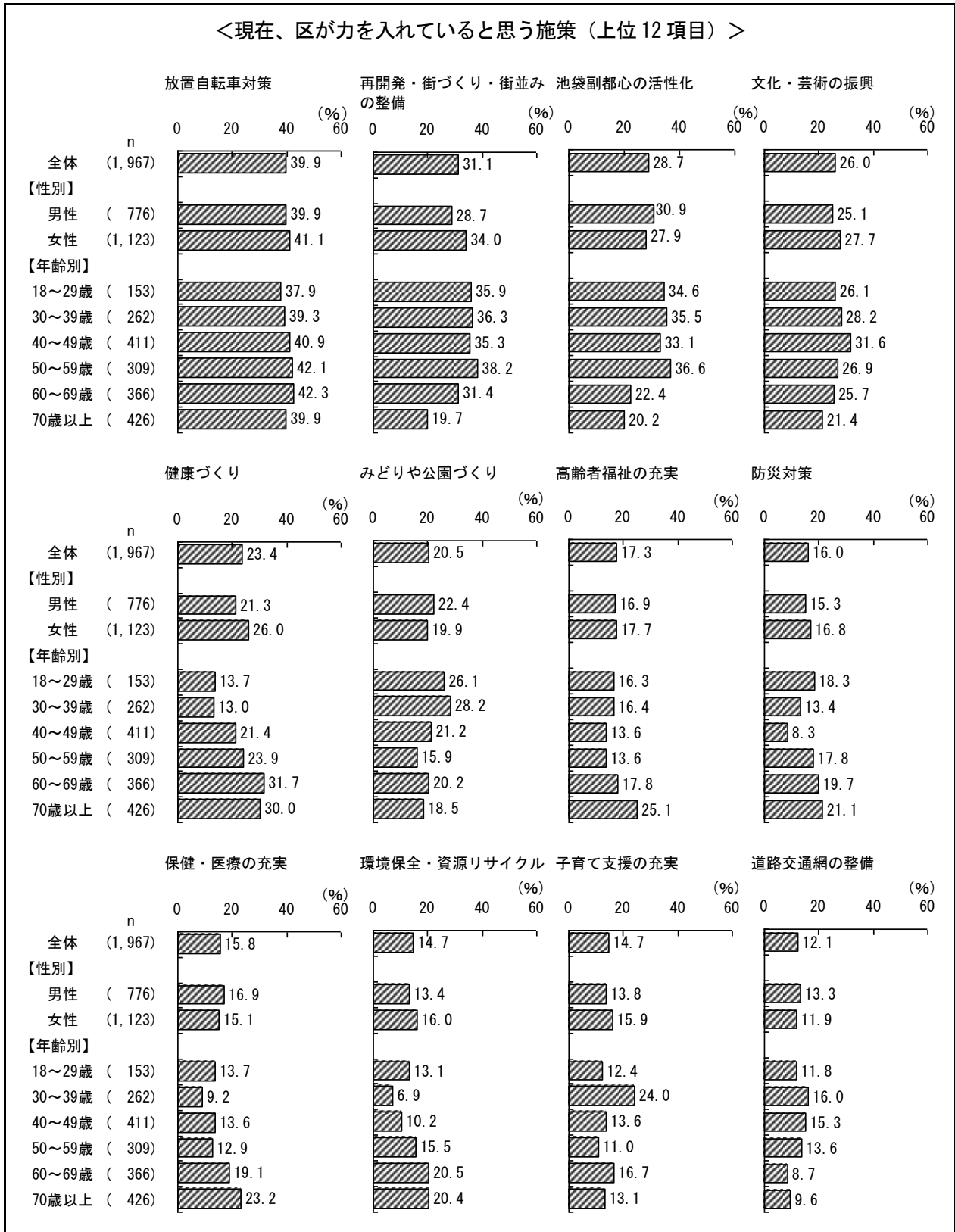
- 前回の調査と比較すると、上位 10 項目中で、平成 25 年度よりも順位が高くなったものは、「文化・芸術の振興」「みどりや公園づくり」「防災対策」の 3 項目となっている。
- 上位 10 項目中で、平成 25 年度よりも順位が低くなったものは、「健康づくり」「保健・医療の充実」「環境保全・資源リサイクル」の 3 項目となっている。

<平成28年度>			順位比較	<平成25年度>	
順位	施策	%		順位	%
1	放置自転車対策	39.9	←---	1	43.4
2	再開発・街づくり・街並みの整備	31.1	←---	2	27.2
3	池袋副都心の活性化	28.7	←---	3	24.4
4	文化・芸術の振興	26.0	↙	5	22.0
5	健康づくり	23.4	↘	4	22.7
6	みどりや公園づくり	20.5	↘	9	15.0
7	高齢者福祉の充実	17.3	←---	7	17.5
8	防災対策	16.0	↙	10	14.1
9	保健・医療の充実	15.8	↘	8	17.1
10	環境保全・資源リサイクル	14.7	↘	6	18.2
11	子育て支援の充実	14.7	↘	13	10.4
12	道路交通網の整備	12.1	↘	11	12.1
13	治安対策	11.4	↘	12	11.4
14	地域の活動やコミュニティの形成	8.9	←---	14	9.8
15	観光・都市交流	8.2	↙	20	4.7
16	学校教育の充実	6.8	←---	16	6.5
17	区民サービスのIT化・情報化の推進	6.6	↙	19	4.7
18	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	6.2	←---	18	5.2
19	国際化の推進	5.8		—	—
20	交通安全対策	5.4	↘	17	6.2
21	子どもの健全育成	5.0	←---	21	4.0
22	生涯学習・スポーツ等の充実	4.2	↘	15	6.7
23	障害者（児）福祉の充実	3.7	↘	22	3.9
24	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	3.6	↘	23	3.2
25	行財政改革	3.3	↘	24	3.1
26	住宅対策	2.8	↘	25	2.7
27	中小企業、地域経済の振興	1.8	↘	26	2.4
28	消費生活対策	1.5	↘	27	1.9

※「国際化の推進」は、今回（平成 28 年度）新設された選択肢である。

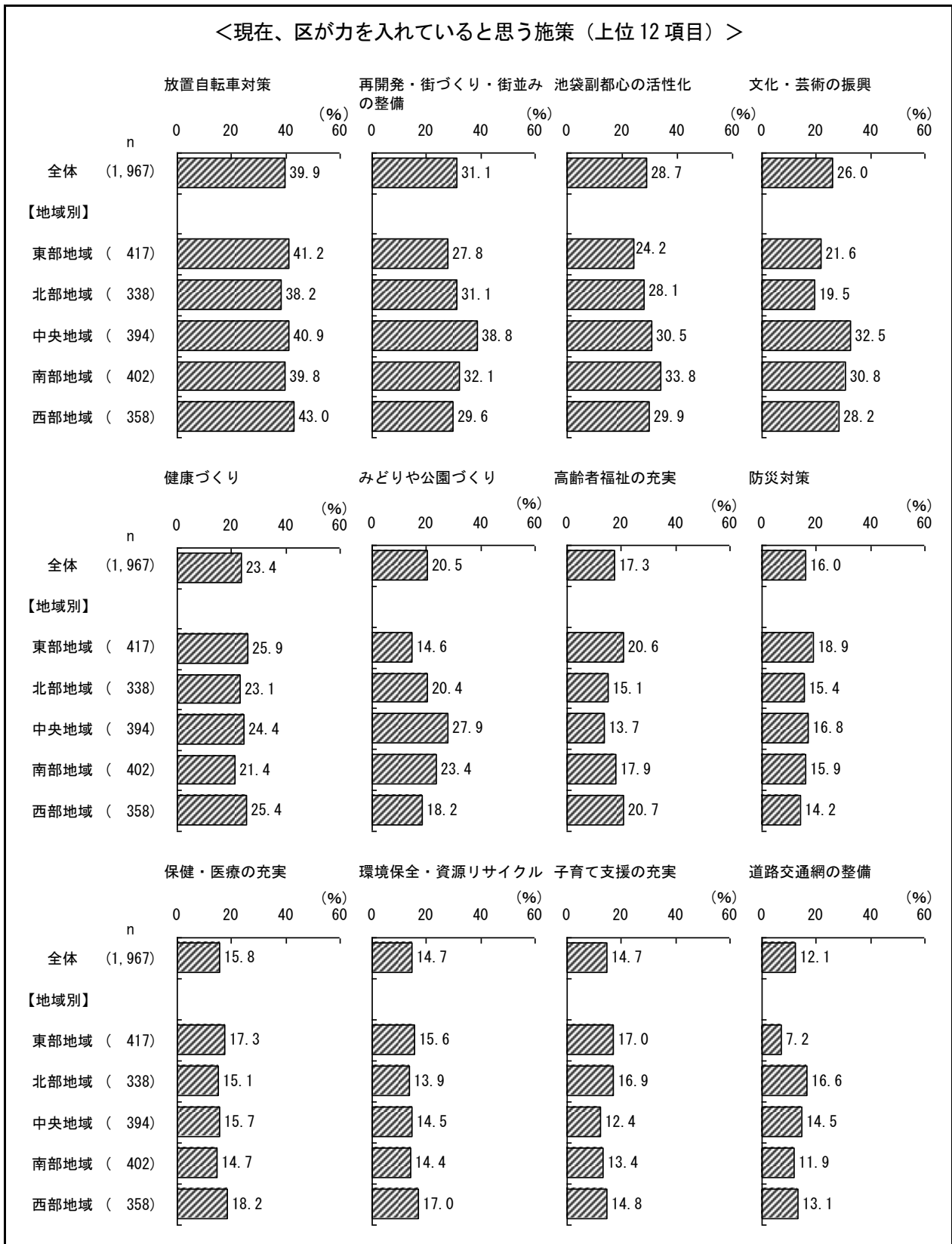
【性別・年齢別】

- 「放置自転車対策」は全ての年齢で4割前後となっている。
- 「池袋副都心の活性化」は50～59歳（36.6%）で最も高く、以下、30～39歳（35.5%）、18～29歳（34.6%）と続いている。



【地域別】

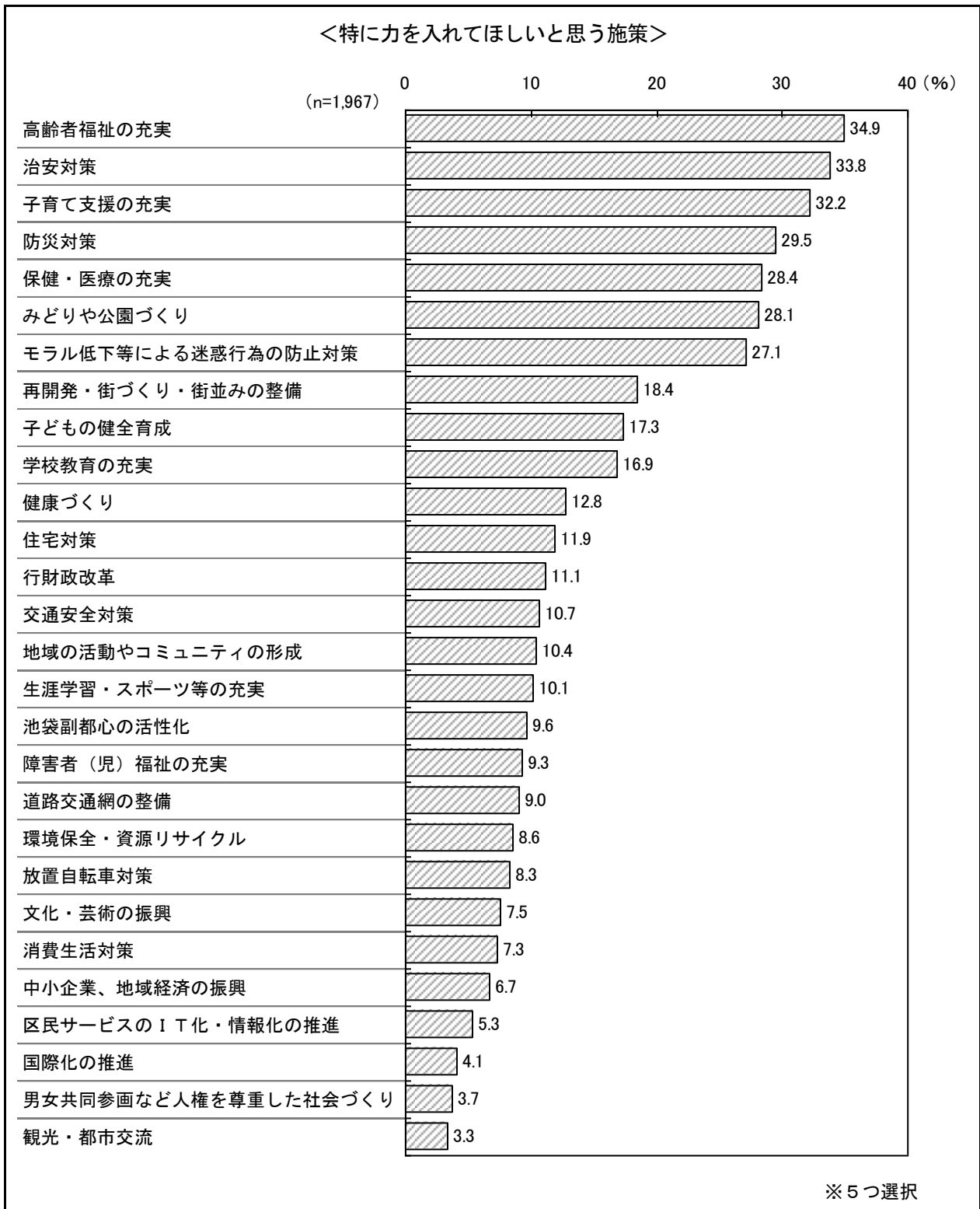
- 「放置自転車対策」はすべての地域で4割前後となっている。
- 「再開発・街づくり・街並みの整備」は中央地域（38.8%）が約4割で最も高くなっている。



※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

17-② 区政全般への要望（特に力を入れてほしいと思う施策）〔問 23〕

- 区政全般をみて、特に力を入れてほしいと思う施策を聞いたところ、「高齢者福祉の充実」（34.9%）が3割台半ばと最も高く、以下、「治安対策」（33.8%）、「子育て支援の充実」（32.2%）、「防災対策」（29.5%）、「保健・医療の充実」（28.4%）、「みどりや公園づくり」（28.1%）、「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」（27.1%）などとなっている。



【経年比較】

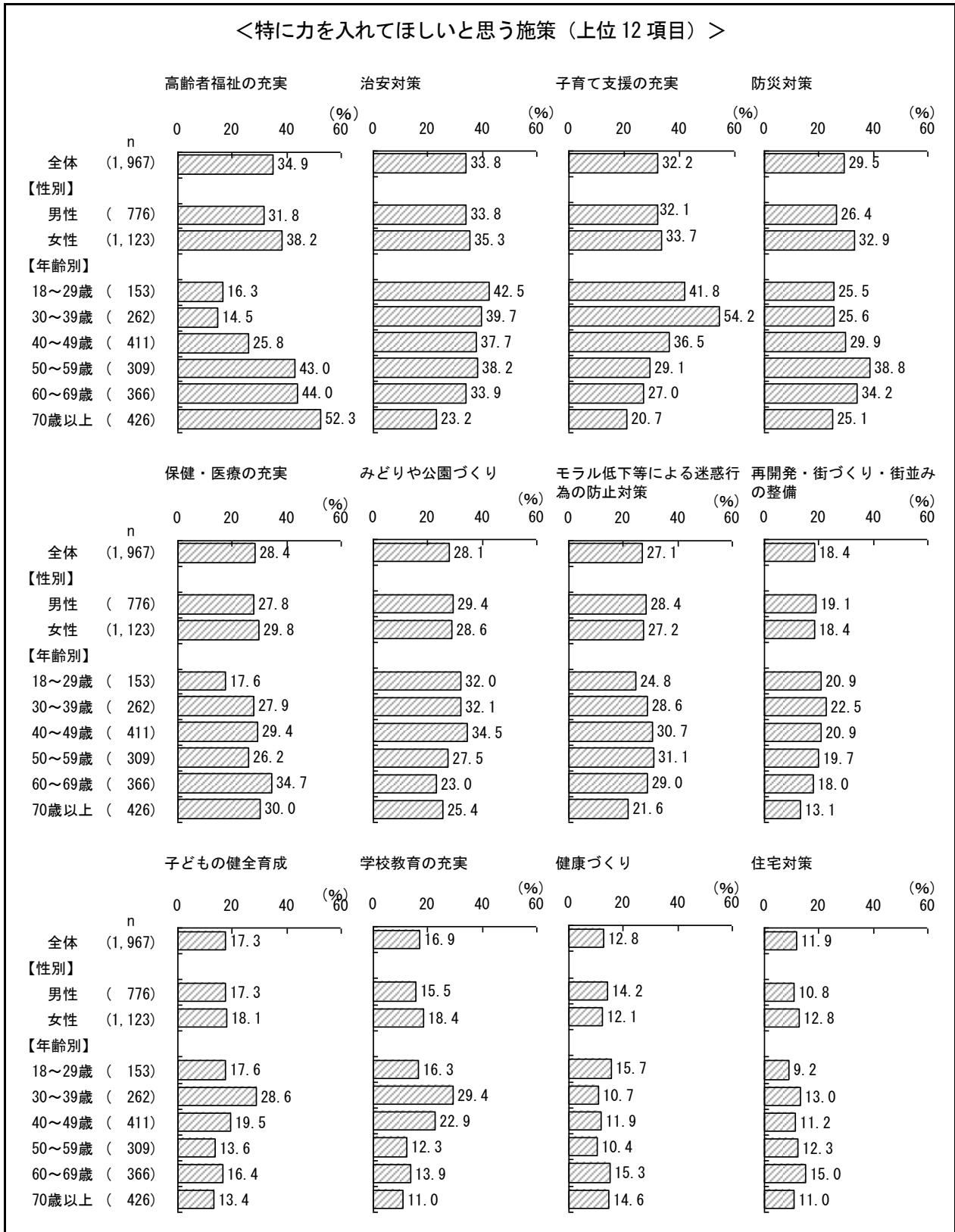
- 前回の調査と比較すると、上位 10 項目中で、平成 25 年度よりも順位が高くなったものは、「高齢者福祉の充実」「子育て支援の充実」の2項目となっている。
- 上位 10 項目中で、平成 25 年度よりも順位が低くなったものは、「治安対策」「防災対策」「みどりや公園づくり」「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」の4項目となっている。

<平成28年度>			順位比較	<平成25年度>	
順位	施策	%		順位	%
1	高齢者福祉の充実	34.9	↖	2	34.4
2	治安対策	33.8	↖	1	34.7
3	子育て支援の充実	32.2	↖	7	23.8
4	防災対策	29.5	↖	3	31.0
5	保健・医療の充実	28.4	←---	5	28.6
6	みどりや公園づくり	28.1	↖	4	30.7
7	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	27.1	↖	6	26.5
8	再開発・街づくり・街並みの整備	18.4	←---	8	17.3
9	子どもの健全育成	17.3	←---	9	16.8
10	学校教育の充実	16.9	←---	10	14.8
11	健康づくり	12.8	↖	13	10.8
12	住宅対策	11.9	←---	12	12.5
13	行財政改革	11.1	↖	17	10.4
14	交通安全対策	10.7	↖	11	12.9
15	地域の活動やコミュニティの形成	10.4	↖	19	9.6
16	生涯学習・スポーツ等の充実	10.1	↖	14	10.8
17	池袋副都心の活性化	9.6	↖	22	8.4
18	障害者（児）福祉の充実	9.3	←---	18	10.1
19	道路交通網の整備	9.0	↖	20	9.3
20	環境保全・資源リサイクル	8.6	↖	16	10.4
21	放置自転車対策	8.3	↖	15	10.5
22	文化・芸術の振興	7.5	↖	23	7.6
23	消費生活対策	7.3	↖	24	7.5
24	中小企業、地域経済の振興	6.7	↖	21	9.3
25	区民サービスのIT化・情報化の推進	5.3	←---	25	5.0
26	国際化の推進	4.1		—	—
27	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	3.7	←---	27	2.7
28	観光・都市交流	3.3	↖	26	3.1

※「国際化の推進」は、今回（平成 28 年度）新設された選択肢である。

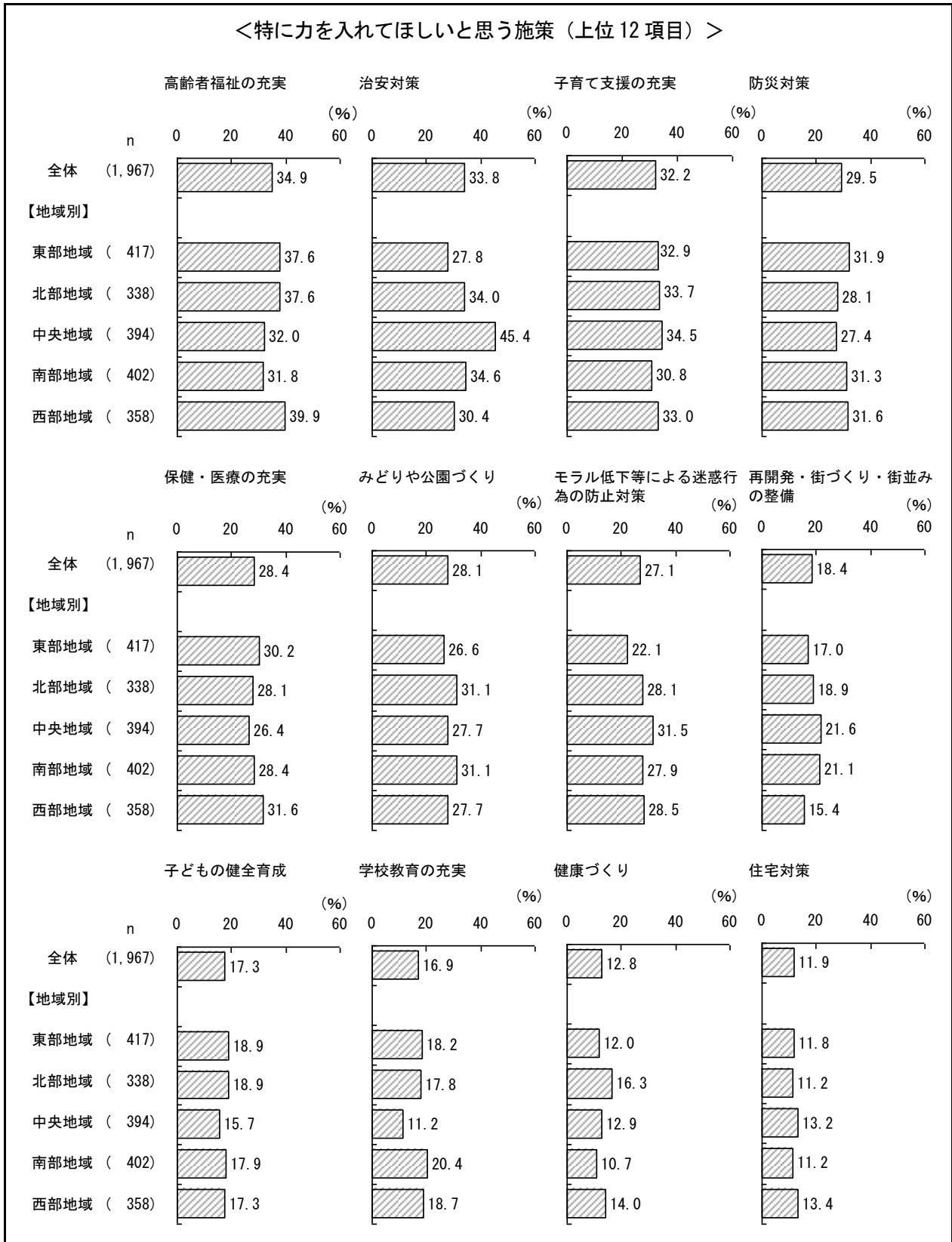
【性別・年齢別】

- 「高齢者福祉の充実」は年齢が上がるほど高くなり、70歳以上（52.3%）で5割を超えている。
- 「子育て支援の充実」は30～39歳（54.2%）で最も高く、以下、18～29歳（41.8%）、40～49歳（36.5%）と続いている。



【地域別】

- 「高齢者福祉の充実」は西部地域（39.9%）で約4割となっており、次いで東部地域（37.6%）と北部地域（37.6%）で、それぞれ3割台半ばを超えている。
- 「治安対策」は中央地域（45.4%）で4割台半ばとなっている。



●総合分析

「現在、区が力を入れていると思う施策（現在の評価）」と「特に力を入れてほしいと思う施策（今後の優先度）」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。また、前回調査と比較するため、◆が今回調査、◇が前回調査とし、前回から今回への推移を矢印で表した。

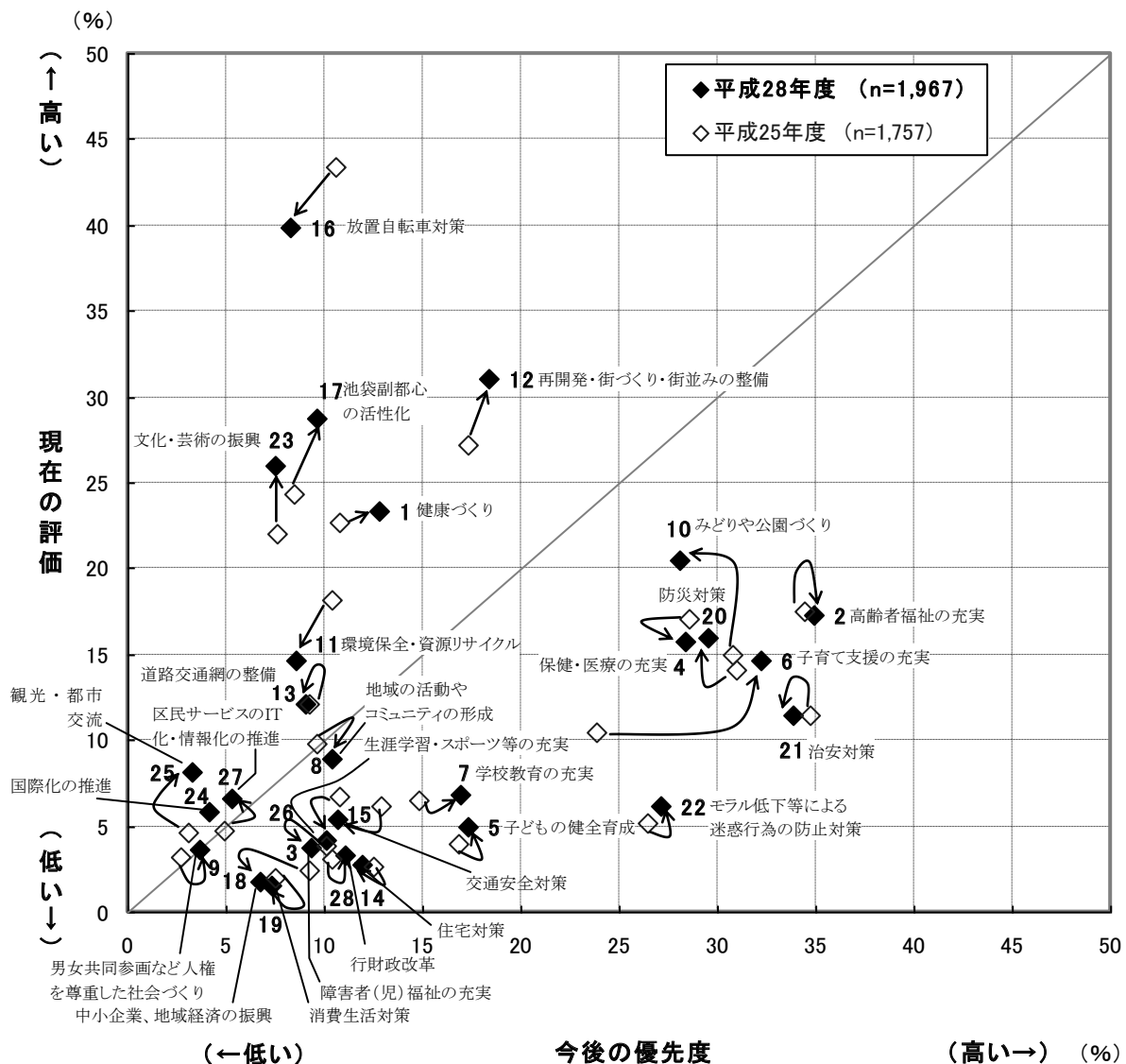
《数値化の方法》

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

- 現在の評価
各項目の回答割合 (%)
- 今後の優先度
各項目の回答割合 (%)

このグラフで右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

●現在の評価は低いが、今後の優先度は高い項目は、優先度が高い順に「高齢者福祉の充実」「治安対策」「子育て支援の充実」「防災対策」となっている。



18 自由意見

これからの豊島区のまちづくりに対する自由意見の整理結果は以下のとおりである。1,967 人の回答者中、760 件からの回答を得られた。回答内容によって複数に分けた意見もあるため、全体の意見数は1,483 件となっている。意見の分類は、問6：地域の生活環境の評価と今後の優先度の項目に沿って行った。

分野	意見件数
①参画・協働	48
②平和・人権	75
③福祉	90
④健康・保健	40
⑤子育て	116
⑥教育	42
⑦みどり・環境	211
⑧都市再生・交通	275
⑨防災・治安	216
⑩商工・観光	67
⑪文化	65
⑫区政について	154
⑬その他	43
⑭本調査について	41
合計	1,483

Ⅲ. 調査票

協働のまちづくりに関する区民意識調査

－ 調査ご協力をお願い －

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。豊島区では、一人ひとりの区民をはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかでお感じになっている地域の生活環境、区の政策等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

これからの豊島区をつくるのは、ほかでもない、区民の皆さま一人ひとりのまちづくりへの参加、そして協働であると思います。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年9月

豊島区長 高野之夫

《ご記入にあたって》

1. この調査は、区内に2年以上お住まいの18歳以上の方から無作為に選ばせていただいた5,000人を対象として実施するものです。
2. 同封のアンケートへのご回答は、原則として封筒のあて名のご本人が行ってください。（ご本人の回答が困難な場合には、ご家族の方に相談いただいても結構です。）
3. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
4. 質問で、○をつける選択肢の番号を「1つに○」「○は3つまで」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」を選んだ場合や自由回答には、具体的な内容をご記入ください。
5. 回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。また、郵送に使用した皆さまの個人情報、他の目的に流用することはありません。お考えになっていることや、お感じになっていることをお答えください。

◎ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

9月30日（金）までに 郵便ポストにご投函ください。

なお、返信用封筒にはバーコードがついていますが、これは返送先（区）の郵便番号を示すもので、個人を特定するものではありません。

記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

【連絡先】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

【電話】 03-4566-2511（直通）

【FAX】 03-3980-5093

協働のまちづくりに関する区民意識調査 調査票

I. 豊島区の印象について

1. 住み心地ごこち

問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地ごこちはどうか。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|------------------|----------|
| 1. 住み良い | 3. どちらかといえば住みにくい | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば住み良い | 4. 住みにくい | |

問2 以前と比べて住み心地ごこちに変化はありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 以前より住み良くなった | 3. 変わらない |
| 2. 以前より住みにくくなった | 4. わからない |

→ ≪問2で「1. 以前より住み良くなった」または「2. 以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします≫

問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことについて1つお答えください。(自由回答)

2. 居住の経緯

問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む) | 2. 他の地域からきた |
|------------------------------|-------------|

→ ≪問3で「2」とお答えの方におたずねします≫

問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。(1つに○)

- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた |
| 2. 最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった |
| 3. 転居先が豊島区内に決まっていた(会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめる家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど) |

→ ≪問3-1で「1」または「2」とお答えの方におたずねします≫

問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 買い物など日常生活に便利だから | 9. 治安が良いから |
| 2. 通勤・通学に便利だから | 10. 防災面で安全だから |
| 3. 出産や子育て環境が良いから | 11. 公共施設が充実しているから |
| 4. 教育環境が良いから | 12. 街並みや街の雰囲気が良いから |
| 5. 文化的な環境が良いから | 13. 豊島区またはその地域のイメージが良かったから |
| 6. 医療・福祉・介護が充実しているから | 14. 気に入った物件が豊島区内だったから |
| 7. 住環境が良いから | 15. 物価が安いから |
| 8. 自然環境が良いから | 16. その他() |

3. 定住意向

問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. いつまでも住み続けたいと思っている |
| 2. 当分住み続けたいと思っている |
| 3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある |
| 4. 他の地域・区市町村に転居したいと思っている |
| 5. わからない |

→ ≪問4で「1」または「2」とお答えの方におたずねします≫

問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 地域になじみがあるから | 13. 子どもの教育のため、住む必要があるから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地だから | 14. 教育環境が良いから |
| 3. 今の住まいが気に入っているから | 15. 文化的な環境が良いから |
| 4. 持ち家だから | 16. 医療・福祉・介護が充実しているから |
| 5. 親や子どもと一緒に(近く)に住んでいるから | 17. 住環境が良いから |
| 6. 親戚が近くに住んでいるから | 18. 家賃が適当だから |
| 7. 友人・知人が近くに住んでいるから | 19. 物価が安いから |
| 8. 近所づきあいがうまくいっているから | 20. 自然環境が良いから |
| 9. 買い物など日常生活に便利だから | 21. 治安が良いから |
| 10. 通勤・通学に便利だから | 22. 防災面で安全だから |
| 11. 仕事の関係上、住む必要があるから | 23. 公共施設が充実しているから |
| 12. 出産や子育て環境が良いから | 24. その他() |

→ ≪問4で「3」または「4」とお答えの方におたずねします≫

問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 地域になじみがないから | 15. 出産や子育て環境が良くないから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地ではないから | 16. 子どもの教育のため、転居する必要があるから |
| 3. 今の住まいが気に入っていないから | 17. 教育環境が良くないから |
| 4. 持ち家に住みたいから | 18. 文化的な環境が良くないから |
| 5. 家が手狭になったから | 19. 医療・福祉・介護が充実していないから |
| 6. 親や子どもの近くに住みたいから | 20. 住環境が良くないから |
| 7. 親戚の近くに住みたいから | 21. 家賃が負担だから |
| 8. 友人・知人の近くに住みたいから | 22. 物価が高いから |
| 9. 結婚するから | 23. 自然環境が良くないから |
| 10. 近所づきあいがうまくいっていないから | 24. 治安が良くないから |
| 11. 買い物など日常生活に不便だから | 25. 防災面で不安だから |
| 12. 通勤・通学に不便だから | 26. 公共施設が充実していないから |
| 13. 仕事の関係上、転居する必要があるから | 27. 他の地域にも興味があるから |
| 14. 仕事・学校の関係で一時的に居住しているだけだから | 28. その他() |

4. 地域への愛着

問5 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

- | | | |
|---------------|-----------------|--------------|
| 1. 愛着を感じている | 3. あまり愛着を感じていない | 5. どちらともいえない |
| 2. やや愛着を感じている | 4. 愛着を感じていない | |

II. 地域の生活環境の評価と今後の優先度について

問6 以下の設問は、地域の生活環境を 11 グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。「現在の評価」欄は、項目ごとに一つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
① 参画・協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	1	2	3	※1～4の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	1	2	3	
	4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	
② 平和・人権	5	外国人の持つ多様な価値観や文化が尊重されている	1	2	3	※5～10の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	6	地域で外国人との交流がある	1	2	3	
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	8	性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる	1	2	3	
	9	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)への理解が深まっている	1	2	3	
	10	配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている	1	2	3	
③ 福祉	11	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	※11～17の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	12	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる	1	2	3	
	13	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている	1	2	3	
	14	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる	1	2	3	
	15	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい	1	2	3	
	16	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	1	2	3	
	17	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
④健康・保健	18	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある	1	2	3	※18～21の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	19	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している	1	2	3	
	20	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	21	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	1	2	3	
⑤子育て	22	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある	1	2	3	※22～26の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	23	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	24	子どもの成長や安全・安心な生活が地域全体で支えられている	1	2	3	
	25	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる	1	2	3	
	26	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている	1	2	3	
⑥教育	27	学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている	1	2	3	※27～35の中から3つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	28	学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身についている	1	2	3	
	29	学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身についている	1	2	3	
	30	信頼される実践力の高い教員が育成されている	1	2	3	
	31	家庭での教育に対する支援が充実している	1	2	3	
	32	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている	1	2	3	
	33	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	1	2	3	
	34	豊島区ならではの特色ある教育が進められている	1	2	3	
	35	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			そう思う どちらかという と	どちらとも いえない	どちらかという と そう思わない	
⑦みどり・環境	36	みどりが豊かで、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある	1	2	3	<p>各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。</p> <p>※36～43の中から3つ選んで、番号を書いてください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
	37	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	38	CO ₂ 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	1	2	3	
	39	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	1	2	3	
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	41	騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない	1	2	3	
	42	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
	43	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	1	2	3	
⑧都市再生・交通	44	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	<p>※44～52の中から3つ選んで、番号を書いてください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	46	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	47	新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	1	2	3	
	49	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	50	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	
	51	身近な生活道路が安全・快適に通行できる	1	2	3	
52	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	1	2	3		

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
⑨ 防災・治安	53	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	※53～59の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	54	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	
	55	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています	1	2	3	
	56	電柱のない道路が増えている	1	2	3	
	57	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	58	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	59	交通事故が少ない	1	2	3	
⑩ 商工・観光	60	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	1	2	3	※60～65の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	61	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	1	2	3	
	62	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	
	63	区内の観光スポットがにぎわっている	1	2	3	
	64	区内の観光情報が国内外にPRされている	1	2	3	
	65	区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている	1	2	3	
⑪ 文化	66	多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い	1	2	3	※66～72の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	67	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	68	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる	1	2	3	
	69	豊島区の文化芸術の魅力が国内外に発信されている	1	2	3	
	70	図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある	1	2	3	
	71	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	
	72	地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	1	2	3	

Ⅲ. 区の情報・区の政策等について

1. 区の情報・区政への参加について

問7 あなたは、区に関する情報をどのような方法で入手していますか。(いくつでも○)

1. 区の広報紙(広報としま)	8. 区の掲示板
2. 広報紙以外の区の刊行物	9. 町会などの回覧板
3. 区のホームページ	10. 知人・家族から(口コミ)
4. 区のメールマガジン・情報アプリ	11. 区の窓口や電話での問い合わせ
5. 区以外のインターネットサイト・SNS	12. 入手したことがない
6. 区のテレビ広報番組(ケーブルテレビ)	13. その他
7. 区以外の新聞・雑誌・テレビ報道	()

問8 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

1. 関心がある	3. あまり関心がない
2. 少しは関心がある	4. 関心がない

問9 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。(1つに○)

1. 反映されている	3. あまり反映されていない
2. 少しは反映されている	4. 反映されていない

問10 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

1. 満足している	3. 少し不満である
2. 少しは満足している	4. 不満である

2. 地域との関わりについて

問11 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。(1つに○)

1. 思っている	3. あまり思っていない
2. 少しは思っている	4. 思っていない

問12 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。(1つに○)

1. 現在、参加している	3. 関心はあるが、参加していない
2. 以前、参加したことがある	4. 関心がないので、参加していない

3. 女性にやさしいまちづくりについて

問13 豊島区は、女性が輝き、活躍する社会づくりを積極的に推進していくことで、すべての人にやさしく、暮らしやすいまちづくりにつながる、「女性にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。

女性にやさしく、暮らしやすいと感じるまちに、大切だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

1. 仕事と生活を両立しやすい環境整備	7. 女性の健康に関する施策・サービスの充実
2. 女性の声を反映する仕組みづくり	8. 女性の起業・創業・就労の支援
3. 見守りや支え合いなど地域力の向上	9. 文化やスポーツなど多様なニーズに対応した施設・サービスの充実
4. 安心して子どもを産み育てられる環境整備	10. その他
5. 子育てや介護施策・サービスの充実	()
6. 子育てや働きながら住み続けられる住まいの充実	()

4. セーフコミュニティについて

問 14 豊島区は、平成24年11月、WHO(世界保健機関)が推奨する「セーフコミュニティ」の国際認証を取得しました。セーフコミュニティとは、「けがや事故等は決して偶然の結果ではなく、原因を究明することで必ず予防できる」という考え方のもと、地域のコミュニティや絆を広げながら、生活の安全と健康の質を高めていくまちづくり活動のことです。

あなたは、このセーフコミュニティ活動について知っていますか。(1つに○)

1. 考え方や活動内容を知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない
3. はじめて聞いた

問 15 交通事故が発生した場所や注意すべき地点を知っていることで、事故防止につなげることができます。お住まいの周辺で、交通事故発生場所、危ないと思われる場所があることをご存じですか。

(1つに○)

1. 複数の具体的な場所を知っていて、注意している
2. 一つは具体的な場所を知っていて、注意している
3. 事故の発生場所を聞いたことはあるが、具体的な場所までは知らない
4. 事故の発生状況については、あまり関心を持っていなかった

問 16 自転車は便利な乗り物ですが、一つ間違えば大きな事故につながります。最近、あなたのお住まいの地域で、道路交通法で決められている自転車の運転ルールは守られていると感じていますか。

(1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. よく守られていると思う | 4. あまり守られていないと思う |
| 2. だいたい守られていると思う | 5. ほとんど守られていないと思う |
| 3. どちらともいえない | |

問 17 豊島区では、環境浄化団体や警察と合同で、定期的に環境浄化パトロール活動を実施しています。あなたは、池袋駅周辺(繁華街)の治安についてどのように感じますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. とても安心感がある | 4. やや不安感がある |
| 2. やや安心感がある | 5. とても不安感がある |
| 3. どちらともいえない | |

問 18 地震の大きな揺れにより、家具や本棚、冷蔵庫、テレビなどが転倒して、けがをすることが想定されます。あなたは、(あなたの家庭では、)どのような対策をとっていますか。(いくつでも○)

1. 家具や本棚などを固定し、転倒を防止している
2. テレビや冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
3. 転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている
4. 食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している
5. 窓ガラスが割れて飛散ないようにしている(強化ガラス、フィルムを貼るなど)
6. 特に対策はしていない

問 19 外出中に、大規模な地震が発生し、公共交通機関の運行が停止した場合、あなたはどうしますか。
(1つに○)

- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる 2. 駅やバス停などにむかい公共交通機関の運行再開を待つ 3. 家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問 20 あなたは、最近1年間に、区や町会等が実施する防災訓練や避難訓練に参加したことがありますか。(1つに○)

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 参加したことがある 2. 自分は参加したことはないが、家族が参加したことがある 3. 訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない 4. 身近な地域で参加できる訓練がない 5. 訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない) |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問 21 区ではお住まいの地域ごとに、震災時などの一時的な避難場所として、小・中学校などを「救援センター」として指定しています。あなたは、「救援センター」について知っていますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分が避難する「救援センター」はどこか知っている 2. 「救援センター」があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない 3. 「救援センター」という名前を聞いたことがない |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問 22 子どもや高齢者、配偶者などへの虐待・暴力を早期発見・防止するためには、私たち一人ひとりが理解を深めていくことが大切です。あなたは、以下について、どのような行為が虐待や暴力にあたるか、心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先などについて知っていますか。
(それぞれ該当する番号1つに○)

	ある程度 具体的に 知っている	部分的には 知っている	あまり 知らない	ほとんど 知らない
(1) 高齢者虐待 [主な通告、相談先] ・区の高齢者総合相談センター(地域包括支援センター) ・区の高齢者福祉課、警察など	1	2	3	4
(2) 児童虐待 [主な通告、相談先] ・区立子ども家庭支援センター ・児童相談所、警察など	1	2	3	4
(3) DV(ドメスティック・バイオレンス) (配偶者やパートナーへの暴力) [主な通告、相談先] ・区立男女平等推進センター ・区の子育て支援課、警察など	1	2	3	4

5. 区政全般への要望

問 23 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。(○はそれぞれ5つまで)

施 策	現在、区が力を入れていると思う施策 (5つまで)	特に力を入れてほしいと思う施策 (5つまで)
健康づくり	1	1
高齢者福祉の充実	2	2
障害者(児)福祉の充実	3	3
保健・医療の充実	4	4
子どもの健全育成	5	5
子育て支援の充実	6	6
学校教育の充実	7	7
地域の活動やコミュニティの形成	8	8
男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	9	9
みどりや公園づくり	10	10
環境保全・資源リサイクル	11	11
再開発・街づくり・街並みの整備	12	12
道路交通網の整備	13	13
住宅対策	14	14
交通安全対策	15	15
放置自転車対策	16	16
池袋副都心の活性化	17	17
中小企業、地域経済の振興	18	18
消費生活対策	19	19
防災対策	20	20
治安対策	21	21
モラル低下等による迷惑行為の防止対策	22	22
文化・芸術の振興	23	23
国際化の推進	24	24
観光・都市交流	25	25
生涯学習・スポーツ等の充実	26	26
区民サービスのIT化・情報化の推進	27	27
行財政改革	28	28

IV. あなたご自身のことについて（※統計的に分析するために使用します。）

①あなたの性別をお答えください。（1つに○）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

②あなたの年齢について、お答えください。（1つに○）

1. 18～19歳	6. 40～44歳	11. 65～69歳
2. 20～24歳	7. 45～49歳	12. 70～74歳
3. 25～29歳	8. 50～54歳	13. 75～79歳
4. 30～34歳	9. 55～59歳	14. 80歳以上
5. 35～39歳	10. 60～64歳	

③あなたの職業について、お答えください。（1つに○）

1. 自営業（家族従業員含む）	5. 専業の主婦（主夫）
2. 勤め（全日・正規）	6. 学生
3. 勤め（全日・非正規）	7. 無職
4. 勤め（パートタイム）	8. その他（ ）

④あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。（1つに○）

1. 2年以上～3年未満	3. 5年以上～10年未満	5. 15年以上～20年未満
2. 3年以上～5年未満	4. 10年以上～15年未満	6. 20年以上

⑤あなたが豊島区に住む前に住んでいた地域について、お答えください。（1つに○）

1. 生まれてからずっと豊島区に住んでいる	6. 練馬区	11. 神奈川県
2. 新宿区	7. その他の特別区	12. その他の関東
3. 文京区	8. 東京都の市町村	13. その他の国内
4. 北区	9. 埼玉県	14. 外国
5. 板橋区	10. 千葉県	

⑥あなたのお住まいの町名について、お答えください。（町名の番号に○印を付け、（ ）内に何丁目かお書きください。） 記入例 (1)駒込(2)丁目

1. 駒込()丁目	8. 南池袋()丁目	15. 南長崎()丁目
2. 巣鴨()丁目	9. 西池袋()丁目	16. 長崎()丁目
3. 西巣鴨()丁目	10. 池袋()丁目	17. 千早()丁目
4. 北大塚()丁目	11. 池袋本町()丁目	18. 要町()丁目
5. 南大塚()丁目	12. 雑司が谷()丁目	19. 高松()丁目
6. 上池袋()丁目	13. 高田()丁目	20. 千川()丁目
7. 東池袋()丁目	14. 目白()丁目	

⑦あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに○)

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世帯	()

→ ≪⑦で「3」または「4」とお答えの方におたずねします≫

⑧あなたの家族に中学生以下のお子さんは、何人いらっしゃいますか。(1つに○)

1. いない	3. 2人
2. 1人	4. 3人以上

⑨あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに○)

1. 一戸建て	3. 集合住宅(賃貸)	5. その他
2. 集合住宅(分譲)	4. 社宅・官舎、寮	()

⑩あなたの世帯の年収(税込)について、差し支えなければ、お答えください。(1つに○)

1. 200万円未満	5. 800万円～1,000万円未満
2. 200万円～400万円未満	6. 1,000万円～1,500万円未満
3. 400万円～600万円未満	7. 1,500万円以上
4. 600万円～800万円未満	

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて **9月30日(金)** までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)

協働のまちづくりに関する区民意識調査

平成 28（2016）年 12 月発行
（平成 28 年 9 月実施）

豊島区政策経営部企画課

〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1
電話 03（3981）1111（代表）

